

令和 6 年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
報告書

令和 6 年 12 月

大 田 区

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査設計	4
4	報告書の見方について	4
5	標本誤差について	5
II	①施策における満足度及び重要度に関する調査	7
1	回答者の属性について	9
2	施策の重要度・満足度について	15
	（1）重要度	15
	（2）満足度	17
	（3）重要度と満足度	19
III	②施策における指標の現状値に関する調査	25
1	回答者の属性について	27
2	基本目標1 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち	33
	（1）居場所の有無	33
	（2）具体的な居場所	35
	（3）「社会的包摂」の認知度	37
	（4）こども・子育て家庭の見守り	39
3	基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち	41
	（1）最近1年間の生涯学習の有無	41
	（2）オンラインによる生涯学習の有無	43
	（3）生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていること	45
	（4）生涯学習の充実度	47
	（5）区の文化や歴史に触れる機会の有無	53
	（6）区の文化芸術に親しむ環境への満足度	55
	（7）満足している文化芸術施策	57
	（8）期待する区の文化芸術施策	59
	（9）多文化共生社会の推進度	61
	（10）1年間に実施したスポーツや運動	63
	（11）スポーツや運動の実施頻度	65
	（12）スポーツや運動を開始（再開）するため必要なこと	67
	（13）区のスポーツ環境の満足度	69
	（14）「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度	71
	（15）地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）	74
	（16）「成年後見制度」の認知度	76

(17) 「障害者差別解消法」の認知度	78
(18) 現在の健康状態	80
(19) かかりつけの医療機関	82
(20) 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度	84
(21) 人権が尊重されている社会	86
(22) 図書館等の利用頻度	88
4 基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち	90
(1) 商店街の利用の有無	90
5 基本目標4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち	92
(1) 生活環境の満足度	92
(2) 身近な場所の水や緑	95
(3) 公園の満足度	97
(4) 空港臨海部の魅力の有無	101
(5) 公共交通機関の利用しやすさ	103
(6) 公共交通網の満足度	105
(7) 早期実現を望む大田区内の公共交通対策	107
(8) 駅周辺の整備の進捗度	109
(9) 災害から身を守るための取組	111
(10) 災害時の緊急医療開設場所の認知度	113
(11) 大田区立消費者生活センターの認知度	115
IV ③各種計画に掲げる施策の検証に係る調査	117
1 回答者の属性について	119
2 SDGsについて	125
(1) SDGsの認知度	125
(2) SDGsに関する意識と行動	127
(3) SDGsに関する行動をしていない理由	129
3 ふるさと納税について	131
(1) 他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度	131
4 各種認知度について	133
(1) 「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度	133
(2) 「大田区防災アプリ」の認知度	135
(3) 「自動通話録音機」の認知度	137
(4) おおた国際交流センター(Minto Ota)の認知度	139
(5) 「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度	141
(6) 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度	143
5 自治会・町会について	145
(1) 自治会・町会への加入	145
(2) 自治会・町会に加入していない理由	147

6	キャッシュレスについて	149
	(1) 活用しているキャッシュレスの支払い手段.....	149
7	普段の生活について	151
	(1) 普段の生活の満足度	151
8	喫煙について	157
	(1) 喫煙状況	157
9	まちづくりについて	159
	(1) まちづくりの進捗状況	159
	(2) 最も望む公共施設	164
10	『羽田イノベーションシティ』について.....	166
	(1) 羽田イノベーションシティの認知度.....	166
	(2) 羽田イノベーションシティへの期待感や満足感.....	168
11	羽田空港跡地について	170
	(1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の認知方法.....	170
	(2) 「HANEDA GLOBAL WINGS」の利用したことがある施設.....	172
12	食品ロス・フードドライブについて	174
	(1) 「食品ロス」への意識	174
	(2) 「食品ロス」を減らすための取り組み.....	176
	(3) フードドライブへの提供	178
	(4) 食品提供場所	180
13	教育について	181
	(1) 障がい児の学びを充実させるために重要なもの.....	181
14	公園について	183
	(1) 大田区らしいと感じる公園	183
15	自転車について	185
	(1) 自転車の利用状況	185
	(2) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況.....	187
	(3) ヘルメットの着用状況	189
	(4) ヘルメットを着用しない理由	191
	(5) 「コミュニティサイクル」の認知度.....	193
16	自治体経営について	195
	(1) 公民連携	195
	(2) 力を入れていくべきこと	197
	(3) 基金（貯金）の確保、運用	199
V	資料編～使用した調査票～	201

I 調査の概要

1 調査の目的

新たな基本計画策定の基礎資料及び各種計画に掲げる施策の検証並びにより効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2 調査の内容

① 施策における満足度及び重要度に関する調査	
(1) 回答者の属性	
(2) 重要度	
(3) 満足度	
② 施策における指標の現状値に関する調査	
(1) 回答者の属性	
(2) 基本目標 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち	
(3) 基本目標 2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち	
(4) 基本目標 3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち	
(5) 基本目標 4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち	
③ 各種計画に掲げる施策の検証に係る調査	
(1) 回答者の属性	(10) 『羽田イノベーションシティ』について
(2) SDGs について	(11) 羽田空港跡地について
(3) ふるさと納税について	(12) 食品ロス・フードドライブについて
(4) 各種認知度について	(13) 教育について
(5) 自治会・町会について	(14) 公園について
(6) キャッシュレスについて	(15) 自転車について
(7) 普段の生活について	(16) 自治体経営について
(8) 喫煙について	
(9) まちづくりについて	

3 調査設計

調査地域	大田区全域
調査対象	大田区内に居住する満 18 歳以上の男女個人（外国人を含む）
標本数	6,000 人 前頁「2 調査の内容」の①～③の各調査：2,000 人
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式
調査期間	令和 6 年 8 月 1 日～令和 6 年 8 月 22 日
有効回収数	① 施策における満足度及び重要度に関する調査 671 件（郵送 464 件＋電子申請 207 件） ② 施策における指標の現状値に関する調査 713 件（郵送 445 件＋電子申請 268 件） ③ 各種計画に掲げる施策の検証に係る調査 660 件（郵送 418 件＋電子申請 242 件）
有効回収率	① 施策における満足度及び重要度に関する調査 33.6% ② 施策における指標の現状値に関する調査 35.7% ③ 各種計画に掲げる施策の検証に係る調査 33.0%

4 報告書の見方について

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査の結果の比率は、その設問の回答者を母数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。このため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 属性別クロス集計等は、無回答を除いているため、回答者の合計が全体と一致しない場合がある。
- (5) 年代別は、男女ともに「18～19歳」は回答者が少数であるため、「10・20代」とまとめて集計及び掲載している。
- (6) 回答者数(n)が30人未満は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (7) 図表及び本文中では、選択肢を一部省略した表現としている場合がある。

5 標本誤差について

今回のような調査対象（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査（全ての人を調査）と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N：母集団の大きさ n：回答者数 p：回答の比率（%）
--

【各調査回答率における標本誤差早見表（信頼度 95%で算出している）】

回答の比率 (P) 回答者数 (n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
713	±2.3%	±3.0%	±3.4%	±3.7%	±3.7%
671	±2.3%	±3.1%	±3.5%	±3.8%	±3.9%
660	±2.3%	±3.1%	±3.6%	±3.8%	±3.9%
500	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%

早見表の見方

たとえば、今回の①の回答者数（671 人）を 100%とする比率で、ある質問の回答が 50%であった場合、大田区民（区内在住の 18 歳以上の方）のこの質問に対する回答は、46.1%～53.9%の間にあると考えられる。

I 調査の概要

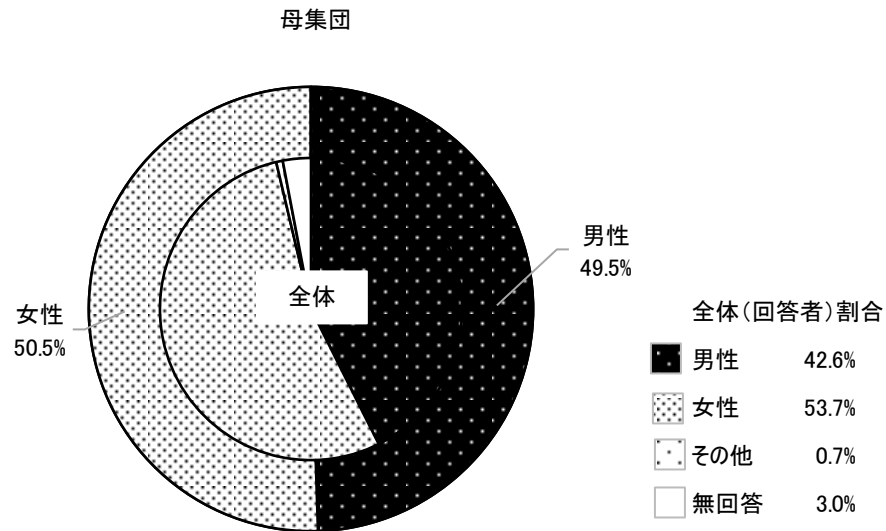
Ⅱ ①施策における満足度及び重要度 に関する調査

1 回答者の属性について

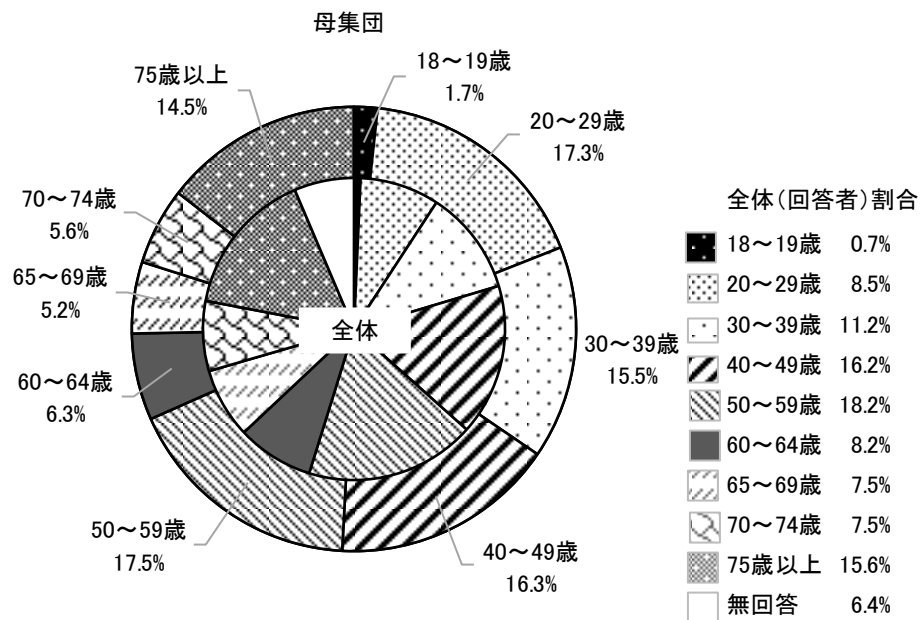
(1) 性別

全体：大田区の18歳以上の人口（n=648,724）※令和6年7月1日

回答者：有効回収数（n=671）



(2) 年齢

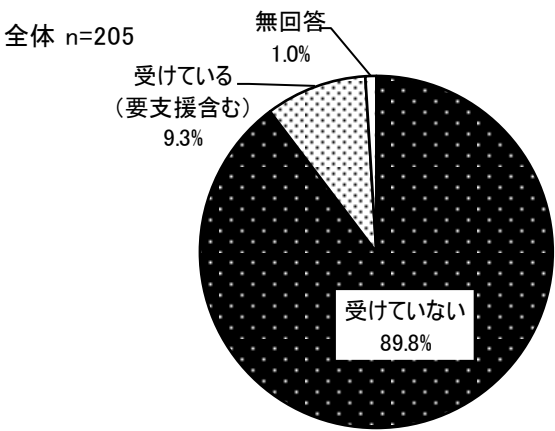


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人＋外国人）令和6年7月1日現在版

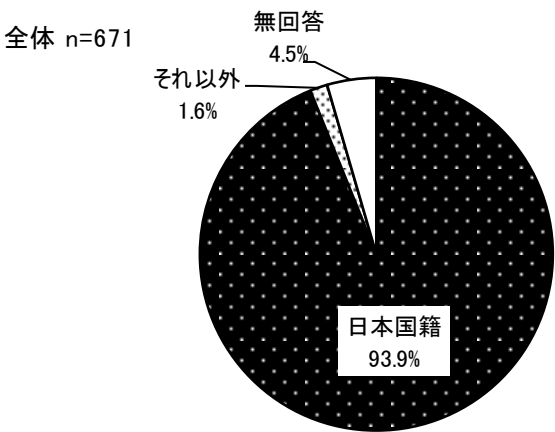
II ①施策における満足度及び重要度に関する調査

(3) 要介護認定の状況

【65 歳以上の方】



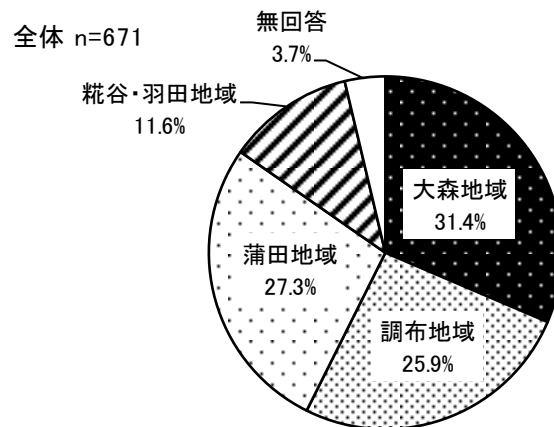
(4) 国籍



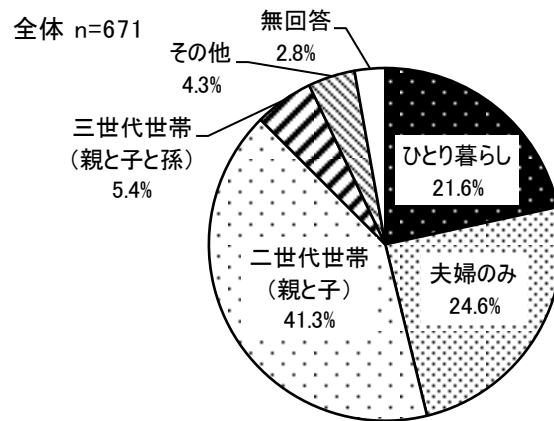
■日本国籍以外

国名	中国	台湾	イギリス	韓国	ネパール	ベトナム	ミャンマー	無回答
人数	3	2	1	1	1	1	1	1

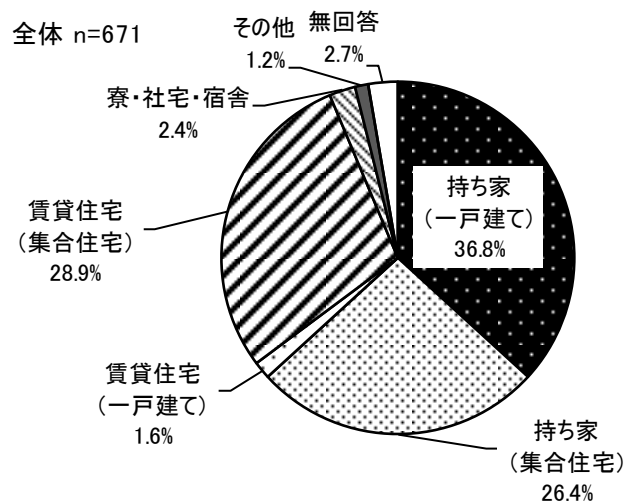
(5) 居住地域



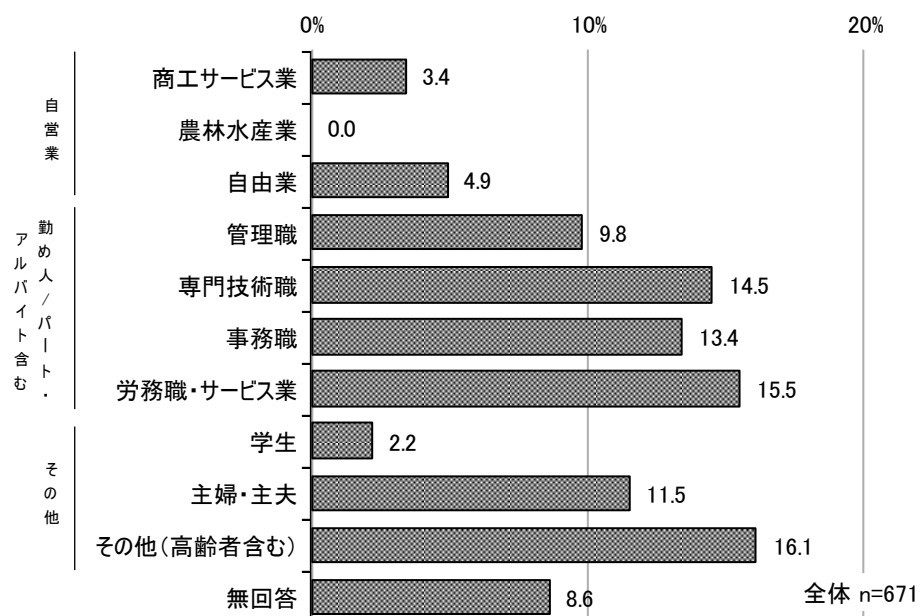
(6) 家族構成



(7) 住まいの種類

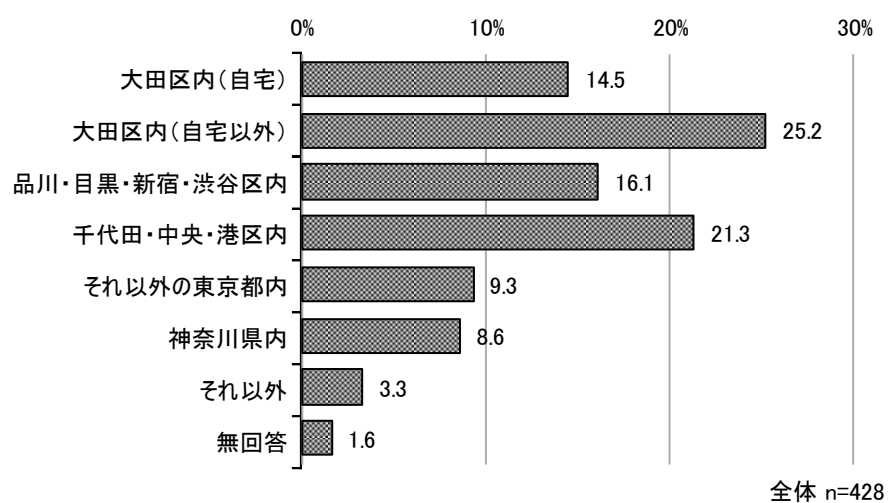


(8) 職業

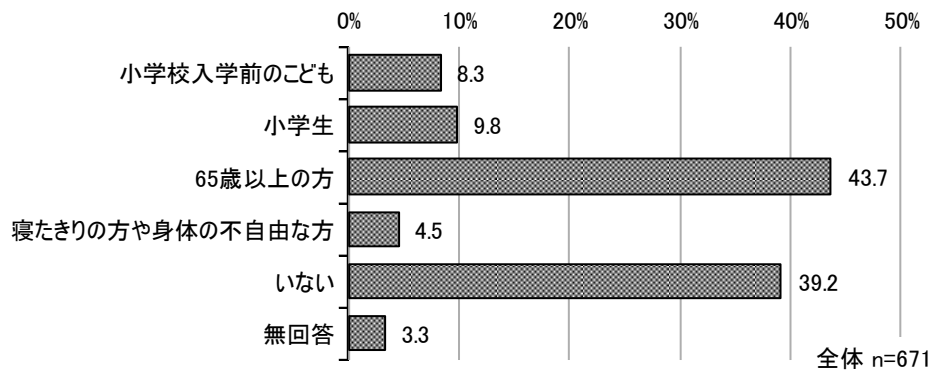


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】



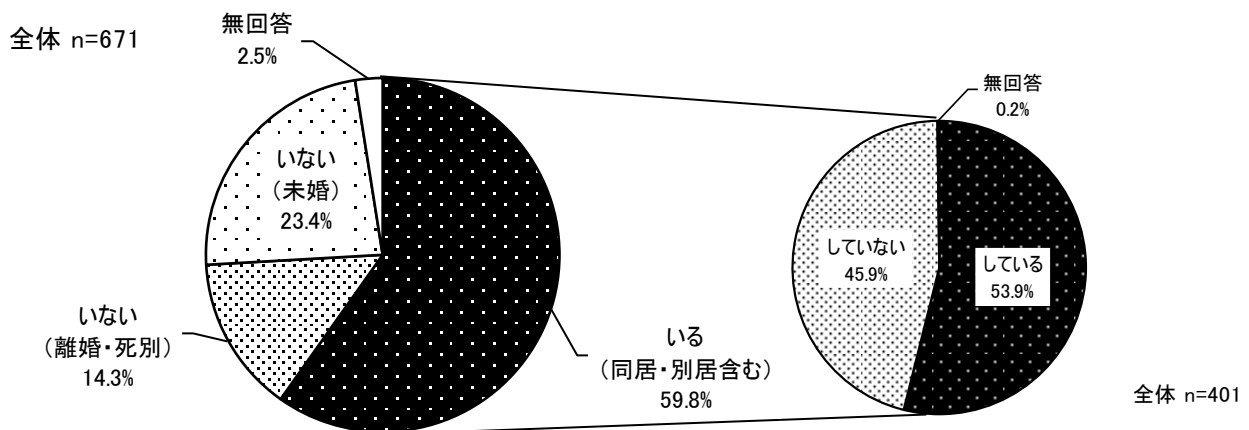
(10) 同居家族



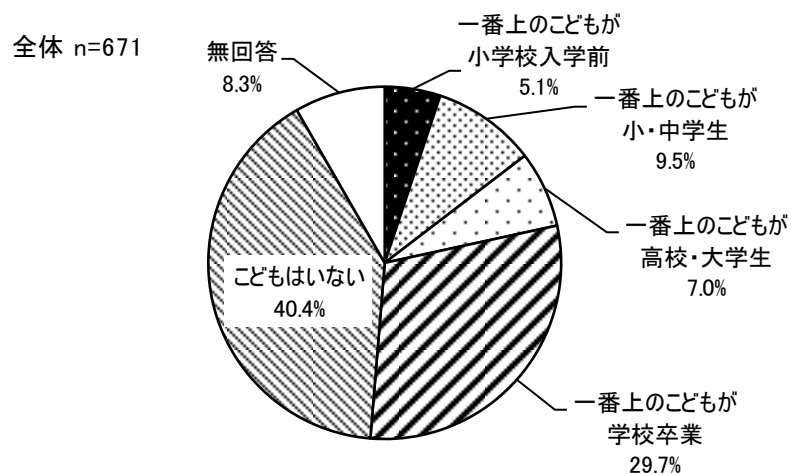
(11) 配偶者の有無

(12) 共働きについて

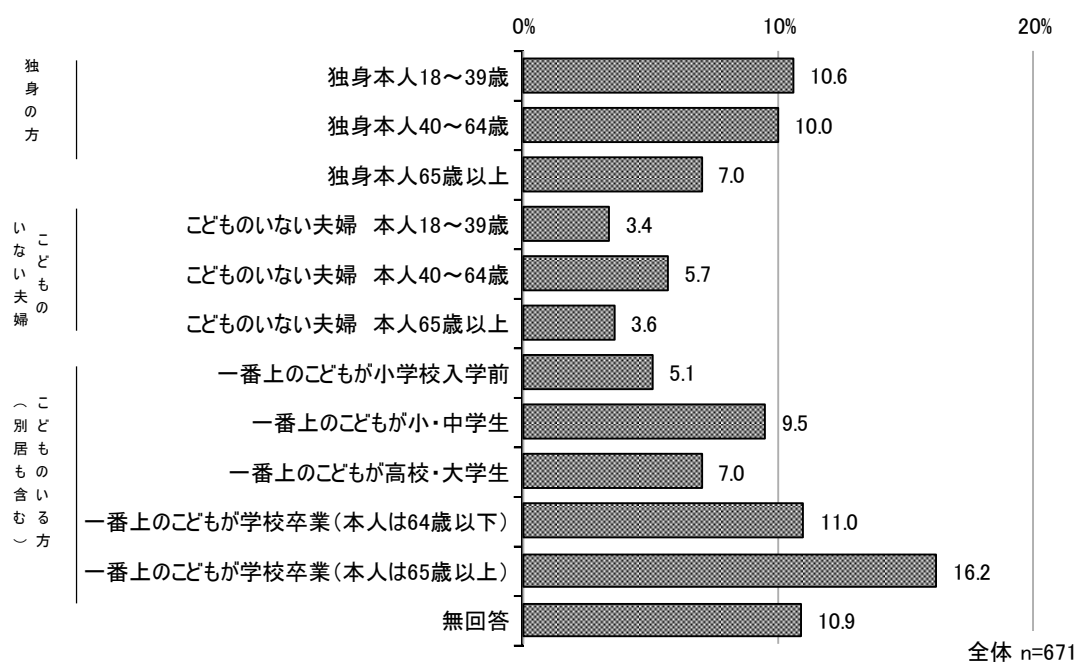
【(11) 配偶者の有無で「いる（同居・別居含む）」と回答した方】



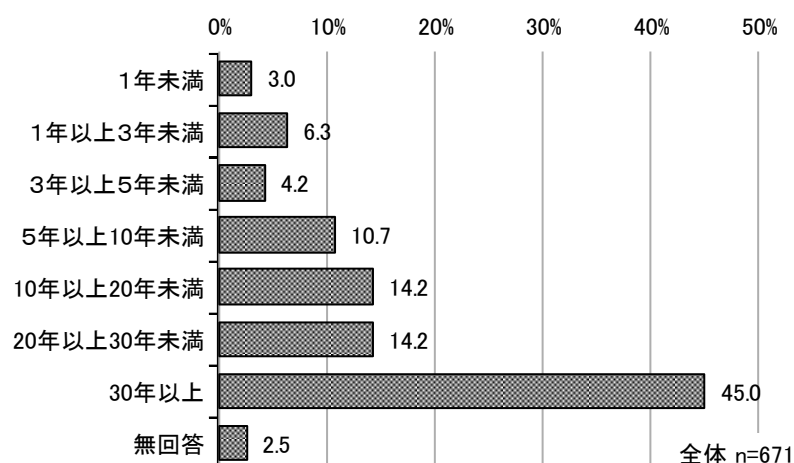
(13) こどもの有無



(14) ご自身のステージ



(15) 居住年数



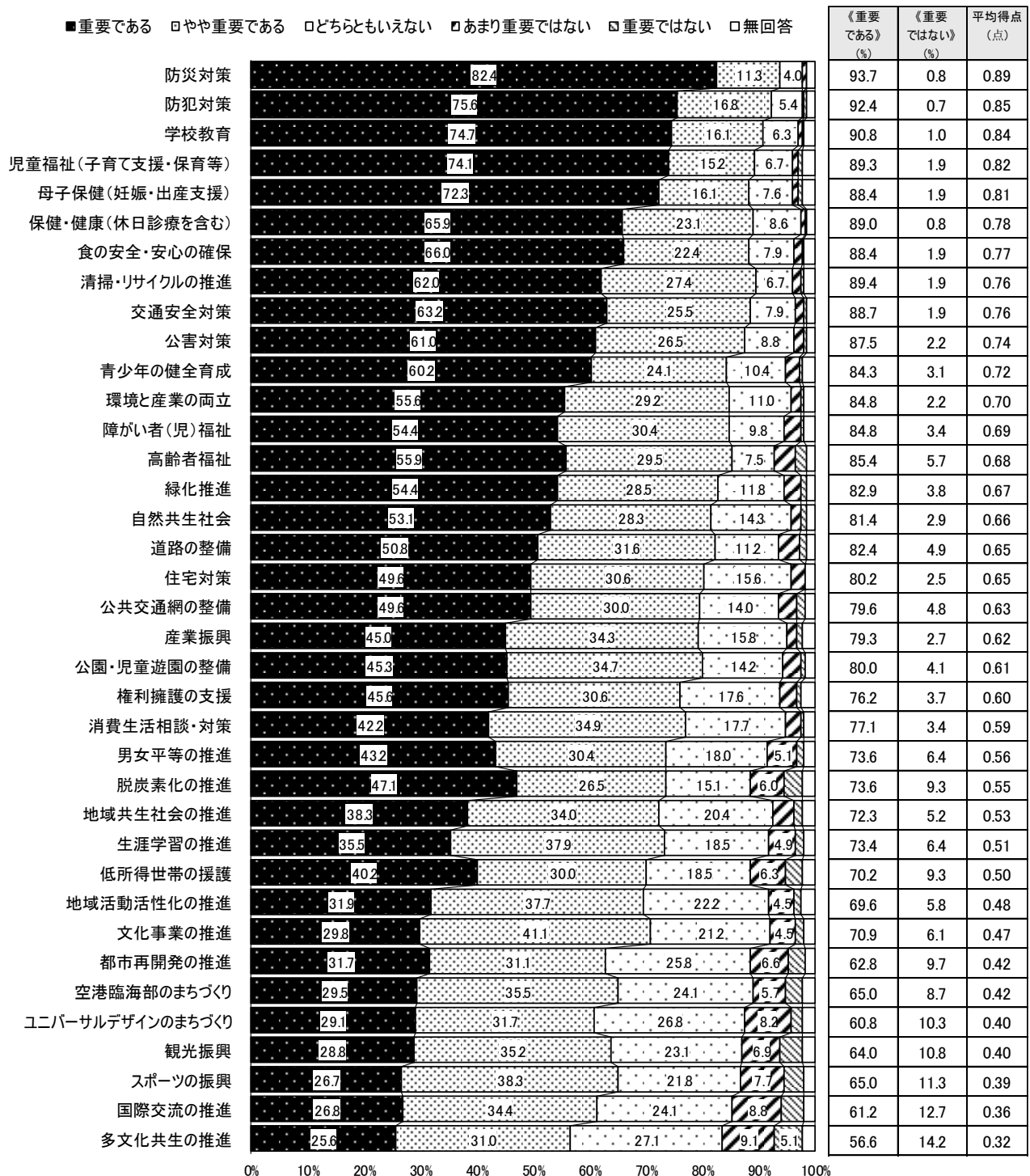
2 施策の重要度・満足度について

(1) 重要度

◇重要度は「防災対策」が最も高くなっている

問 大田区の施策の中で、引き続き重点的に取り組む施策（重要度）について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。（それぞれ1つのみ）

※「1」～「37」の施策についてそれぞれ回答してください。



※《重要である》は「重要である」「やや重要である」の合計値

《重要ではない》は「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計値

II ①施策における満足度及び重要度に関する調査

区の各施策について、重要度を5段階で評価してもらい、平均得点※を算出した。

重要度が最も高かったのは、「防災対策」(0.89)で、次いで「防犯対策」(0.85)、「学校教育」(0.84)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(0.82)となっている。

※平均得点の算出方法

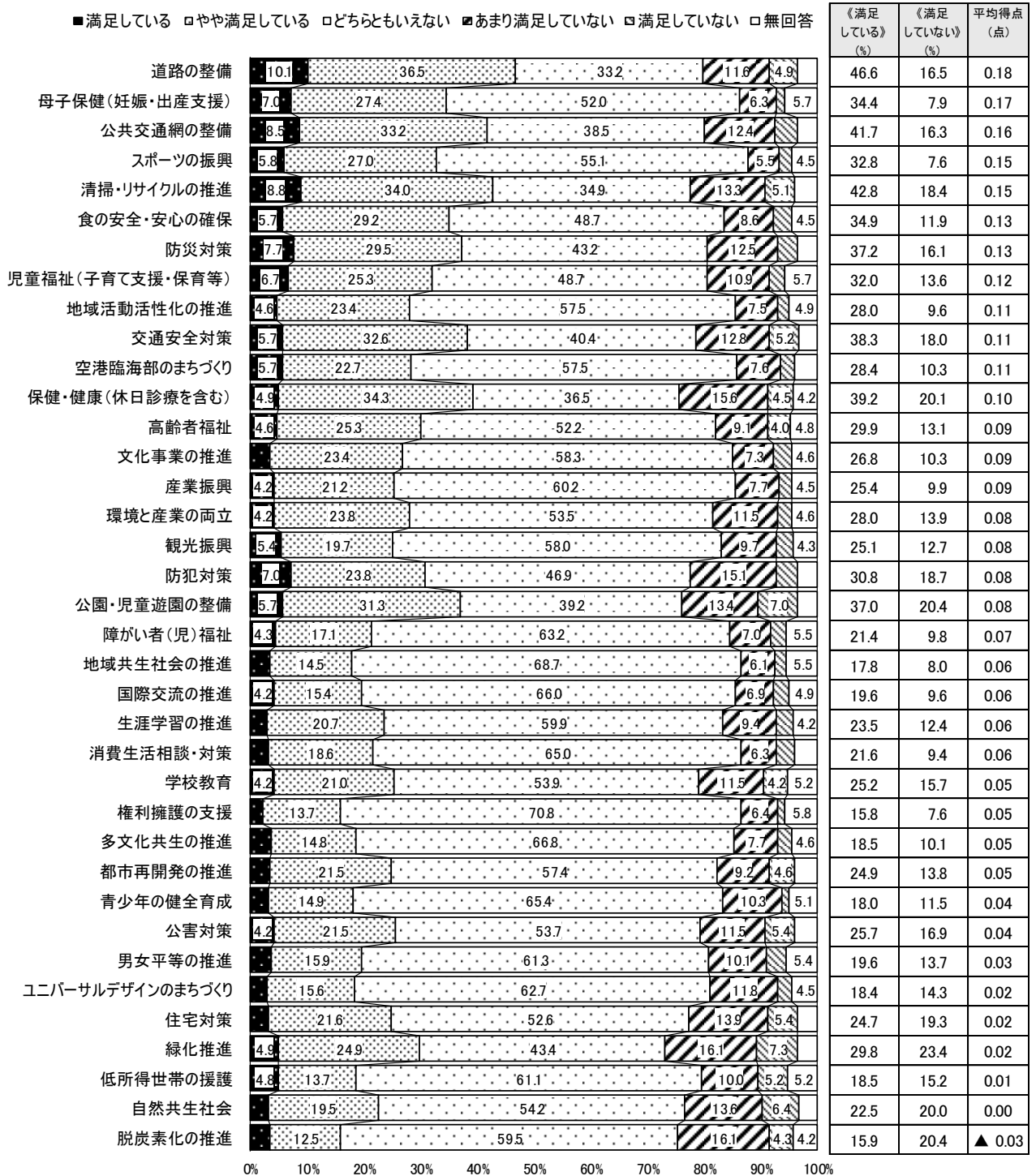
$$\text{平均得点} = \frac{(\text{重要ではない} \times -1.0 \text{点}) + (\text{あまり重要ではない} \times -0.5 \text{点}) + (\text{どちらともいえない} \times 0.0 \text{点}) + (\text{やや重要である} \times 0.5 \text{点}) + (\text{重要である} \times 1.0 \text{点})}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

(2) 満足度

◇満足度は「道路の整備」が最も高くなっている

問 大田区の施策の中で、現在の満足度について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。
(それぞれ1つのみ)

※「1」～「37」の施策についてそれぞれ回答してください。



※《満足している》は「満足している」「やや満足している」の合計値
《満足していない》は「あまり満足していない」「満足していない」の合計値

II ①施策における満足度及び重要度に関する調査

区の各施策について、重要度と同様に5段階で評価してもらい、平均得点※を算出した。

満足度が最も高かったのは、「道路の整備」(0.18)で、次いで「母子保健(妊娠・出産支援)」(0.17)、「公共交通網の整備」(0.16)となっている。一方、低くなっているのは「脱炭素化の推進」(-0.03)、「自然共生社会」(0.00)、「低所得世帯の援護」(0.01)となっている。

※平均得点の算出方法

$$\text{平均得点} = \frac{\begin{aligned} &(\text{満足していない} \times -1.0 \text{点}) + (\text{あまり満足していない} \times -0.5 \text{点}) + (\text{どちらともいえない} \times 0.0 \text{点}) \\ &+ (\text{やや満足している} \times 0.5 \text{点}) + (\text{満足している} \times 1.0 \text{点}) \end{aligned}}{\text{回答者数}-\text{無回答}}$$

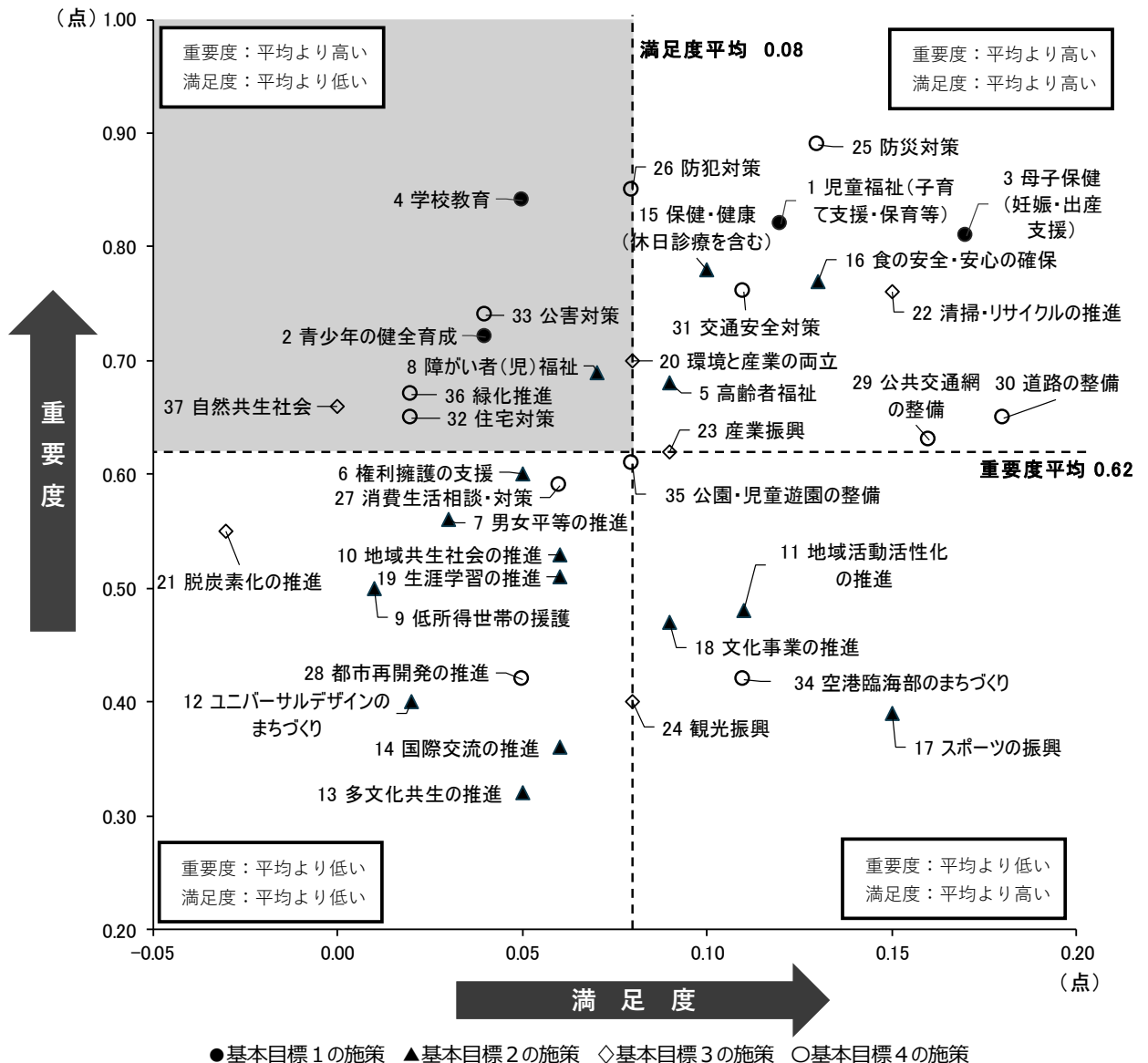
(3) 重要度と満足度

重要度を縦軸、満足度を横軸にとり、2軸4象限の図（マトリックス評価）で分析をした。

各象限を表す領域線はそれぞれの平均値とし、下図の象限に該当した項目の重要度および満足度の高低については、全体の平均値と比較して高い・低いとなっている。

重要度	Ⅲ. 満足度は低い、重要度が高い施策	Ⅰ. 満足度が高く、重要度も高い施策
	Ⅳ. 満足度が低く、重要度も低い施策	Ⅱ. 満足度は高いが、重要度は低い施策
満足度		

図のⅢの部分にプロットされたものは、満足度は低いが高重要度とみられている施策であるため、今後の取り組みについて、より検討が必要であると考えられる。



II ①施策における満足度及び重要度に関する調査

重要度が高いにもかかわらず満足度が低い左上の象限に該当する項目は「2 青少年の健全育成」、「4 学校教育」、「8 障がい者（児）福祉」、「32 住宅対策」、「33 公害対策」、「36 緑化推進」、「37 自然共生社会」の7項目となっている。

下表は、各施策の重要度、満足度の平均得点を基本目標毎に表したものである。

【基本目標】	【施策】	重要度	満足度	差 ^{※1}
【基本目標1】 未来を創り出すこどもたちが 夢と希望をもって健やかに 育つまち	1 児童福祉（子育て支援・保育等）	0.82	0.12	0.70
	2 青少年の健全育成	0.72	0.04	0.68
	3 母子保健（妊娠・出産支援）	0.81	0.17	0.64
	4 学校教育	0.84	0.05	0.79
【基本目標2】 文化を伝え育み誰もが笑顔で いきいき暮らすまち	5 高齢者福祉	0.68	0.09	0.59
	6 権利擁護の支援	0.60	0.05	0.55
	7 男女平等の推進	0.56	0.03	0.53
	8 障がい者（児）福祉	0.69	0.07	0.62
	9 低所得世帯の援護	0.50	0.01	0.49
	10 地域共生社会の推進	0.53	0.06	0.47
	11 地域活動活性化の推進	0.48	0.11	0.37
	12 ユニバーサルデザインのまちづくり	0.40	0.02	0.38
	13 多文化共生の推進	0.32	0.05	0.27
	14 国際交流の推進	0.36	0.06	0.30
	15 保健・健康（休日診療を含む）	0.78	0.10	0.68
	16 食の安全・安心の確保	0.77	0.13	0.64
	17 スポーツの振興	0.39	0.15	0.24
	18 文化事業の推進	0.47	0.09	0.38
	19 生涯学習の推進	0.51	0.06	0.45
【基本目標3】 豊かな環境と産業の活力で 持続的に発展するまち	20 環境と産業の両立	0.70	0.08	0.62
	21 脱炭素化の推進	0.55	▲ 0.03	0.58
	22 清掃・リサイクルの推進	0.76	0.15	0.61
	37 自然共生社会 ^{※2}	0.66	0.00	0.66
	23 産業振興	0.62	0.09	0.53
【基本目標4】 安全・安心で活気とやすらぎの ある快適なまち	24 観光振興	0.40	0.08	0.32
	25 防災対策	0.89	0.13	0.76
	26 防犯対策	0.85	0.08	0.77
	27 消費生活相談・対策	0.59	0.06	0.53
	28 都市再開発の推進	0.42	0.05	0.37
	29 公共交通網の整備	0.63	0.16	0.47
	30 道路の整備	0.65	0.18	0.47
	31 交通安全対策	0.76	0.11	0.65
	32 住宅対策	0.65	0.02	0.63
	33 公害対策	0.74	0.04	0.70
	34 空港臨海部のまちづくり	0.42	0.11	0.31
	35 公園・児童遊園の整備	0.61	0.08	0.53
	36 緑化推進	0.67	0.02	0.65

※1 重要度と満足度の平均得点の差

※2 「37 自然共生社会」は、検討過程において基本目標4から基本目標3へ位置づけを変更しました。

■性別・性／年代別・居住地域別（重要度が高く満足度が低い7項目）

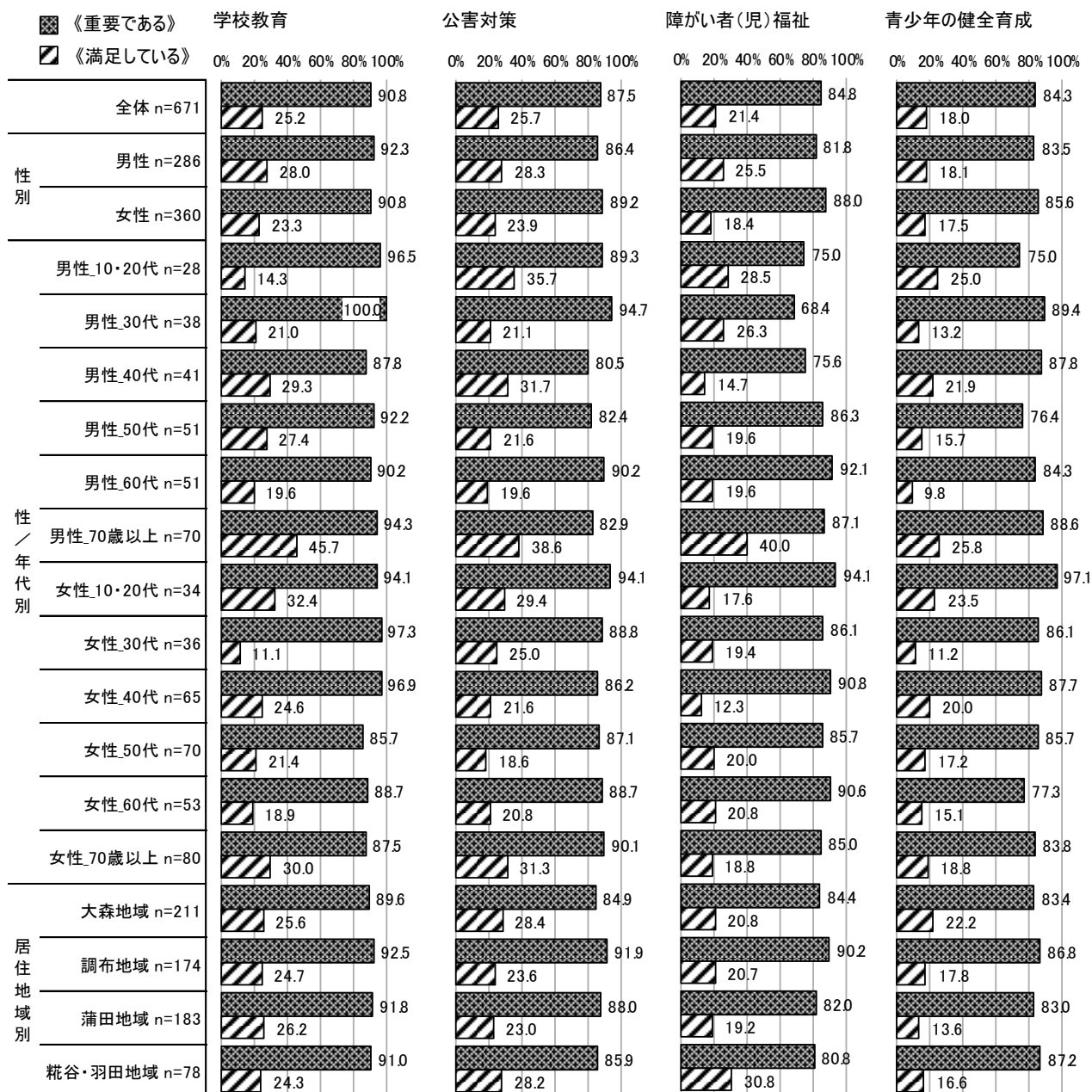
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い7項目について、「重要である」、「やや重要である」の合計値《重要である》と「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》の差分に着目する。

性別でみると、「障がい者（児）福祉」で女性の《重要である》は8割後半となっている一方、《満足している》は1割後半と低く、重要度と満足度の差が最も大きくなっている。また、《重要である》は男性より女性で高くなっている一方、《満足している》は男性より女性で低く、男性より女性の重要度と満足度の差が大きくなっている。

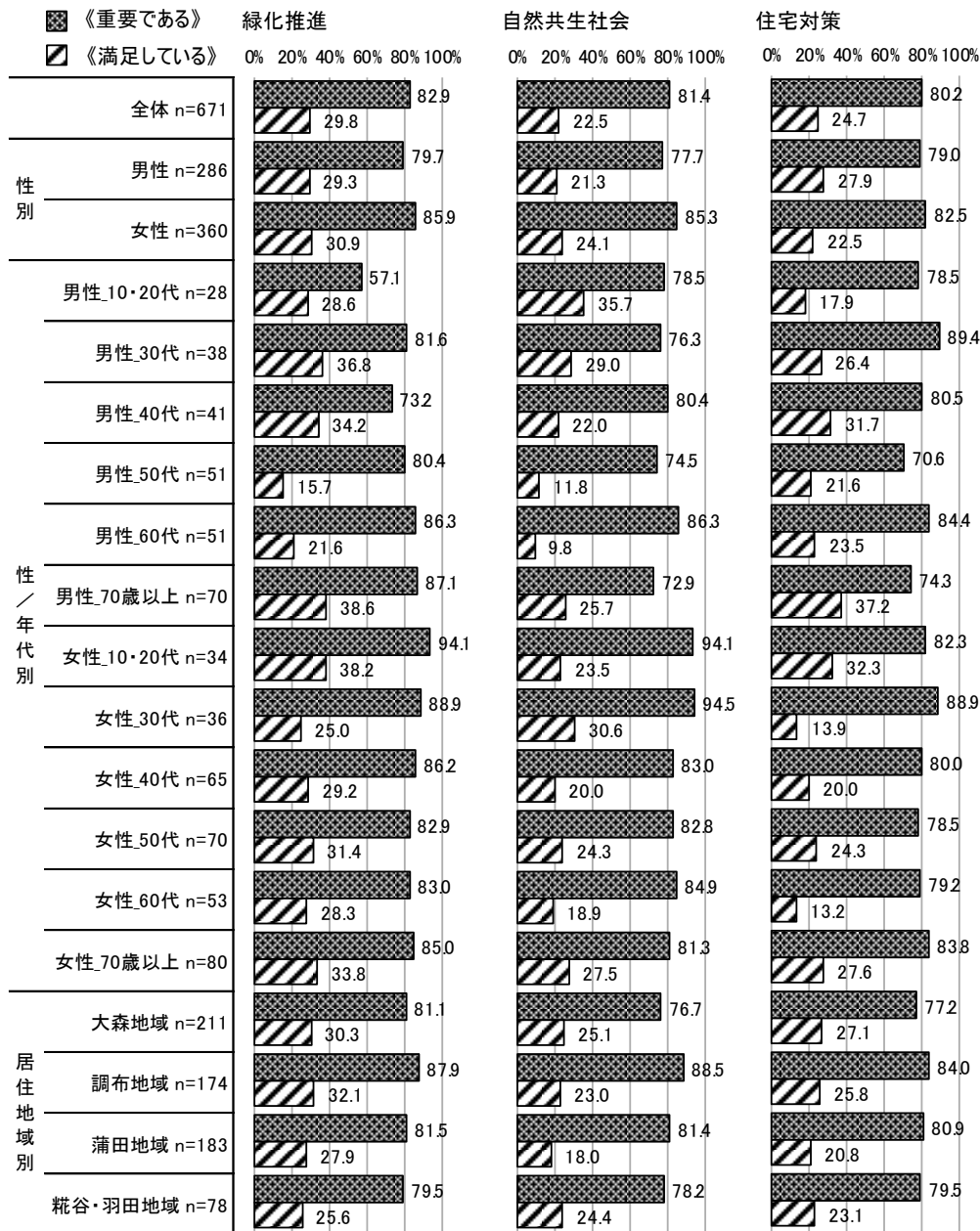
性／年代別でみると、「学校教育」で女性30代の《重要である》は9割後半と高くなっている一方、《満足している》は1割前半と低く、重要度と満足度の差が最も大きくなっている。同じ年代の性別でみると、「障がい者（児）福祉」では《重要である》は女性30代で8割後半と男性30代より高くなっている一方、《満足している》は女性30代で1割後半と男性30代より低く、男性30代より女性30代の重要度と満足度の差が最も大きくなっている。

居住地域別でみると、「青少年の健全育成」の糀谷・羽田地域、「障がい者（児）福祉」の調布地域、「青少年の健全育成」の蒲田地域、の順で重要度と満足度の差が大きくなっている。

II ①施策における満足度及び重要度に関する調査



Ⅱ ①施策における満足度及び重要度に関する調査



Ⅱ ①施策における満足度及び重要度に関する調査

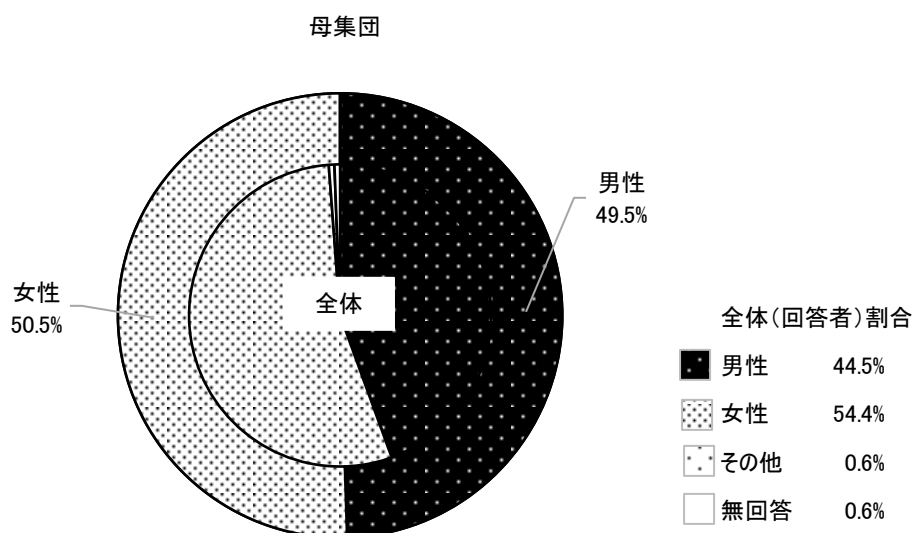
Ⅲ ②施策における指標の現状値に関する調査

1 回答者の属性について

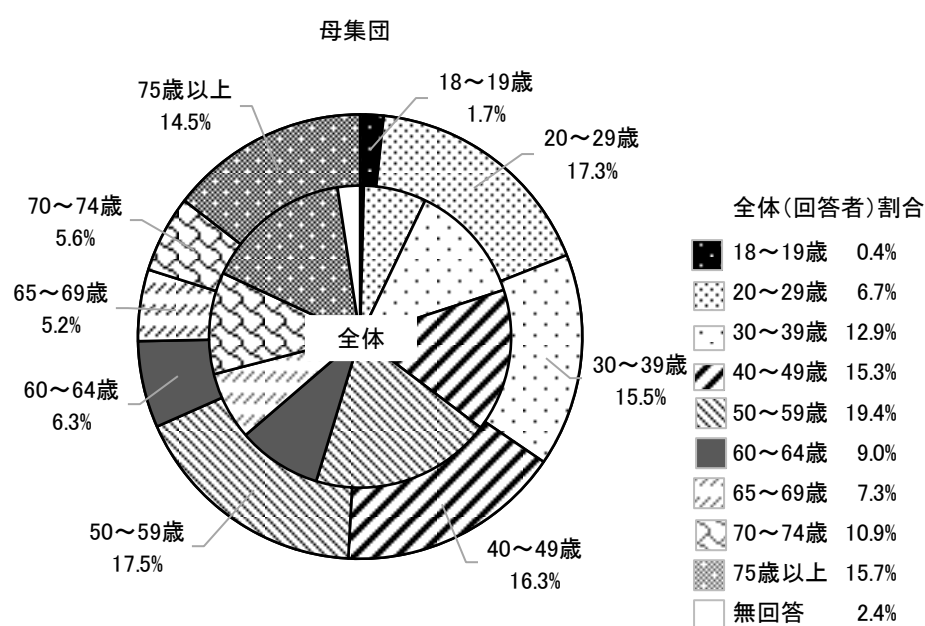
(1) 性別

全体：大田区の18歳以上の人口（n=648,724）※令和6年7月1日

回答者：有効回収数（n=713）



(2) 年齢

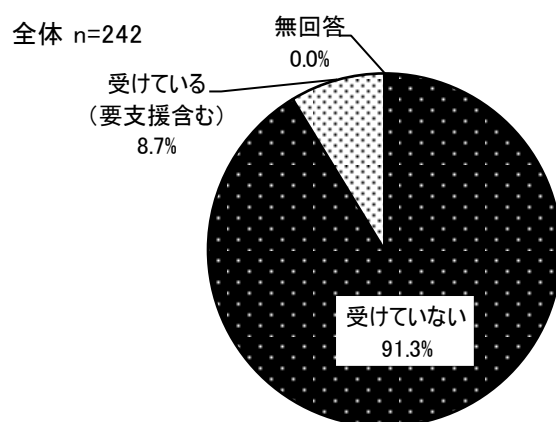


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和6年7月1日現在版

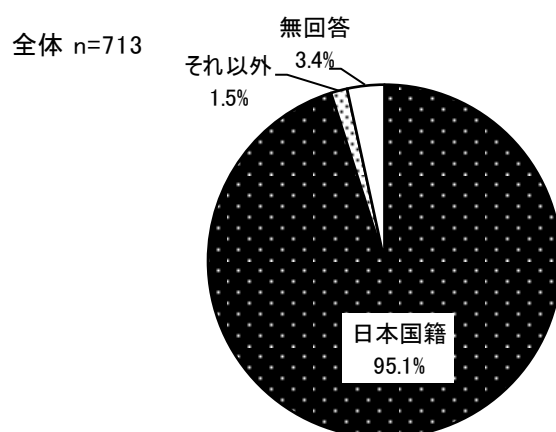
Ⅲ ②施策における指標の現状値に関する調査

(3) 要介護認定の状況

【(65歳以上の方)】



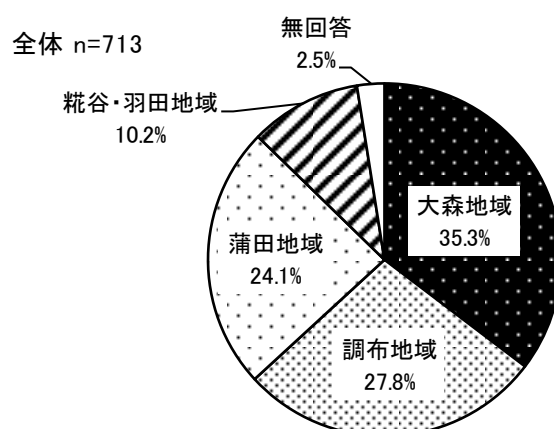
(4) 国籍



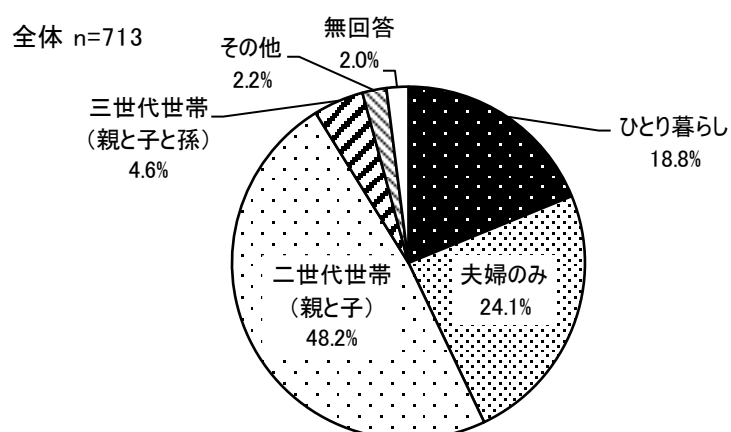
■日本国籍以外

国名	ベトナム	中国	インド	カナダ	スリランカ	ブラジル	マレーシア	無回答
人数	4	2	1	1	1	1	1	0

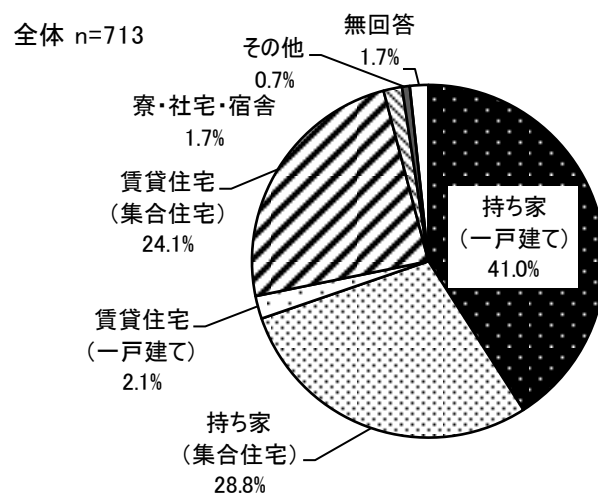
(5) 居住地域



(6) 家族構成

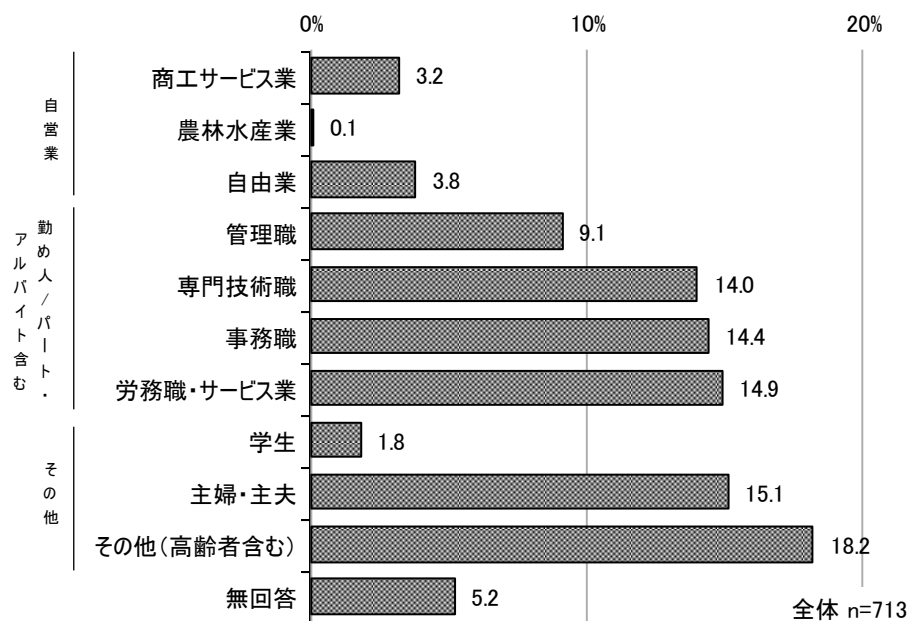


(7) 住まいの種類



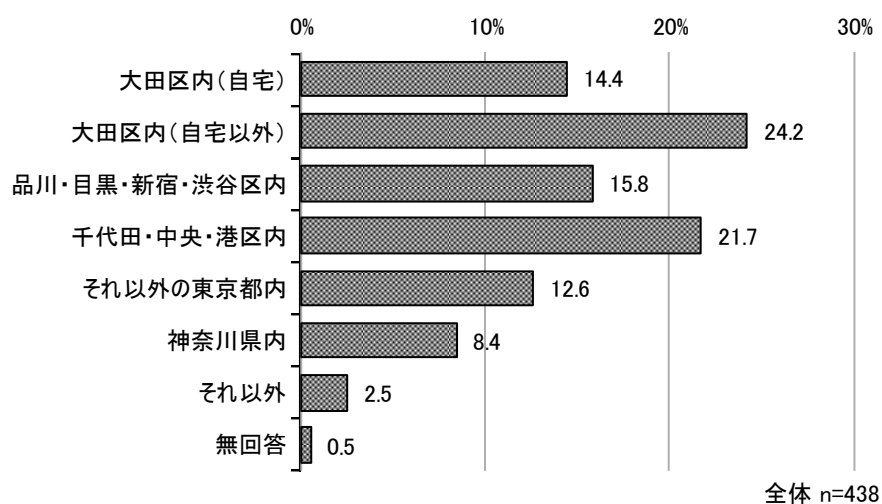
Ⅲ ②施策における指標の現状値に関する調査

(8) 職業

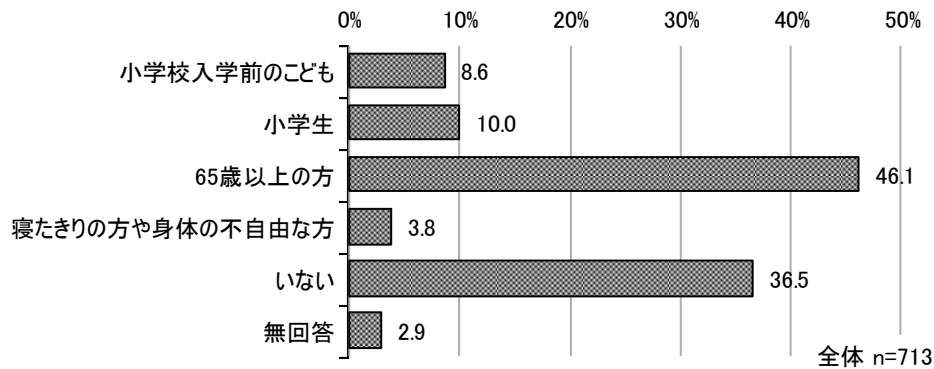


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】



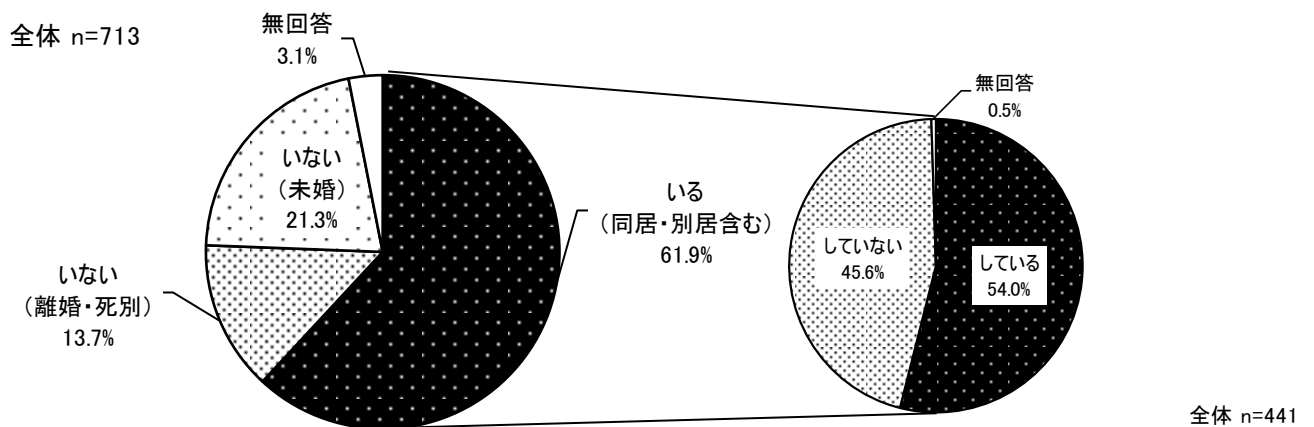
(10) 同居家族



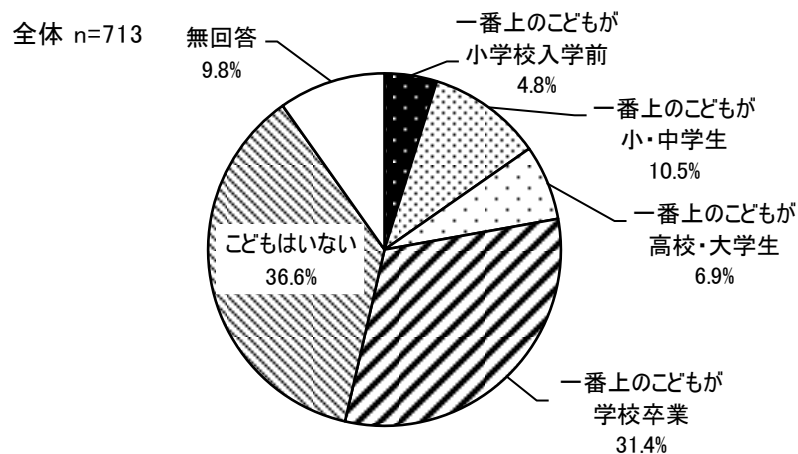
(11) 配偶者の有無

(12) 共働きの状況

【(11) 配偶者の有無で「いる（同居・別居含む）」と回答した方】

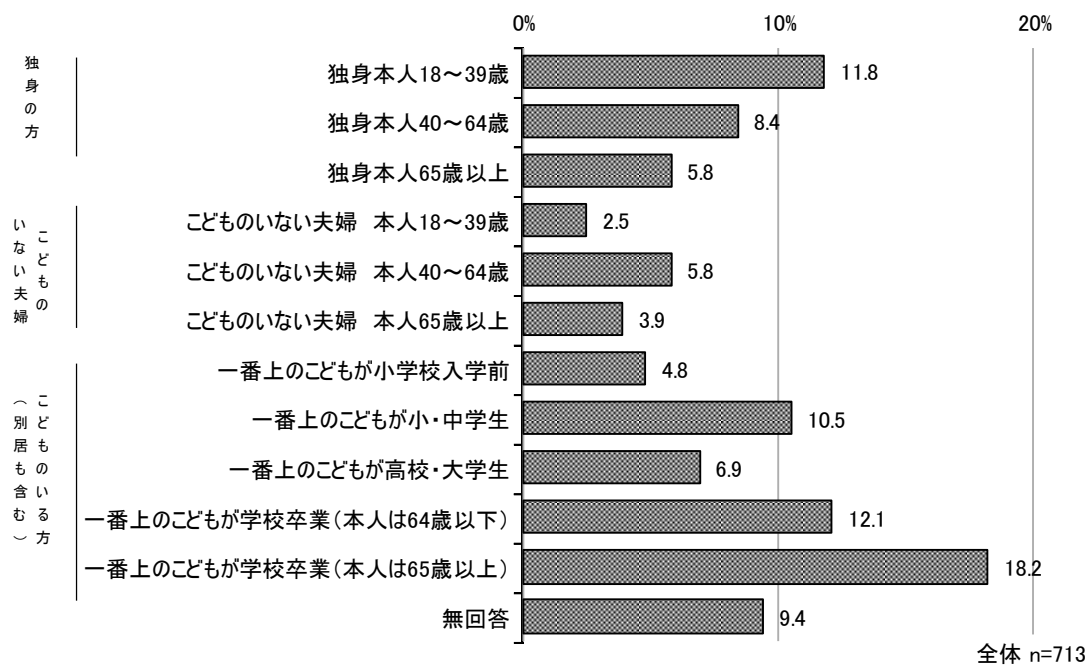


(13) こどもの有無

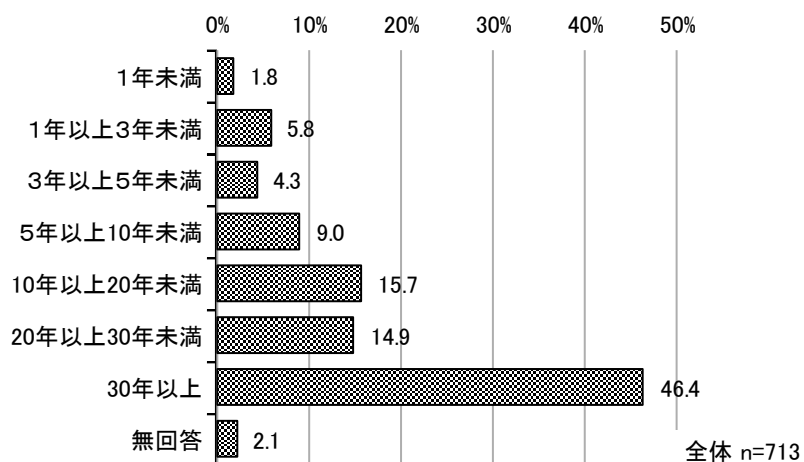


Ⅲ ②施策における指標の現状値に関する調査

(14) ご自身のステージ



(15) 居住年数



2 基本目標 1 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

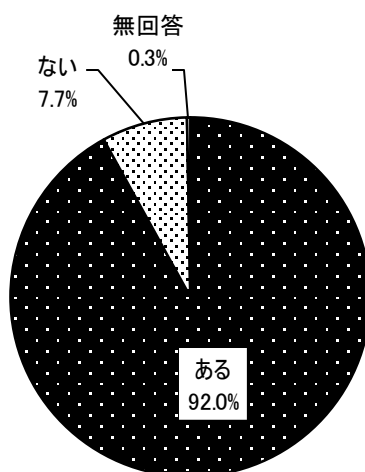
(1) 居場所の有無

◇「ある」は9割前半となっている

問1 (自宅を含めて)自分らしく過ごせたり、居心地が良いと感じたりする居場所がありますか。(1つのみ)

(自宅を含めて)自分らしく過ごせたり、居心地が良いと感じる居場所の有無については、「ある」は92.0%、「ない」は7.7%と、「ある」が84.3ポイント上回っている。

全体 n=713

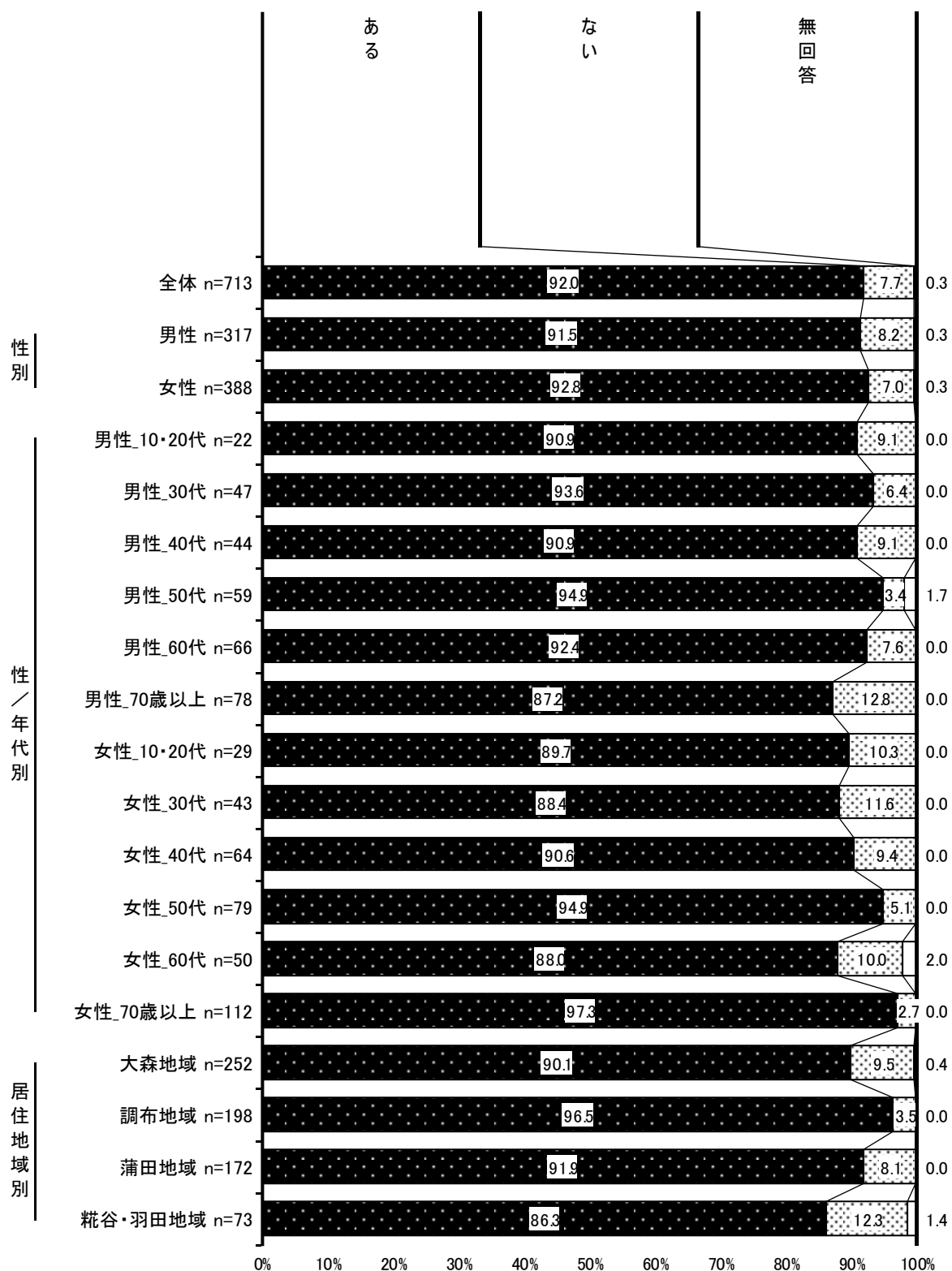


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「ある」は女性 70 歳以上で 9 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「ある」は調布地域で 9 割後半と最も高くなっている。



(2) 具体的な居場所

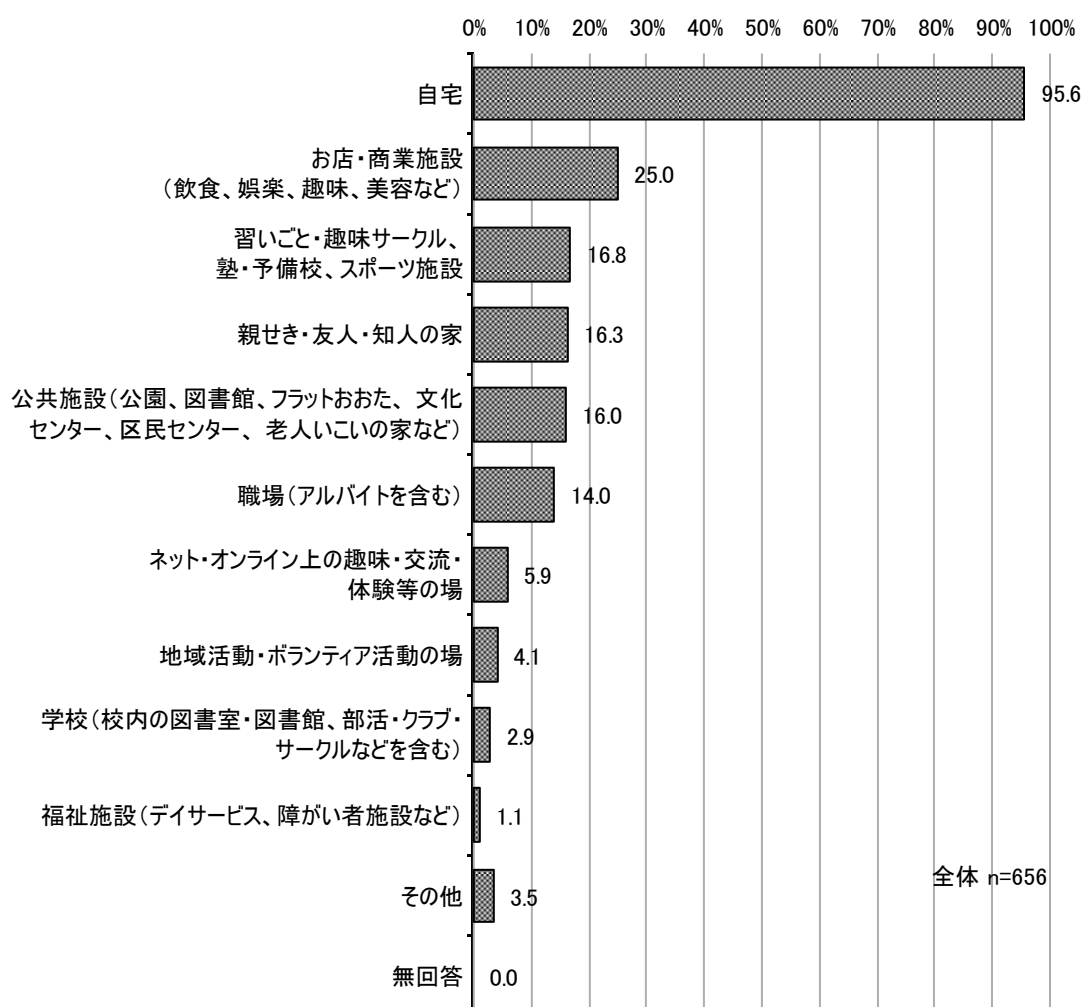
◇「自宅」が9割半ばで最も高くなっている

【問1 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問1-1 次の中から当てはまる居場所はどこですか。(複数選択可)

具体的な居場所については、「自宅」が95.6%で最も高く、次いで「お店・商業施設（飲食、娯楽、趣味、美容など）」が25.0%、「習いごと・趣味サークル、塾・予備校、スポーツ施設」が16.8%となっている。

居場所が複数箇所ある（2つ以上回答した）人は59.9%、1箇所のみは39.8%となっている。

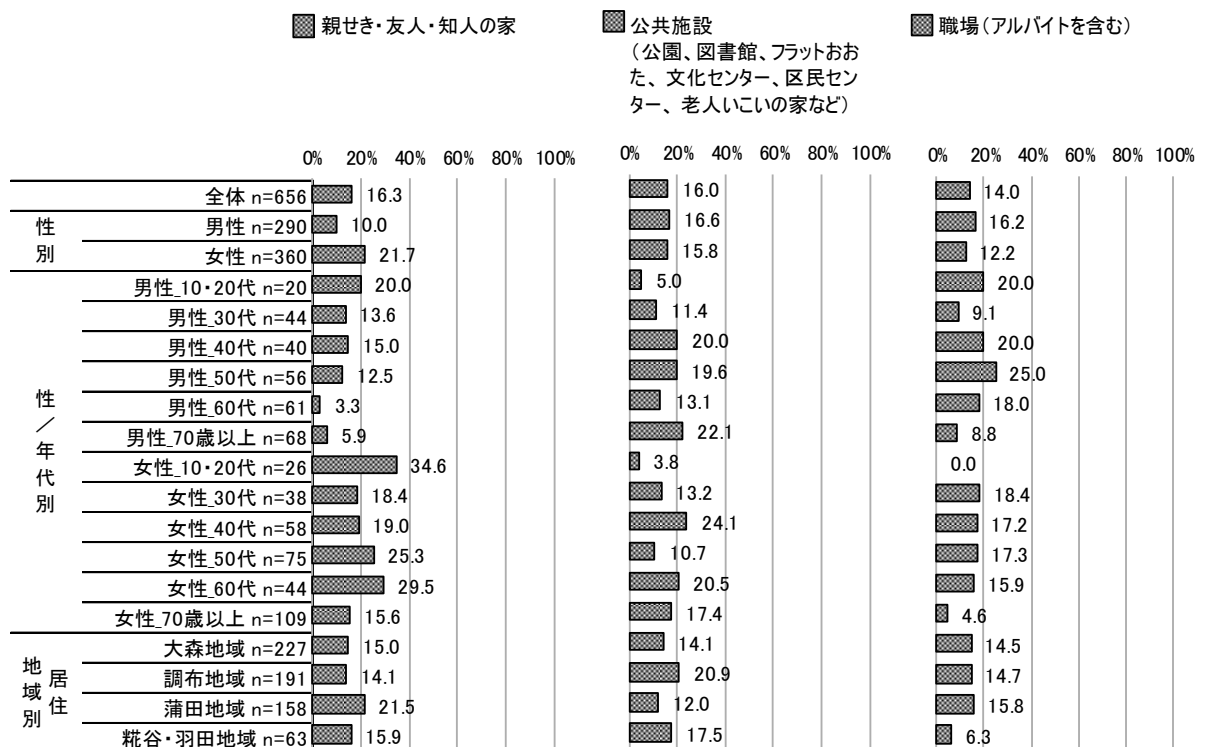
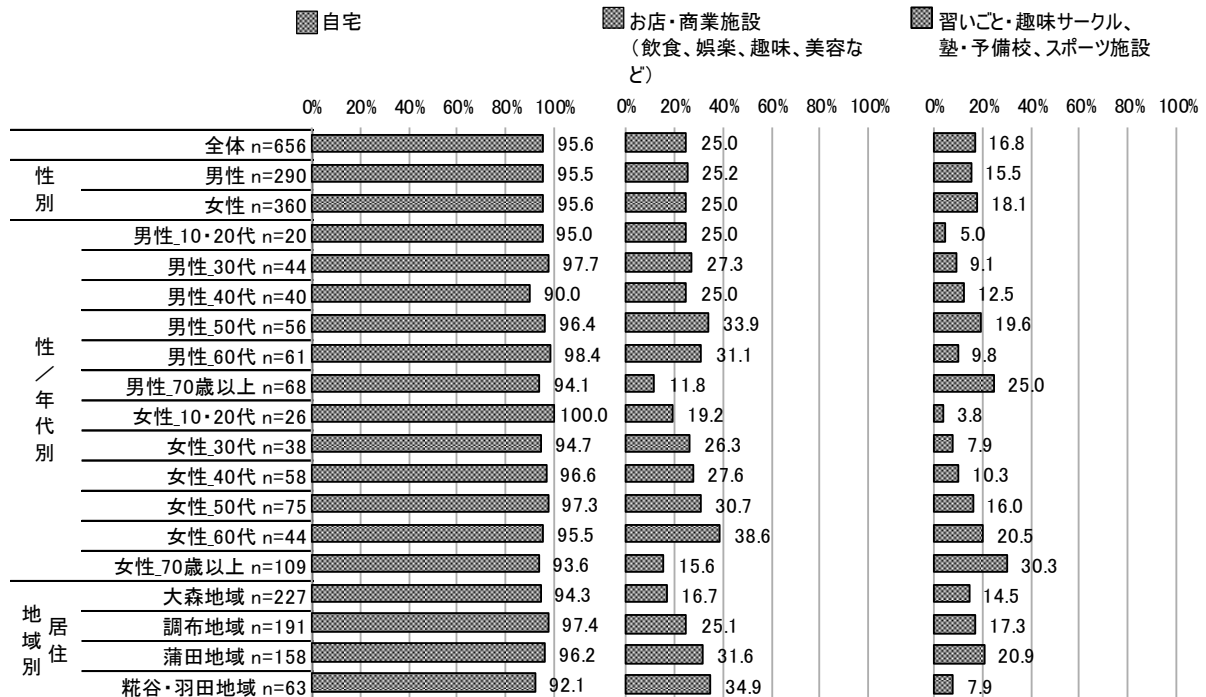


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「親せき・友人・知人の家」は男性が10.0%、女性が21.7%と、女性が11.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「自宅」はすべての性／年代で9割を超えている。「お店・商業施設（飲食、娯楽、趣味、美容など）」は女性60代で3割後半と高くなっている。「習いごと・趣味サークル、塾・予備校、スポーツ施設」は女性70歳以上で約3割と高くなっている。

居住地域別でみると、「お店・商業施設（飲食、娯楽、趣味、美容など）」は蒲田地域、糀谷・羽田地域で3割前半と高くなっている。



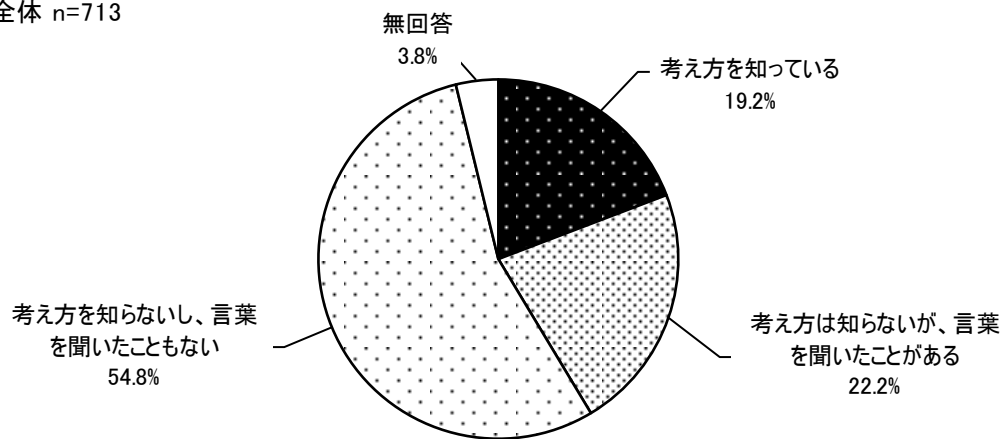
(3)「社会的包摂」の認知度

◇「考え方を知っている」は1割後半となっている

問2 大田区では、子どもたちを誰一人取り残さないよう、子どもや保護者が抱える問題を地域共通の課題として捉え、地域においてすべての子どもを温かく包み込む支援「社会的包摂」の考えを広めています。「社会的包摂」という考え方を知っていますか。(1つのみ)

「社会的包摂」の認知度については、「考え方を知らないし、言葉を聞いたこともない」が54.8%で最も高く、次いで「考え方は知らないが、言葉を聞いたことがある」が22.2%、「考え方を知っている」が19.2%となっている。

全体 n=713

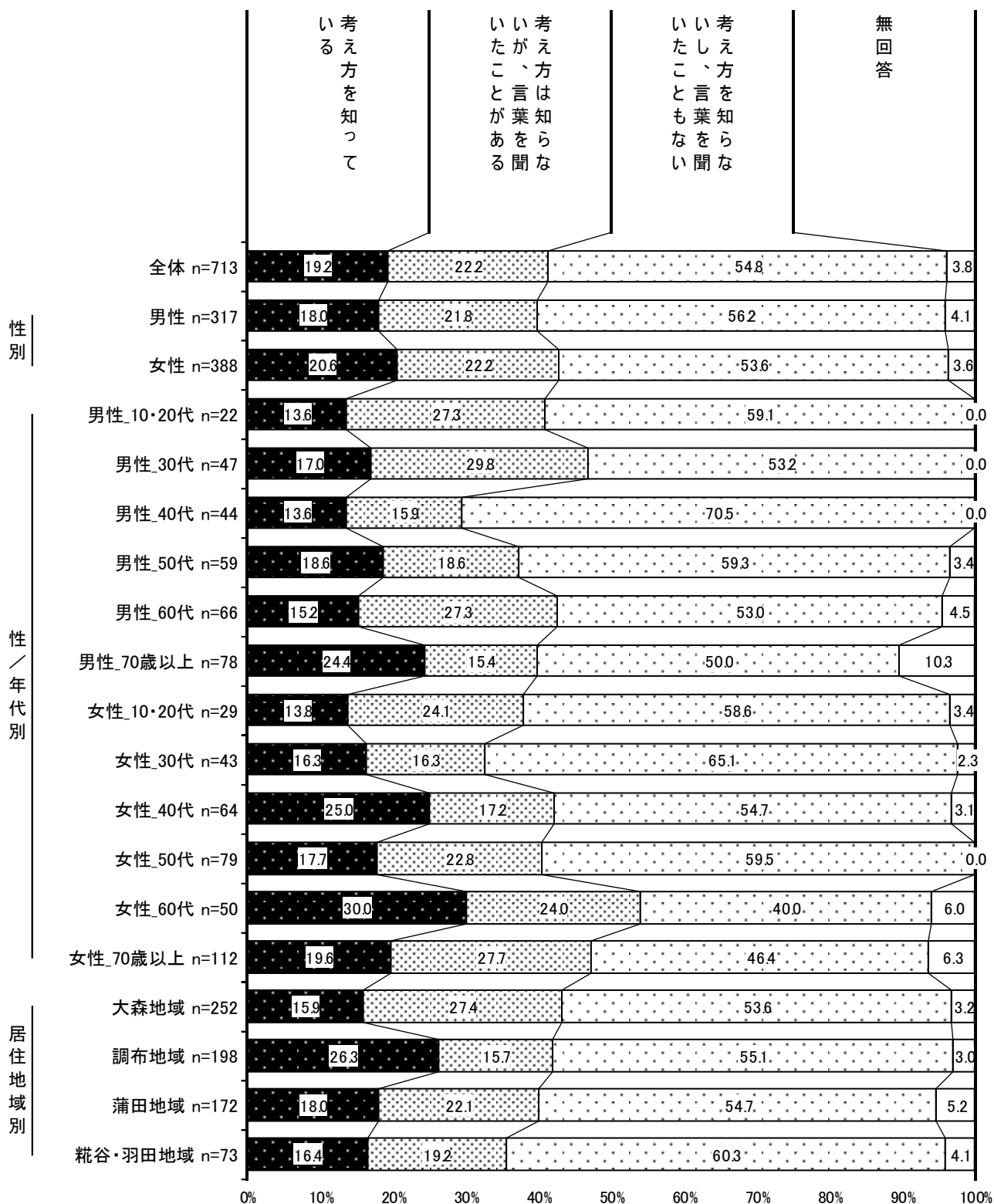


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「考え方を知っている」は女性 60 代で 3 割と高くなっている。

居住地域別でみると、「考え方を知っている」は調布地域で 2 割後半と高くなっている。

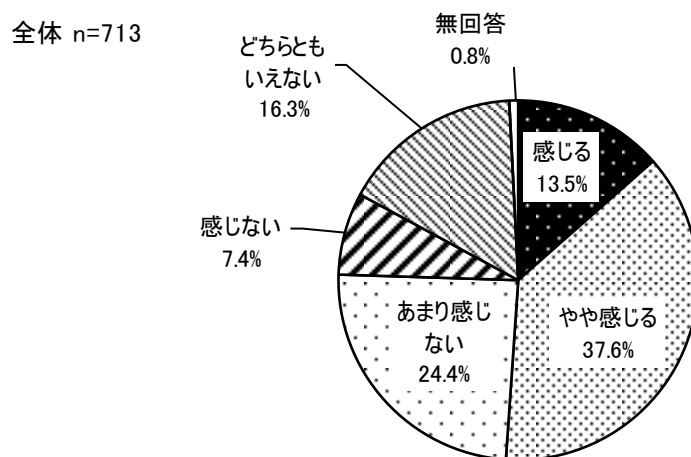


(4) こども・子育て家庭の見守り

◇《感じる》(「感じる」「やや感じる」の合計値)は5割前半となっている

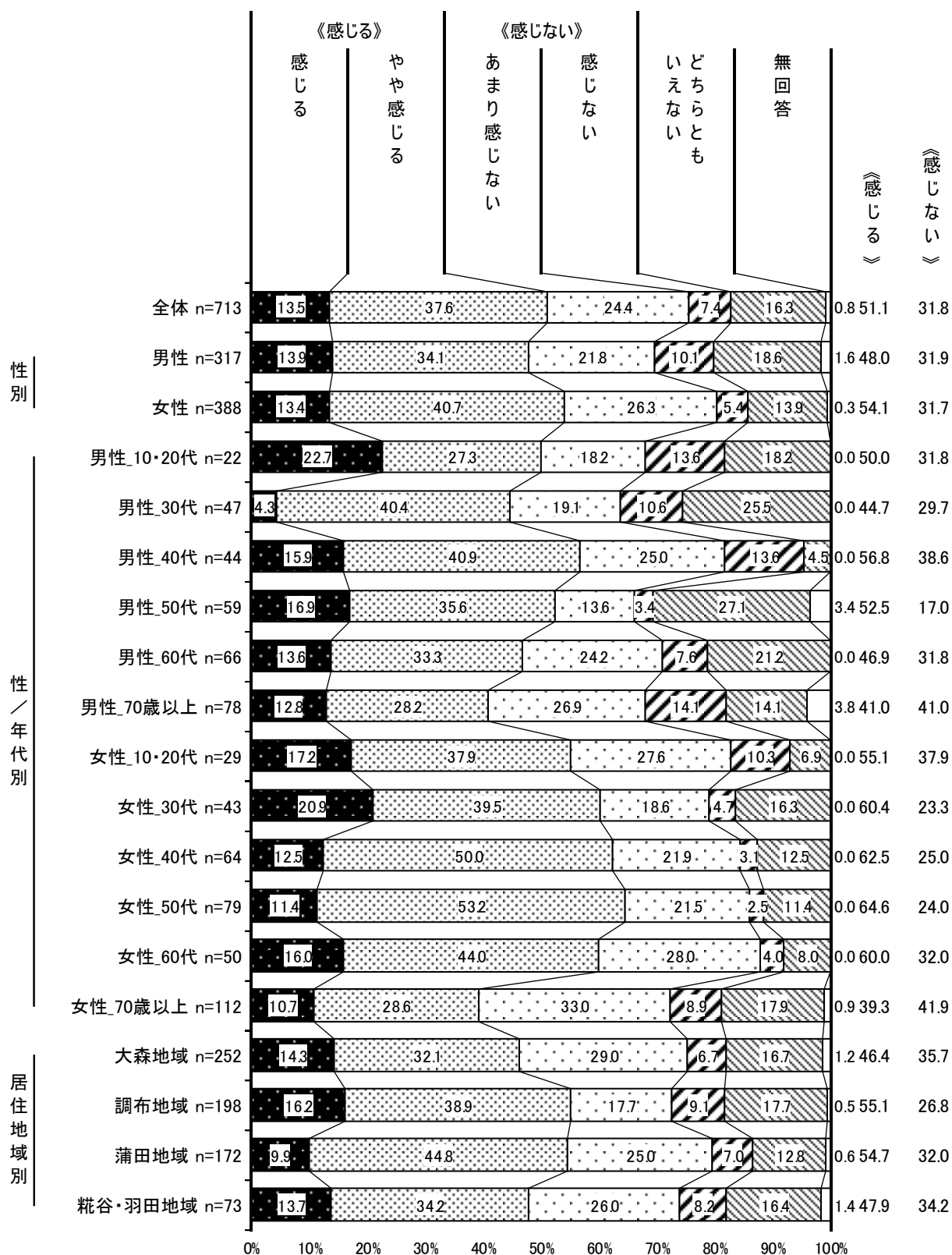
問3 お住まいの地域はこども・子育て家庭をあたたく見守っていると感じますか。(1つのみ)

お住まいの地域はこども・子育て家庭をあたたく見守っていると感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は51.1%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》は31.8%と、《感じる》が19.3ポイント上回っている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が48.0%、女性が54.1%と、女性が6.1ポイント上回っている。
性／年代別でみると、《感じる》は女性40代、50代で6割前半と高くなっている。
居住地域別でみると、大きな差はみられない。



3 基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち

(1) 最近1年間の生涯学習の有無

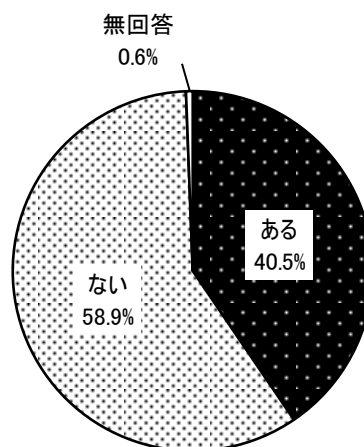
◇「ある」は約4割となっている

問4 あなたは、最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

※生涯学習とは、区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学びのことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動を指し、自治会・町会、NPO、PTA、こども会、ボランティアなどの地域活動を通して得られる学びも含まれます。

最近1年間の生涯学習の有無については、「ある」が40.5%、「ない」が58.9%と、「ない」が18.4ポイント上回っている。

全体 n=713

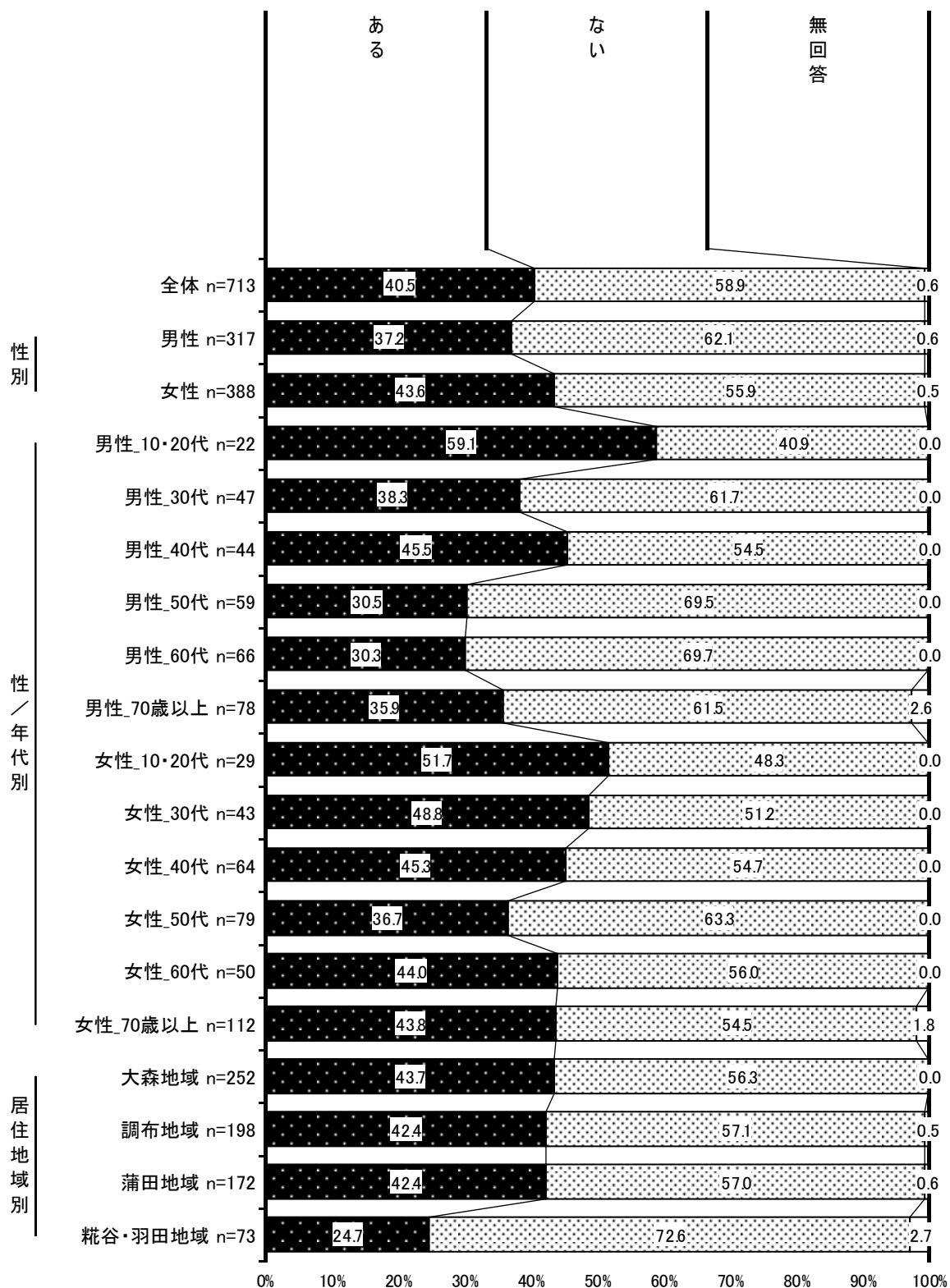


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「ある」は男性が37.2%、女性が43.6%と、女性が6.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「ある」は女性30代で4割後半と高くなっている。「ない」は男性50代、60代で6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「ない」は糀谷・羽田地域で7割前半と高くなっている。



(2) オンラインによる生涯学習の有無

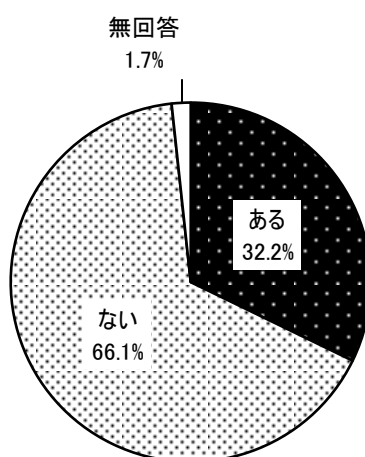
◇「ある」は3割前半となっている

【問4 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問4-1 あなたは、オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

オンラインによる生涯学習の有無については、「ある」が32.2%、「ない」が66.1%と、「ない」が33.9ポイント上回っている。

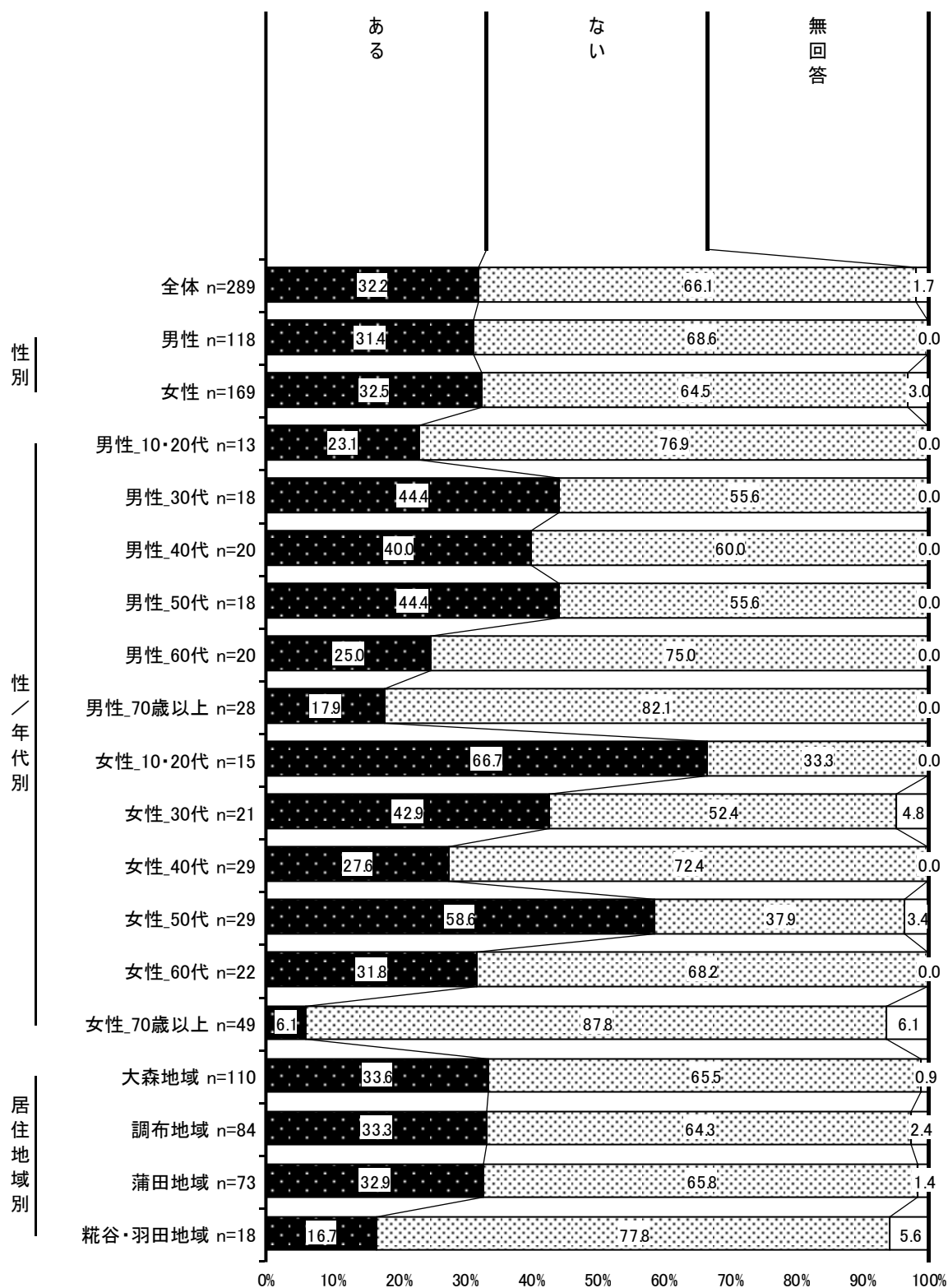
全体 n=289



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



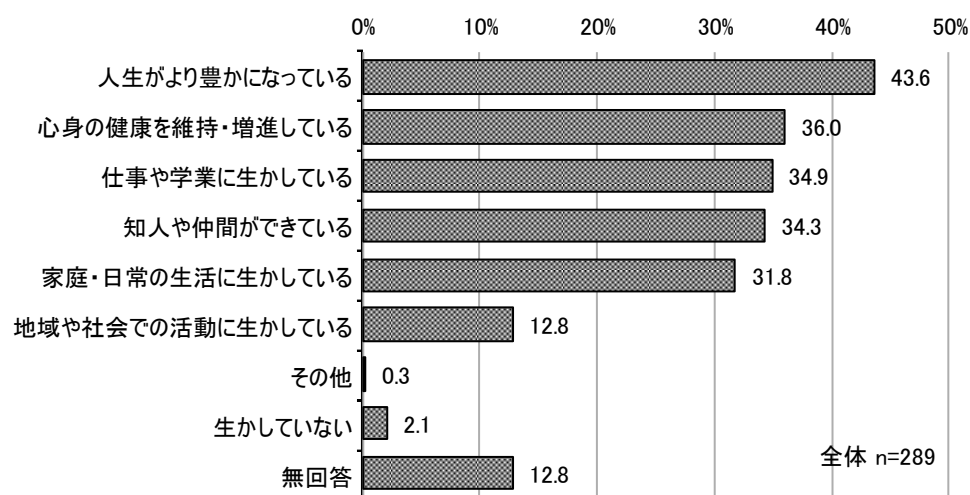
(3) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていること

◇「人生がより豊かになっている」が4割前半で最も高くなっている

【問4 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問4-2 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように生かしていますか。(複数選択可)

生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていることについては、「人生がより豊かになっている」が43.6%で最も高く、次いで「心身の健康を維持・増進している」が36.0%、「仕事や学業に生かしている」が34.9%、「知人や仲間ができている」が34.3%となっている。

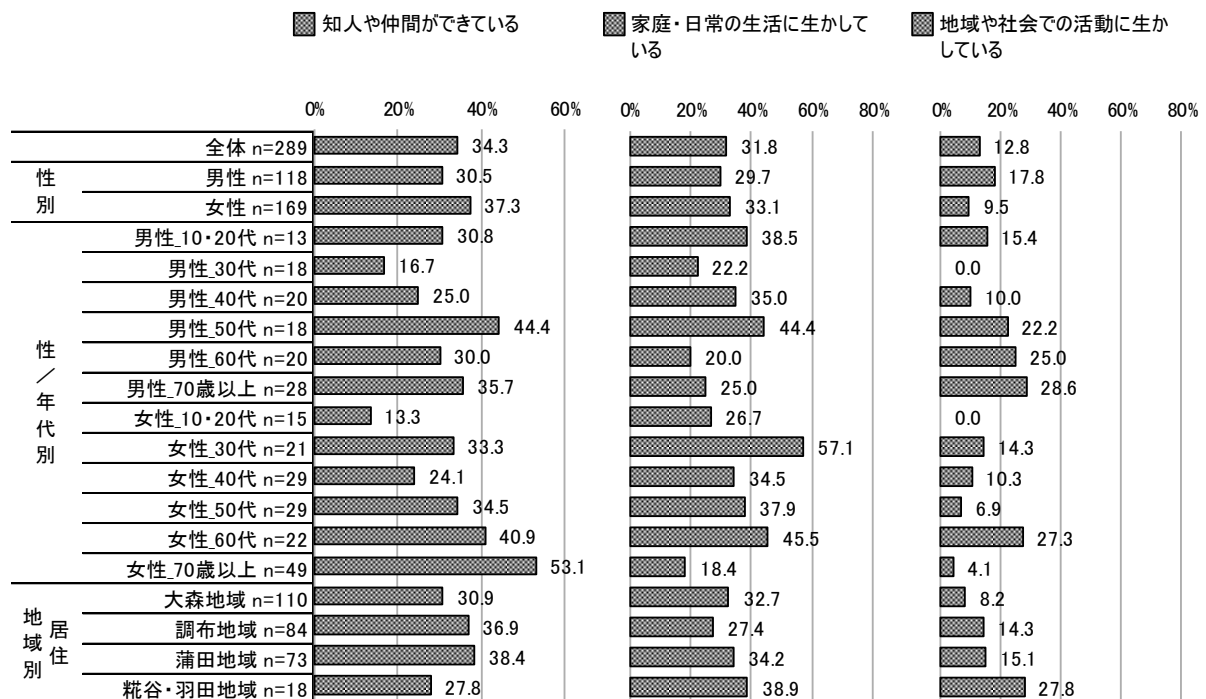
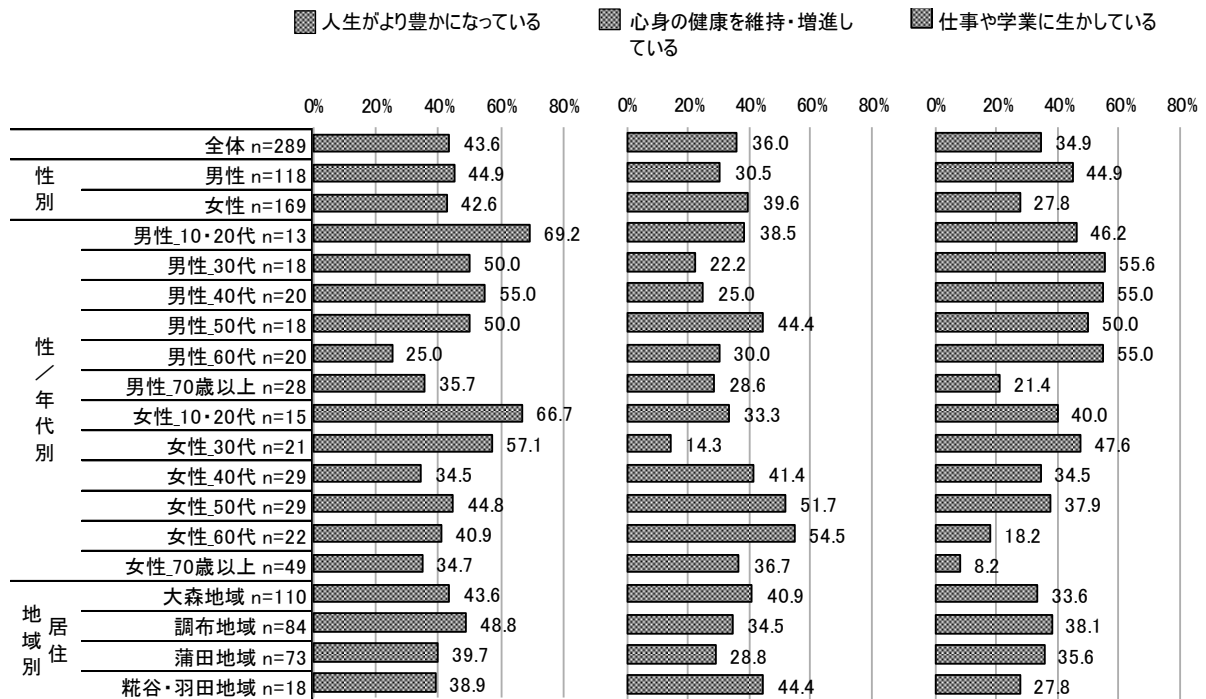


Ⅲ ②施策における指標の現状値に関する調査

■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「人生がより豊かになっている」、「仕事や学業に生かしている」が、女性では「人生がより豊かになっている」が最も高くなっている。「仕事や学業に生かしている」は男性が44.9%、女性が27.8%と、男性が17.1ポイント上回っている。

居住地域別でみると、大森地域、調布地域、蒲田地域で「人生がより豊かになっている」が最も高くなっている。



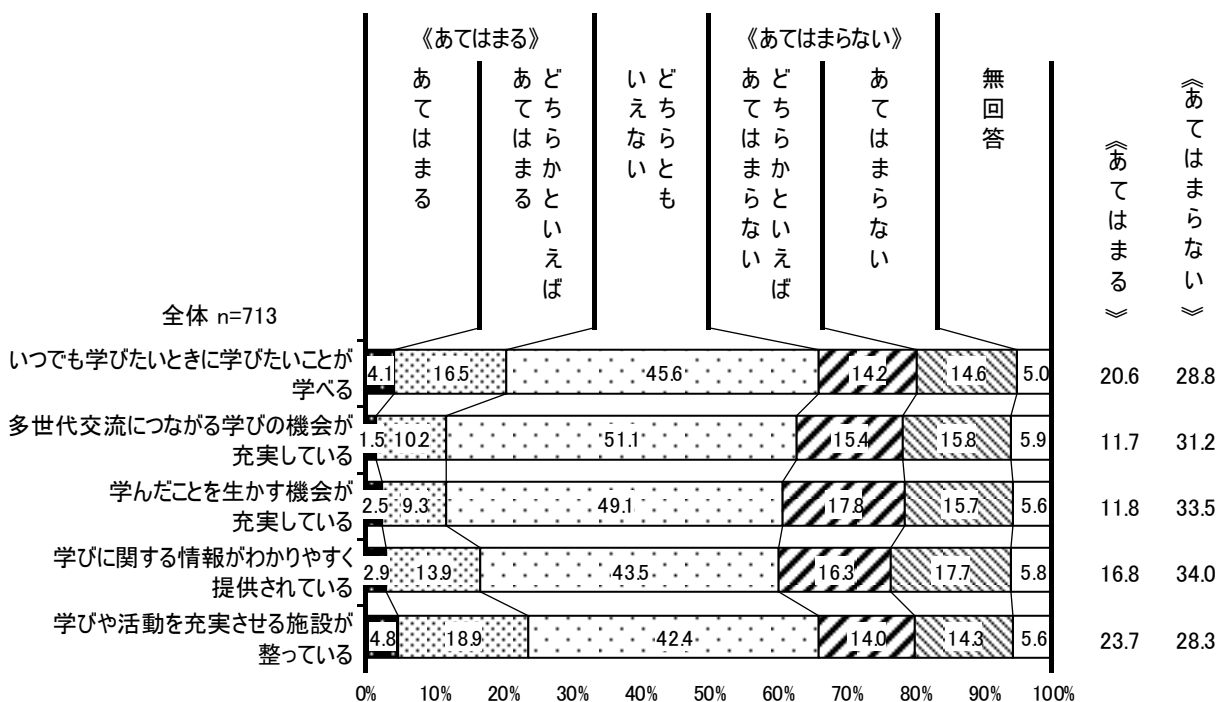
(4) 生涯学習の充実度

◇《あてはまる》(「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計値)は【学びや活動を充実させる施設が整っている】が2割前半で最も高くなっている

問5 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つのみ)

- ①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる
- ②多世代交流につながる学びの機会が充実している
- ③学んだことを生かす機会が充実している
- ④学びに関する情報がわかりやすく提供されている
- ⑤学びや活動を充実させる施設が整っている

生涯学習の充実度について、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》は【学びや活動を充実させる施設が整っている】が23.7%で最も高く、次いで【いつでも学びたいときに学びたいことが学べる】が20.6%、【学びに関する情報がわかりやすく提供されている】が16.8%となっている。

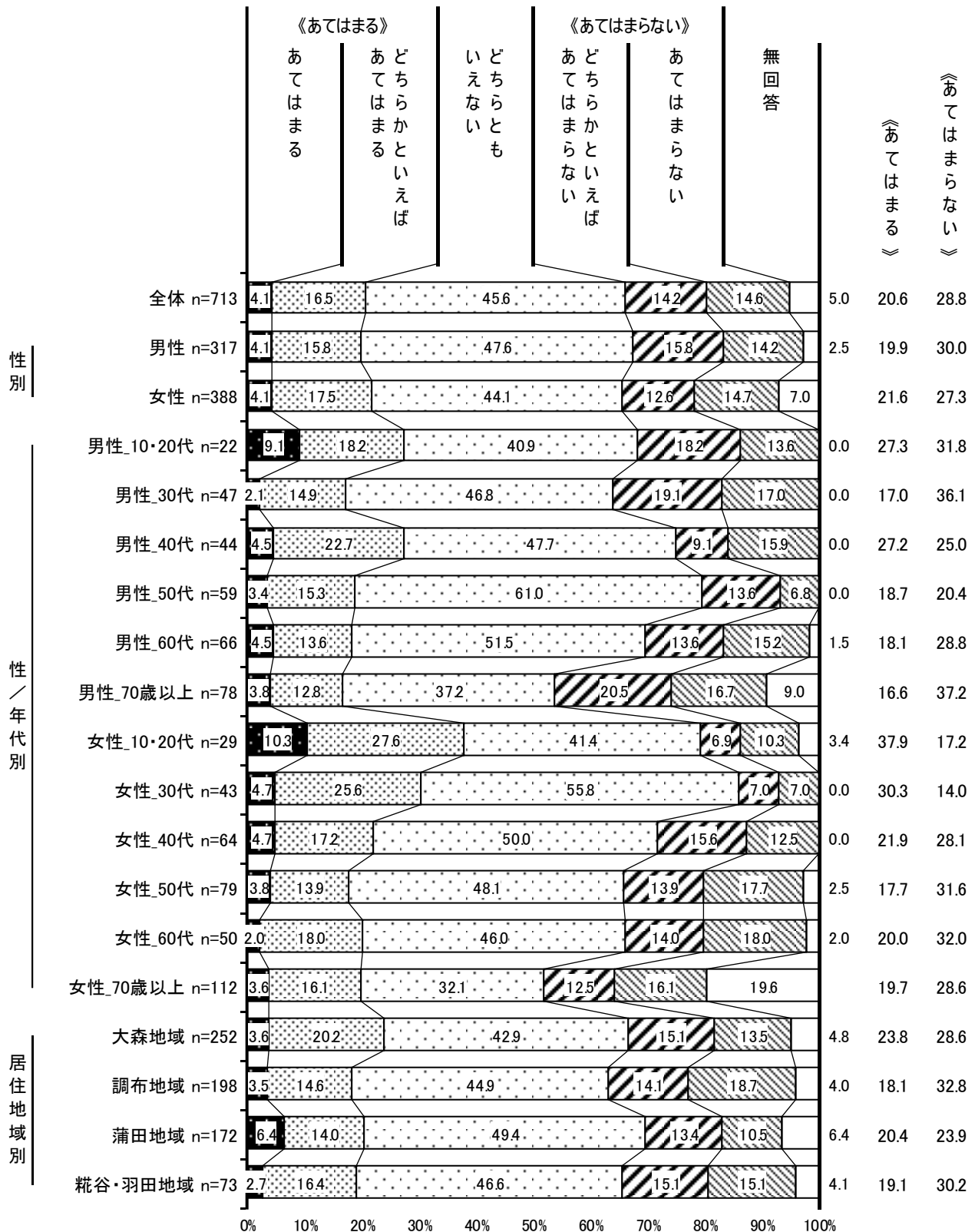


■性別・性／年代別・居住地域別 ①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は女性 30 代で約 3 割、男性 40 代で 2 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

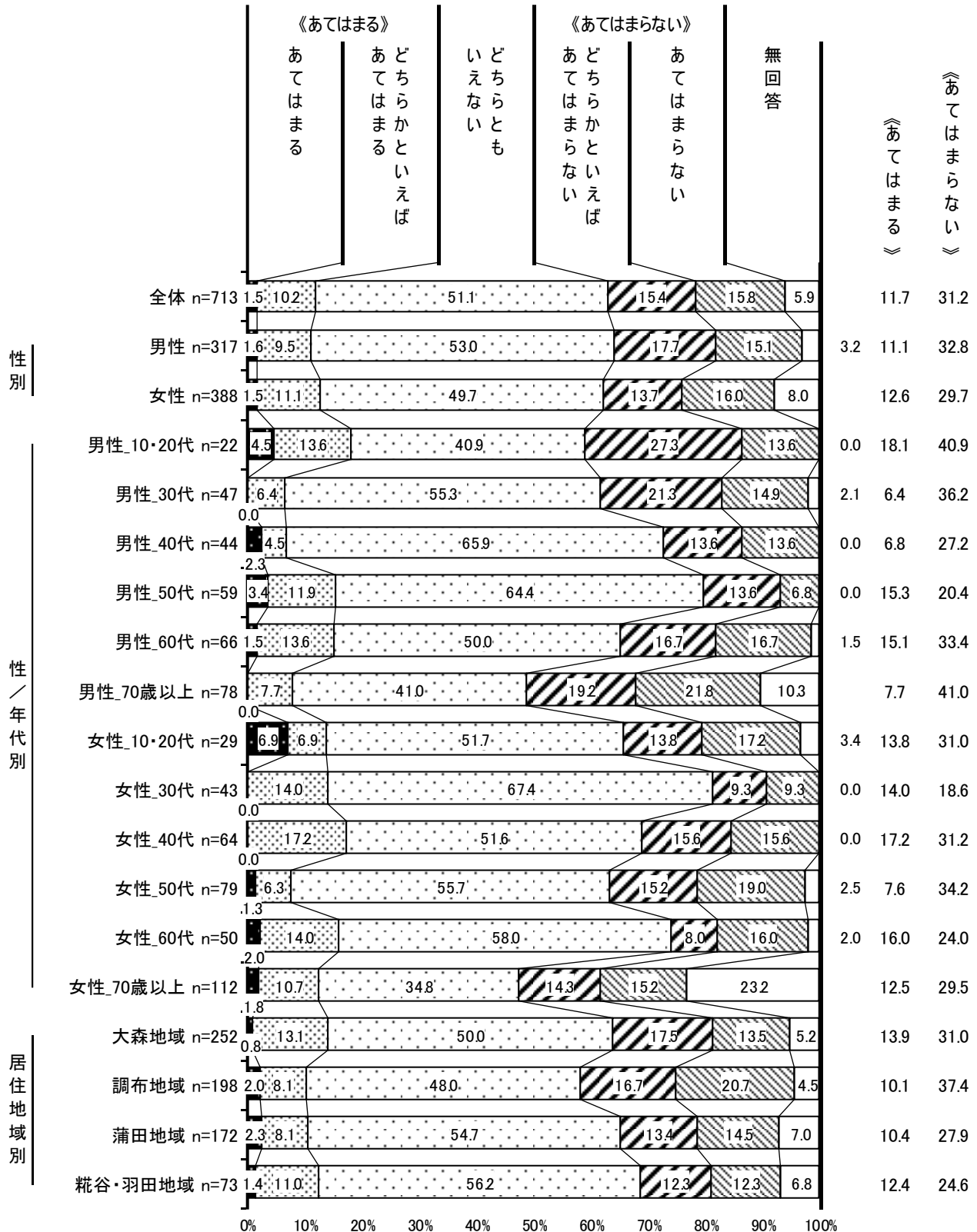


■性別・性／年代別・居住地域別 ②多世代交流につながる学びの機会が充実している

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は女性 40 代、60 代で 1 割後半となっている。

居住地域別でみると、《あてはまらない》は調布地域で 3 割後半と高くなっている。

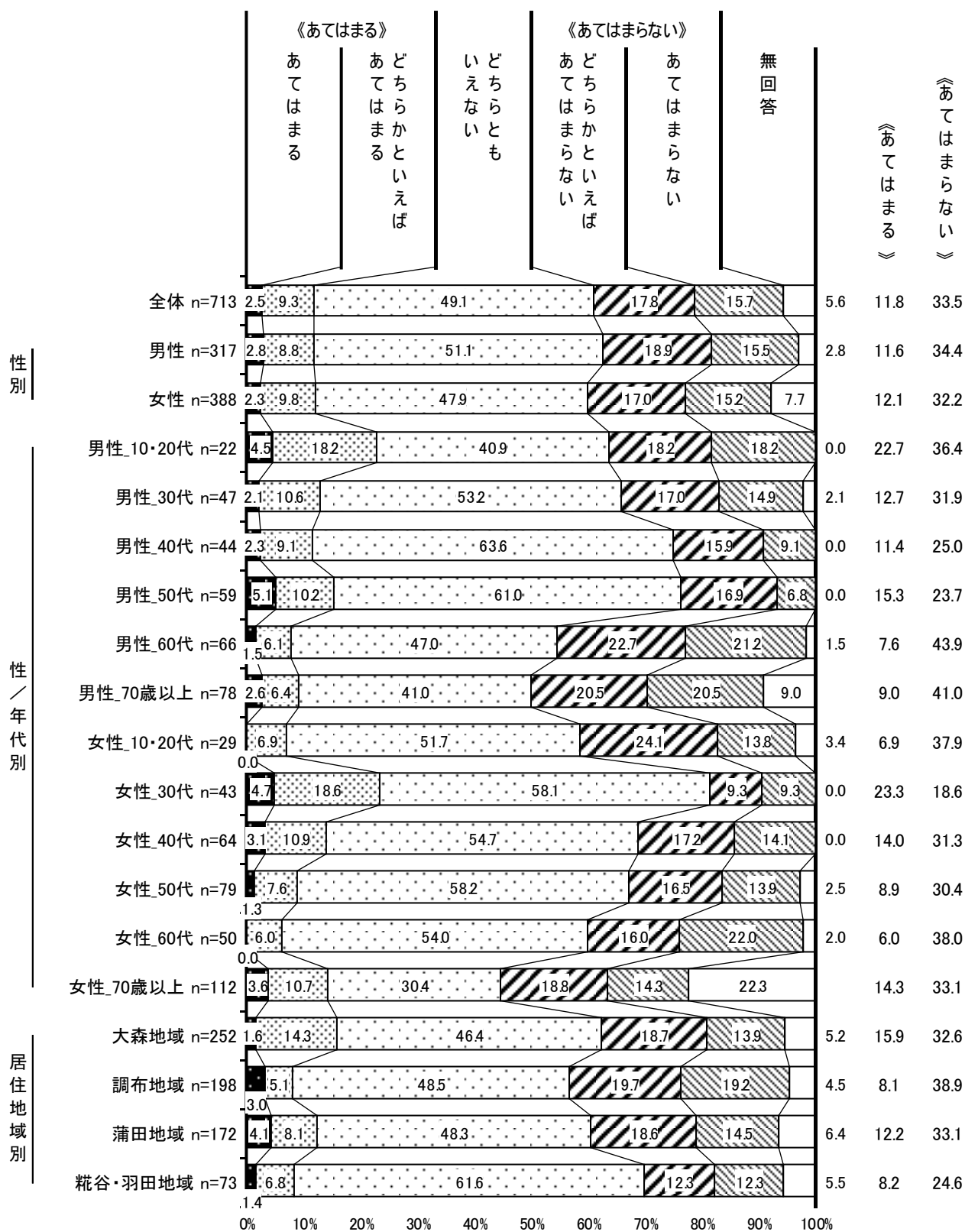


■性別・性／年代別・居住地域別 ③学んだことを生かす機会が充実している

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は女性 30 代で 2 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまらない》は調布地域で 3 割後半と高くなっている。

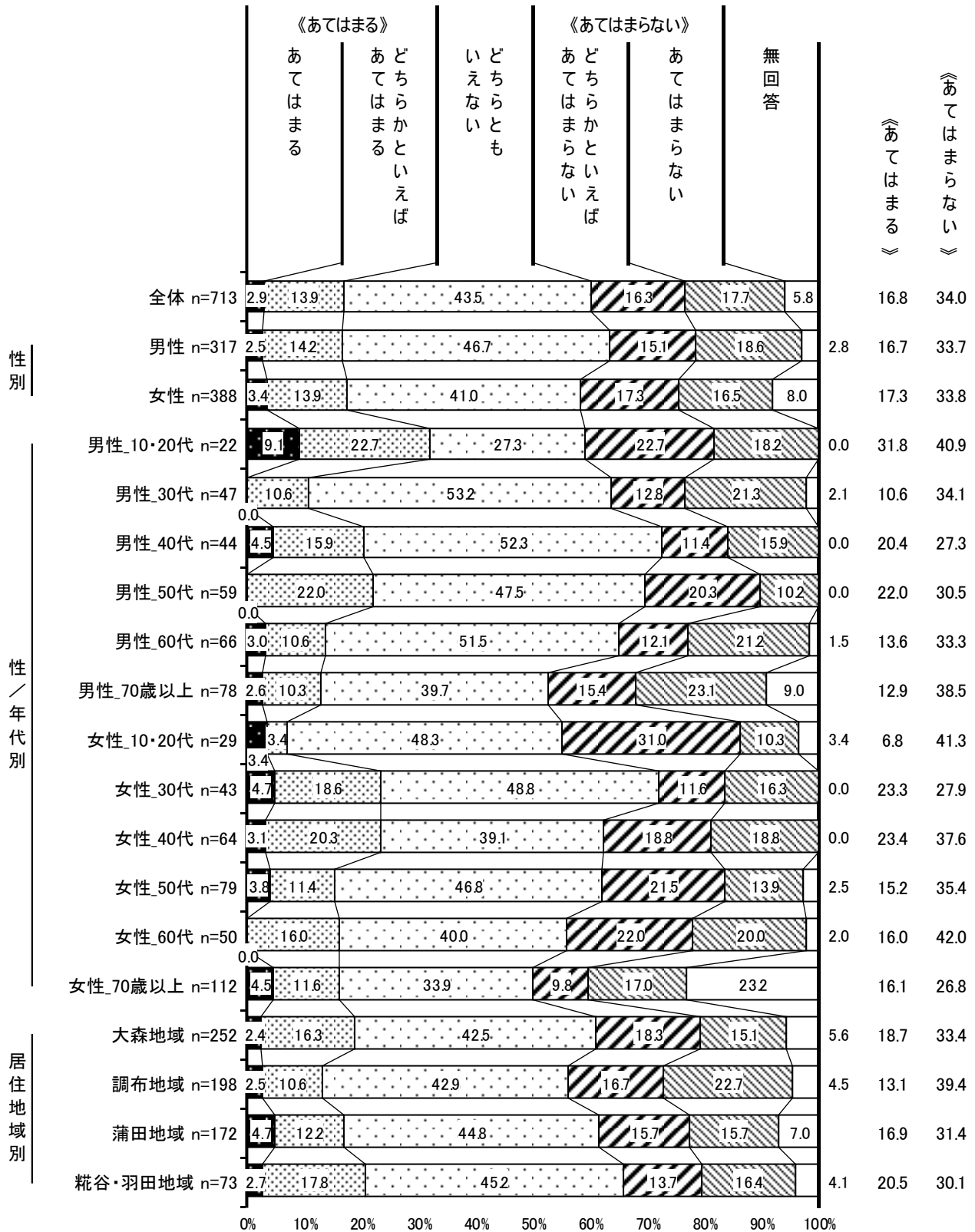


■性別・性／年代別・居住地域別 ④学びに関する情報がわかりやすく提供されている

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性 50 代、女性 30 代、40 代で 2 割前半と高くなっている。

居住地域別にみると、《あてはまらない》は調布地域で 3 割後半と高くなっている。

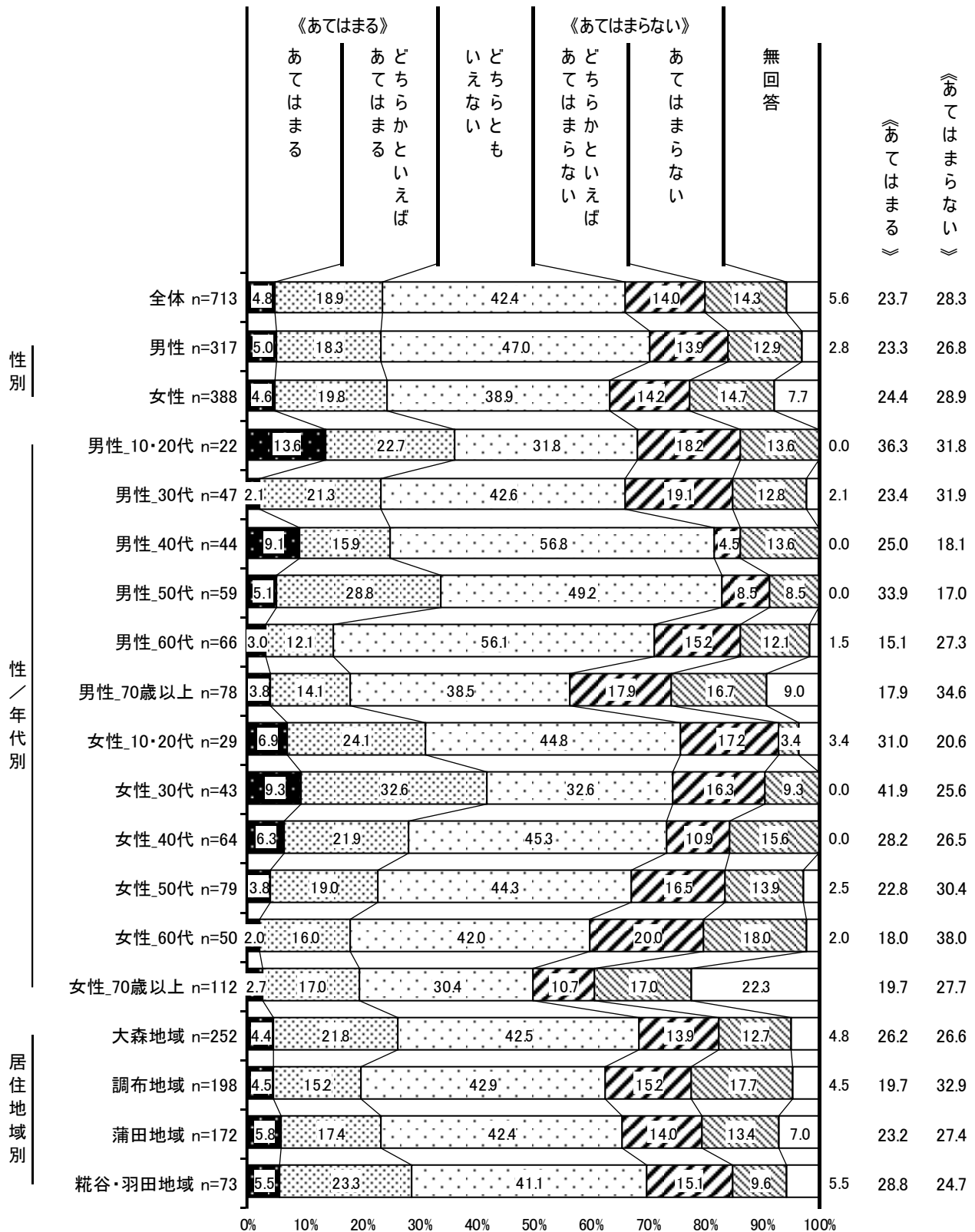


■性別・性／年代別・居住地域別 ⑤学びや活動を充実させる施設が整っている

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は女性 30 代で 4 割前半、男性 50 代で 3 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は大森地域、糀谷・羽田地域で 2 割後半となっている。



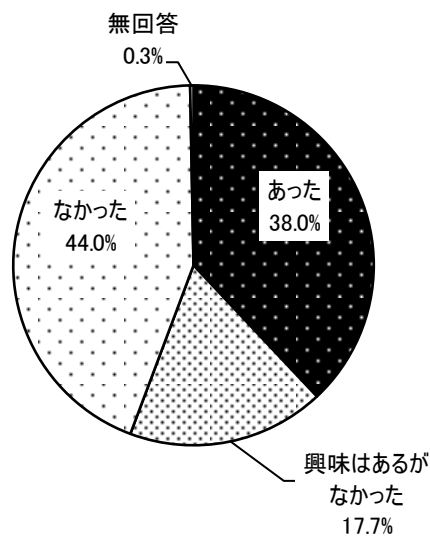
(5) 区の文化や歴史に触れる機会の有無

◇「なかった」が4割前半で最も高くなっている

問6 あなたは、これまでに区の文化や歴史に触れる機会がありましたか。(1つのみ)

区の文化や歴史に触れる機会の有無について、「なかった」が44.0%で最も高く、次いで「あった」が38.0%、「興味はあるがなかった」は17.7%となっている。

全体 n=713

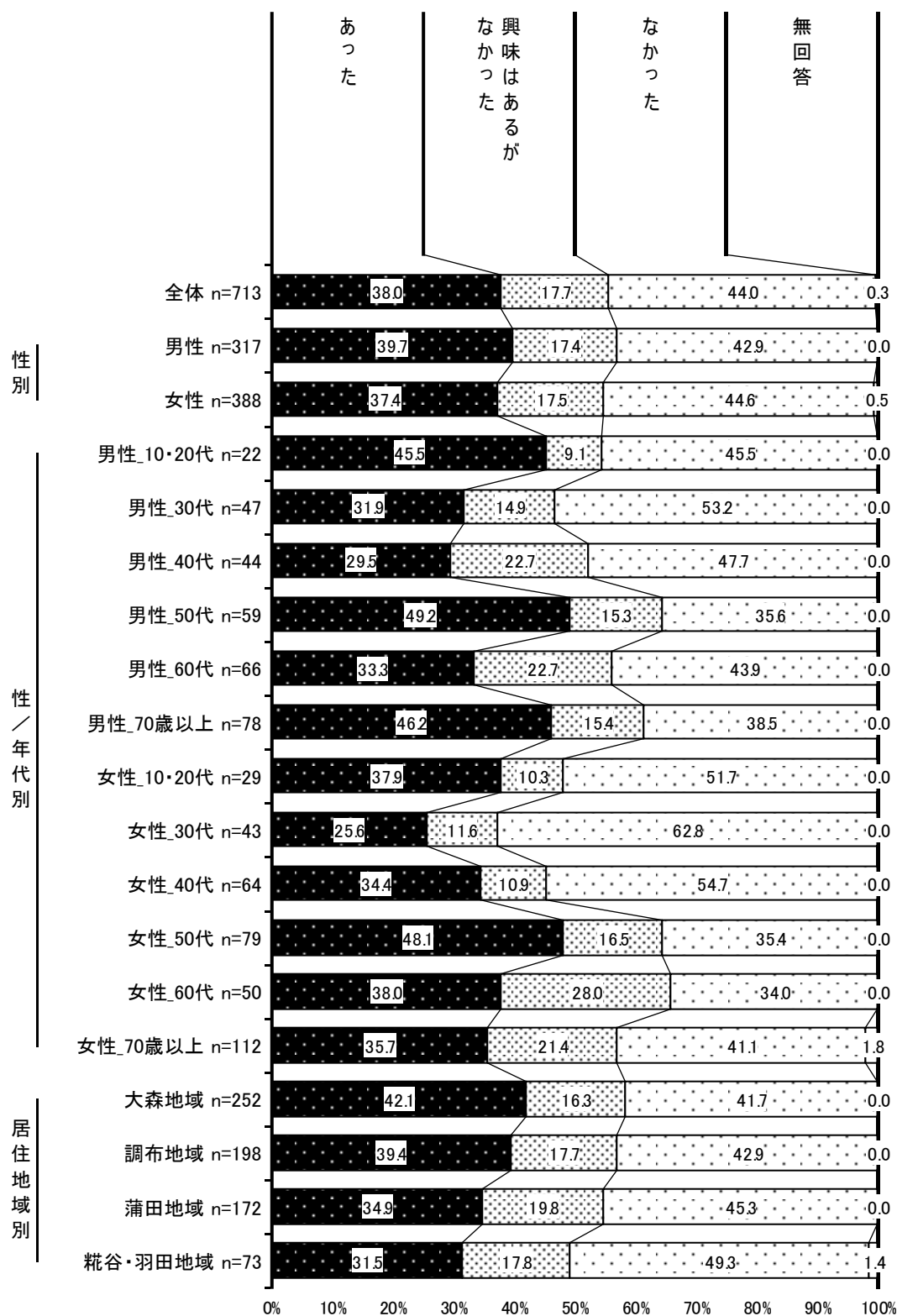


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「あった」は男性 50 代、70 歳以上、女性 50 代で 4 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「なかった」は糞谷・羽田地域で 4 割後半と高くなっている。



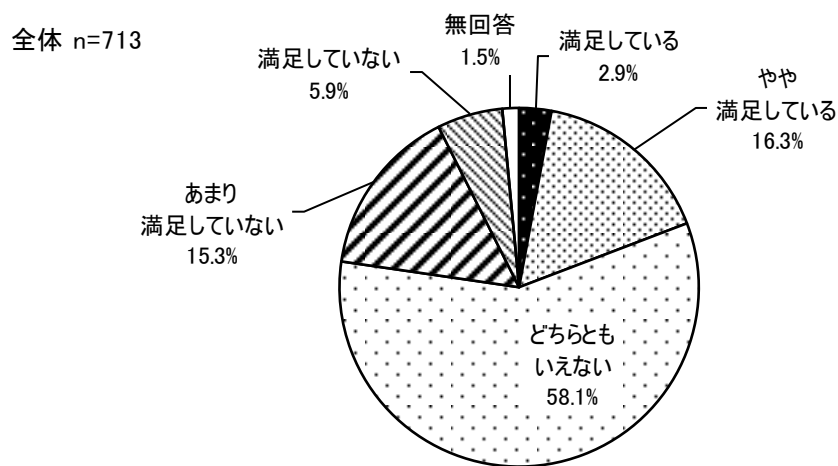
(6) 区の文化芸術に親しむ環境への満足度

◇《満足している》(「満足している」「やや満足している」の合計値)は1割後半となっている

問7 あなたは、区の文化芸術に親しむ環境に満足していますか。(1つのみ)

区の文化芸術に親しむ環境への満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は19.2%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》は21.2%と、《満足していない》が2.0ポイント上回っている。

「どちらともいえない」は58.1%となっている。

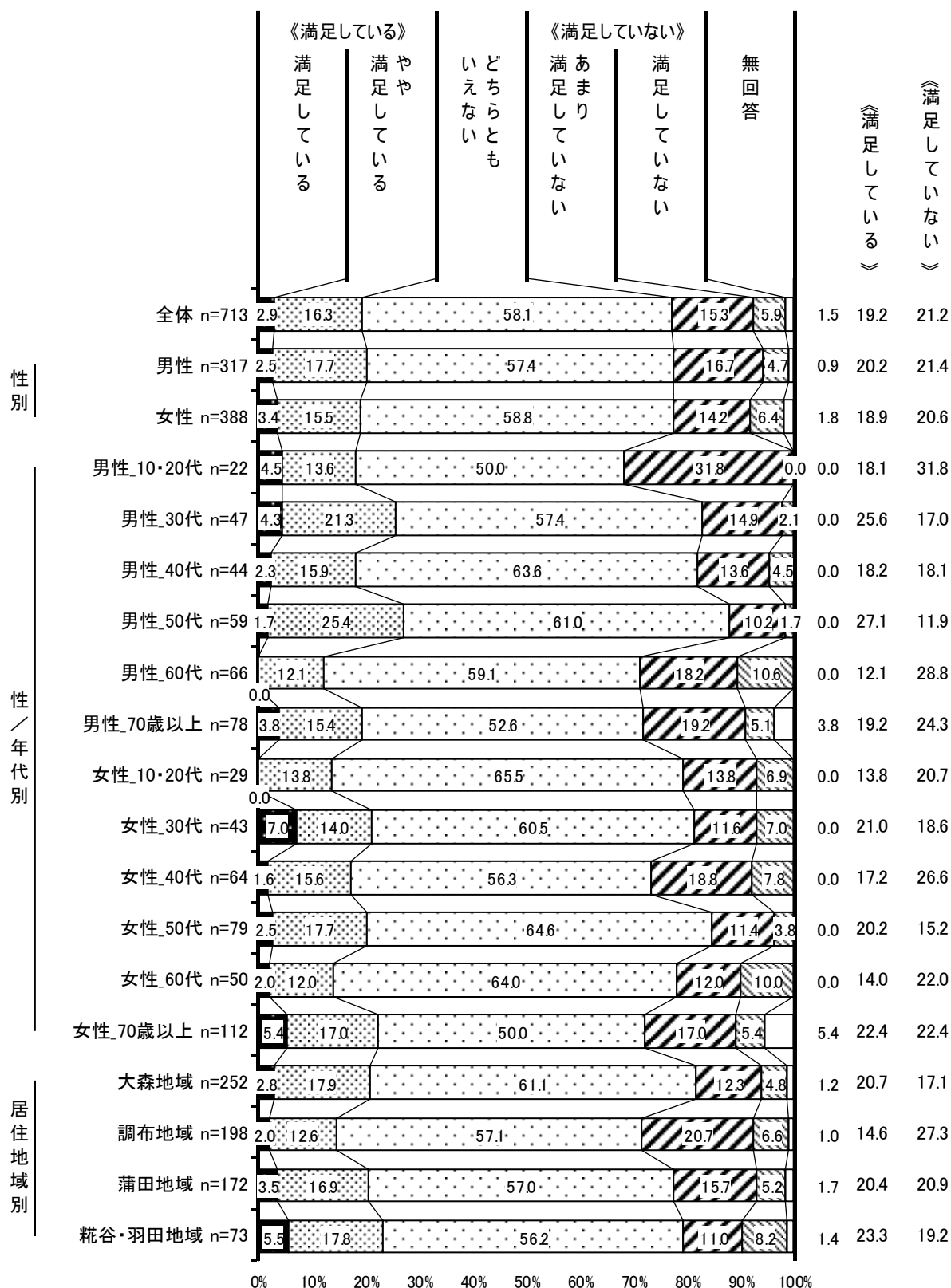


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足している》は男性 50 代で 2 割後半、男性 30 代で 2 割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《満足していない》は調布地域で 2 割後半と高くなっている。



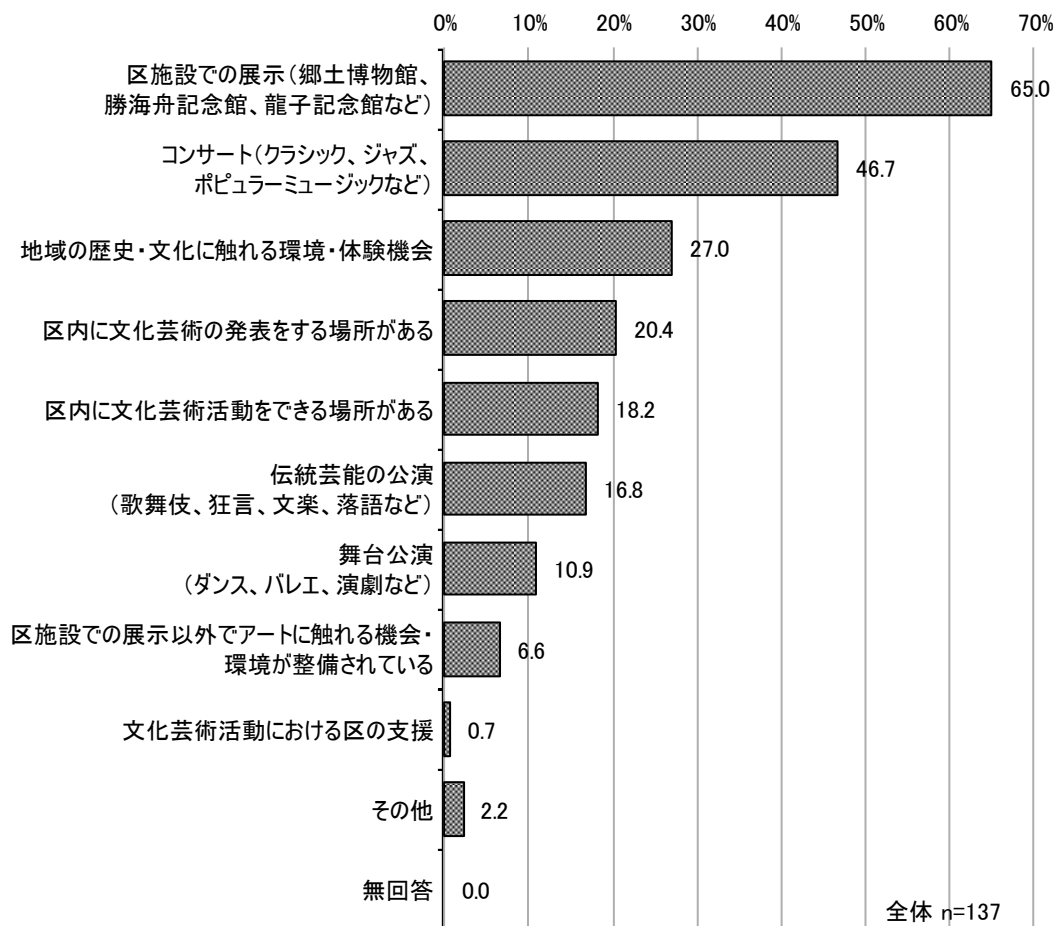
(7) 満足している文化芸術施策

◇「区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など）」が６割半ばで最も高くなっている

【問 7 で「1 満足している」又は「2 やや満足している」と回答した方に伺います。】

問 7-1 区のどの文化芸術施策に満足していますか。（複数選択可）

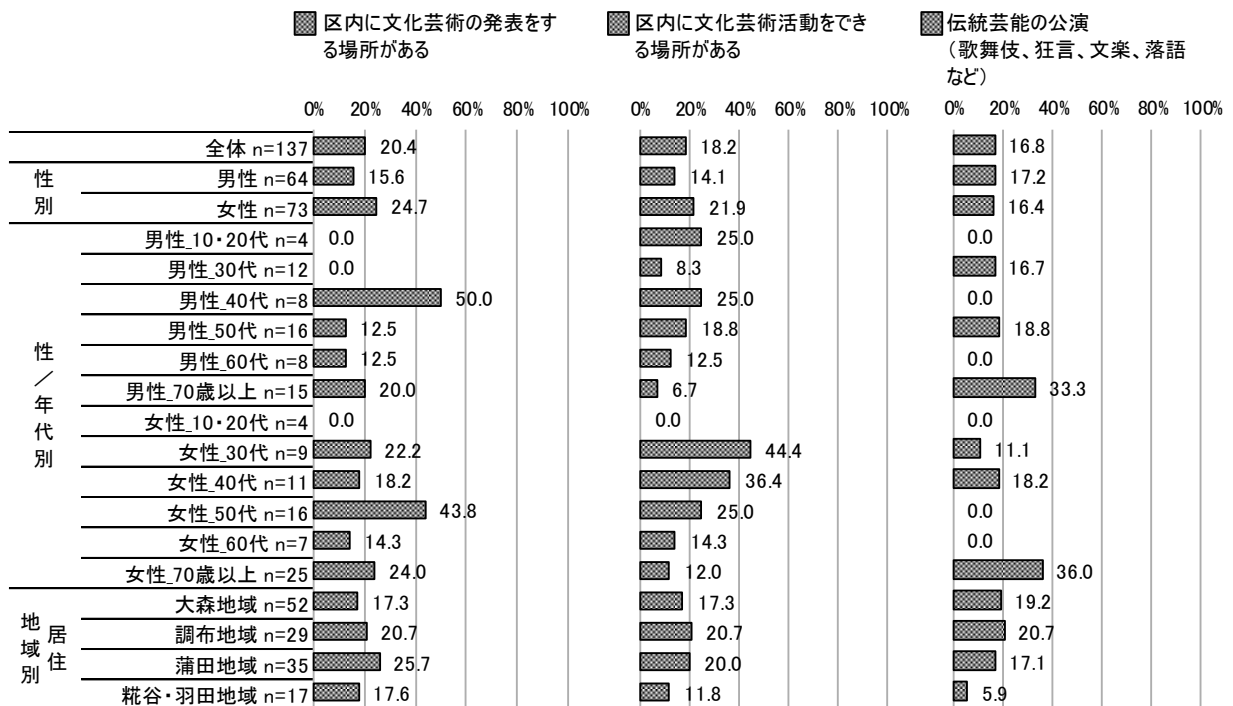
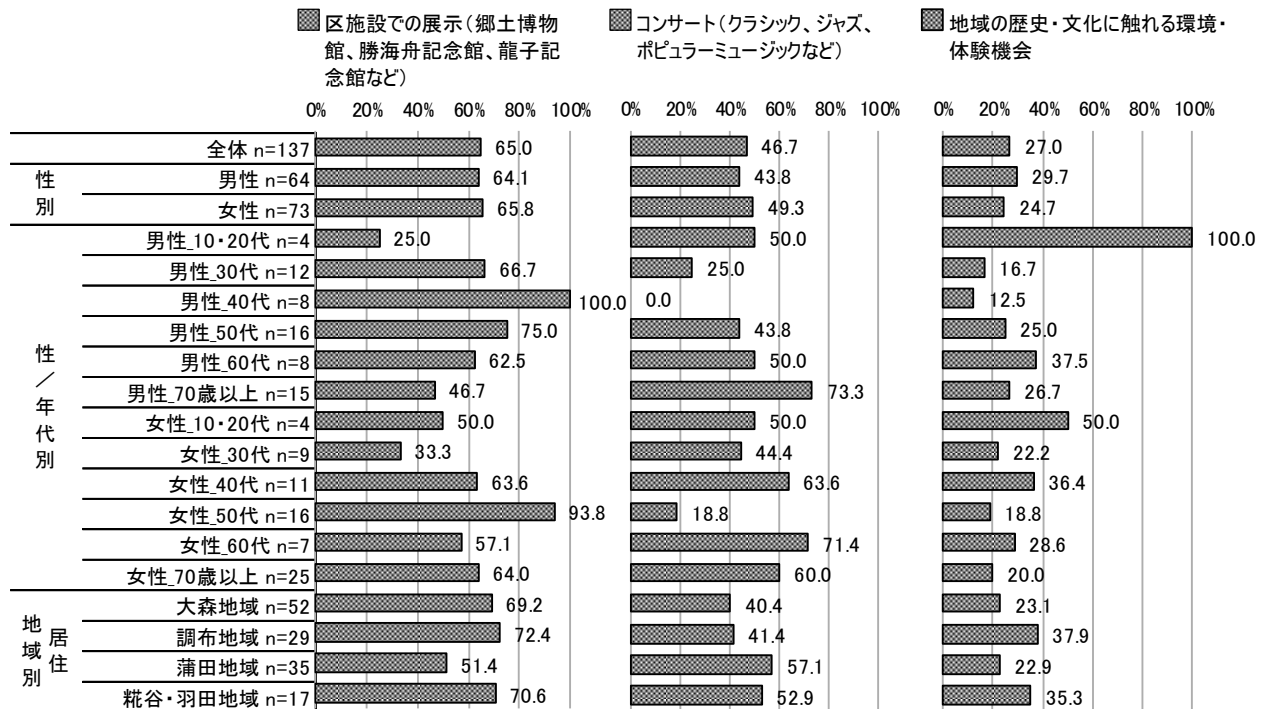
満足している文化芸術施策については、「区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など）」が 65.0%で最も高く、次いで「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が 46.7%、「地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会」が 27.0%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「区内に文化芸術の発表をする場所がある」は男性が 15.6%、女性が 24.7%と、女性が 9.1 ポイント上回っている。

居住地域別でみると、蒲田地域では「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が5割後半で高くなっている。



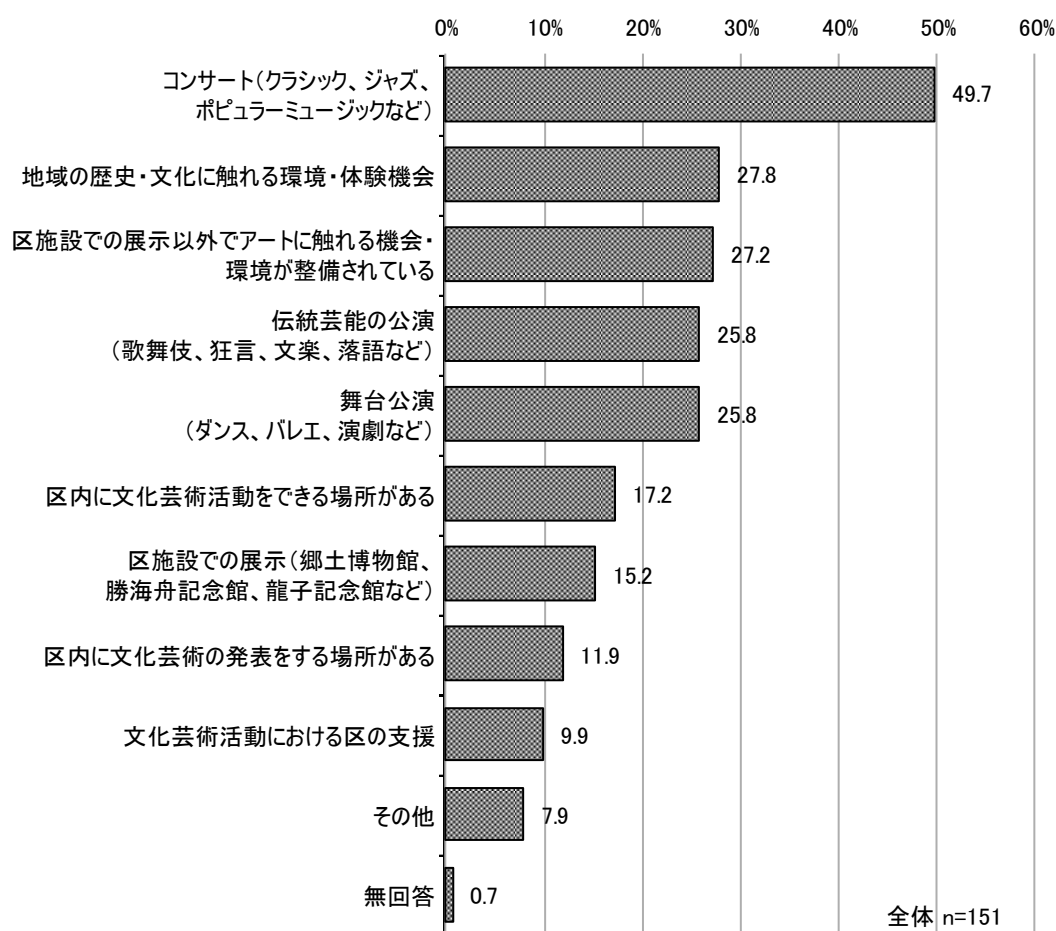
(8) 期待する区の文化芸術施策

◇「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が4割後半で最も高くなっている

【問7 で「4 あまり満足していない」又は「5 満足していない」と回答した方に伺います。】

問7-2 区にどのような文化芸術施策を望みますか。（複数選択可）

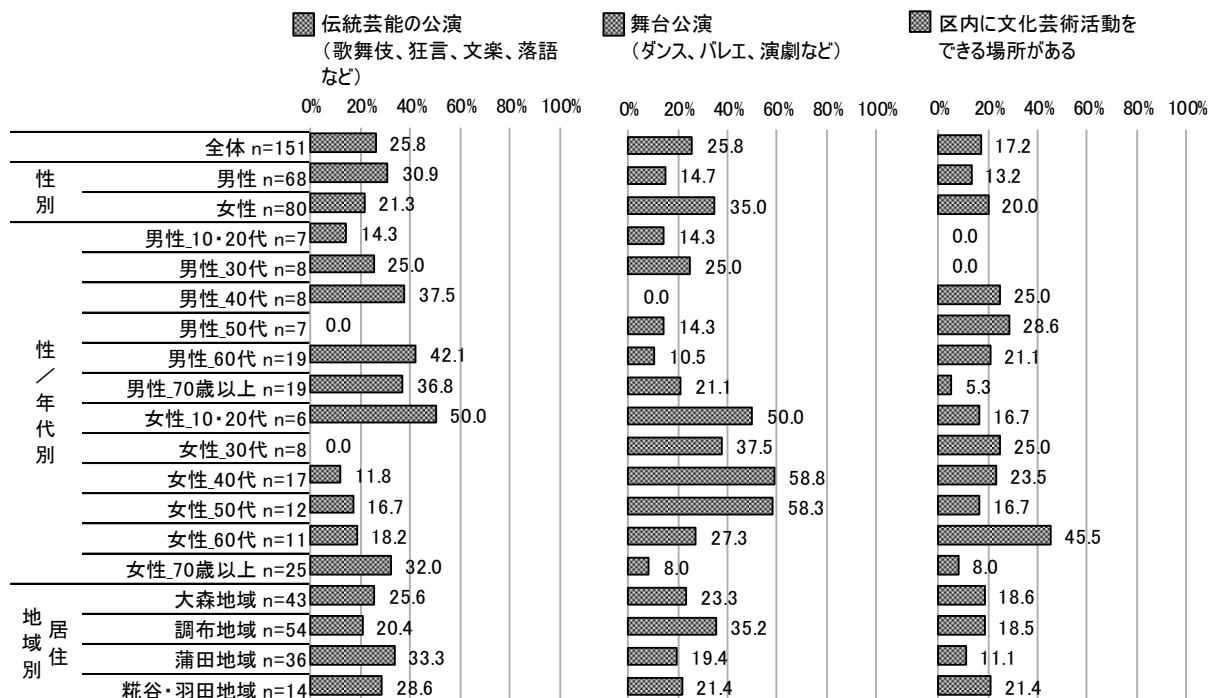
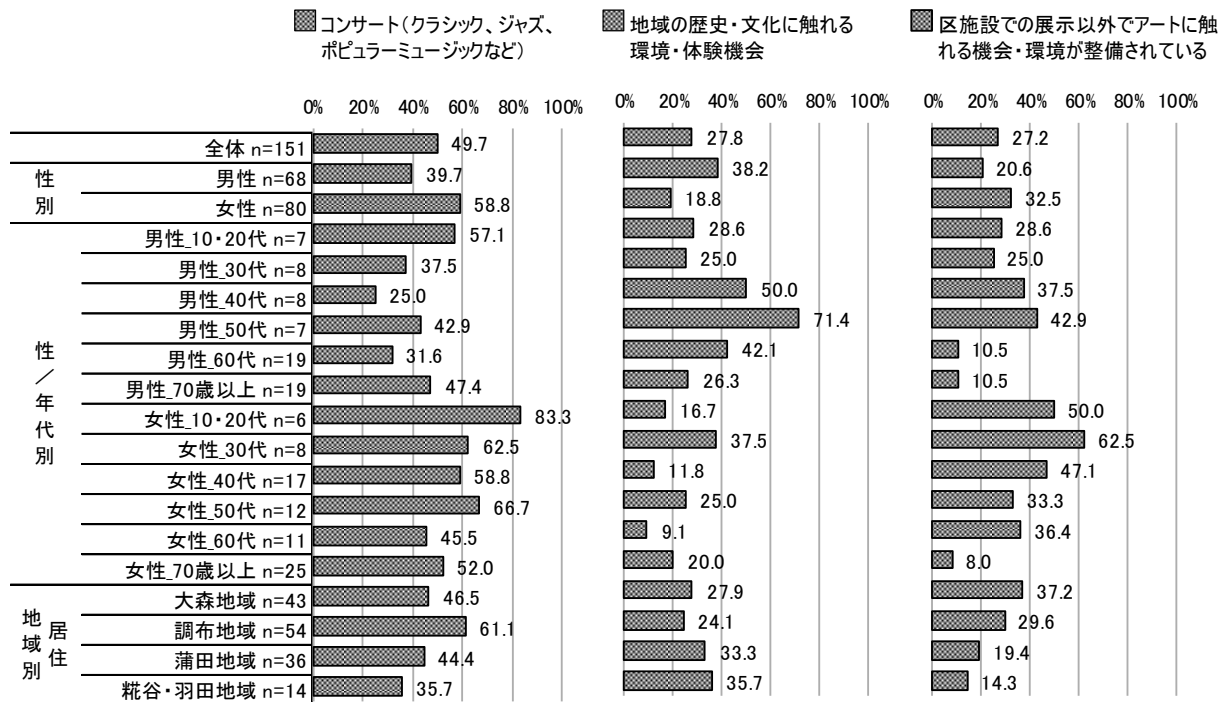
期待する区の文化芸術施策については、「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」が49.7%で最も高く、次いで「地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会」が27.8%、「区施設での展示以外でアートに触れる機会・環境が整備されている」が27.2%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、上位6項目のうち4項目で女性が男性を上回っており、「舞台公演（ダンス、バレエ、演劇など）」は男性が14.7%、女性が35.0%と、女性が20.3ポイント上回っている。一方、「地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会」は男性が38.2%、女性が18.8%と、男性が19.4ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど）」はすべての地域で最も高く、調布地域で6割前半となっている。

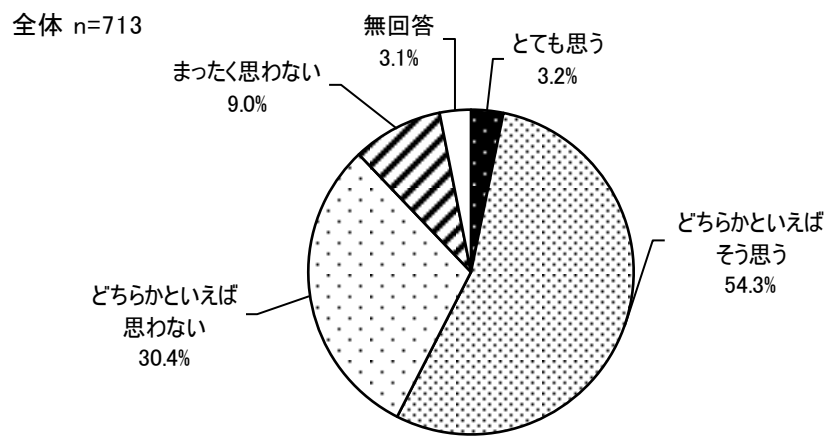


(9) 多文化共生社会の推進度

◇《思う》(「とても思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)は5割後半となっている

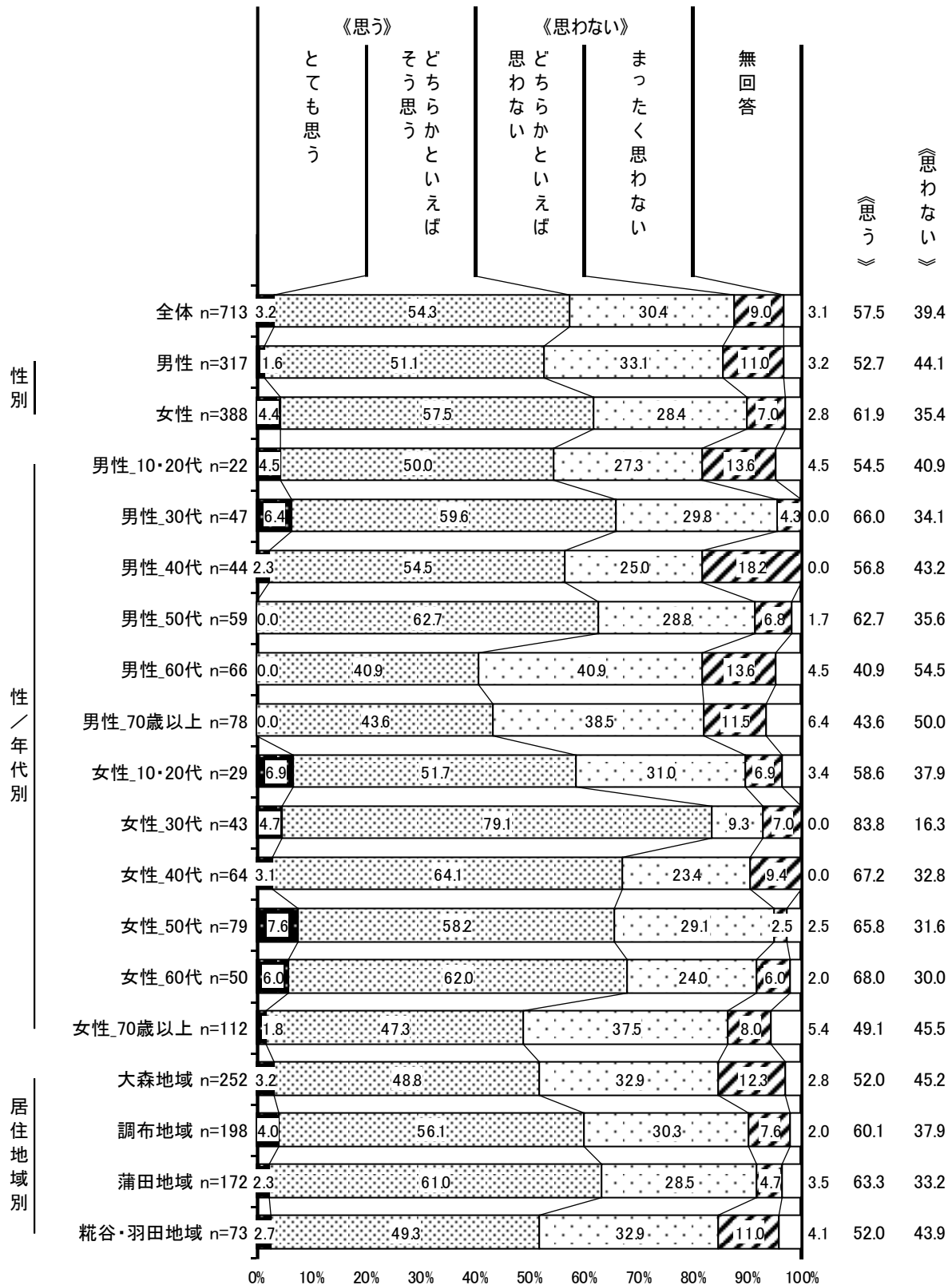
問8 あなたは、大田区では日本人と外国人が互いに認め合い、ともに地域社会の構成員として暮らしていると思いますか。(1つのみ)

多文化共生社会の推進度について、「とても思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《思う》は57.5%となっている。一方、「どちらかといえば思わない」、「まったく思わない」の合計値《思わない》は39.4%と、《思う》が18.1ポイント上回っている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》は男性が52.7%、女性が61.9%と、女性が9.2ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《思う》は女性30代で8割前半、男性30代、女性40代、60代で6割後半と高くなっている。
 居住地域別でみると、《思う》は蒲田地域で6割前半と高くなっている。

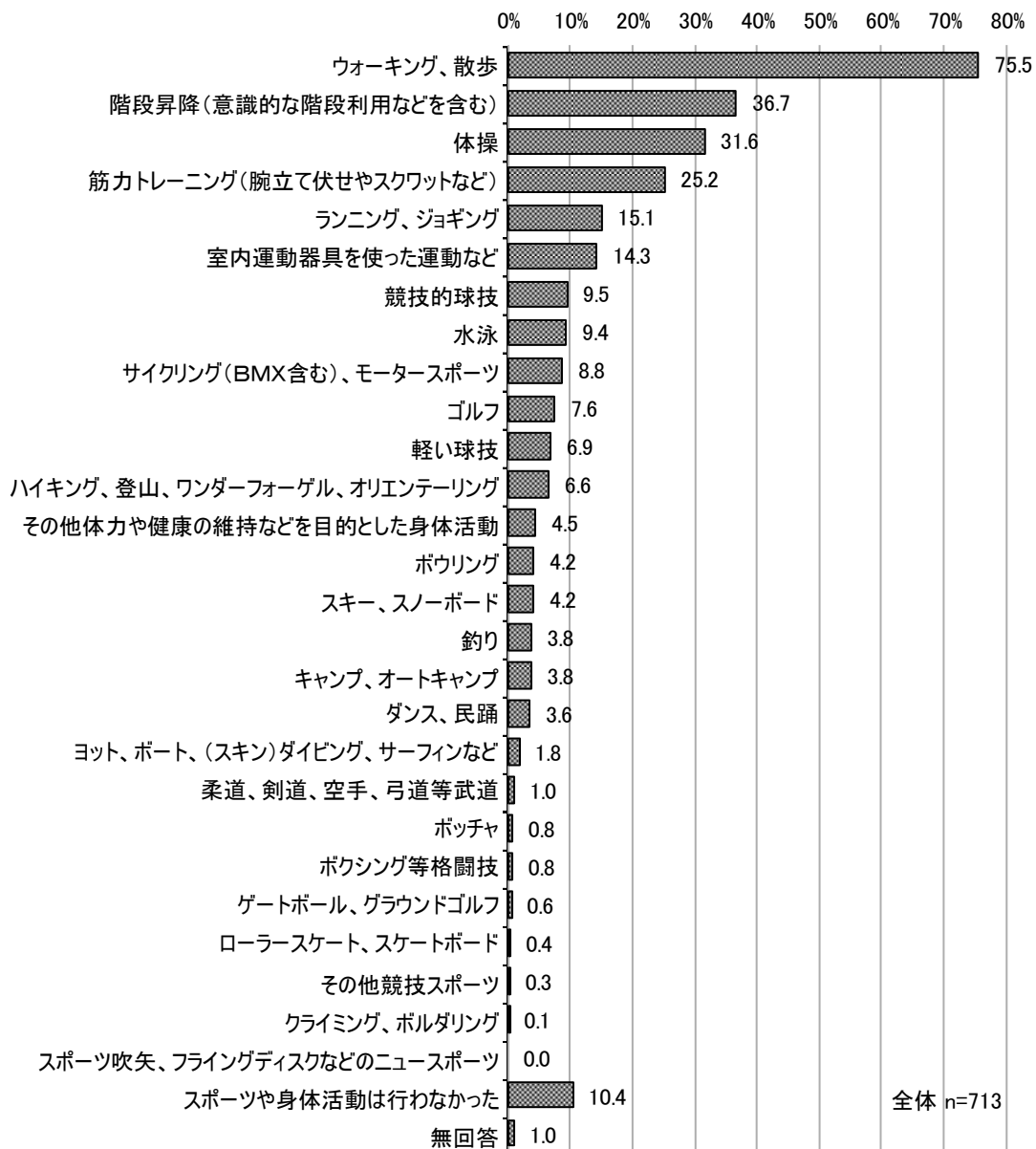


(10) 1年間に実施したスポーツや運動

◇「ウォーキング、散歩」が7割半ばで最も高くなっている

問9 あなたがこの1年間に実施したスポーツや運動をすべて選択してください。(複数選択可)

1年間に実施したスポーツや運動については、「ウォーキング、散歩」が75.5%で最も高く、次いで「階段昇降（意識的な階段利用などを含む）」が36.7%、「体操」が31.6%となっている。

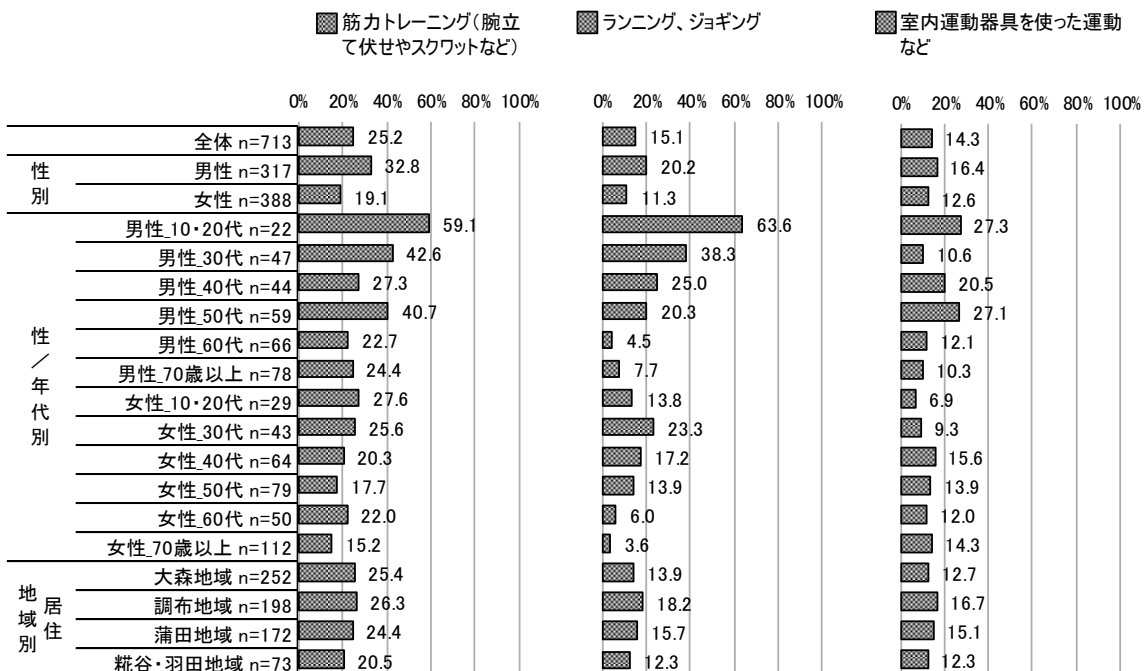
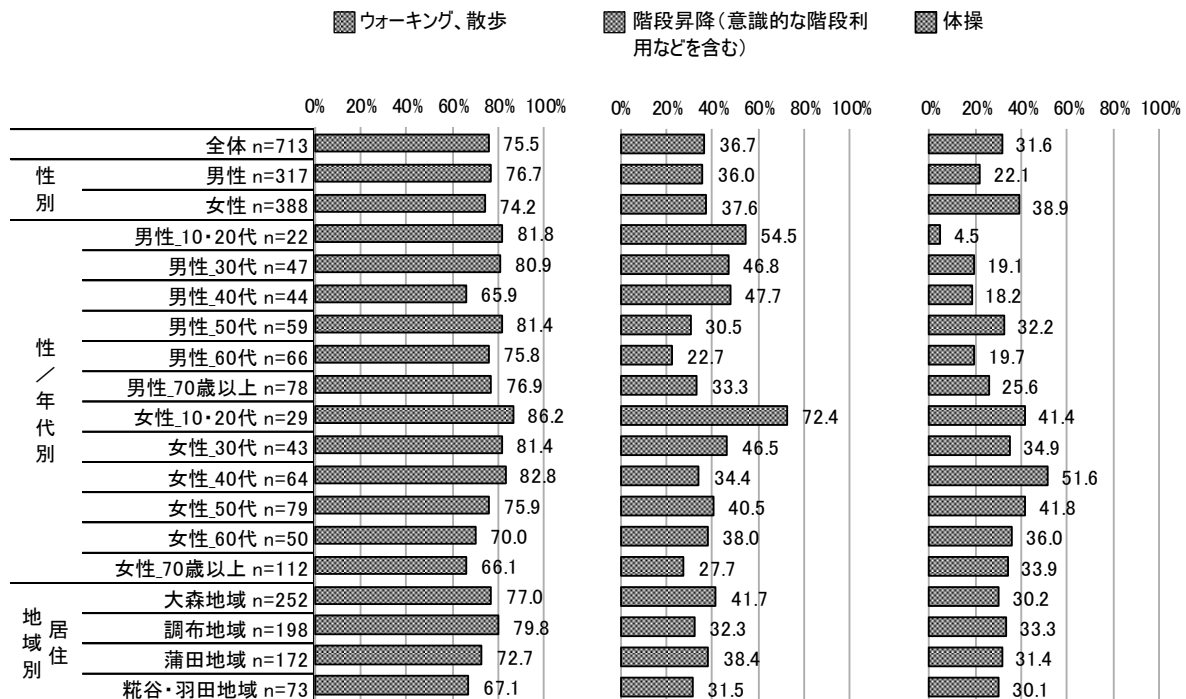


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「体操」は男性が 22.1%、女性が 38.9%と、女性が 16.8 ポイント、「筋力トレーニング（腕立て伏せやスクワットなど）」は男性が 32.8%、女性が 19.1%と、男性が 13.7 ポイント、それぞれ上回っている。

性／年代別でみると、すべての性／年代で「ウォーキング、散歩」が最も高くなっている。「階段昇降（意識的な階段利用などを含む）」は男性 30 代、40 代、女性 30 代で 4 割後半と高くなっている。「体操」は女性 40 代で 5 割前半、女性 50 代で 4 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「ウォーキング、散歩」が最も高くなっている。



(11) スポーツや運動の実施頻度

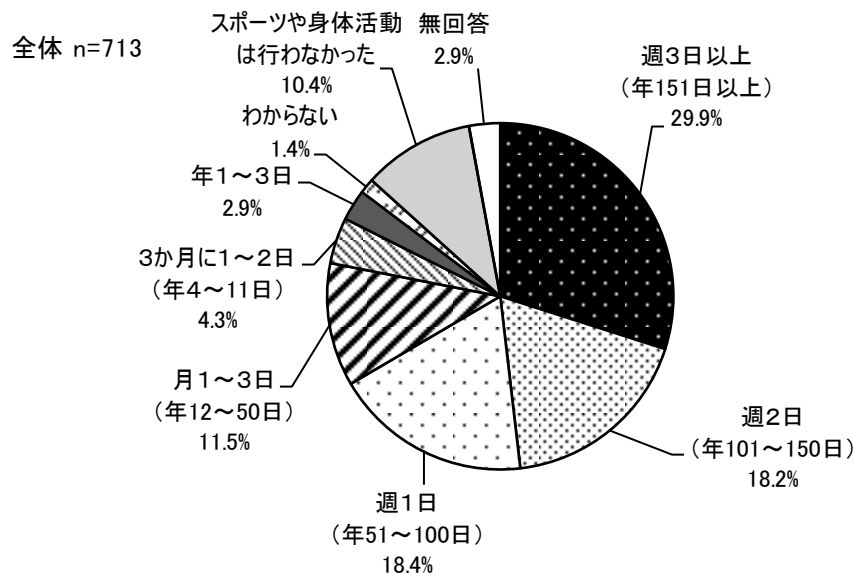
◇「週3日以上（年151日以上）」が2割後半で最も高くなっている

【問9 で「1」～「27」と回答した方に伺います。】

問9－1 そのスポーツや運動を実施した頻度は週どのくらいですか。（1つのみ）

※年間合計日数でも可

実施頻度については、「週3日以上（年151日以上）」が29.9%で最も高く、次いで「週1日（年51～100日）」が18.4%、「週2日（年101～150日）」が18.2%となっている。

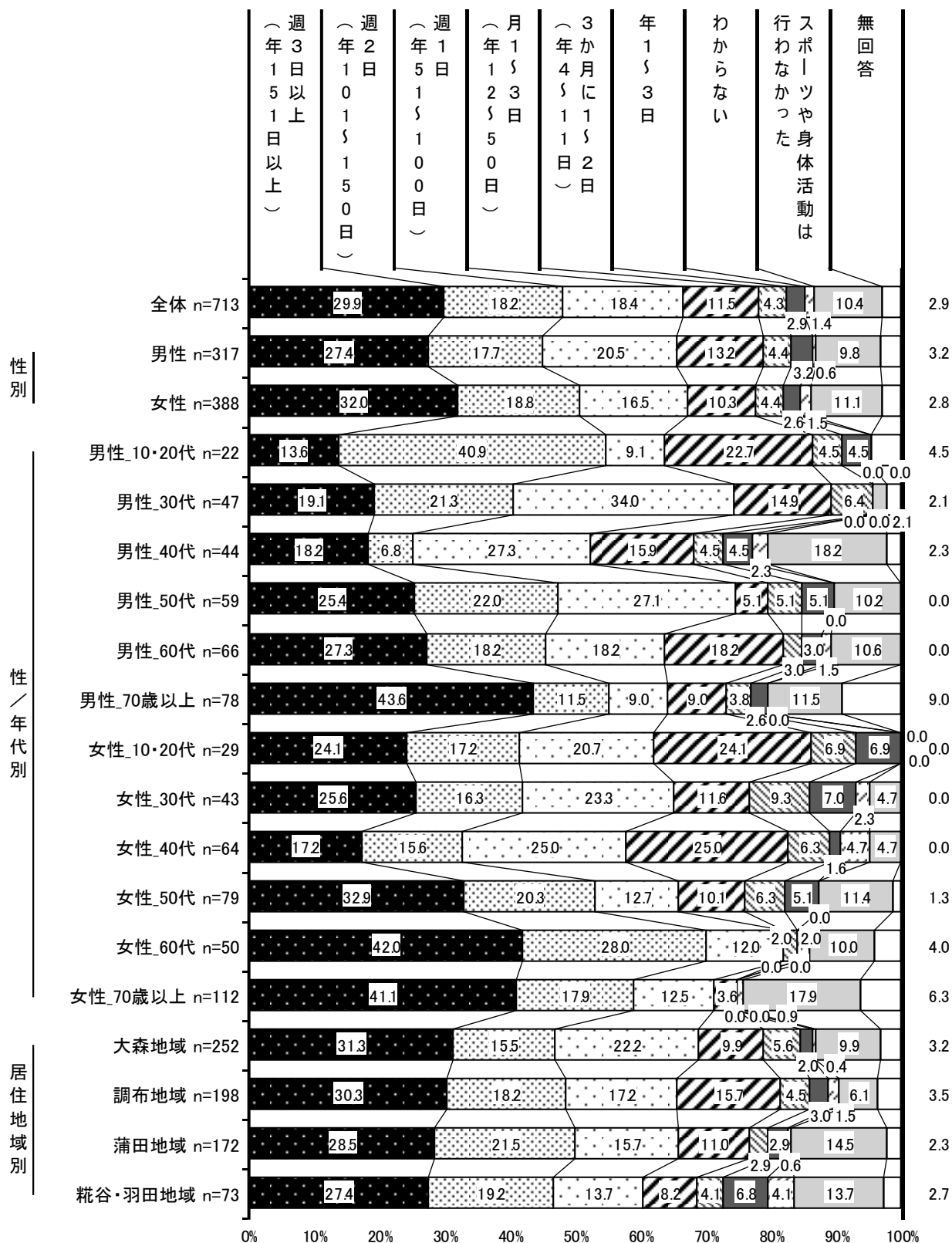


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「週3日以上（年151日以上）」は男性が27.4%、女性が32.0%と、女性が4.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「週3日以上（年151日以上）」は男性70歳以上、女性60代、70歳以上で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



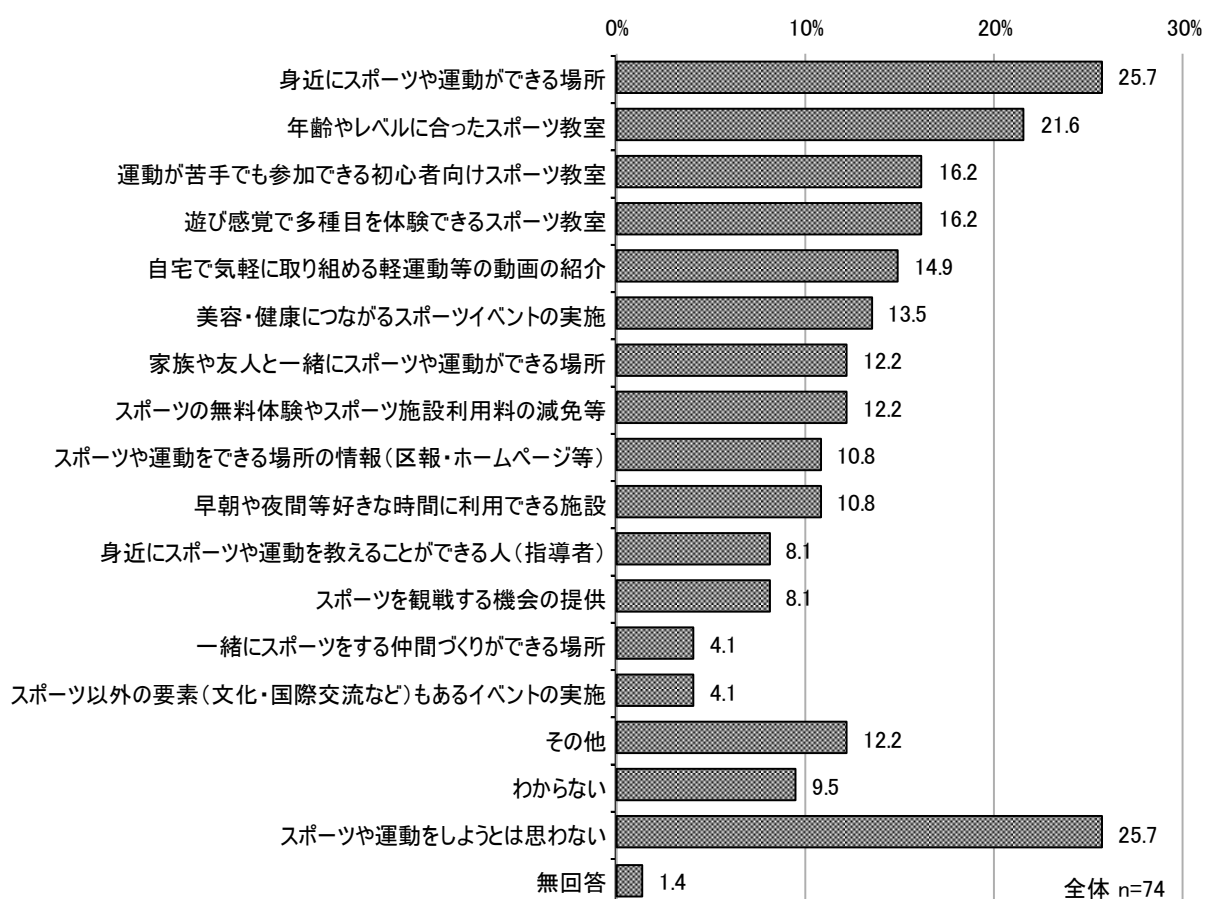
(12) スポーツや運動を開始（再開）するため必要なこと

◇「身近にスポーツや運動ができる場所」が2割半ばで最も高くなっている

【問 9 で「28」と回答した方に伺います。】

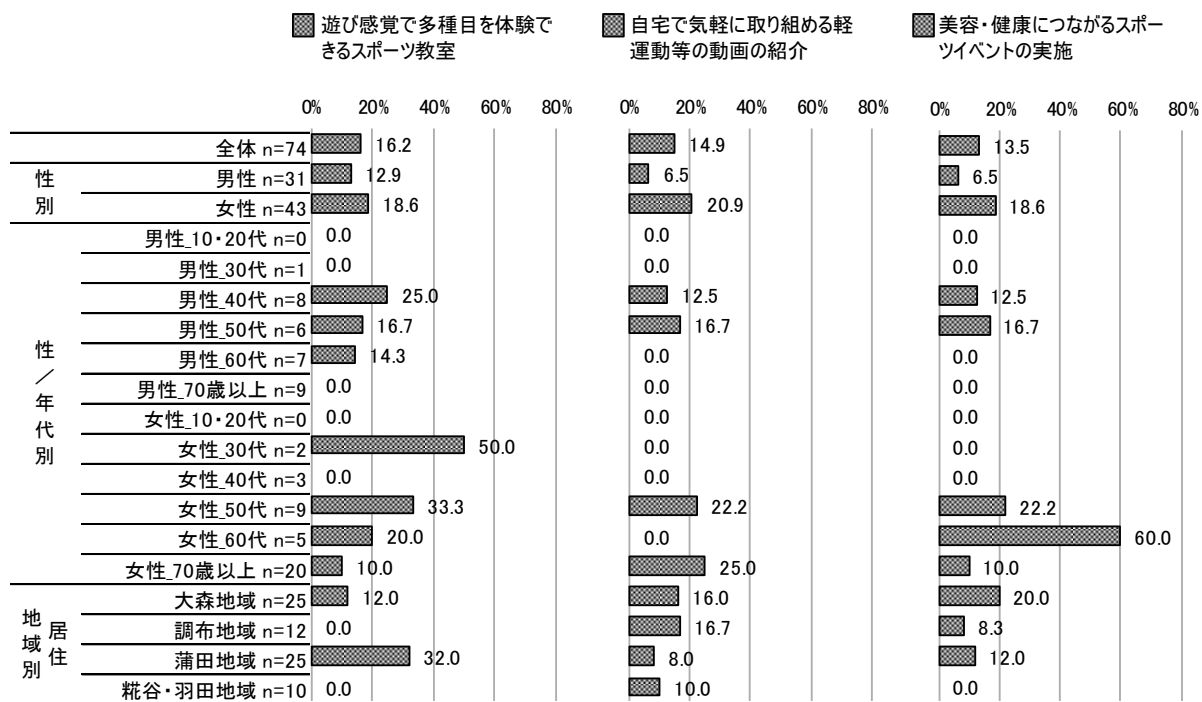
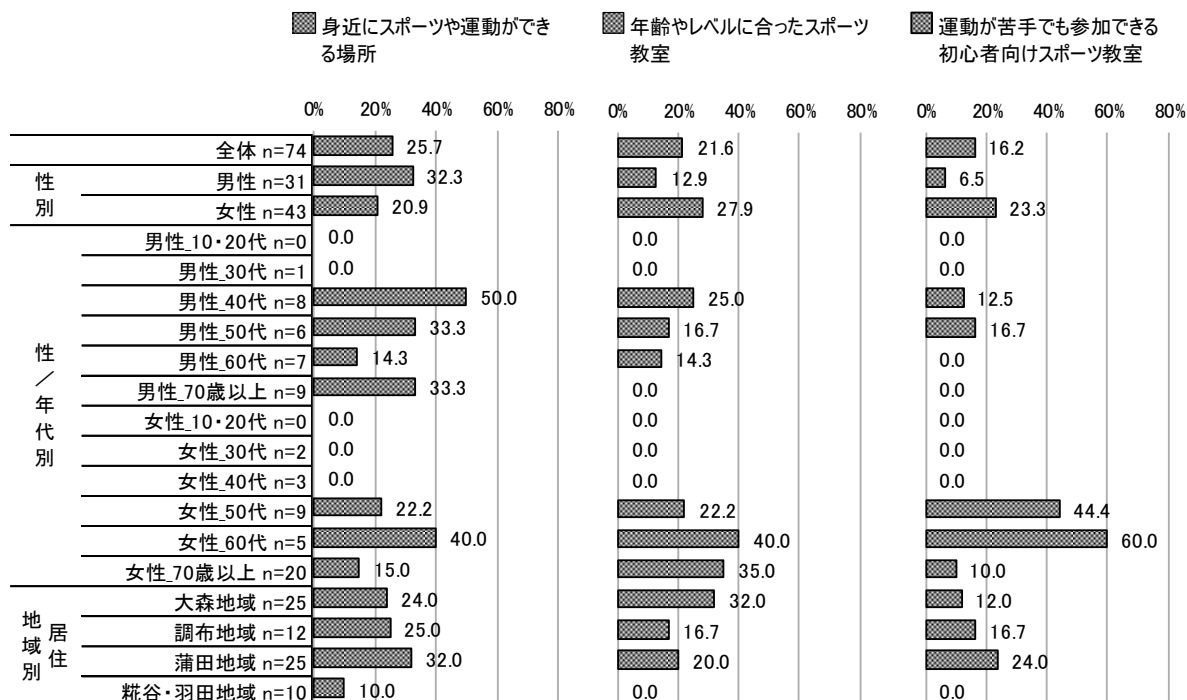
問 9－2 スポーツや運動を始める（再開する）ためには何が必要だと思いますか。（複数選択可）

スポーツや運動を開始（再開）するため必要なことについては、「身近にスポーツや運動ができる場所」が 25.7%で最も高く、次いで「年齢やレベルに合ったスポーツ教室」が 21.6%、「運動が苦手でも参加できる初心者向けスポーツ教室」、「遊び感覚で多種目を体験できるスポーツ教室」が 16.2%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性では「身近にスポーツや運動ができる場所」、女性では「年齢やレベルに合ったスポーツ教室」が最も高くなっている。



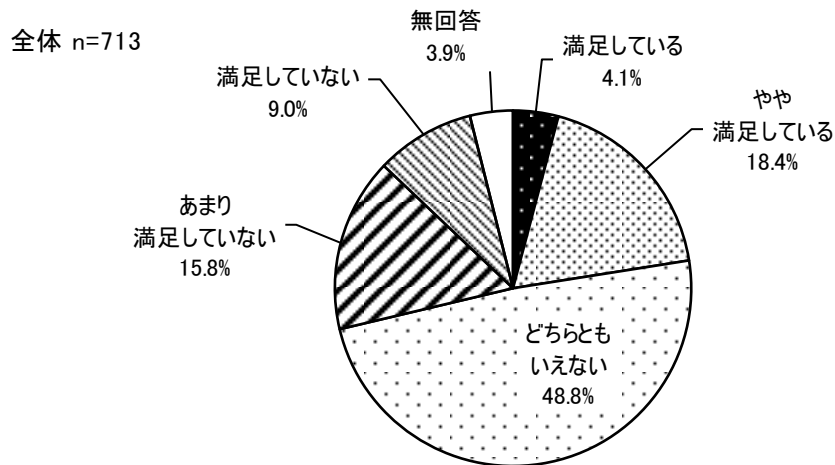
(13) 区のスポーツ環境の満足度

◇《満足している》(「満足している」「やや満足している」の合計値)は2割前半となっている

問 10 あなたは区のスポーツ環境に満足していますか。(1つのみ)

区のスポーツ環境の満足度については、「満足している」、「やや満足している」の合計値《満足している》は22.5%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》は24.8%と、《満足していない》が2.3ポイント上回っている。

「どちらともいえない」は48.8%となっている。

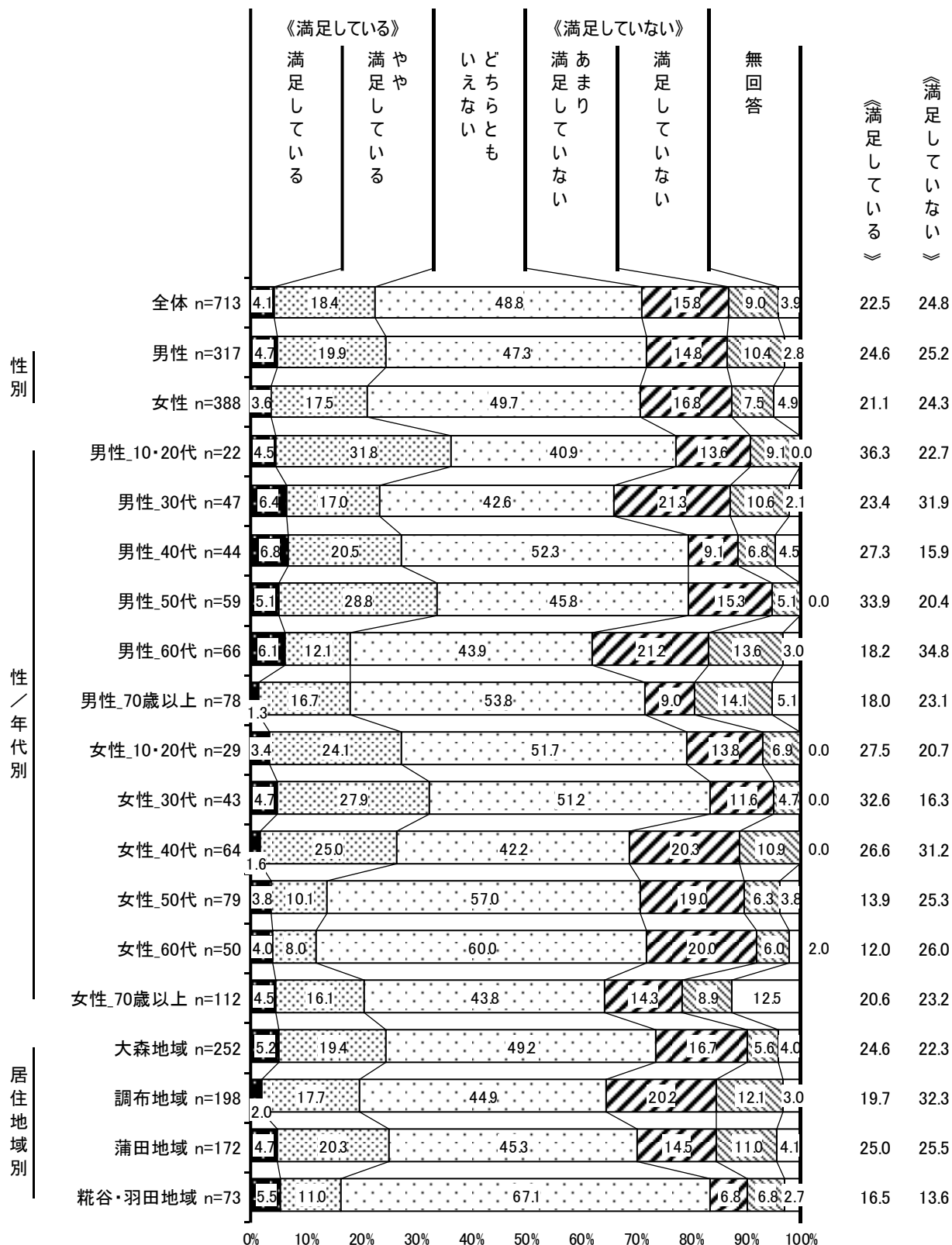


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足している》は男性 50 代、女性 30 代で 3 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足していない》は調布地域で 3 割前半と高くなっている。



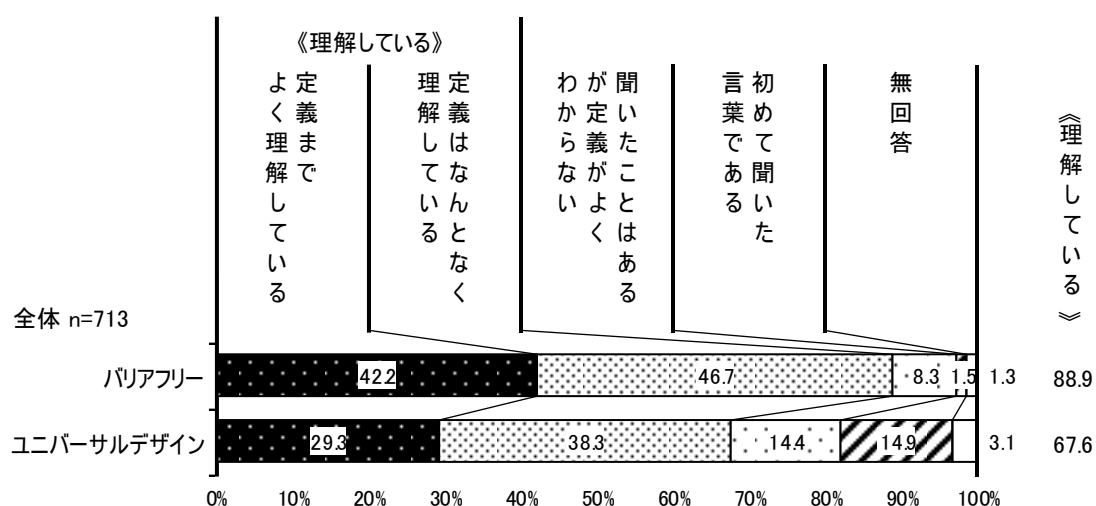
(14)「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇《理解している》(「定義までよく理解している」「定義はなんとなく理解している」の合計値)は【バリアフリー】で8割後半、【ユニバーサルデザイン】で6割後半となっている

問 11 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。
(それぞれ1つのみ)

【バリアフリー】の認知度は、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が88.9%で、そのうち「定義までよく理解している」は42.2%となっている。

【ユニバーサルデザイン】の認知度は、《理解している》が67.6%で、そのうち「定義までよく理解している」は29.3%となっている。

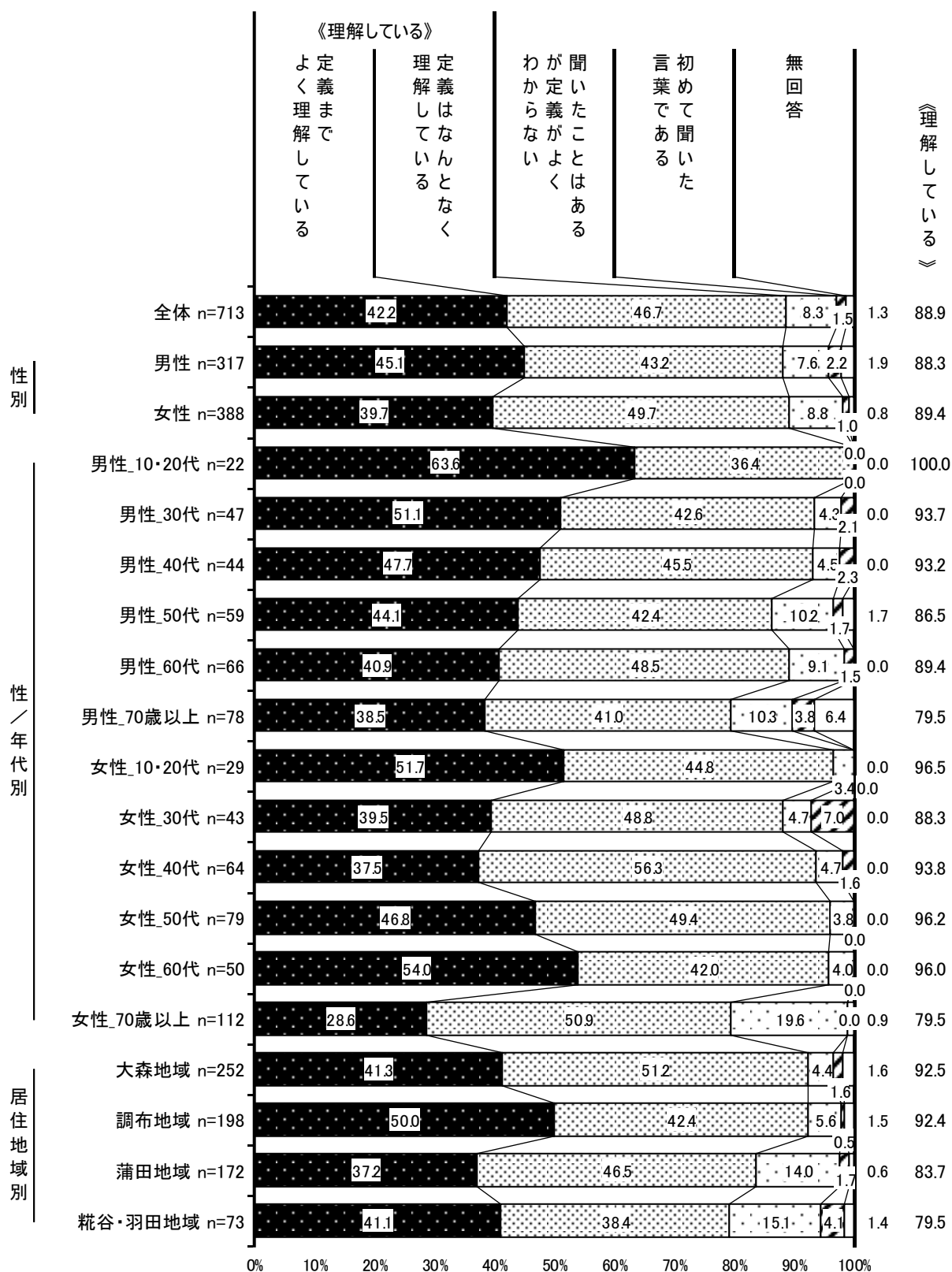


■性別・性／年代別・居住地域別 ①バリアフリー

性別でみると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」は男性が45.1%、女性が39.7%と、男性が5.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《理解している》は女性50代、60代で9割後半と高くなっている。「定義までよく理解している」は男性30代、女性60代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「定義までよく理解している」は調布地域で5割と高くなっている。

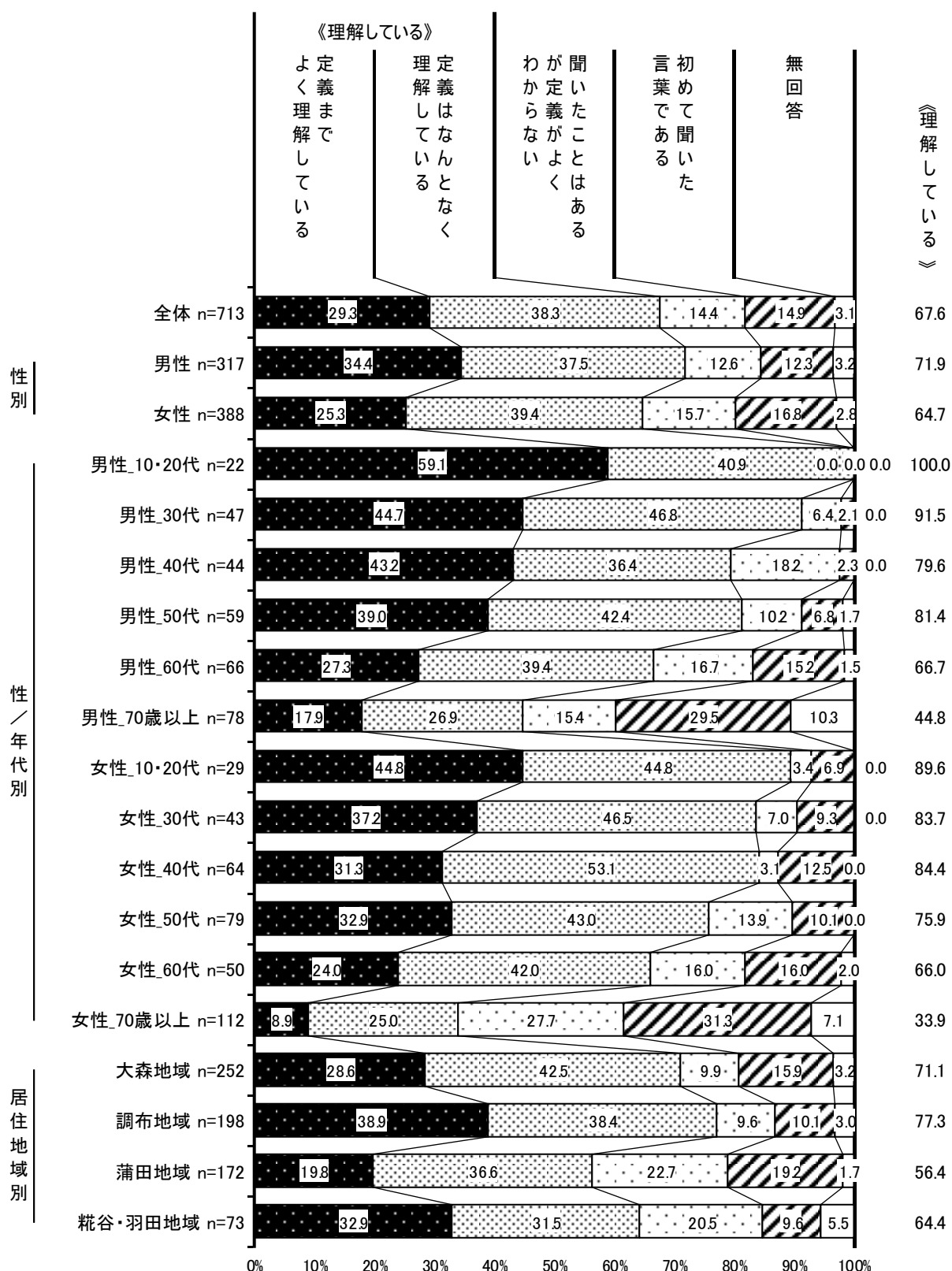


■性別・性／年代別・居住地域別 ②ユニバーサルデザイン

性別でみると、《理解している》は男性が71.9%、女性が64.7%と、男性が7.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《理解している》は男性30代で9割前半、男性50代、女性30代、40代で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で7割後半と高くなっている。



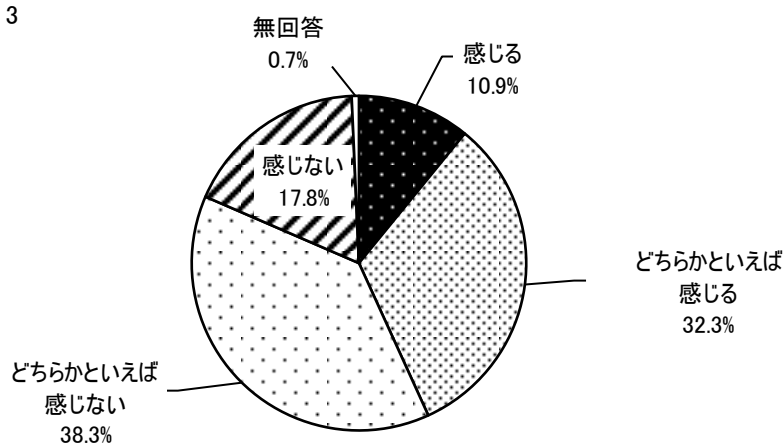
(15) 地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）

◇《感じる》（「感じる」「どちらかといえば感じる」の合計値）が4割前半となっている

問 12 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じることはありますか。（1つのみ）

地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）については、「感じる」、「どちらかといえば感じる」の合計値《感じる》が43.2%となっている。一方、「どちらかといえば感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が56.1%と、《感じる》が12.9ポイント上回っている。

全体 n=713

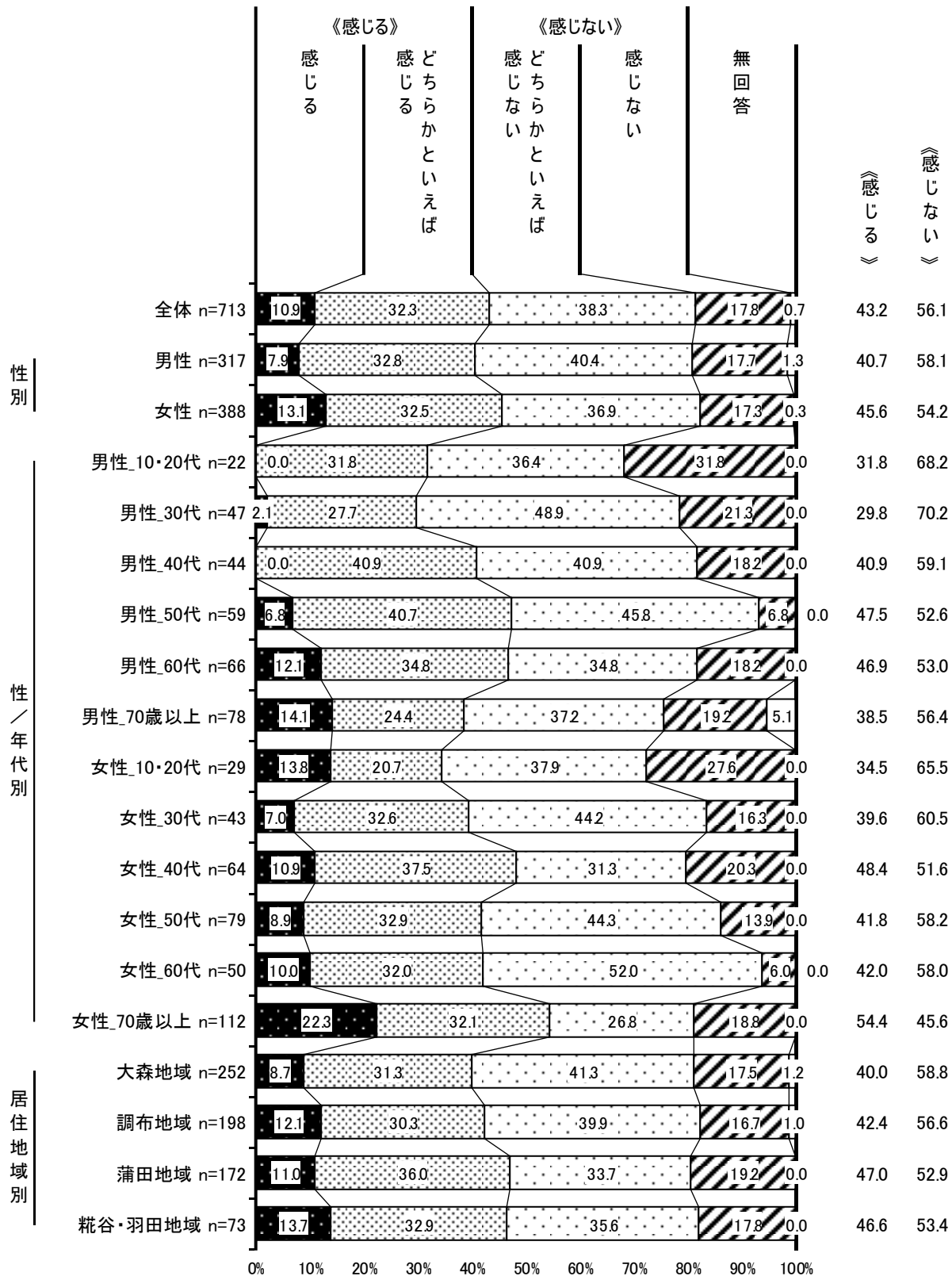


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は大きな差はみられないが、「感じる」は男性が 7.9%、女性が 13.1%と、女性が 5.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は女性 70 歳以上で 5 割前半と高くなっている。一方、《感じない》は男性 30 代で約 7 割と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



(16)「成年後見制度」の認知度

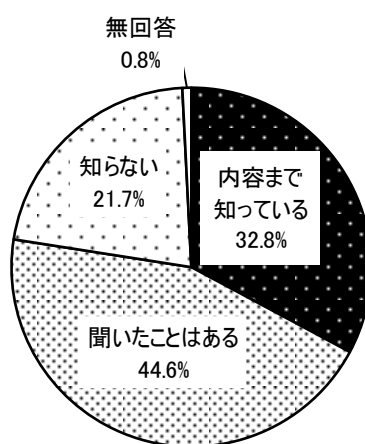
◇「内容まで知っている」は3割前半となっている

問 13 「成年後見制度」を知っていますか。(1つのみ)

※認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、法律的に支援する制度

「成年後見制度」の認知度については、「聞いたことはある」が44.6%で最も高く、次いで「内容まで知っている」が32.8%、「知らない」が21.7%となっている。

全体 n=713

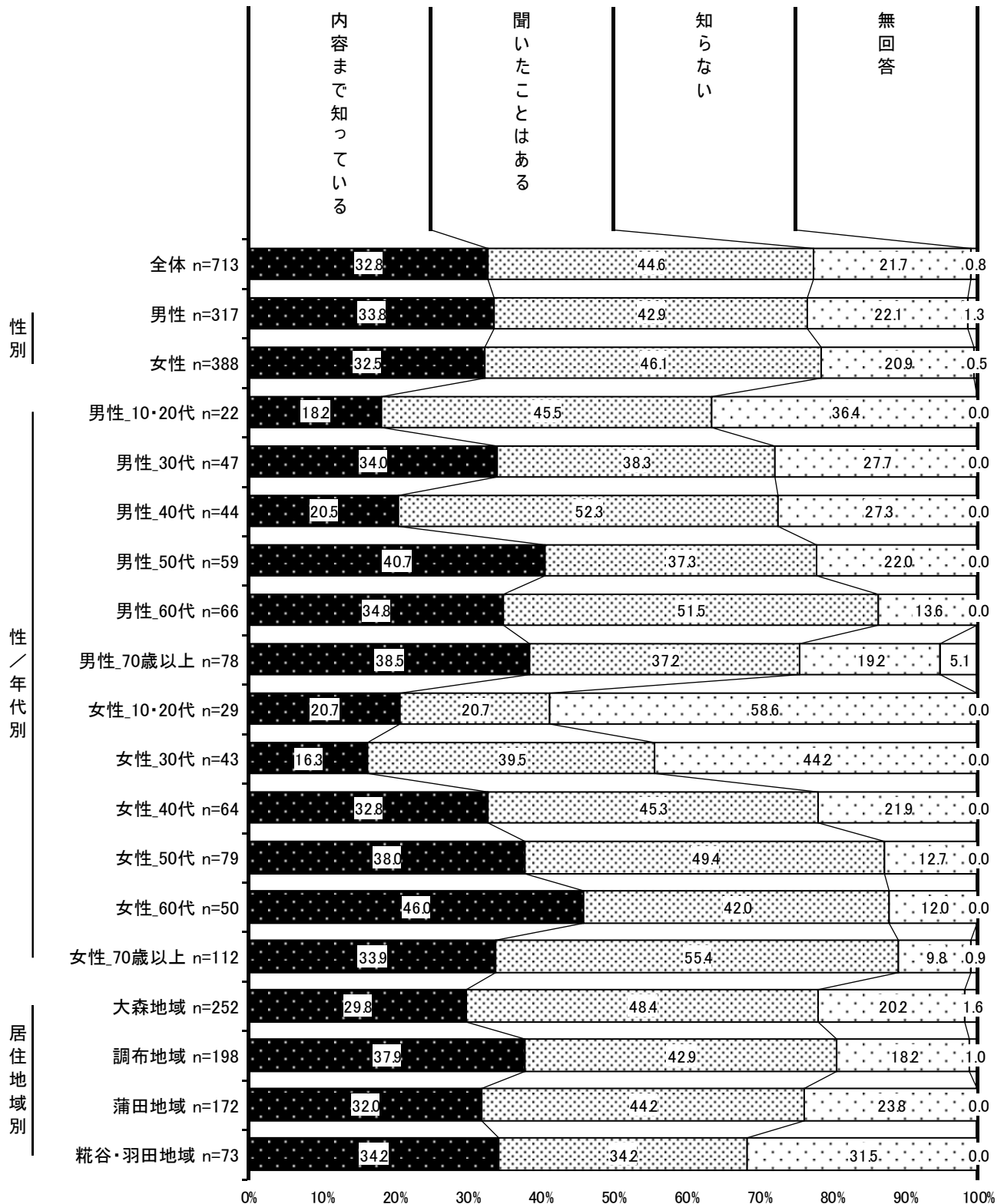


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「内容まで知っている」は女性 60 代で 4 割後半と高くなっている。一方、「知らない」は女性 30 代で 4 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「内容まで知っている」は調布地域で 3 割後半と高くなっている。



(17)「障害者差別解消法」の認知度

◇「内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある」は1割未満となっている

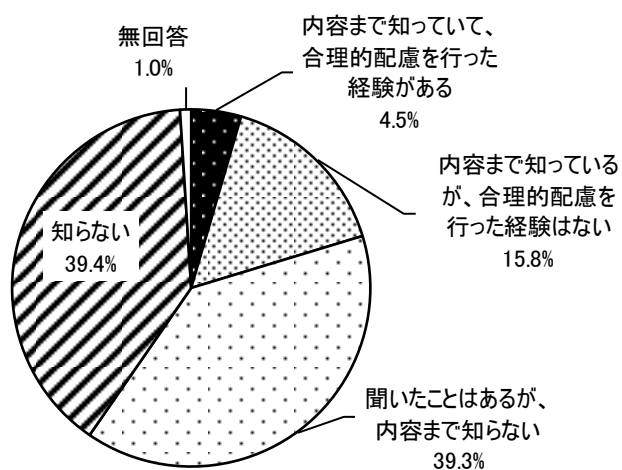
問 14 障がいのある人もない人も、お互いにその人らしさを認めあいながら、ともに生きる社会づくりをめざして、平成 28 年 4 月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和 6 年 4 月には、改正法が施行されました。

「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つのみ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知らない」が 39.4%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容まで知らない」が 39.3%、「内容まで知っているが、合理的配慮を行った経験はない」が 15.8%となっている。

なお、「内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある」は 4.5%となっている。

全体 n=713

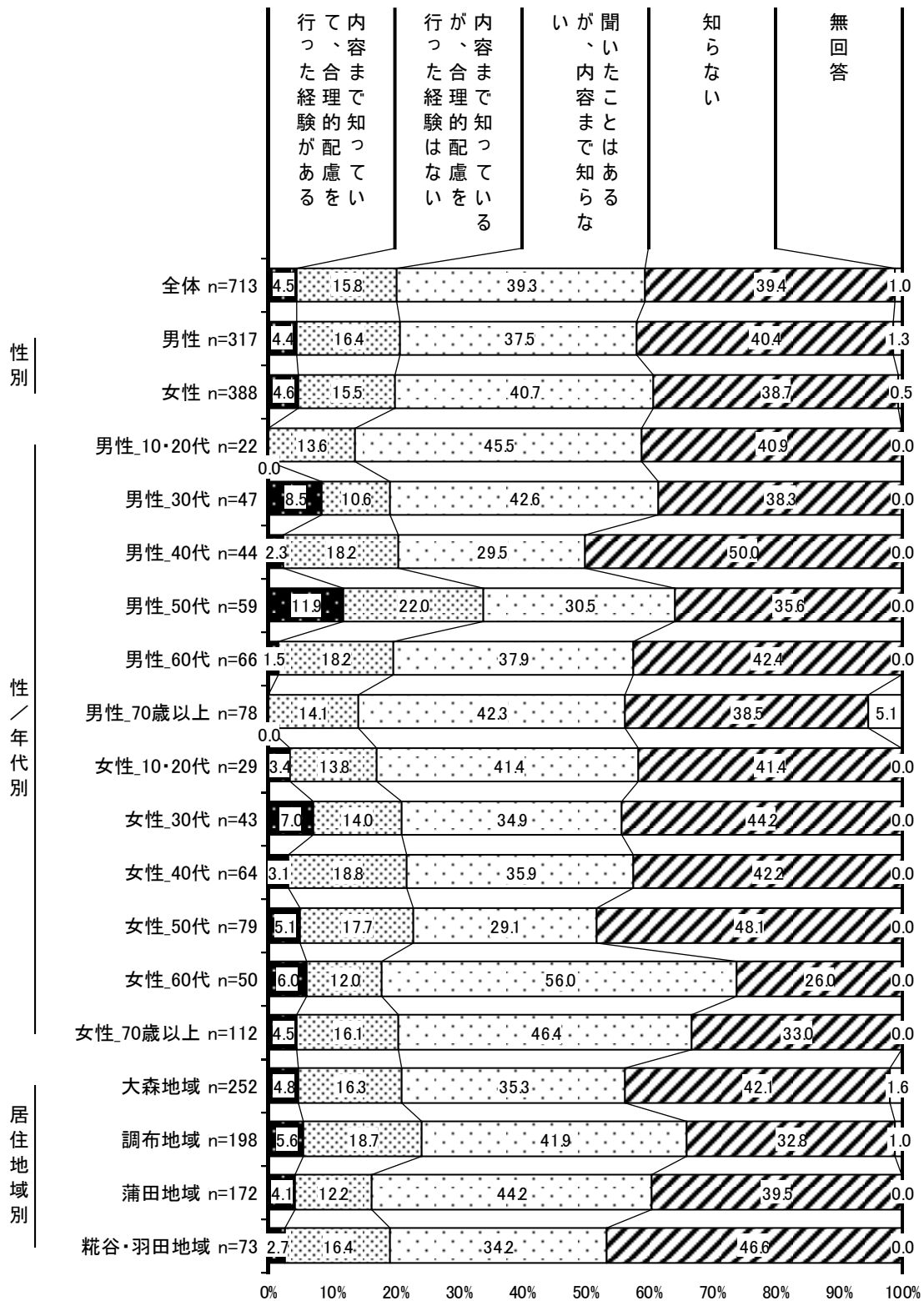


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある」は男性 50 代で 1 割前半と高くなっている。一方、「知らない」は男性 40 代で 5 割と高くなっている。

居住地域別でみると、「知らない」は糀谷・羽田地域で 4 割後半と高くなっている。

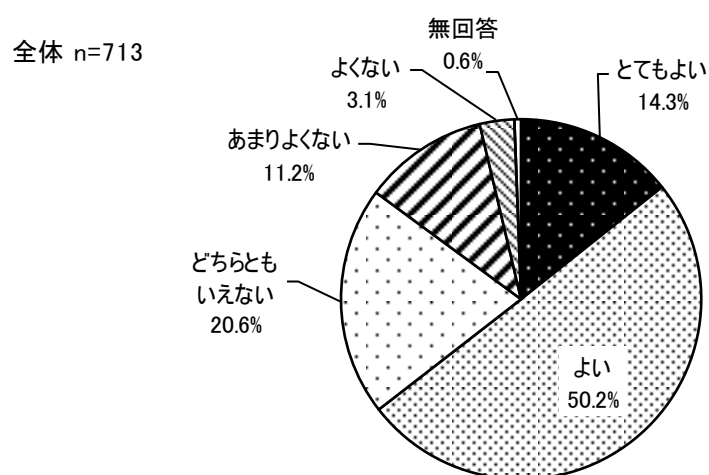


(18) 現在の健康状態

◇《よい》(「とてもよい」「よい」の合計値)は6割前半となっている

問 15 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つのみ)

現在の健康状態については、「とてもよい」、「よい」の合計値《よい》が64.5%となっている。一方、「あまりよくない」、「よくない」の合計値《よくない》が14.3%と、《よい》が50.2ポイント上回っている。

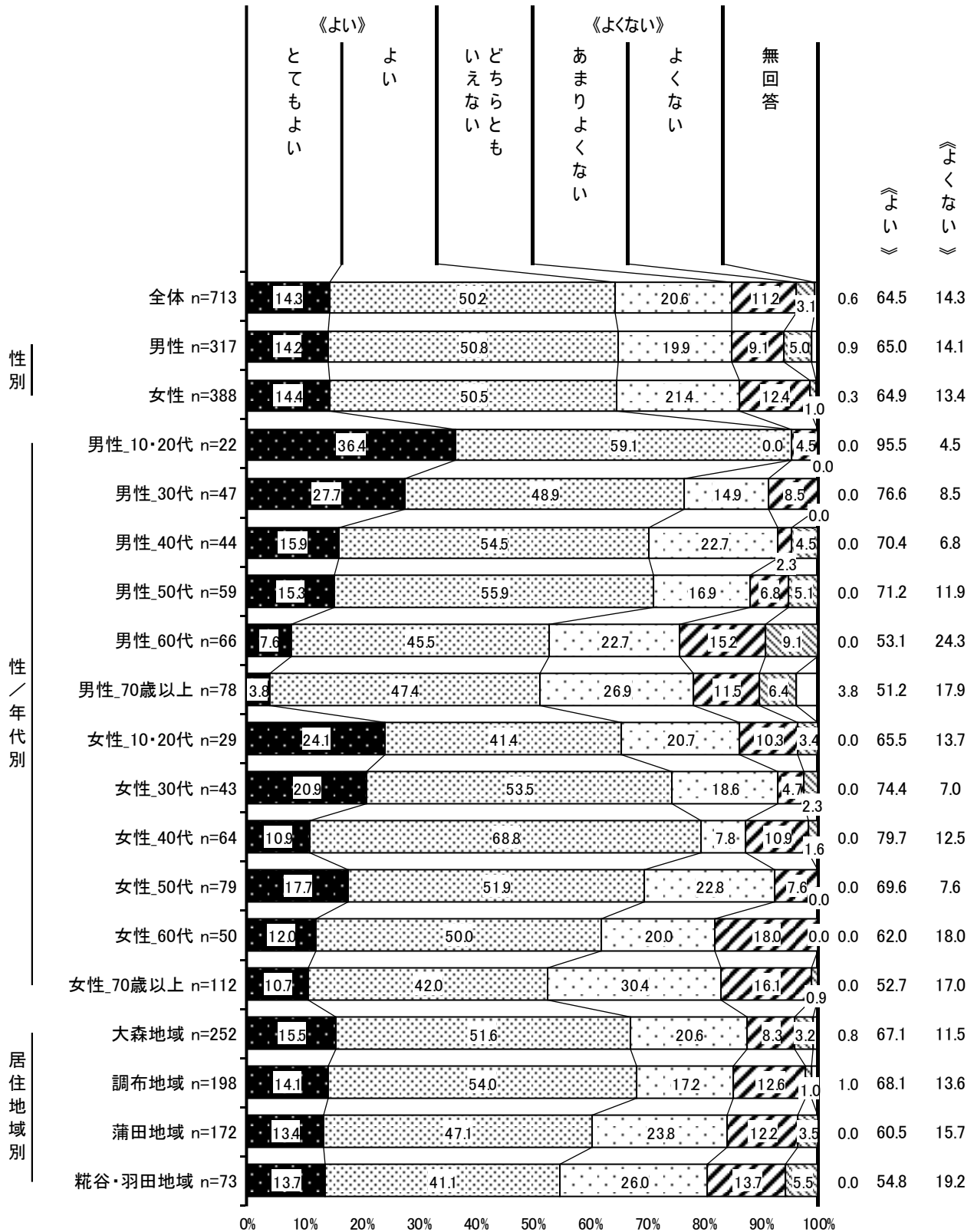


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《よい》は男性 30 代、女性 40 代で 7 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《よい》は大森地域、調布地域で 6 割後半となっている。



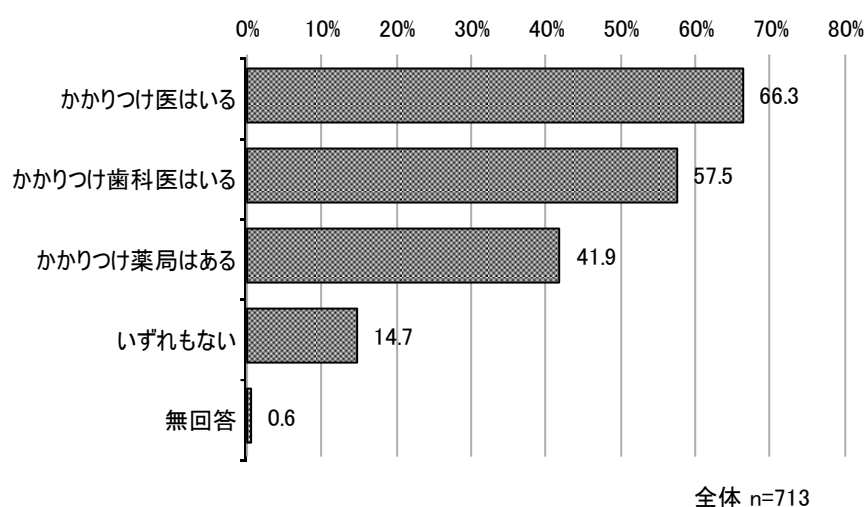
(19) かかりつけの医療機関

◇「かかりつけ医はいる」が6割後半で最も高くなっている

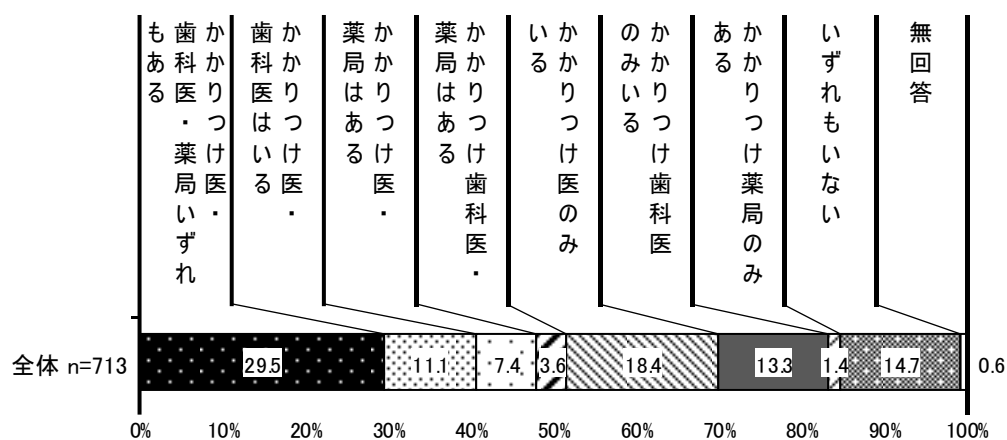
問 16 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(複数選択可)

かかりつけの医療機関については、「かかりつけ医はいる」が66.3%で最も高く、次いで「かかりつけ歯科医はいる」が57.5%、「かかりつけ薬局はある」が41.9%となっている。

「いずれもない」は14.7%となっている。



■かかりつけの医療機関（単数集計）

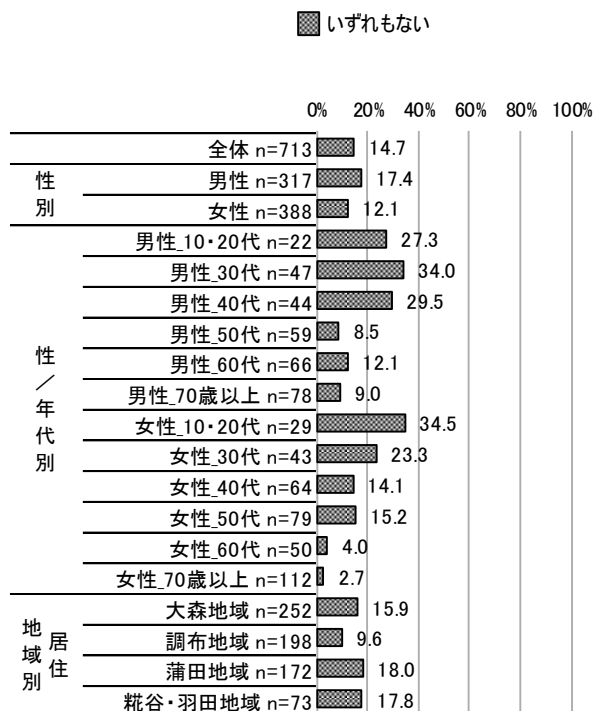
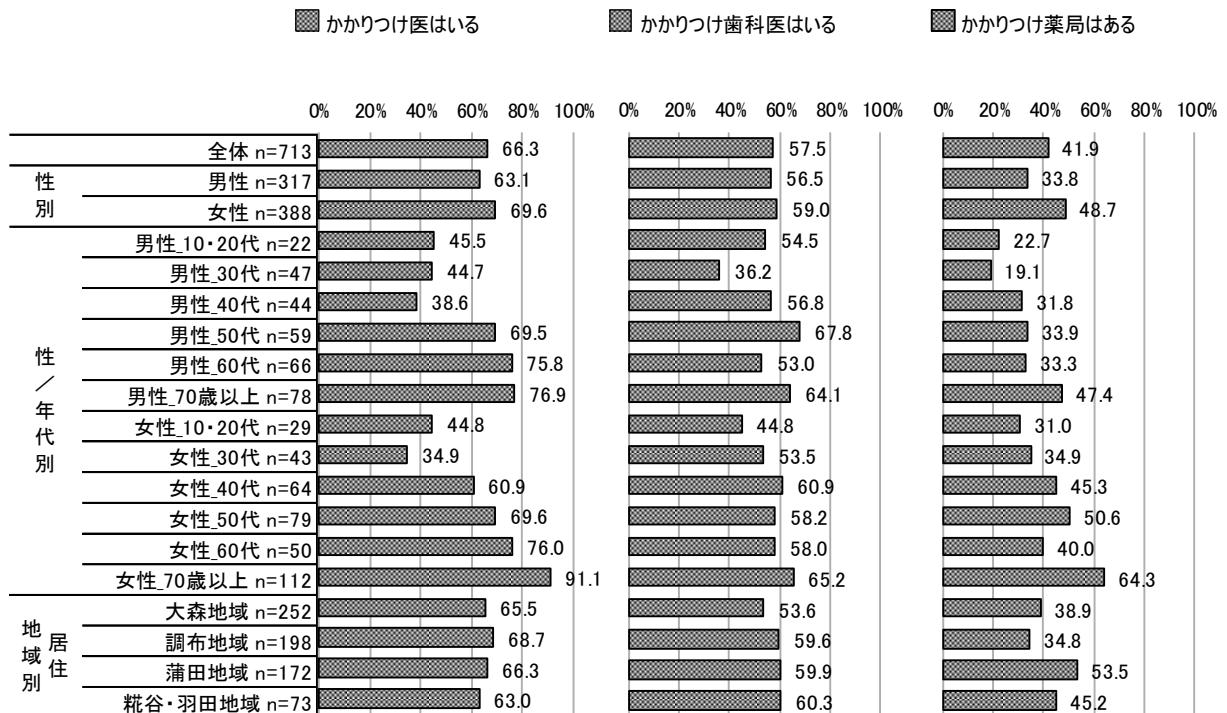


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「かかりつけ医はいる」は男性が 63.1%、女性が 69.6%と、女性が 6.5 ポイント、「かかりつけ薬局はある」は男性が 33.8%、女性が 48.7%と、女性が 14.9 ポイント、それぞれ上回っている。

性／年代別でみると、「かかりつけ医はいる」は男性、女性ともに 60 代、70 歳以上で 7 割以上と高くなっている。「いずれもない」は男性 30 代で 3 割前半、男性 40 代で 2 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「かかりつけ薬局はある」は蒲田地域で 5 割前半と高くなっている。



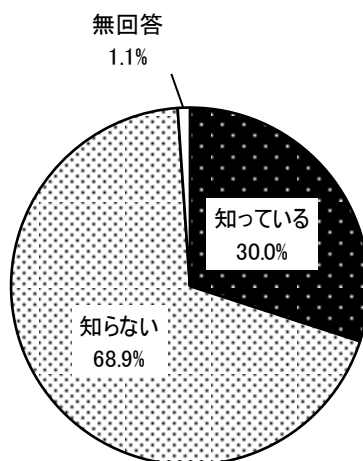
(20)「大田区DV相談ダイヤル」の認知度

◇「知っている」は3割となっている

問 17 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス＝DV)に関する相談を受け付けていることを知っていますか。
(1つのみ)

「大田区DV相談ダイヤル」の認知度については、「知っている」が30.0%、「知らない」が68.9%と、「知らない」が38.9ポイント上回っている。

全体 n=713

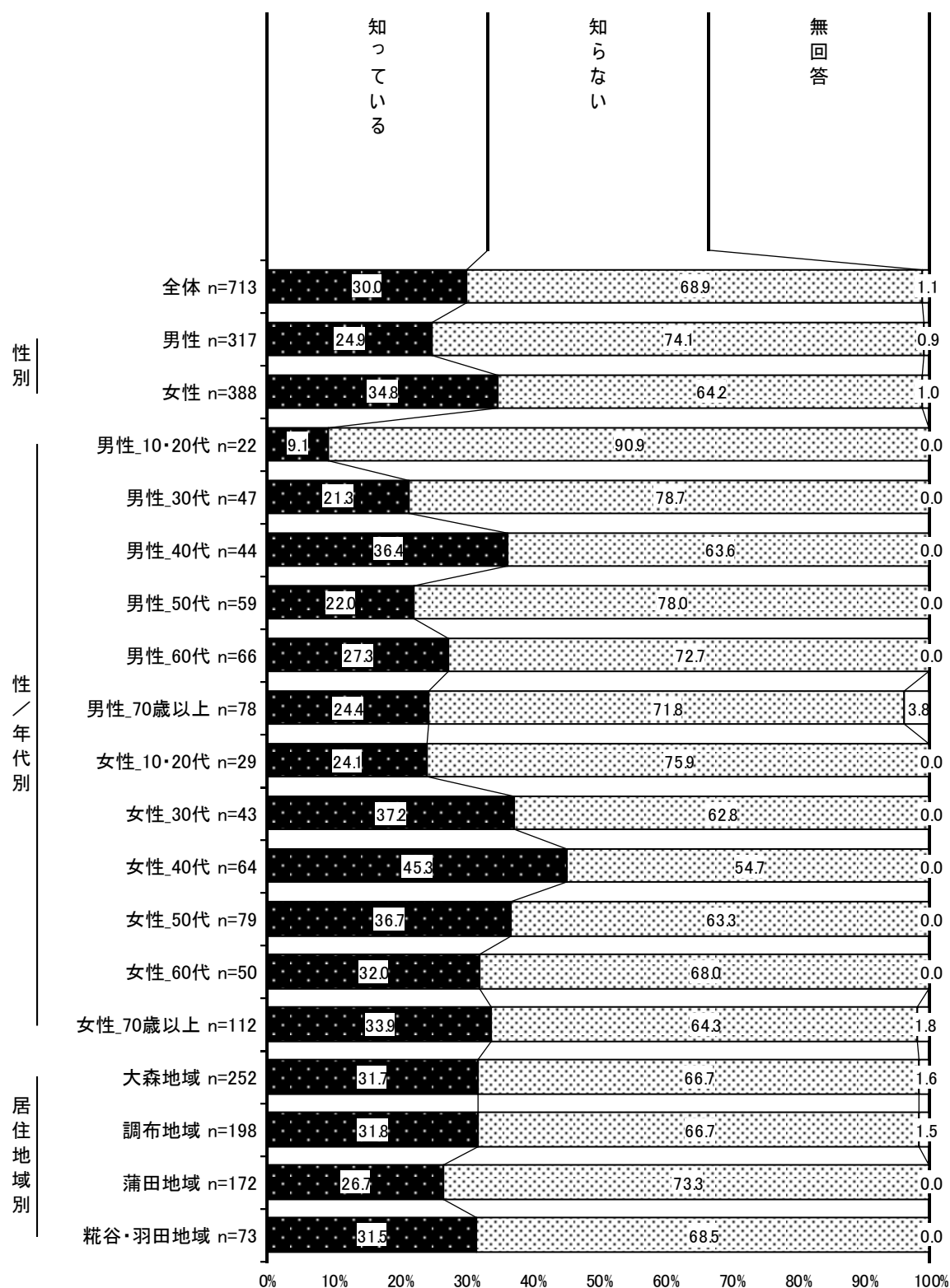


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知っている」は男性が 24.9%、女性が 34.8%と、女性が 9.9 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知っている」は女性 40 代で 4 割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

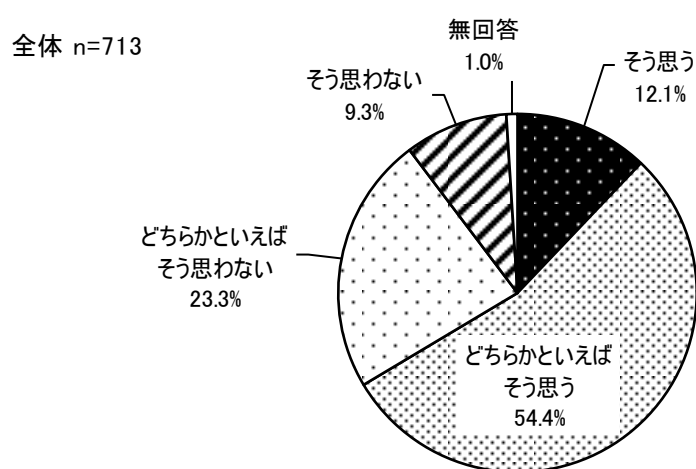


(21) 人権が尊重されている社会

◇《そう思う》(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)は6割後半となっている

問 18 あなたは、今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。(1つのみ)

人権が尊重されている社会については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《そう思う》が66.5%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計値《そう思わない》が32.6%と、《そう思う》が33.9ポイント上回っている。

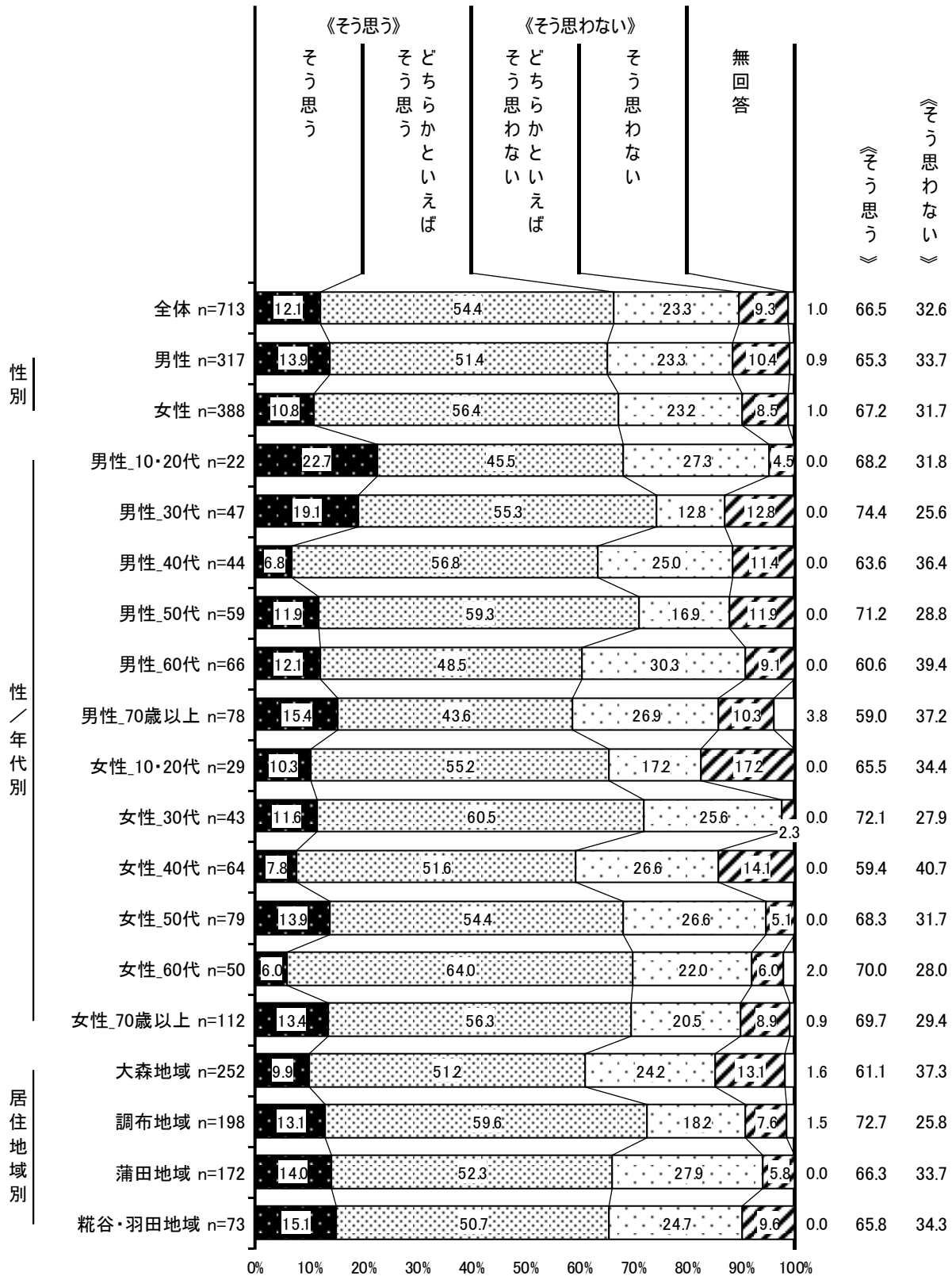


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《そう思う》は男性 30 代、50 代、女性 30 代で 7 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思う》は調布地域で 7 割前半と高くなっている。



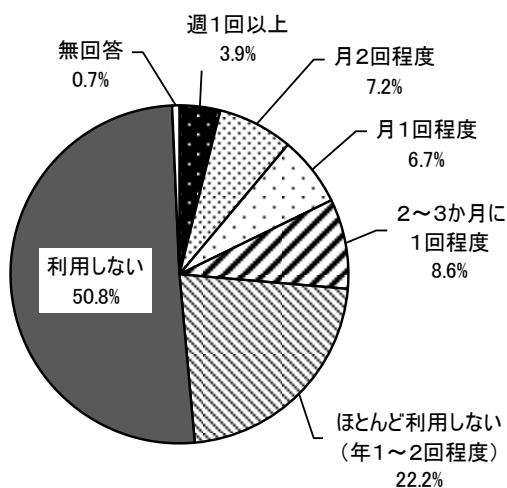
(22) 図書館等の利用頻度

◇《利用している》(「週1回以上」「月2回程度」「月1回程度」「2～3か月に1回程度」の合計値)は2割後半となっている

問 19 1年間で大田区立図書館又は文化の森情報館(電子書籍貸出サービスを含む)をどのくらい利用しますか。(1つのみ)

1年間の大田区立図書館又は文化の森情報館の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」、「2～3か月に1回程度」の合計値《利用している》が26.4%となっている。一方、「ほとんど利用しない(年1～2回程度)」、「利用しない」の合計値《利用しない》が73.0%と、《利用しない》が46.6ポイント上回っている。

全体 n=713

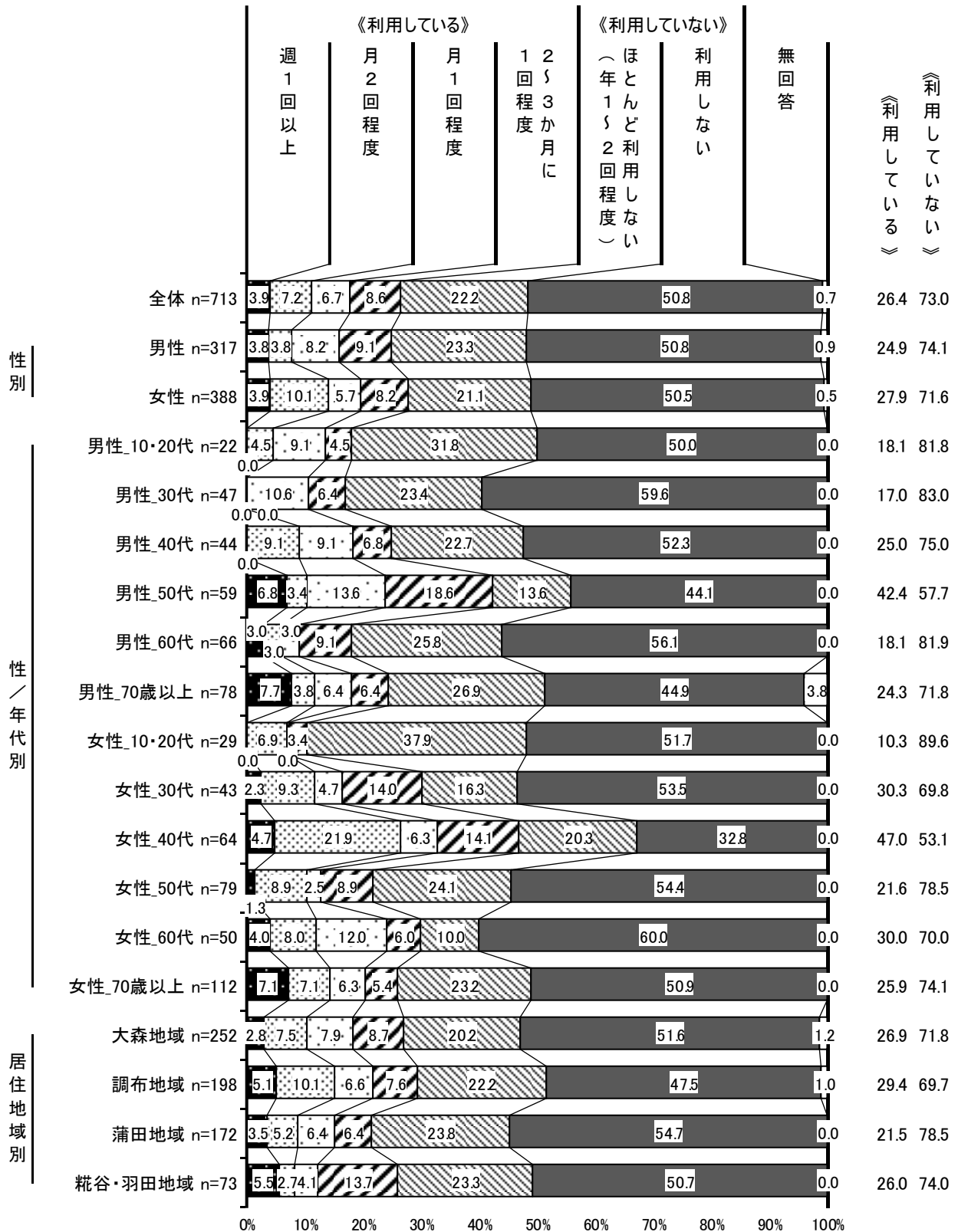


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《利用している》は女性 40 代で 4 割後半、男性 50 代で 4 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《利用していない》は蒲田地域で 7 割後半と高くなっている。



4 基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち

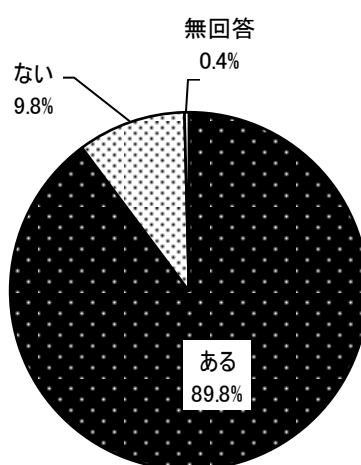
(1) 商店街の利用の有無

◇「ある」は8割後半となっている

問 20 買い物や食事、イベント等で商店街を訪れることがありますか。(1つのみ)

商店街の利用の有無については、「ある」が89.8%、「ない」が9.8%と、「ある」が80.0ポイント上回っている。

全体 n=713

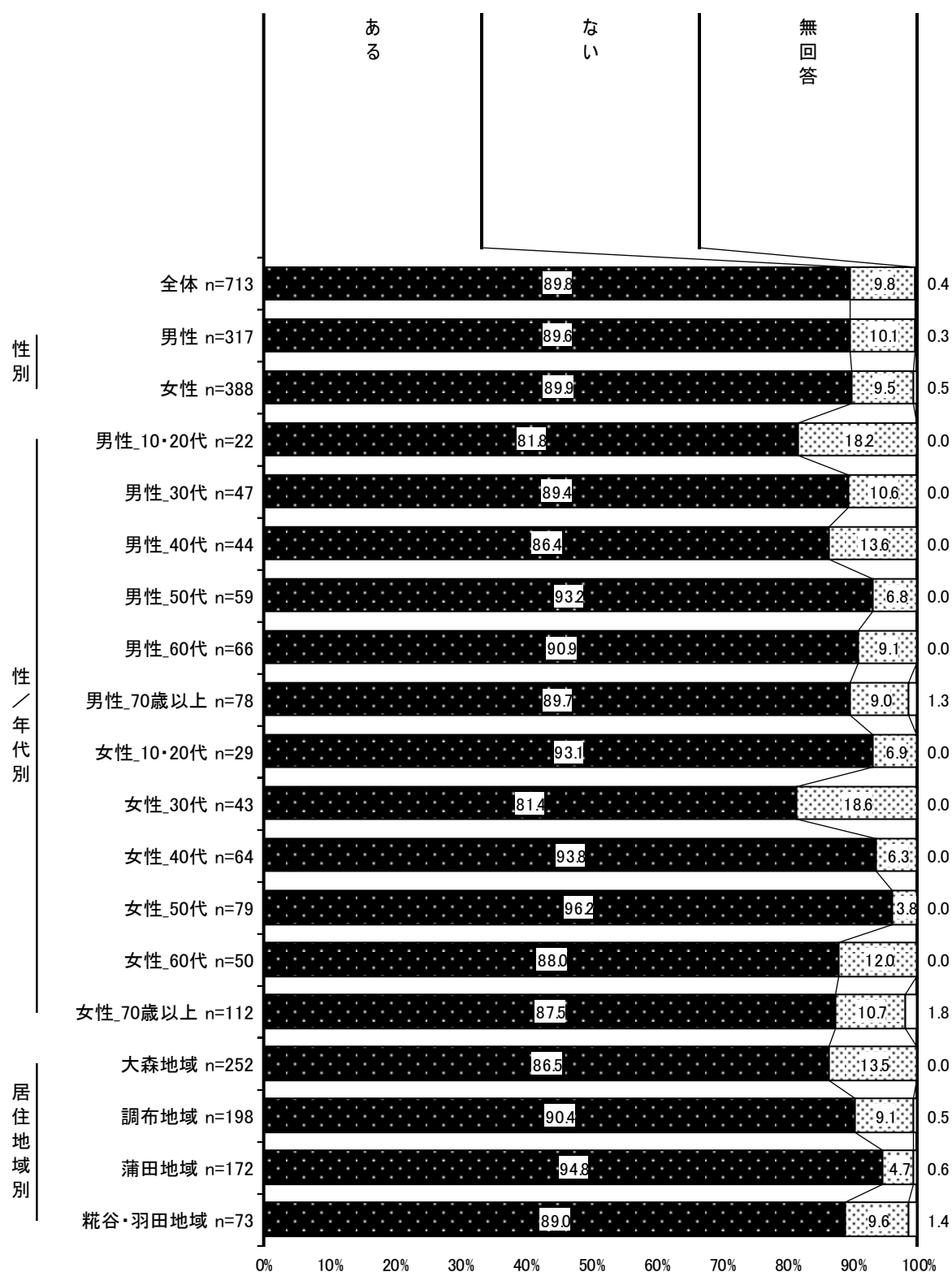


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「ある」は男性では50代で9割前半、女性では50代で9割後半と最も高くなっている。

居住地域別でみると、「ある」は蒲田地域で9割前半と最も高くなっている。



5 基本目標4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち

(1) 生活環境の満足度

◇《満足している》(「満足している」「ほぼ満足している」の合計値)は【緑の多さ】で6割前半、【公園やこどもの遊び場】で5割前半となっている

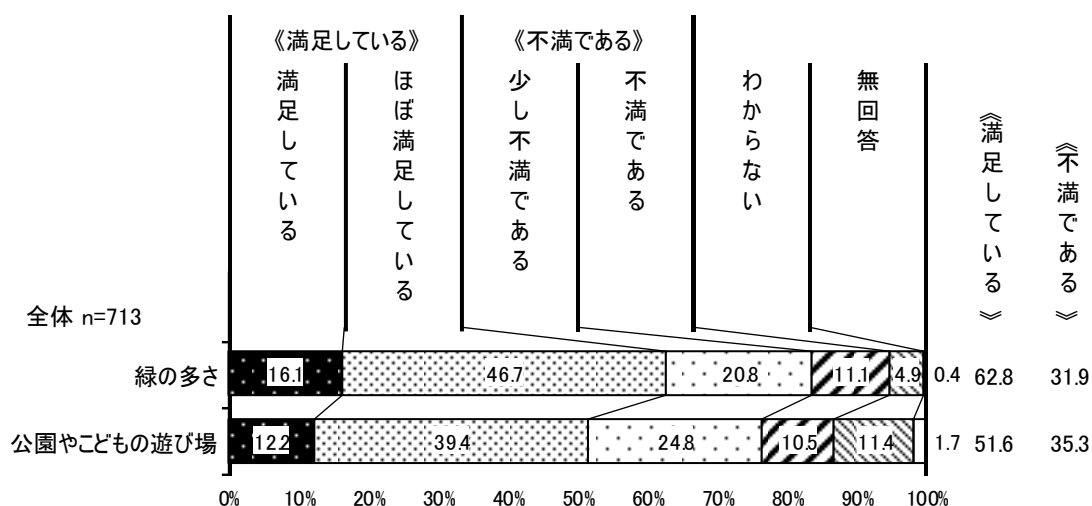
問 21 住んでいるまちの生活環境について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つのみ)

①緑の多さ

②公園やこどもの遊び場

生活環境の満足度については、【緑の多さ】は「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が62.8%となっている。一方、「少し不満である」、「不満である」の合計値《不満である》が31.9%と、《満足している》が30.9ポイント上回っている。

【公園やこどもの遊び場】は《満足している》が51.6%となっている。一方、《不満である》が35.3%と、《満足している》が16.3ポイント上回っている。

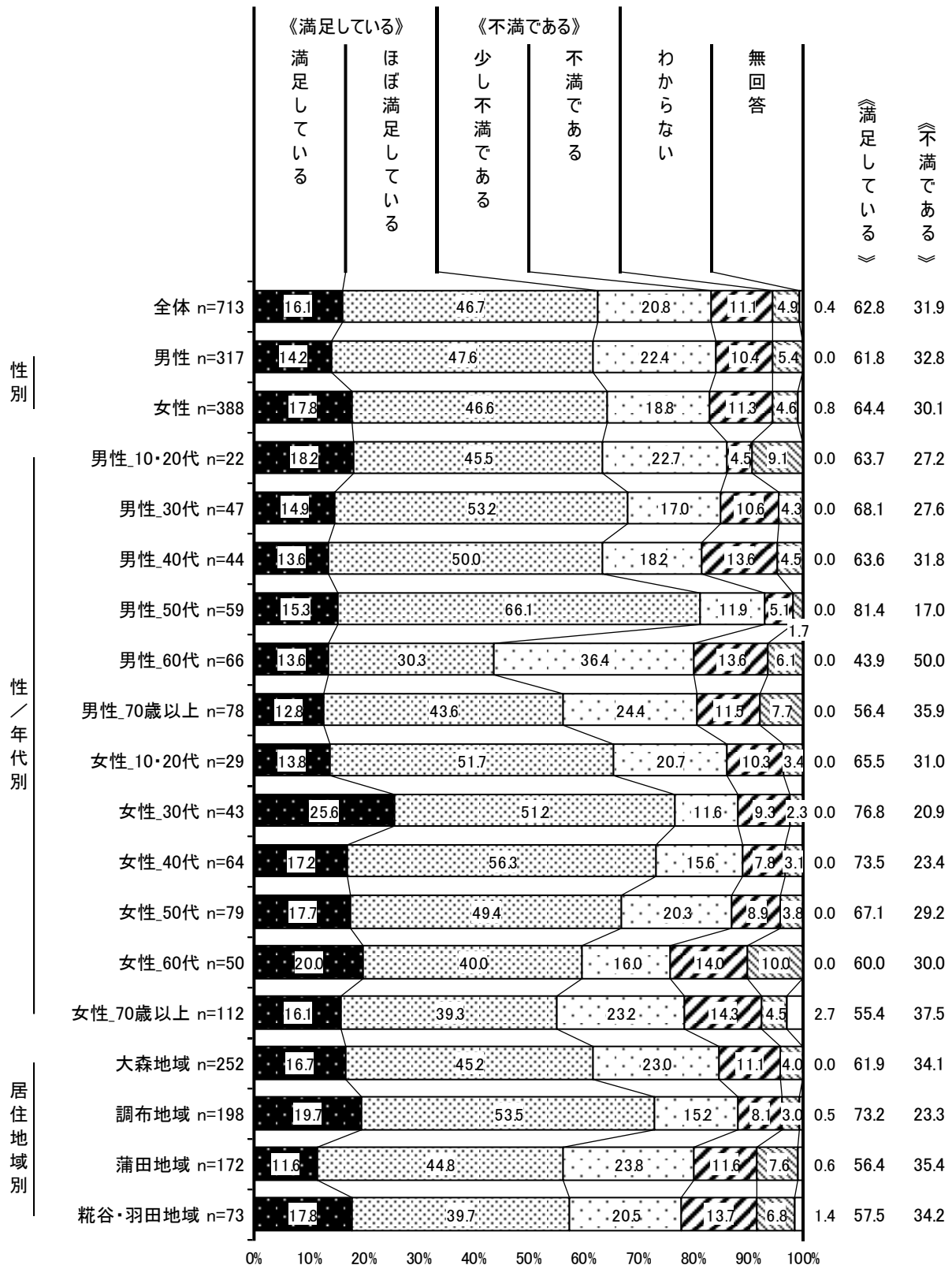


■性別・性／年代別・居住地域別 ①緑の多さ

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足している》は男性 50 代で 8 割前半、女性 30 代、40 代で 7 割台と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足している》は調布地域で 7 割前半と高くなっている。

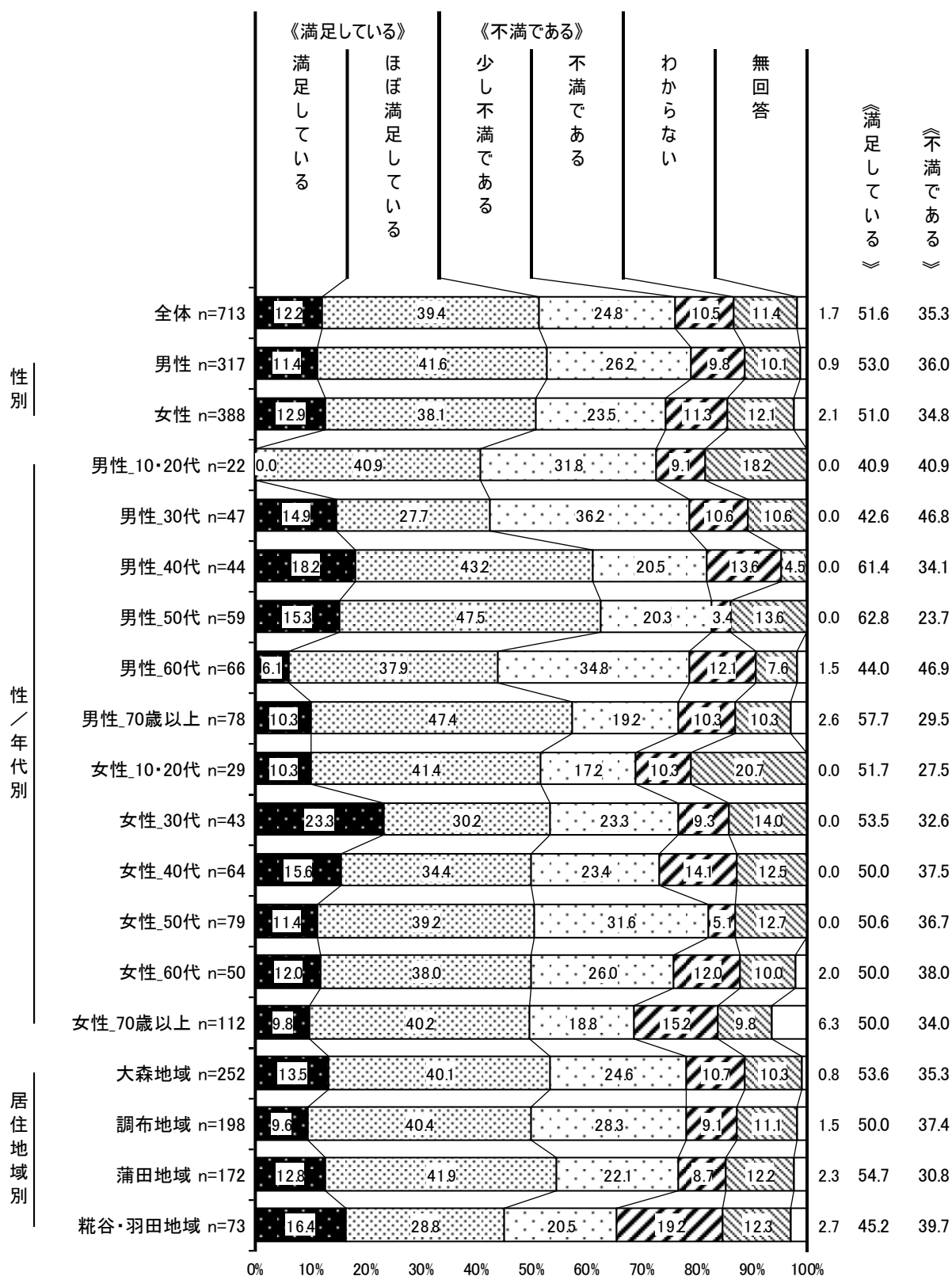


■性別・性／年代別・居住地域別 ②公園やこどもの遊び場

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足している》は男性 40 代、50 代で 6 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《不満である》に大きな差はみられないが、「不満である」は糀谷・羽田地域で 1 割後半と高くなっている。

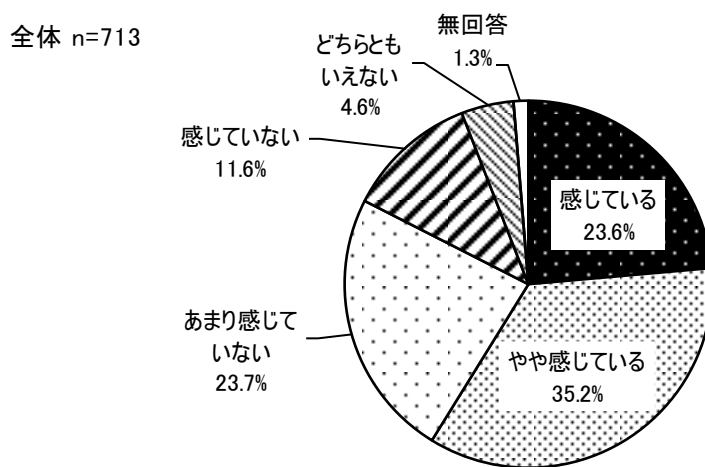


(2) 身近な場所の水や緑

◇親しみを《感じている》は5割後半となっている

問 22 身近な場所で水や緑に親しめると感じていますか。(1つのみ)

身近な場所の水や緑については、親しめると「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じている》が58.8%となっている。一方、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じていない》が35.3%と、《感じている》が23.5ポイント上回っている。

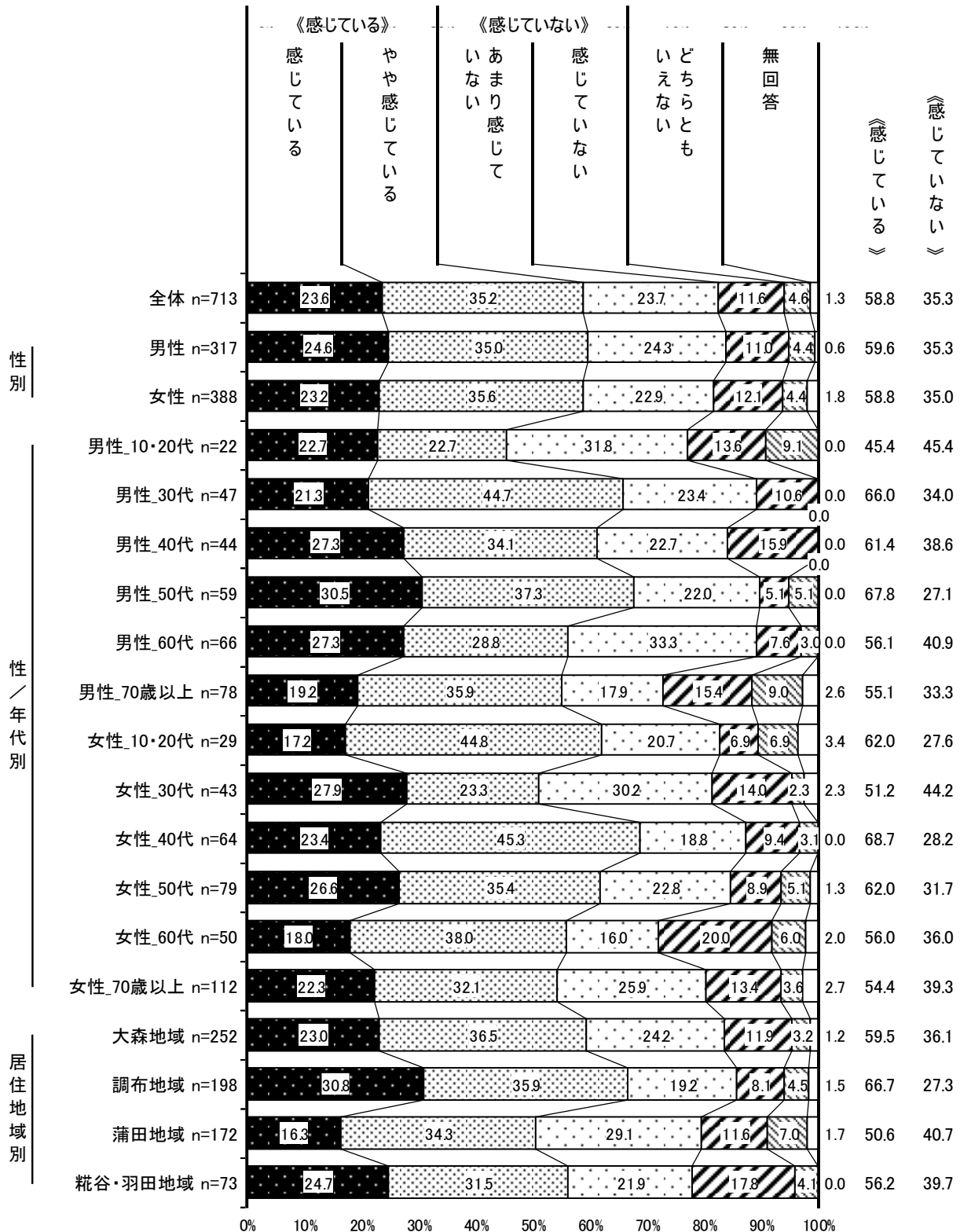


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《感じている》は男性 30 代、50 代、女性 40 代で 6 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じている》は調布地域で 6 割後半と高くなっている。



(3) 公園の満足度

◇《満足している》(「満足している」「やや満足している」の合計値)は【野球場、キャンプ場、アスレチック等がある大きな公園】で4割、【住宅街によくある小さな公園】で5割、【トイレ、遊具等公園施設】で3割半ばとなっている

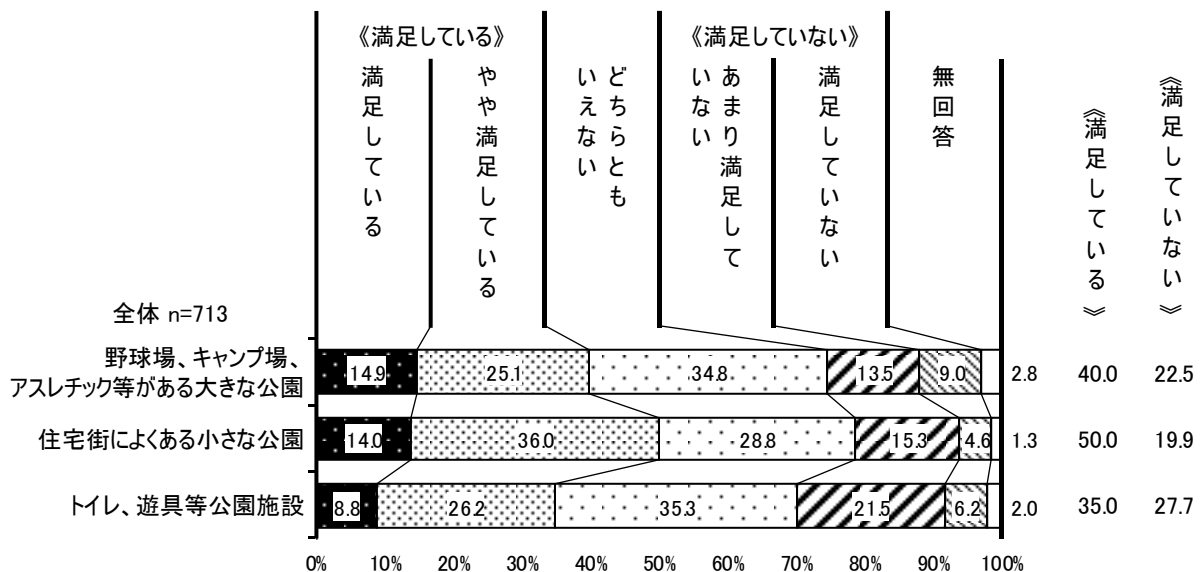
問 23 公園について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つのみ)

- ①野球場、キャンプ場、アスレチック等がある大きな公園
- ②住宅街によくある小さな公園
- ③トイレ、遊具等公園施設

公園の満足度について、【野球場、キャンプ場、アスレチック等がある大きな公園】は「満足している」「やや満足している」の合計値《満足している》が40.0%となっている。一方、「あまり満足していない」「満足していない」の合計値《満足していない》が22.5%と、《満足している》が17.5ポイント上回っている。

【住宅街によくある小さな公園】は《満足している》が50.0%となっている。一方、《満足していない》が19.9%と、《満足している》が30.1%上回っている。

【トイレ、遊具等公園施設】は《満足している》が35.0%となっている。一方、《満足していない》が27.7%と、《満足している》が7.3ポイント上回っている。

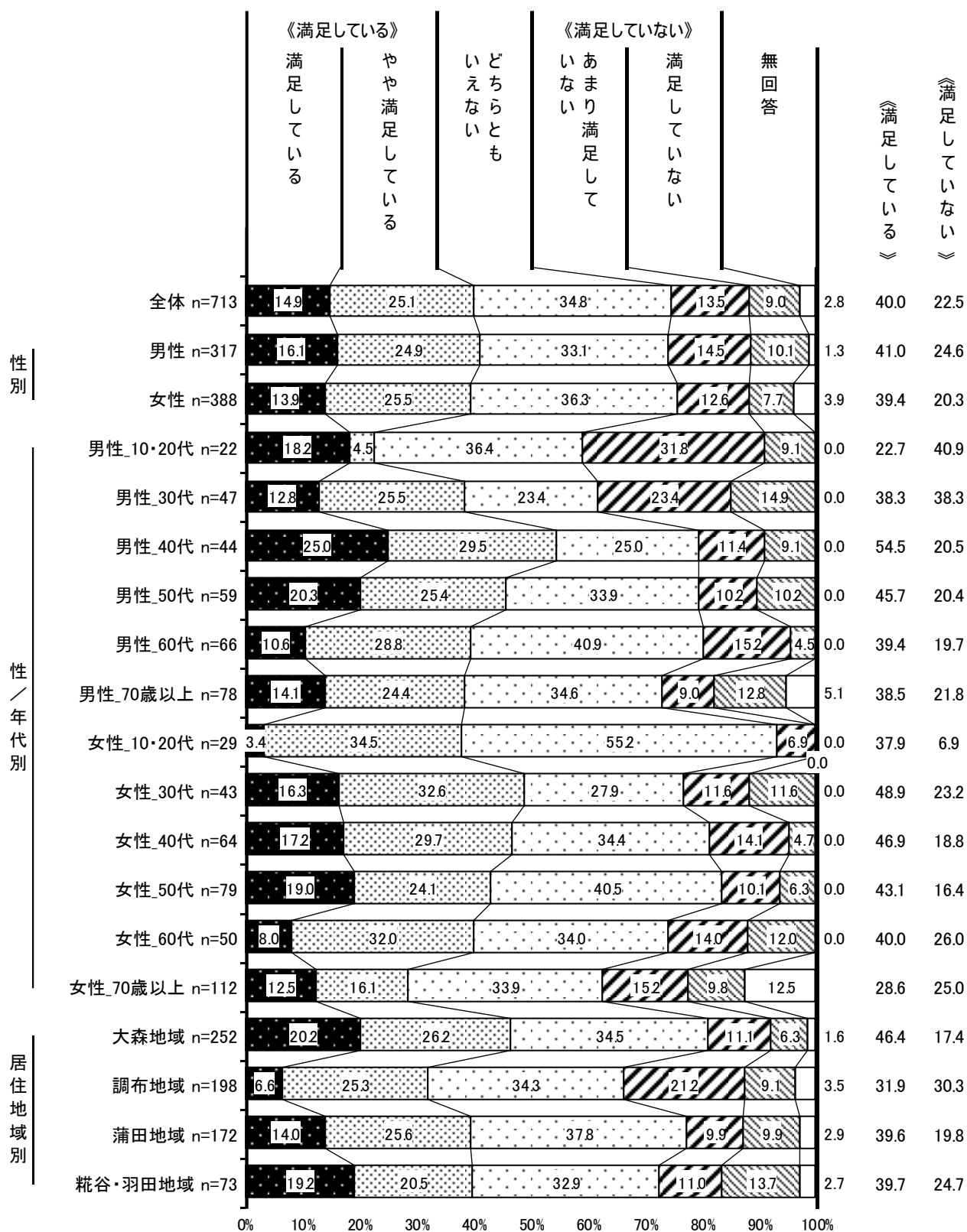


■性別・性／年代別・居住地域別 ①野球場、キャンプ場、アスレチック等がある大きな公園

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《満足している》は男性 40 代で5割前半と高くなっている。一方《満足していない》は男性 30 代で3割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《満足している》は大森地域で4割後半と高くなっている。

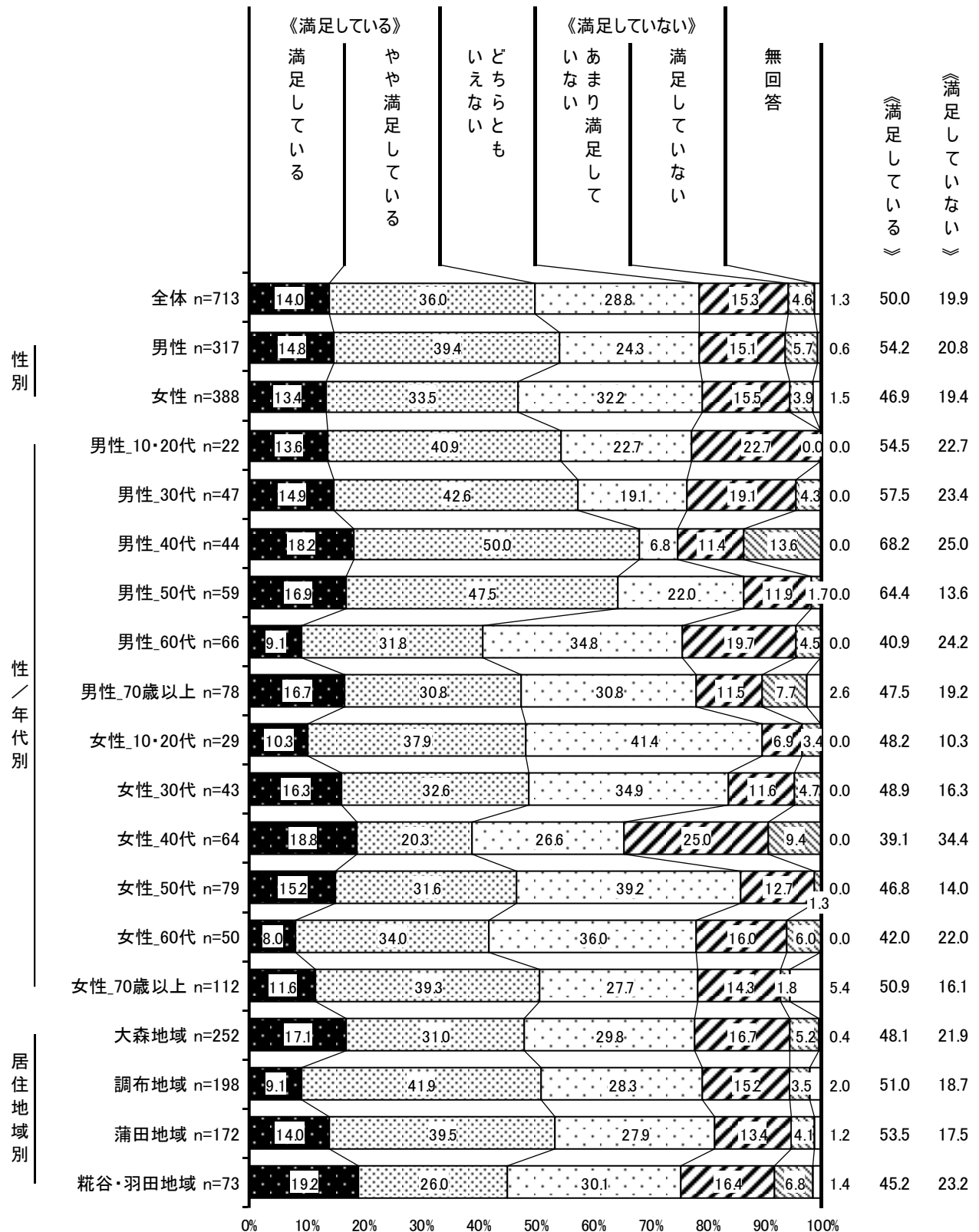


■性別・性／年代別・居住地域別 ②住宅街によくある小さな公園

性別でみると、《満足している》は男性が 54.2%、女性が 46.9%と、男性が 7.3 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足している》は男性 40 代で 6 割後半、男性 50 代で 6 割前半と高くなっている。一方、《満足していない》は女性 40 代で 3 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

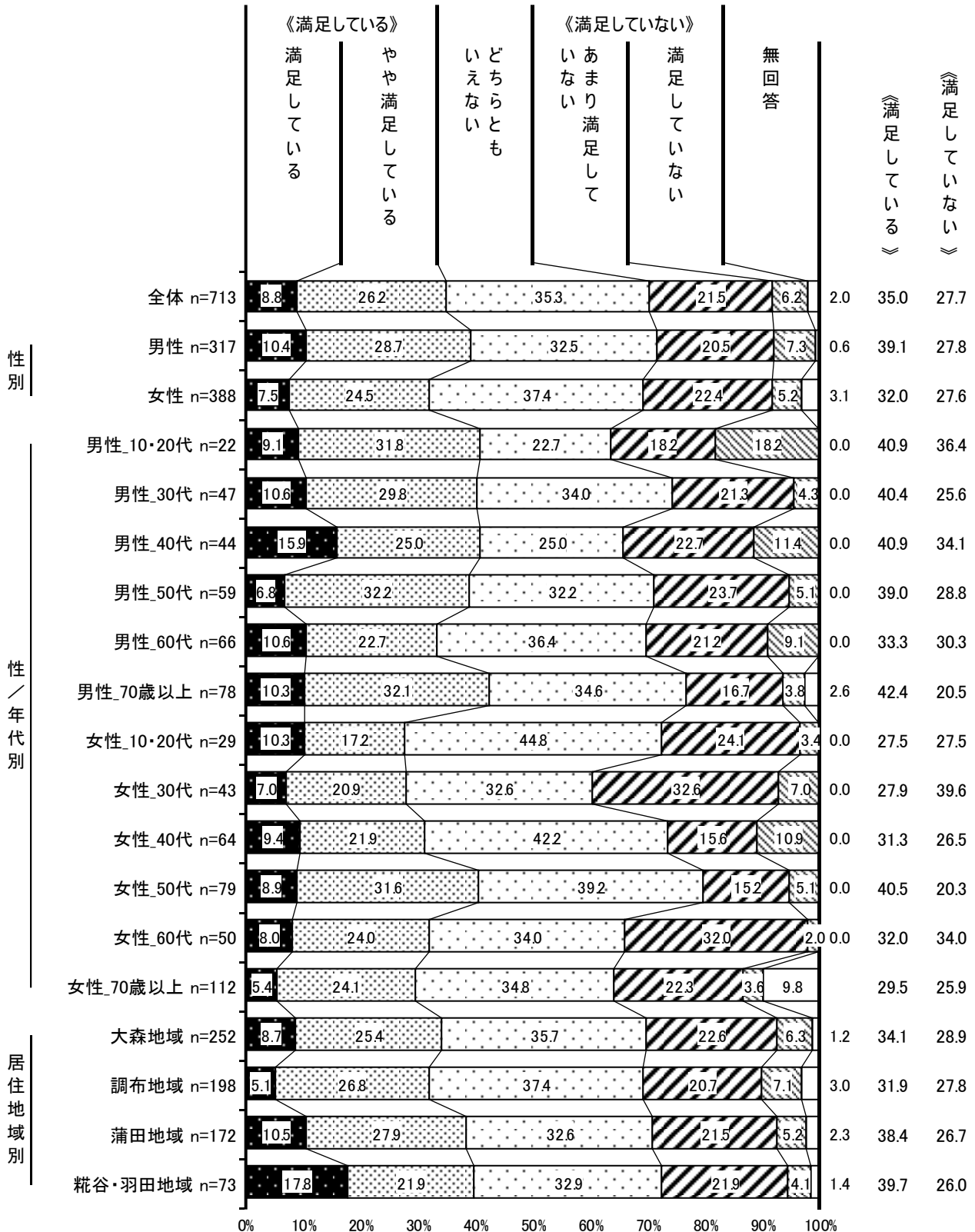


■性別・性／年代別・居住地域別 ③トイレ、遊具等公園施設

性別でみると、《満足している》は男性が 39.1%、女性が 32.0%と、男性が 7.1 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《満足している》は男性 70 歳以上で 4 割前半と高くなっている。一方《満足していない》は女性 30 代で 3 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「満足している」は糞谷・羽田地域で 1 割後半と高くなっている。

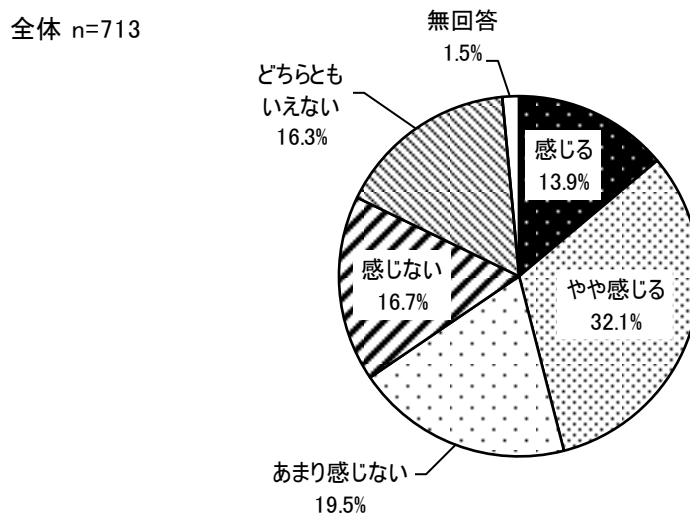


(4) 空港臨海部の魅力の有無

◇《感じる》(「感じる」「やや感じる」の合計値)は4割後半となっている

問 24 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

空港臨海部の魅力の有無については、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が46.0%となっている。一方、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が36.2%と、《感じる》が9.8ポイント上回っている。

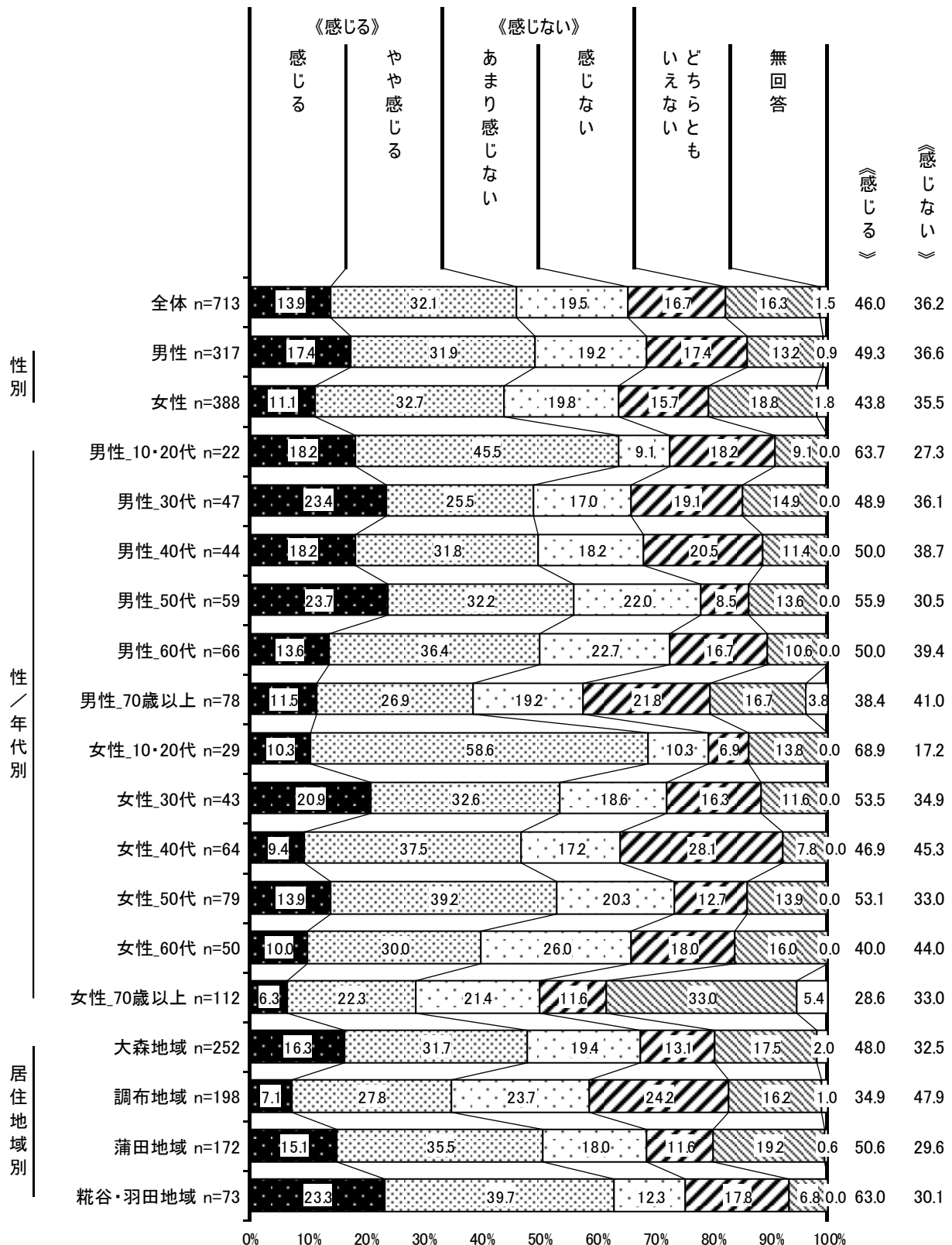


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》は男性が49.3%、女性が43.8%と、男性が5.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は男性50代で5割半ば、女性30代、50代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は梶谷・羽田地域で6割前半と高くなっている。

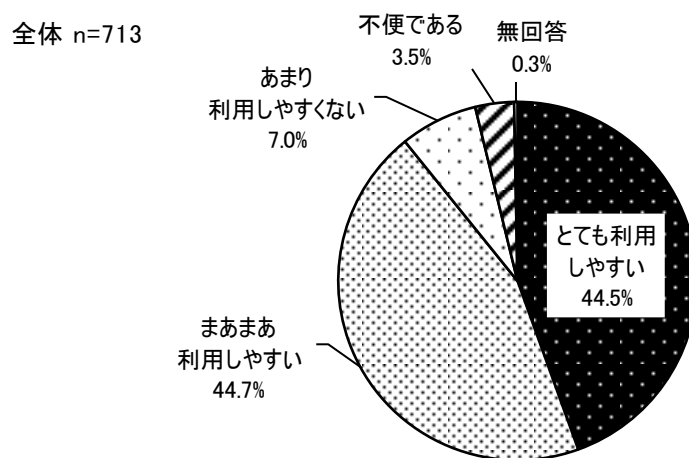


(5) 公共交通機関の利用しやすさ

◇《利用しやすい》(「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」の合計値)は8割後半となっている

問 25 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

公共交通機関の利用しやすさについては、「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」の合計値《利用しやすい》が89.2%となっている。一方、「あまり利用しやすくない」、「不便である」の合計値《利用しやすくない》が10.5%と、《利用しやすい》が78.7ポイント上回っている。

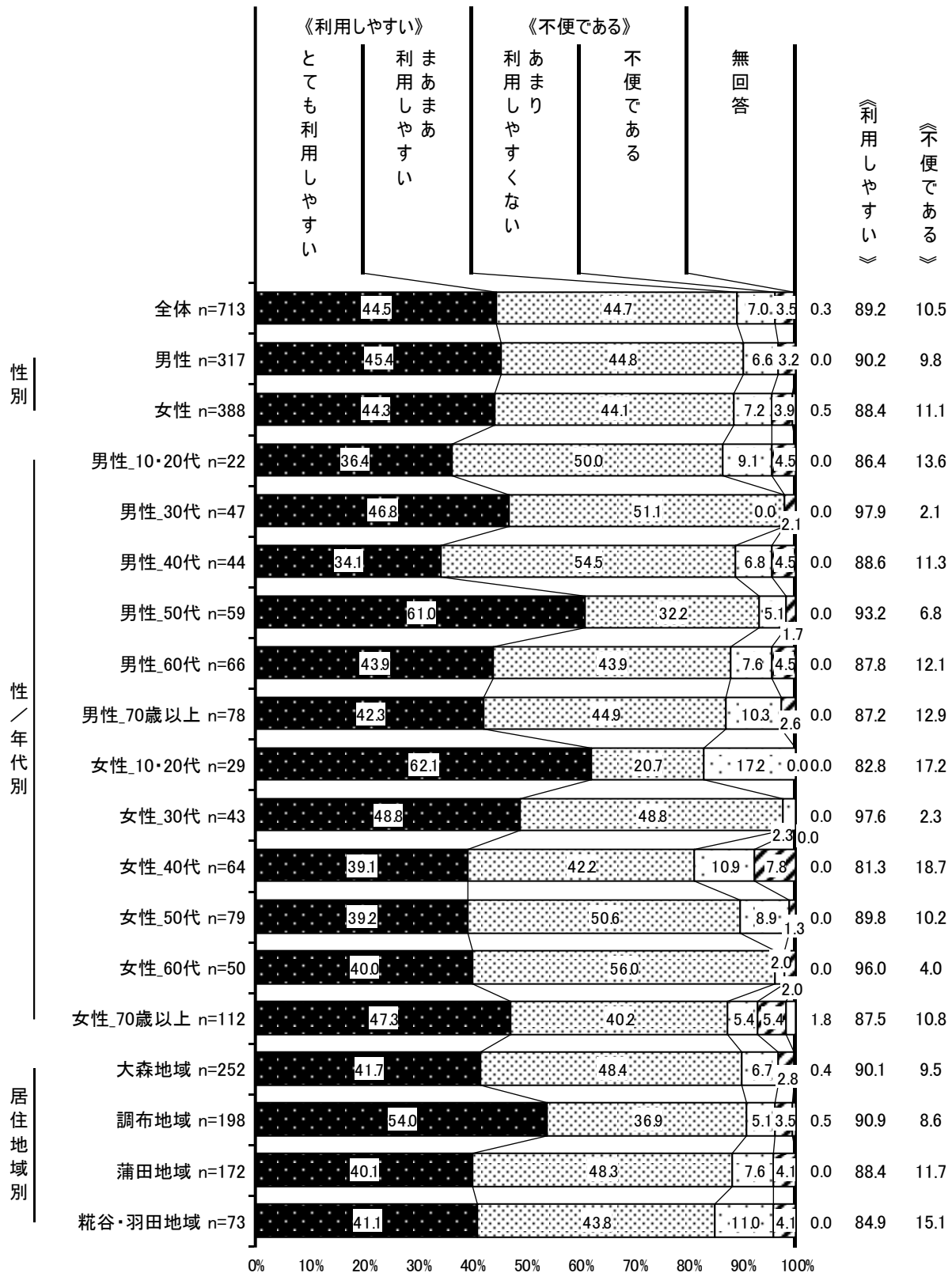


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《利用しやすい》は男性 30 代、女性 30 代、60 代で 9 割後半と高く、「とても利用しやすい」は男性 50 代で 6 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《利用しやすい》に大きな差はみられないが、「とても利用しやすい」は調布地域で 5 割前半と高くなっている。

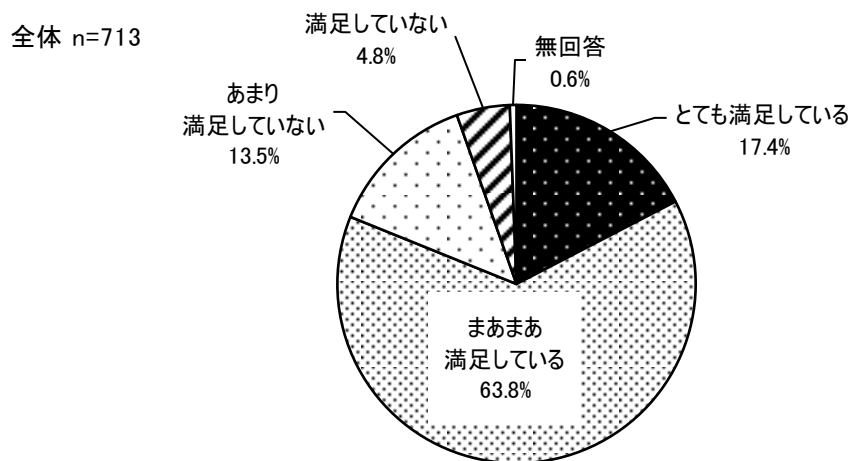


(6) 公共交通網の満足度

◇《満足している》(「とても満足している」「まあまあ満足している」の合計値)は8割前半となっている

問 26 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

公共交通網の満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が81.2%となっている。一方、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が18.3%と、《満足している》が62.9ポイント上回っている。

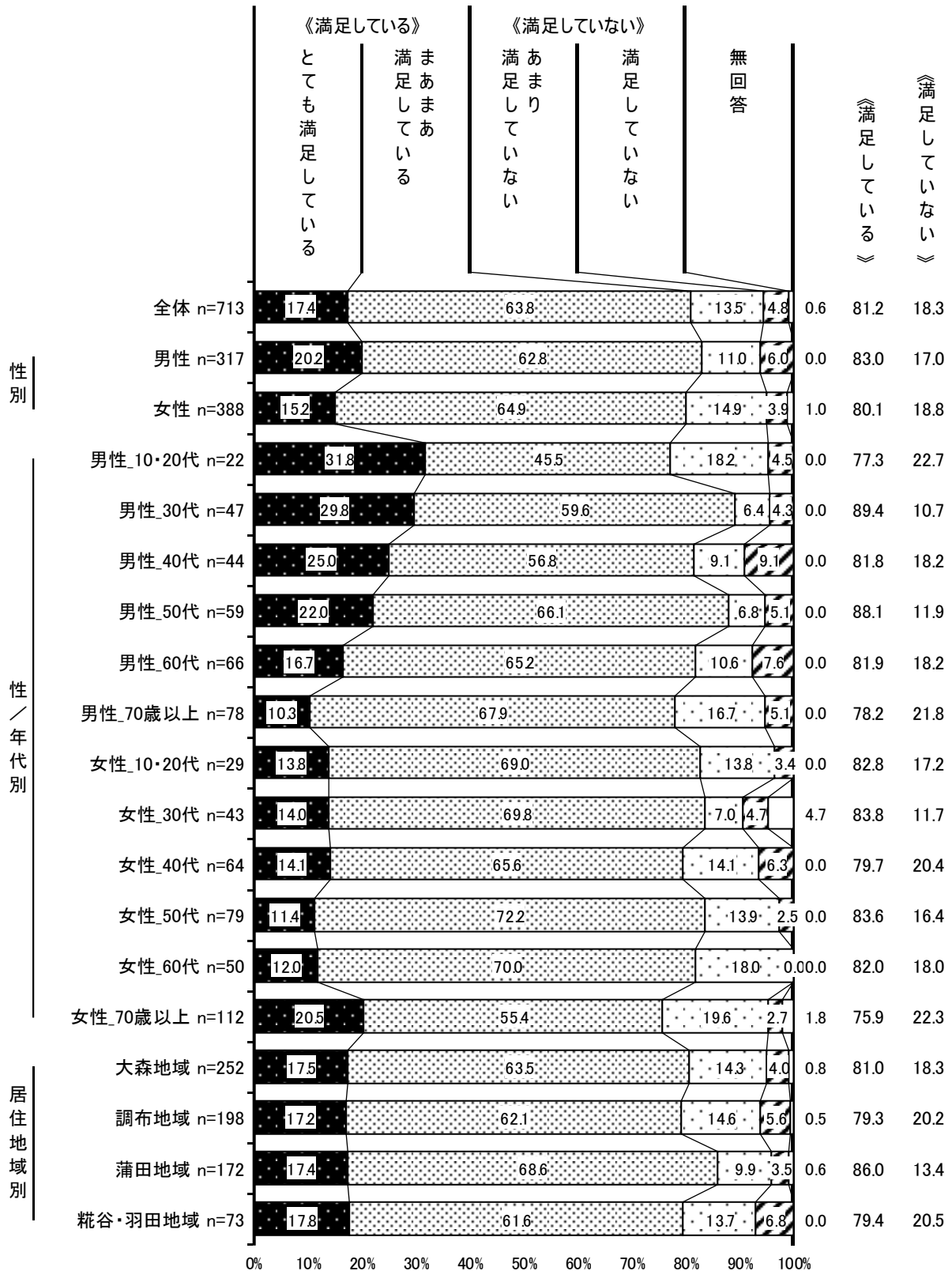


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《満足している》に大きな差はみられないが、「とても満足している」は男性が20.2%、女性が15.2%と、男性が5.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「とても満足している」は男性では年代が下がるにつれて高くなっており、男性30代で2割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



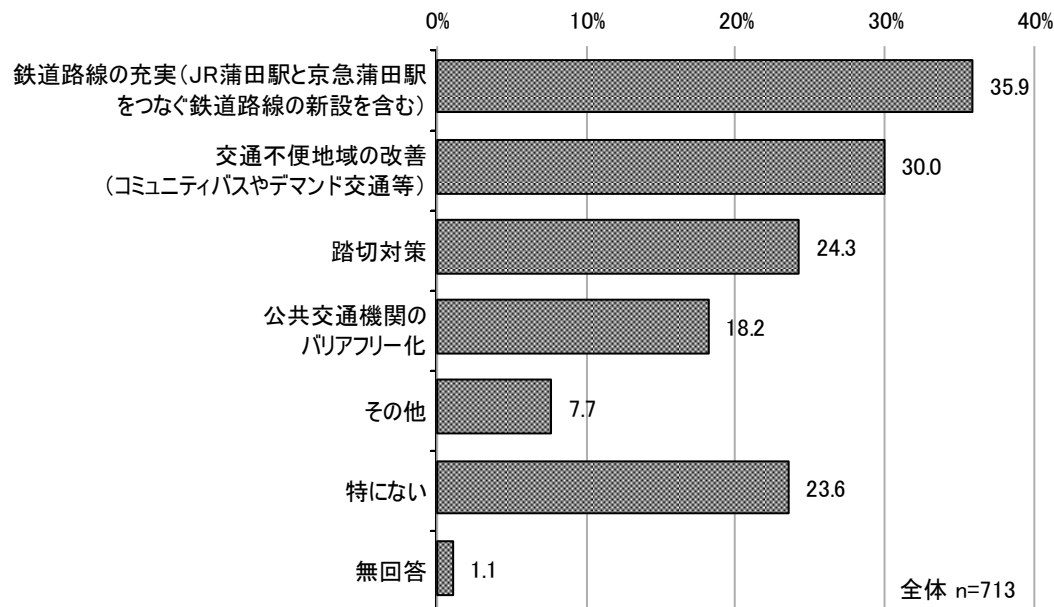
(7) 早期実現を望む大田区内の公共交通対策

◇「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が3割半ばで最も高くなっている

問 27 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。（複数選択可）

早期実現を望む大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が 35.9%で最も高く、次いで「交通不便地域の改善（コミュニティバスやデマンド交通等）」が 30.0%、「踏切対策」が 24.3%、「公共交通機関のバリアフリー化」が 18.2%となっている。

なお、「特にない」は 23.6%となっている。

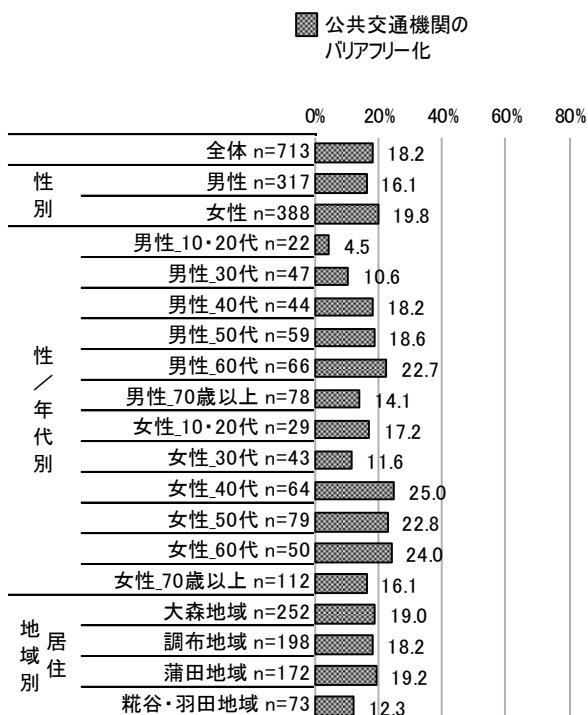
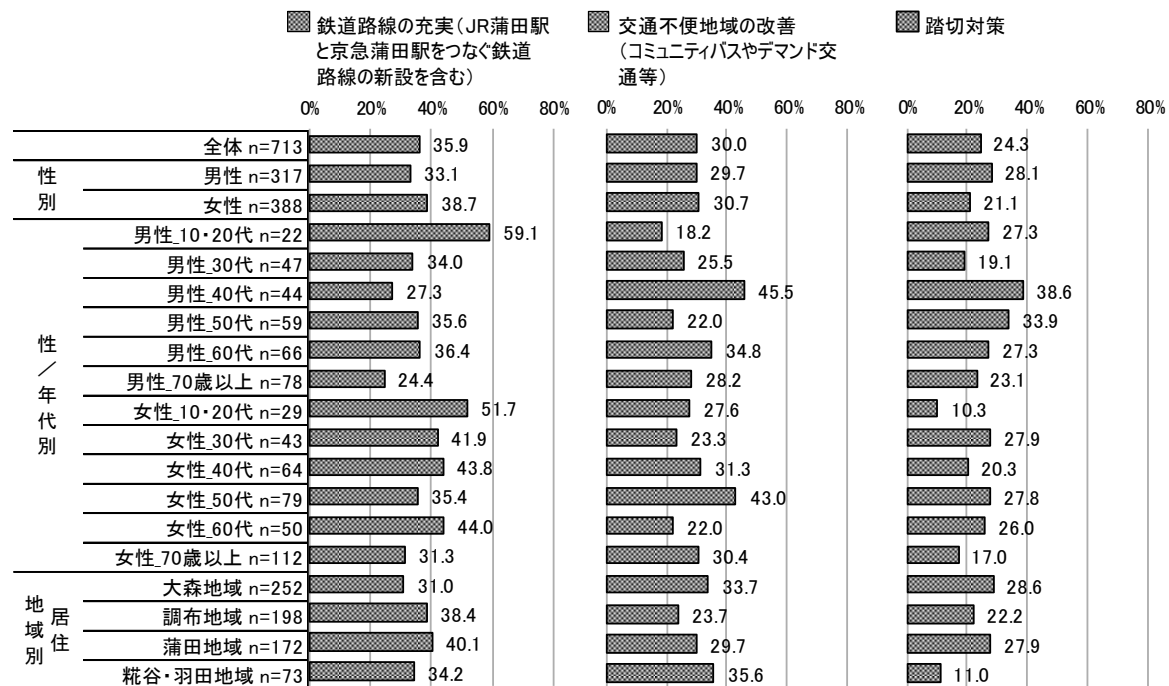


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」は男性が 33.1%、女性が 38.7%と、女性が 5.6 ポイント、「踏切対策」は男性が 28.1%、女性が 21.1%と、男性が 7.0 ポイント、それぞれ上回っている。

性／年代別でみると、「交通不便地域の改善（コミュニティバスやデマンド交通等）」は男性 40 代、女性 50 代で 4 割台と高くなっている。「踏切対策」は男性 40 代で 3 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、調布地域、蒲田地域では「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が最も高く、大森地域、糎谷・羽田地域では「交通不便地域の改善（コミュニティバスやデマンド交通等）」が最も高くなっている。

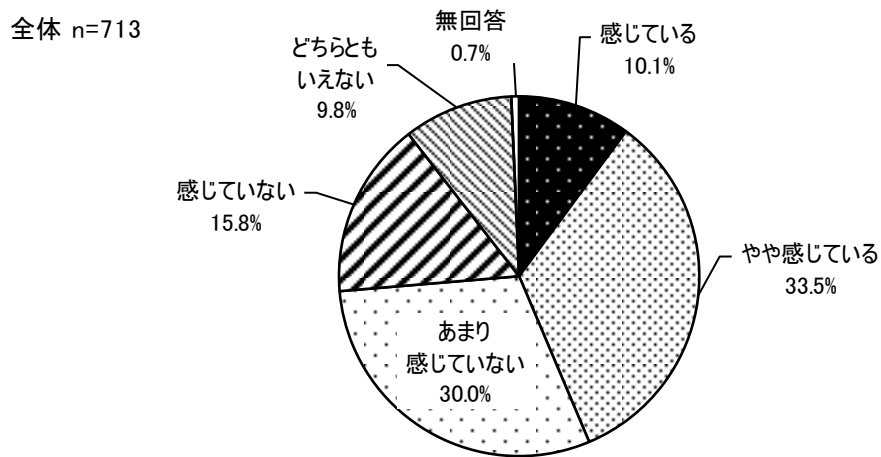


(8) 駅周辺の整備の進捗度

◇《感じている》(「感じている」、「やや感じている」の合計値)は4割前半となっている

問 28 区は、「大田区鉄道沿線まちづくり構想」において示した、沿線のまちの将来像やその実現に向けた道筋に基づき、官民が協働し、地域特性や限られた空間を最大限有効に活用しながら、安全かつ快適で利便性の高い個性的な都市空間を創出するよう取り組んでいます。現在、大田区内の駅周辺の整備が進んでいると感じますか。(1つのみ)

駅周辺の整備の進捗度については、「感じている」、「やや感じている」の合計値《感じている》が43.6%となっている。一方、「あまり感じていない」、「感じていない」の合計値《感じていない》が45.8%と、《感じていない》が2.2ポイント上回っている。

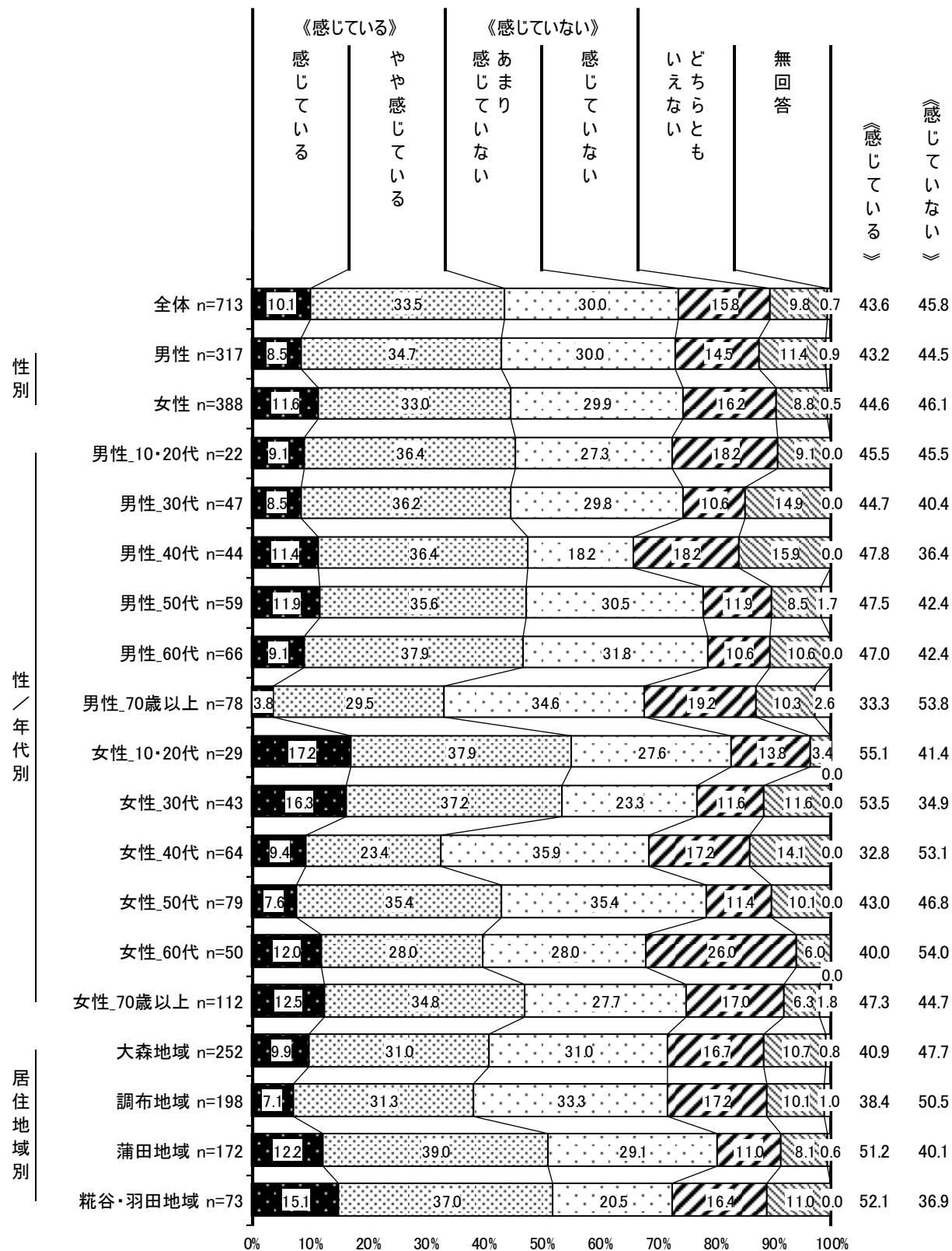


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《感じている》は女性 30 代で 5 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じている》は蒲田地域、糀谷・羽田地域で 5 割前半と高くなっている。

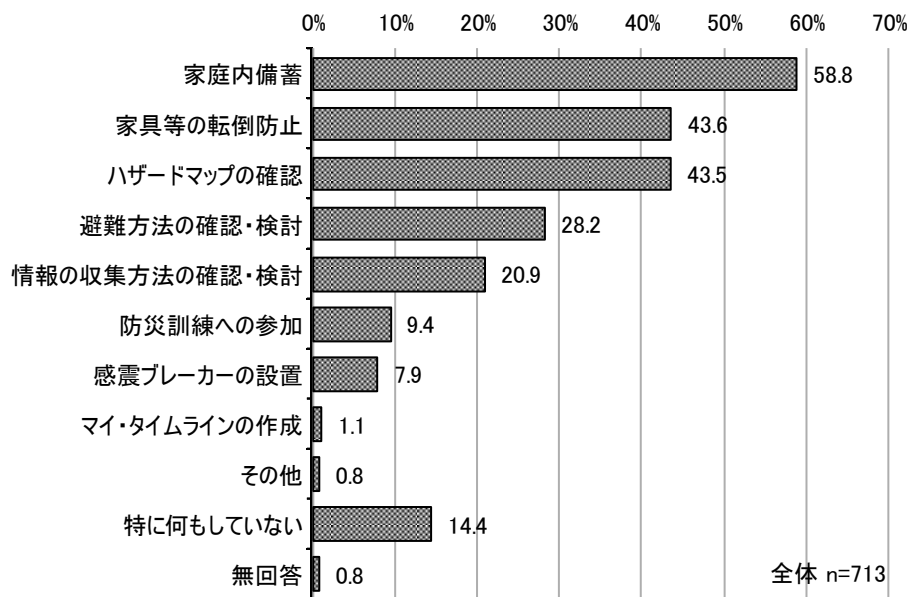


(9) 災害から身を守るための取組

◇「家庭内備蓄」が5割後半で最も高くなっている

問 29 災害から身を守るためにどのような取組をしていますか。(複数選択可)

災害から身を守るための取組については、「家庭内備蓄」が58.8%で最も高く、次いで「家具等の転倒防止」が43.6%、「ハザードマップの確認」が43.5%となっている。

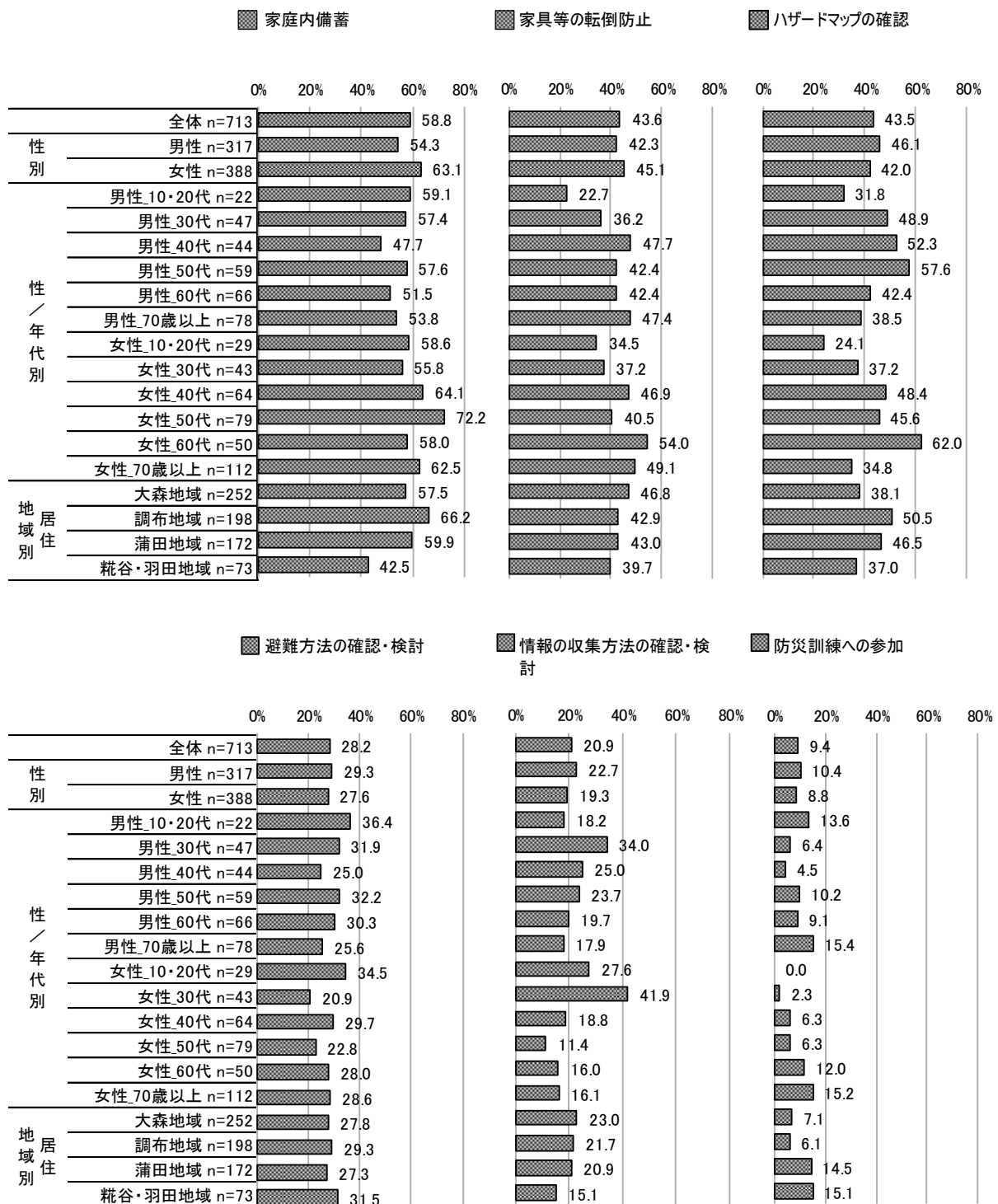


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「家庭内備蓄」は男性が54.3%、女性が63.1%と、女性が8.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「家庭内備蓄」は女性50代で7割前半と高くなっている。「ハザードマップの確認」は女性60代で6割前半、男性50代で5割後半と高くなっている。「情報の収集方法の確認・検討」は女性30代で4割前半、男性30代で3割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「家庭内備蓄」は調布地域で6割後半と高くなっている。「ハザードマップの確認」は調布地域で約5割と高くなっている。



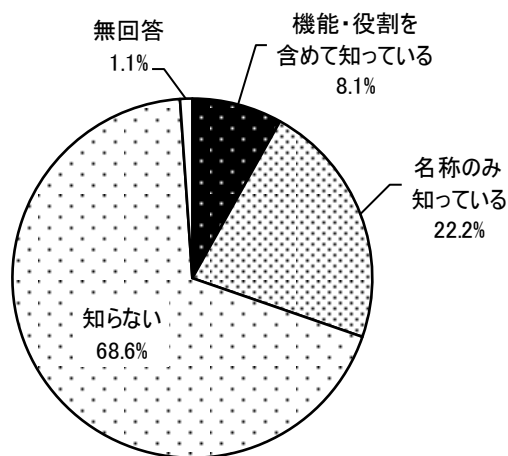
(10) 災害時の緊急医療開設場所の認知度

◇「機能・役割を含めて知っている」は1割未満となっている

問 30 「緊急医療救護所」は、大規模地震発生時に、病院の門前などで傷病者の治療の優先度をつけたり、軽症者の治療を行うために設置されます。あなたは緊急医療救護所を知っていますか。(1つのみ)

災害時の緊急医療開設場所の認知度については、「知らない」が68.6%で最も高く、次いで「名称のみ知っている」が22.2%、「機能・役割を含めて知っている」が8.1%となっている。

全体 n=713

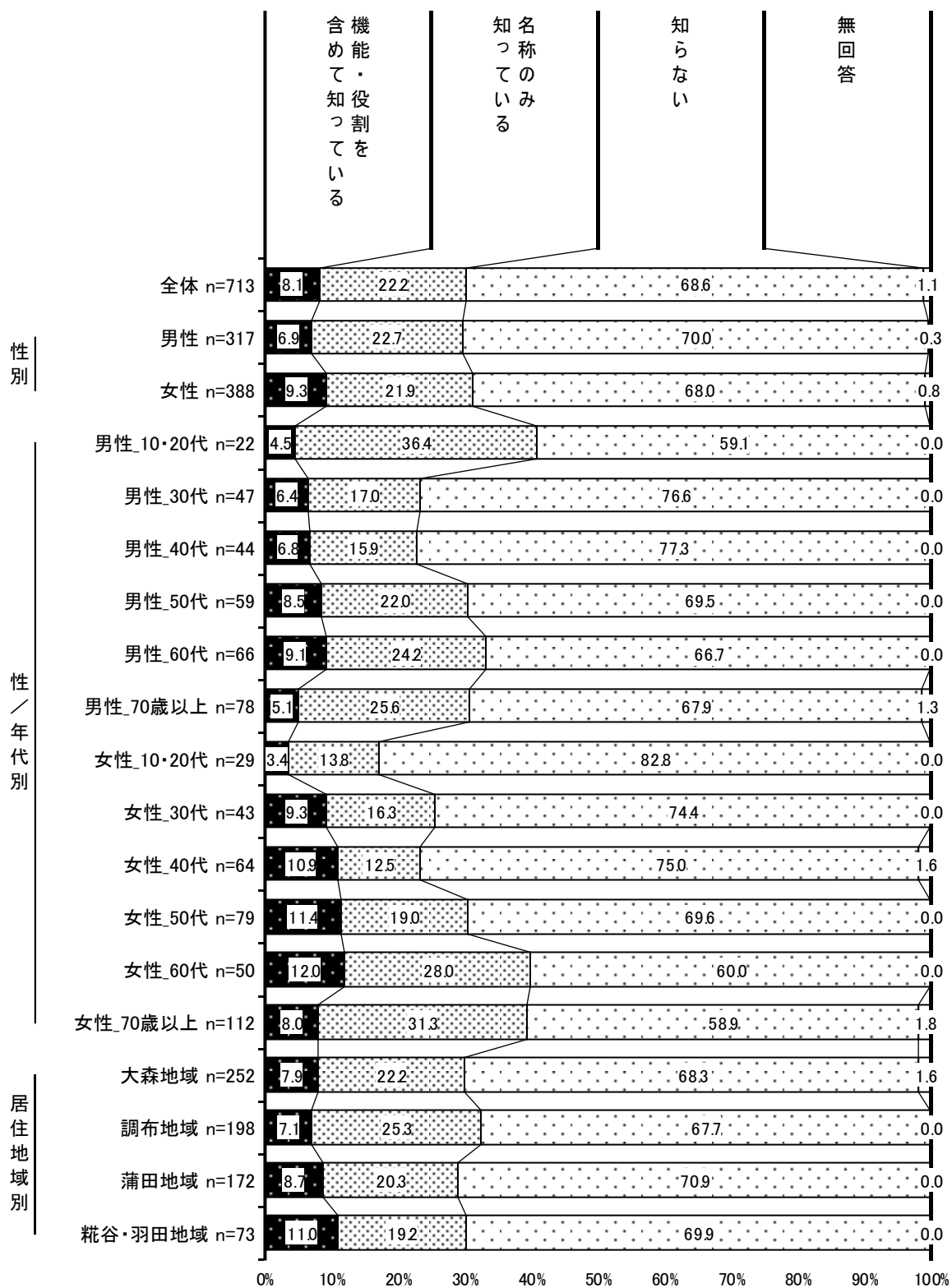


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「知らない」は男性、女性ともに30代、40代で7割台と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



(11) 大田区立消費者生活センターの認知度

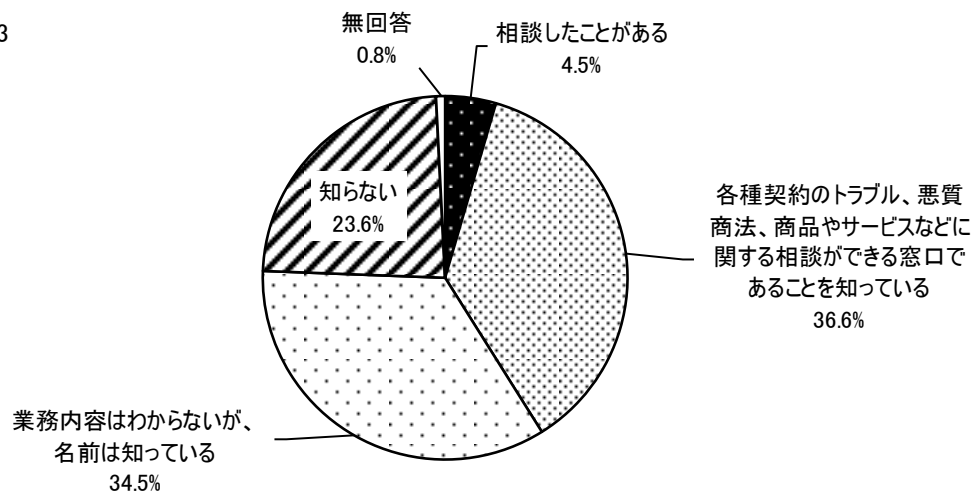
◇「相談したことがある」は1割未満となっている

問 31 あなたは大田区立消費者生活センターを知っていますか。(1つのみ)

大田区立消費者生活センターの認知度については、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が 36.6%で最も高く、次いで「業務内容はわからないが、名前は知っている」が 34.5%、「知らない」が 23.6%となっている。

なお、「相談したことがある」は 4.5%となっている。

全体 n=713

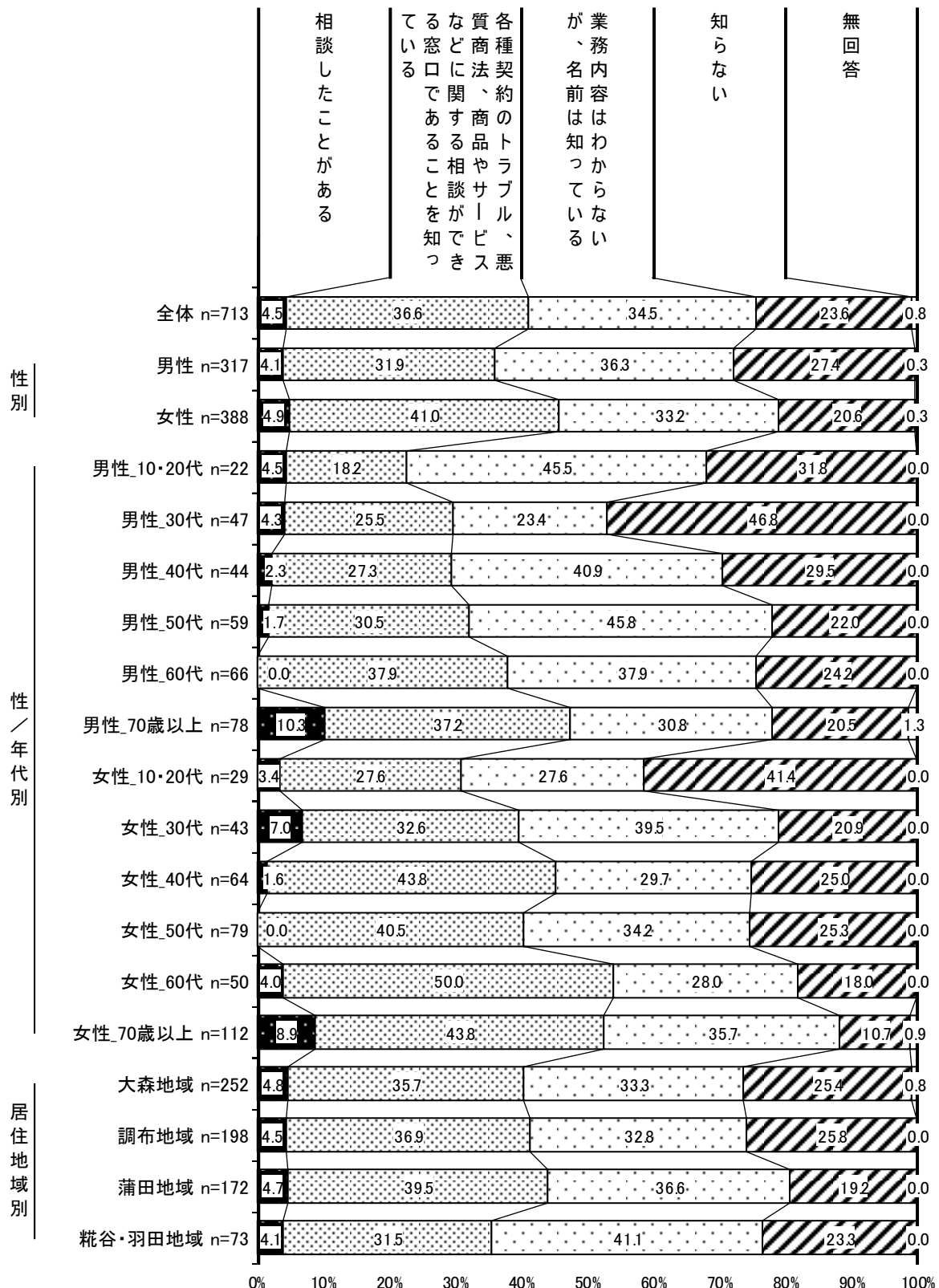


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」は男性が 31.9%、女性が 41.0%と、女性が 9.1 ポイント、「知らない」は男性が 27.4%、女性が 20.6%と、男性が 6.8 ポイント、それぞれ上回っている。

性／年代別でみると、「相談したことがある」は男性 70 歳以上で約 1 割と高くなっている。「知らない」は男性 30 代で 4 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「相談したことがある」はすべての地域で 1 割未満となっている。



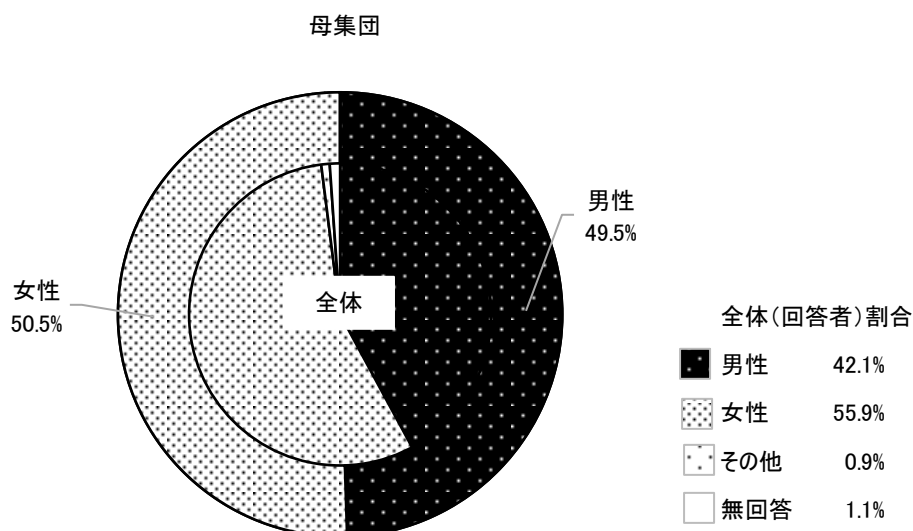
IV ③各種計画に掲げる施策の検証に係る調査

1 回答者の属性について

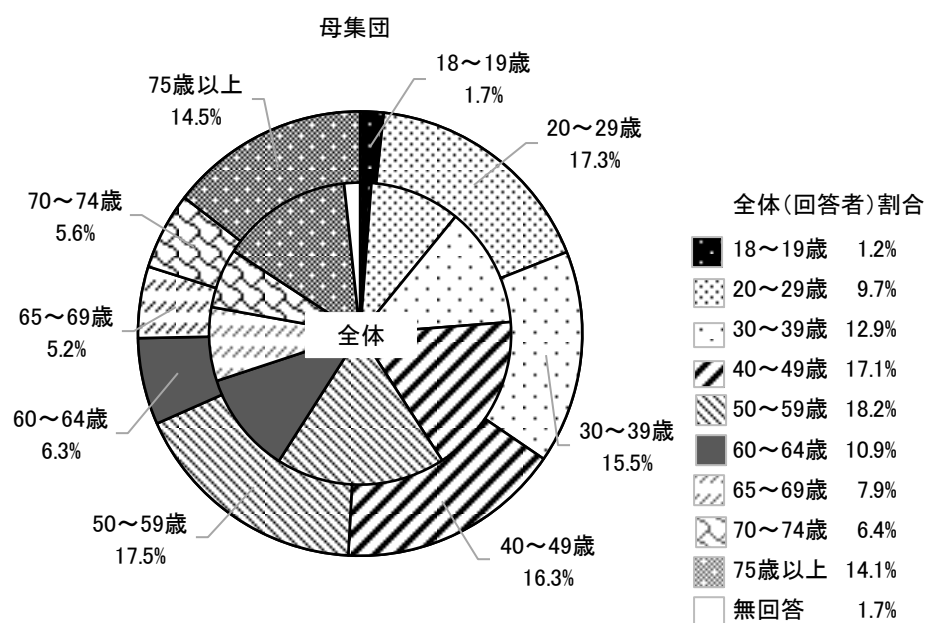
(1) 性別

全体：大田区の18歳以上の人口（ $n=648,724$ ）※令和6年7月1日

回答者：有効回収数（ $n=660$ ）



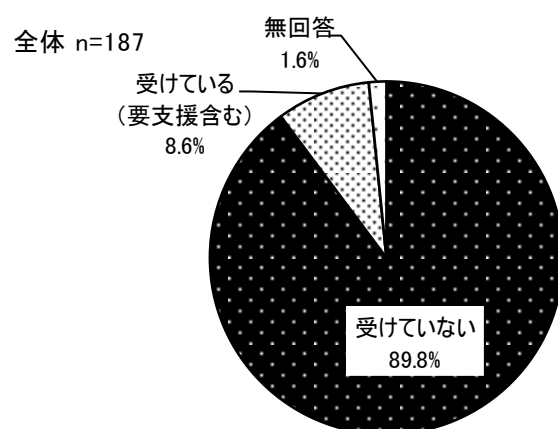
(2) 年齢



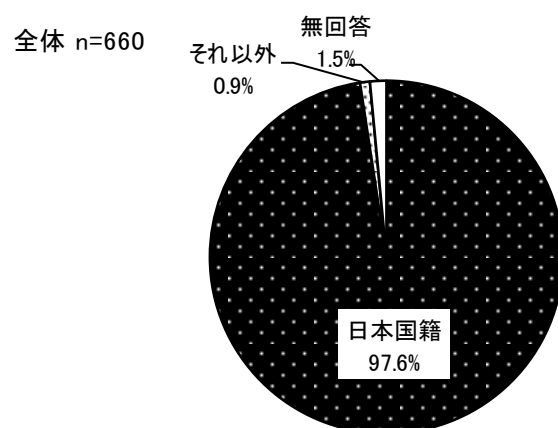
【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人＋外国人）令和6年7月1日現在版

(3) 要介護認定の状況

【65歳以上の方】



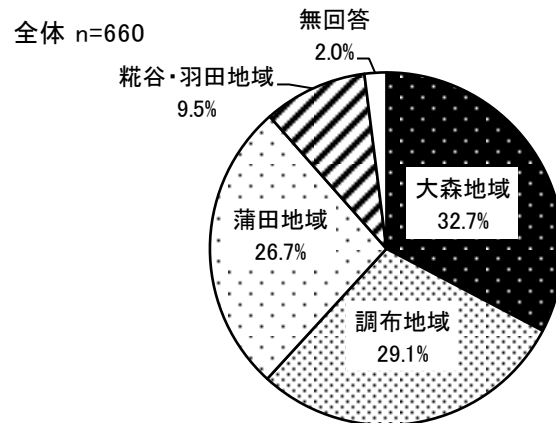
(4) 国籍



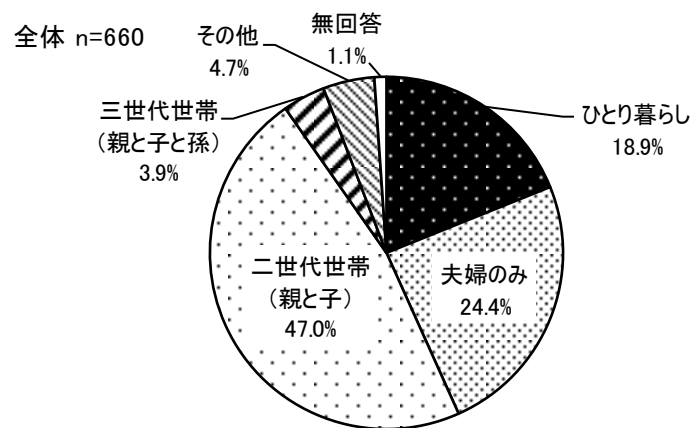
■日本国籍以外

国名	中国	ネパール	フィリピン	ベトナム	無回答
人数	2	1	1	1	0

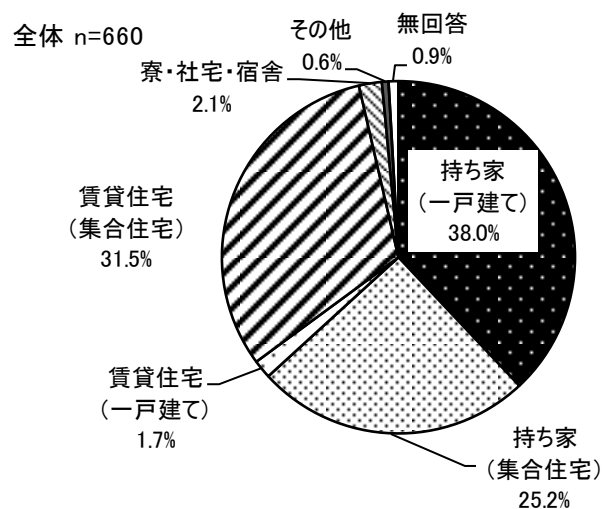
(5) 居住地域



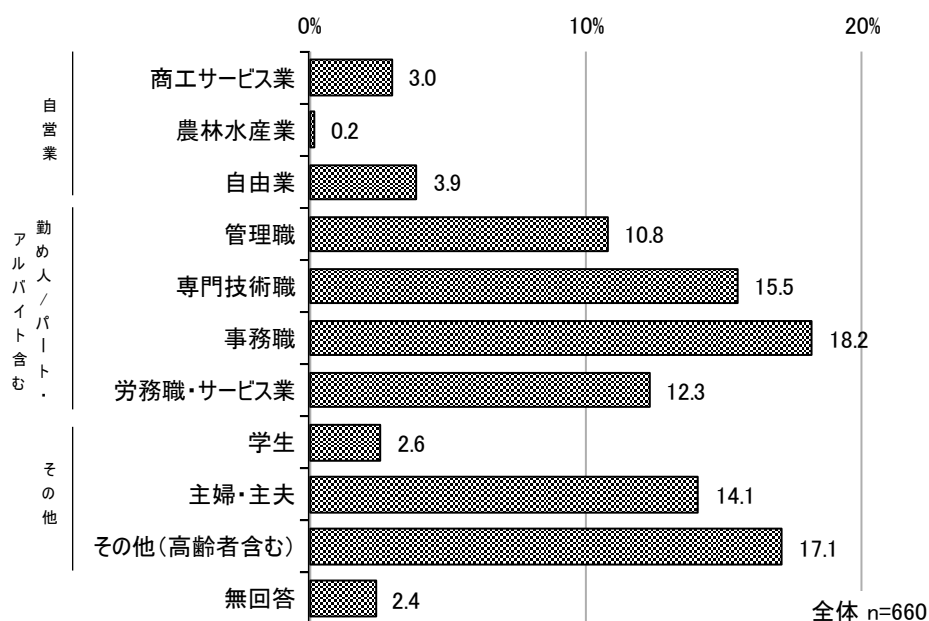
(6) 家族構成



(7) 住まいの種類

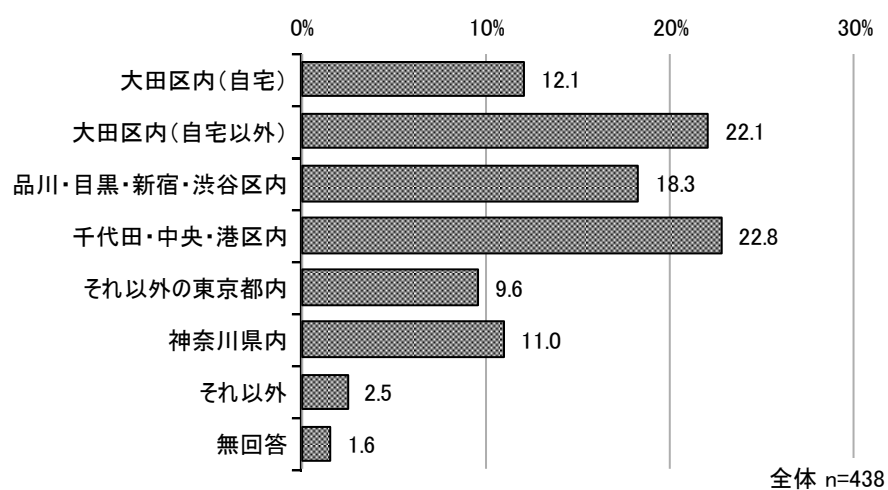


(8) 職業

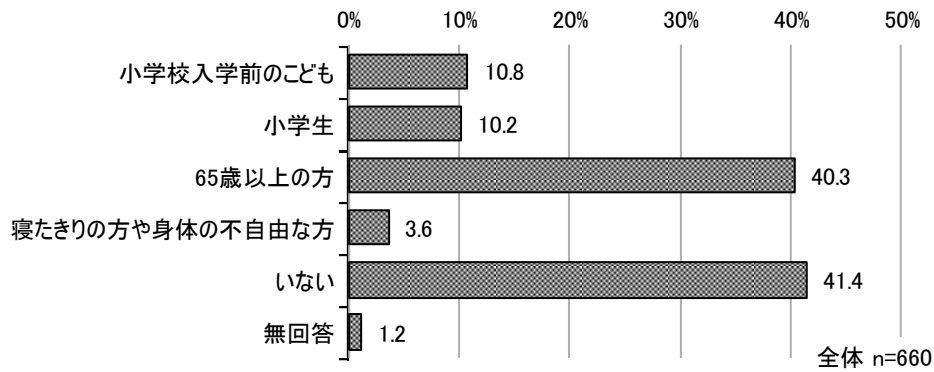


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】



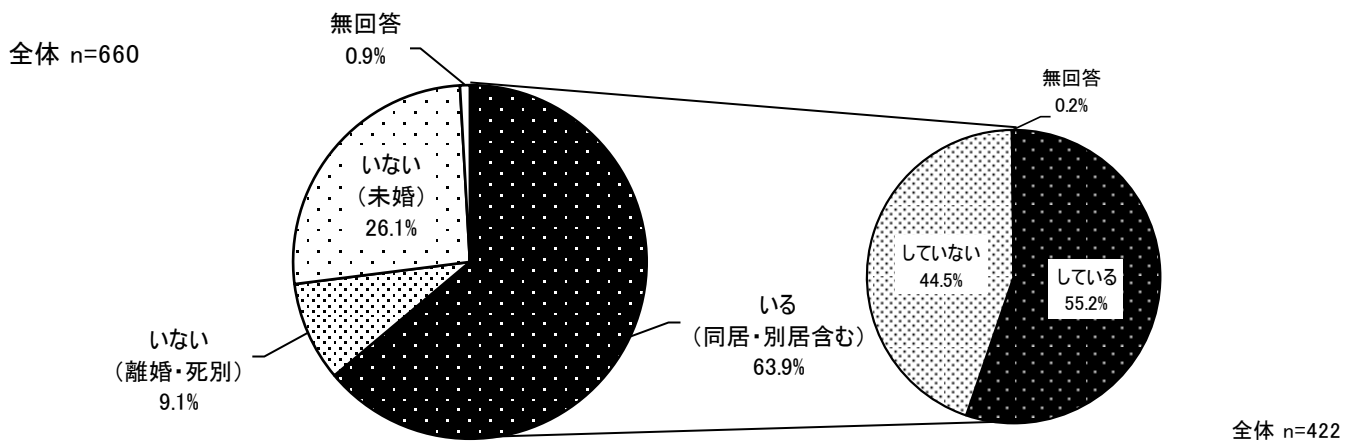
(10) 同居家族



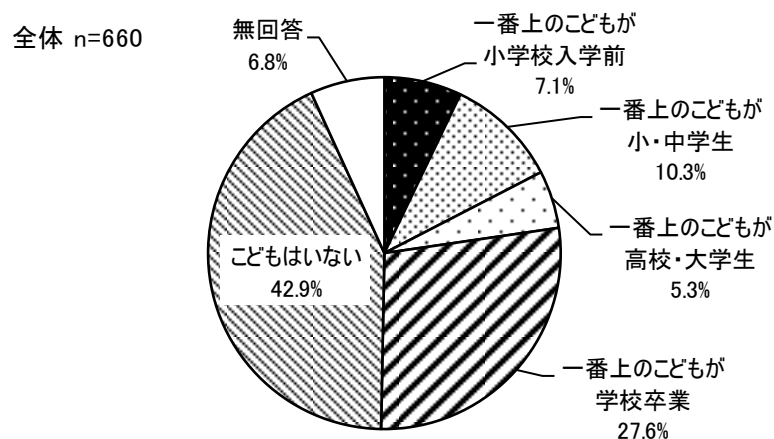
(11) 配偶者の有無

(12) 共働きの状況

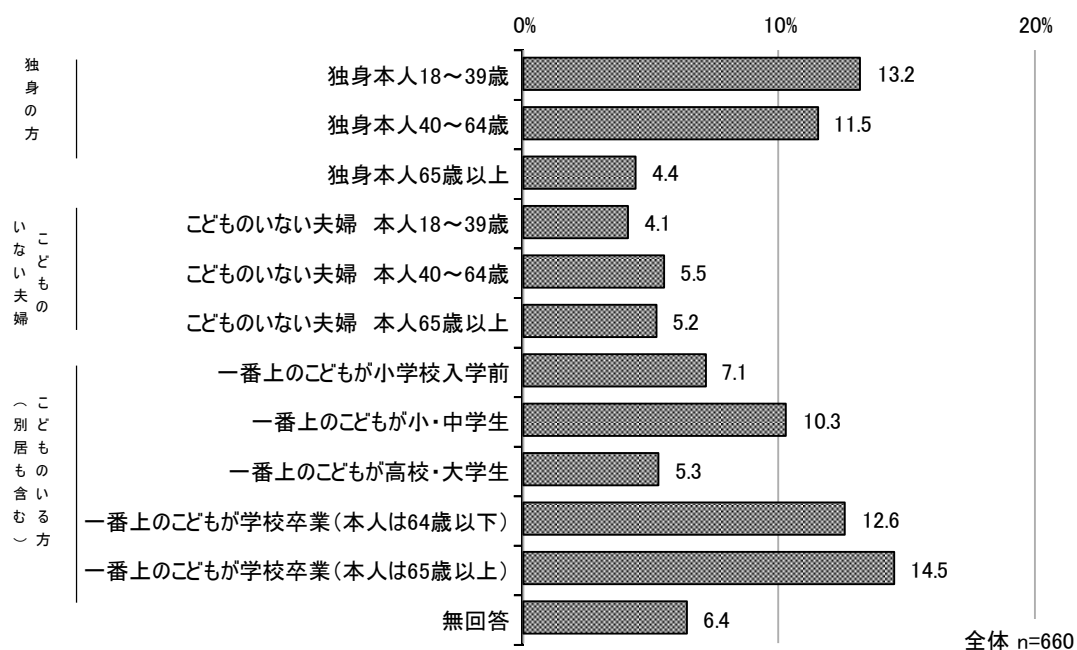
【(11) 配偶者の有無で「いる（同居・別居含む）」と回答した方】



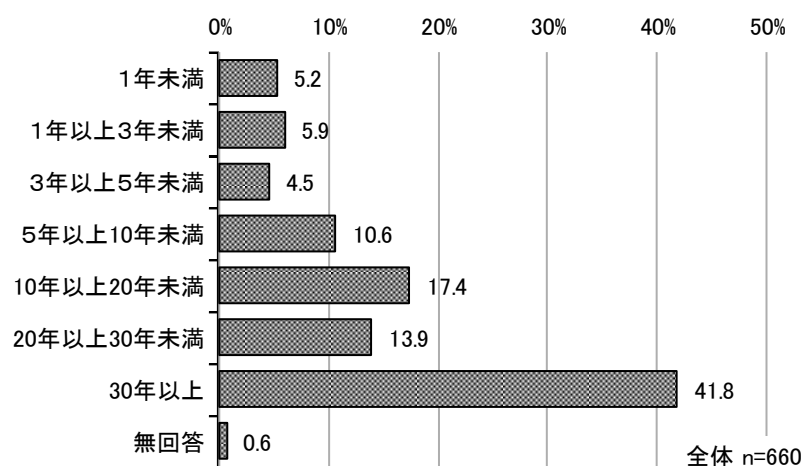
(13) こどもの有無



(14) ご自身のステージ



(15) 大田区にお住まいの期間



2 SDGs について

(1) SDGs の認知度

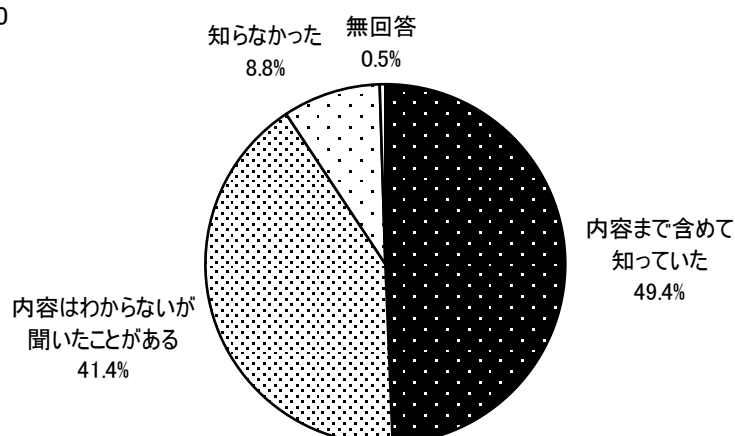
◇「内容まで含めて知っていた」が4割後半と最も高くなっている

問1 SDGs は、2015 年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことです。SDGs は、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、貧困、飢餓、環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、目標達成のための17のゴールとその課題ごとに設定された169のターゲット（達成基準）から構成されます。

SDGs について知っていましたか。(1つのみ)

SDGs の認知度については、「内容まで含めて知っていた」が 49.4%で最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことがある」が 41.4%、「知らなかった」が 8.8%となっている。

全体 n=660

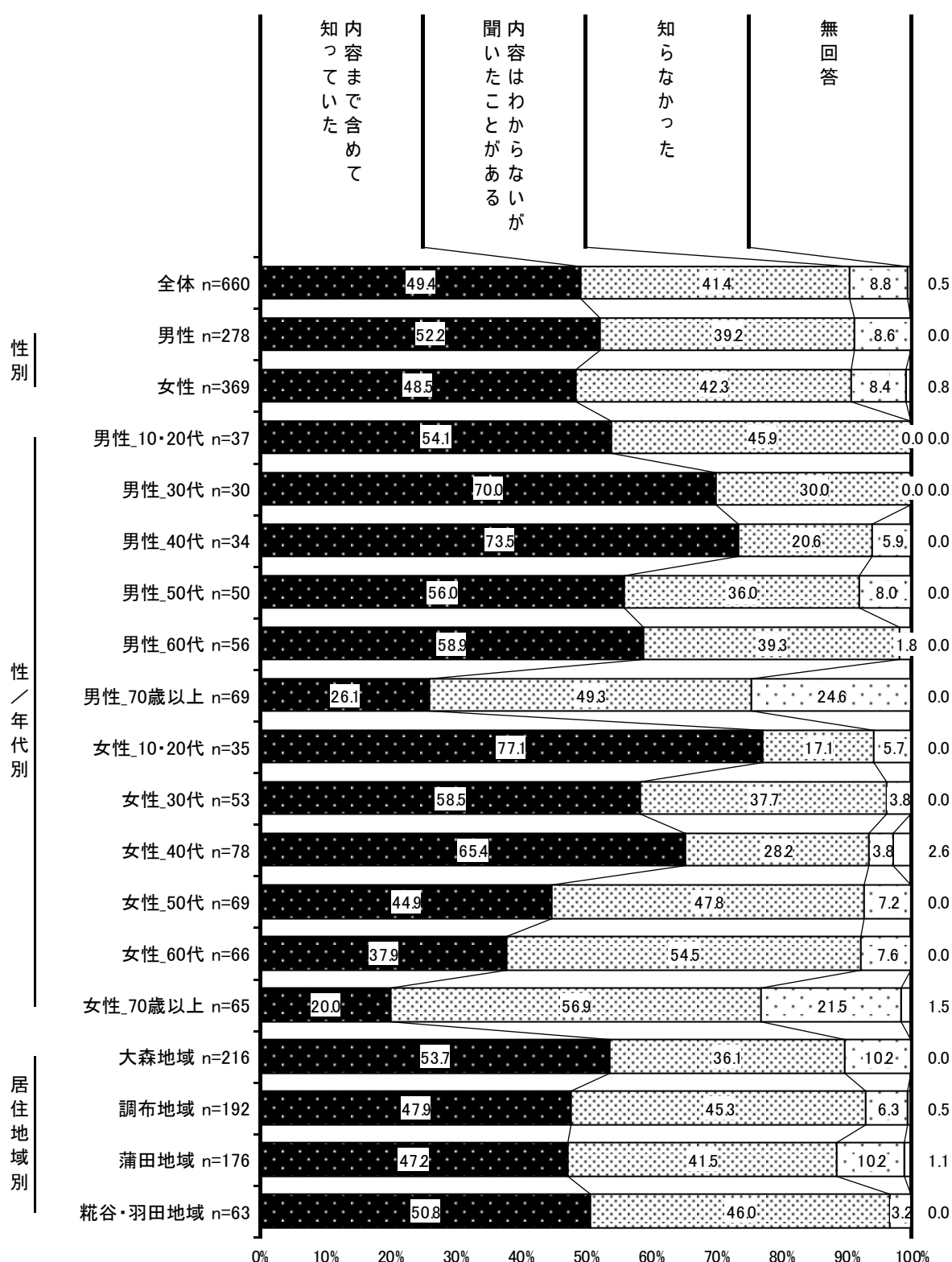


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「内容まで含めて知っていた」は男性 30 代、40 代、女性 10・20 代で 7 割台、女性 40 代で 6 割半ばと高くなっている。一方、「知らなかった」は男性、女性ともに 70 歳以上で 2 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「内容まで含めて知っていた」は大森地域で 5 割前半となっている。



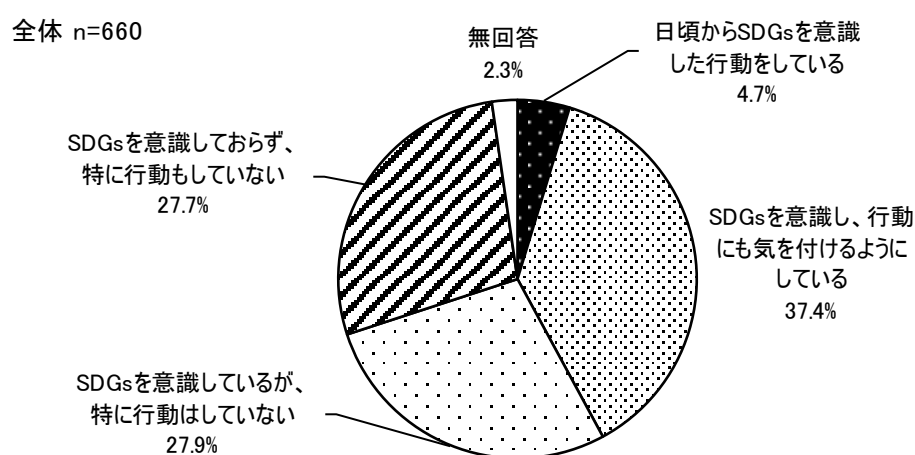
(2) SDGs に関する意識と行動

◇「日頃から SDGs を意識した行動をしている」は1割未満となっている

問2 SDGs に関する意識と行動についてご回答ください。(1つのみ)

SDGs に関する意識と行動については、「SDGs を意識し、行動にも気を付けるようにしている」が 37.4%と最も高く、次いで「SDGs を意識しているが、特に行動はしていない」が 27.9%、「SDGs を意識しておらず、特に行動もしていない」が 27.7%となっている。

なお、「日頃から SDGs を意識した行動をしている」は 4.7%となっている。

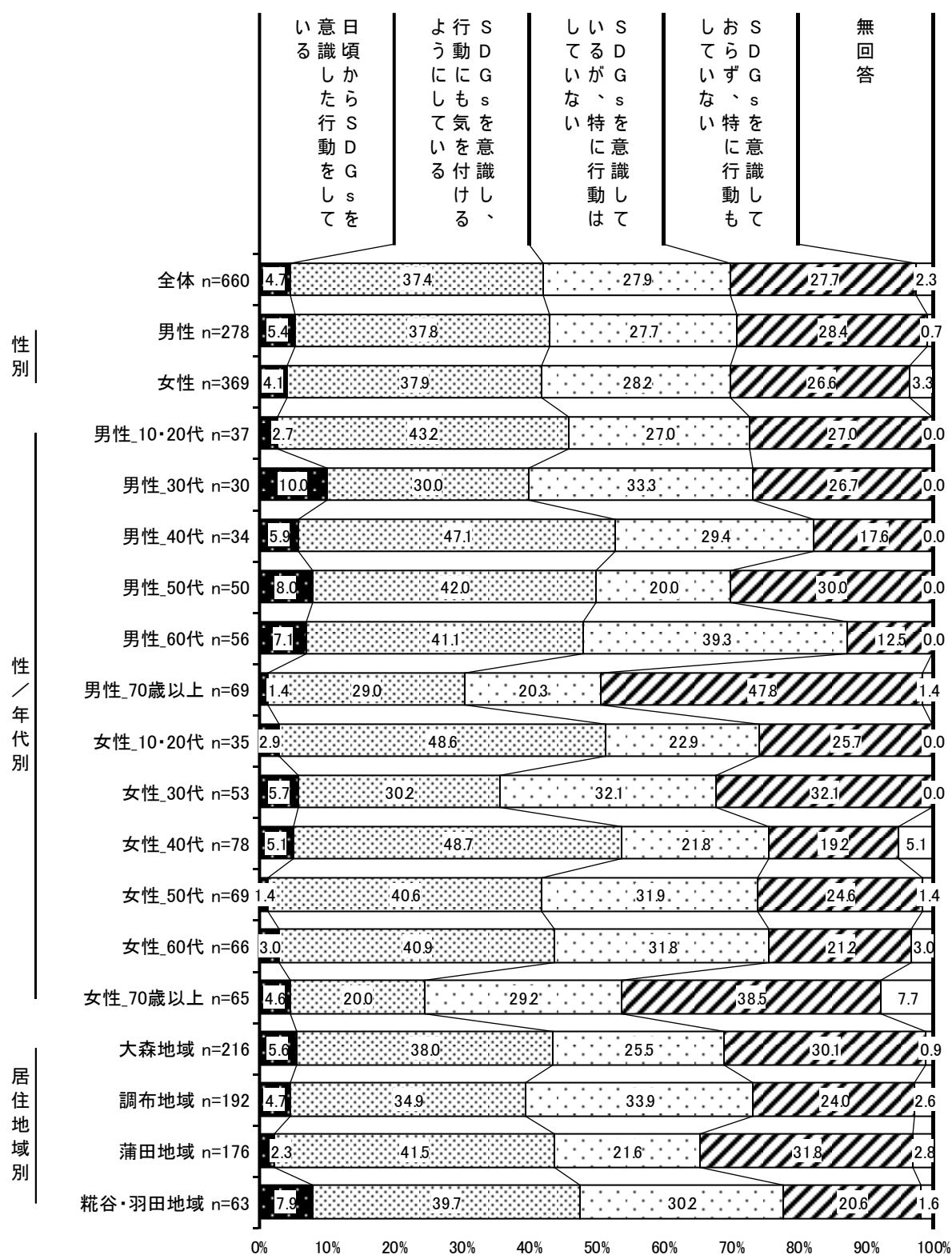


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「SDGs を意識しておらず、特に行動もしていない」は男性 70 歳以上で 4 割後半、女性 70 歳以上で 3 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「日頃から SDGs を意識した行動をしている」はすべての地域で 1 割未満となっている。



(3) SDGs に関する行動をしていない理由

◇1位～3位の総合では、「具体的に何をすればよいのかわからない」が7割前半で最も高くなっている

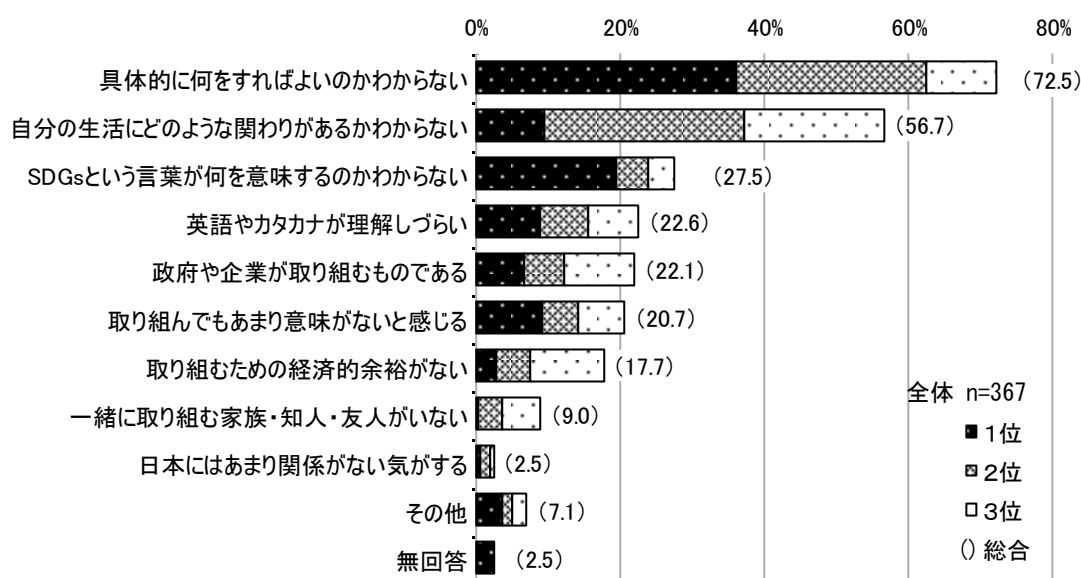
【問2 で「3 SDGs を意識しているが、特に行動はしていない」「4 SDGs を意識しておらず、特に行動もしていない」と回答した方に伺います。】

問2-1 SDGs に関する行動をしていない理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号を下の回答欄にご記入ください。)

SDGs に関する行動をしていない理由については、1位の理由は「具体的に何をすればよいのかわからない」が36.2%で最も高くなっている。

1位～3位の総合でみると、「具体的に何をすればよいのかわからない」が72.5%で最も高く、次いで、「自分の生活にどのような関わりがあるかわからない」が56.7%、「SDGsという言葉が何を意味するのかわからない」が27.5%となっている。



■SDGs に関する行動をしていない理由 表(総合、1位～3位)

		よ具	わ具	自か	わ何	S D	解し	英語	む政	意取	的取	取余	ない	族一	が日	そ
		体的	かな	分の	何を	G s	づや	づや	も府	味が	余組	組組	・知	一緒	日本	他
		に何	から	の生	を意	と	カ	カ	のや	組なん	組な	むた	人取	に取	には	
		を	い	活	す	う	ナ	ナ	あ業	い	な	の	・友	組	あ	
		ら	い	い	い	の	が	が	が	も	た	経	人	む	ま	
		す	あ	の	言	言	理	理	取	感	め	済	が	家	る	
		な	る	か	か	か			組	じ	の		い	い	関	
		い	か	よ	葉	葉			組	ま	済		家	い	係	
n=367	総合	72.5	56.7	27.5	22.6	22.1	20.7	17.7	9.0	2.5	7.1					
	1位	36.2	9.5	19.6	9.0	6.8	9.3	2.7	0.3	0.5	3.5					
	2位	26.4	27.8	4.4	6.5	5.4	4.9	4.9	3.3	1.4	1.4					
	3位	9.8	19.3	3.5	7.1	9.8	6.5	10.1	5.4	0.5	2.2					

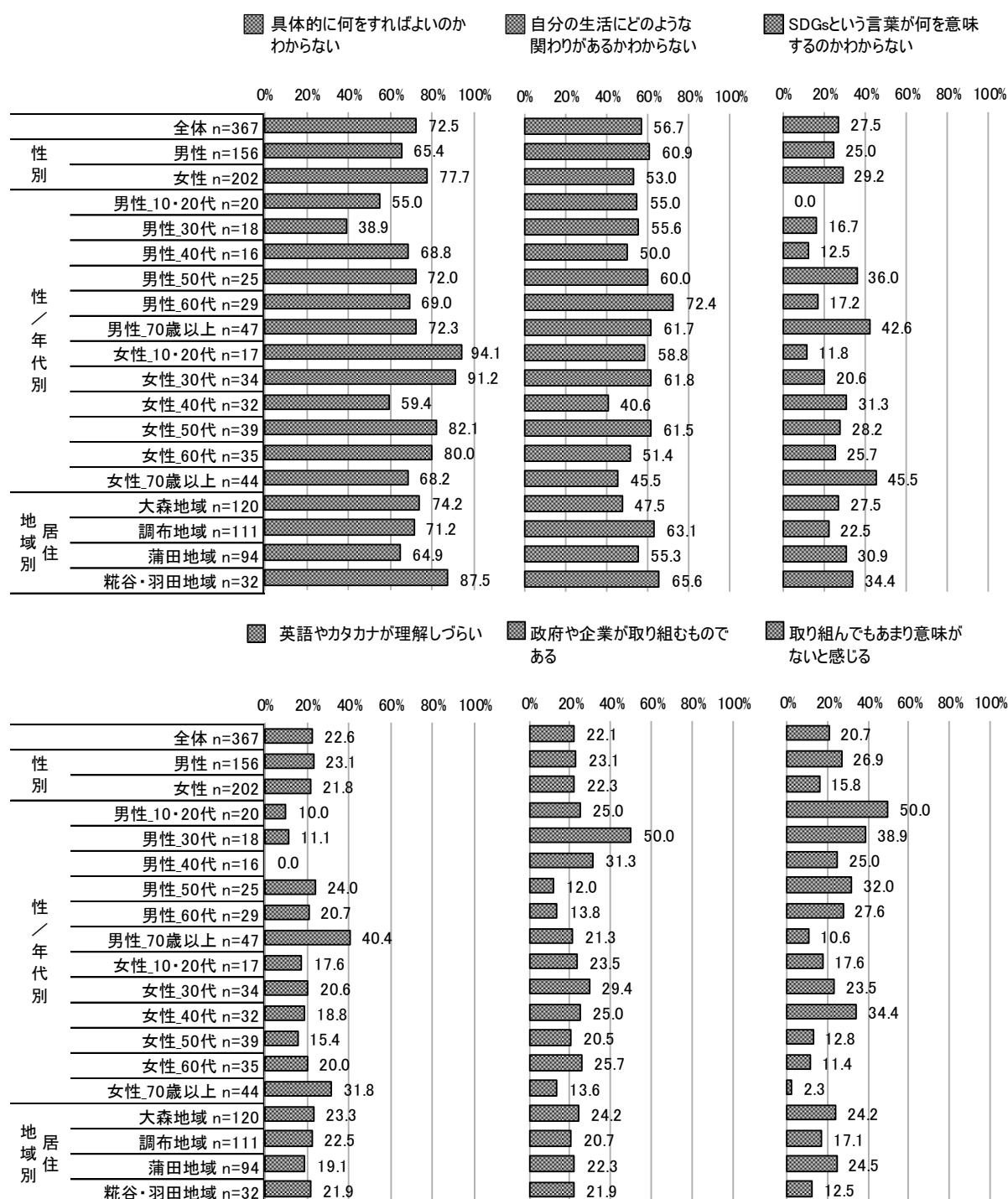
1位 2位 3位 各順位における上位3項目に色付け

■性別・性／年代別・居住地域別 1位～3位総合（上位6項目）

性別でみると、「具体的に何をすればよいかわからない」は男性が 65.4%、女性が 77.7%と、女性が 12.3 ポイント、「取り組んでもあまり意味がないと感じる」は男性が 26.9%、女性が 15.8%と、男性が 11.1 ポイント、それぞれ上回っている。

性／年代別でみると、「SDGs という言葉が何を意味するのかかわからない」は男性、女性ともに 70 歳以上で 4 割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「具体的に何をすればよいかわからない」は糞谷・羽田地域で 8 割後半と高くなっている。



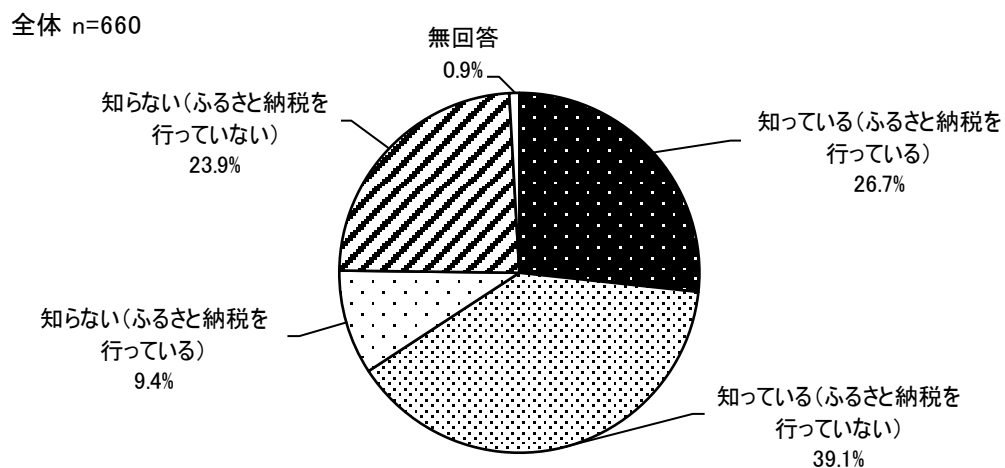
3 ふるさと納税について

(1) 他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度

◇《知っている》(「知っている(ふるさと納税を行っている)」「知っている(ふるさと納税を行っていない)」の合計値)は6割半ばとなっている

問3 あなたは、他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響を知っていますか。
(1つのみ)

他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響の認知度については、「知っている(ふるさと納税を行っている)」、「知っている(ふるさと納税を行っていない)」の合計値《知っている》が65.8%となっている。一方、「知らない(ふるさと納税を行っている)」、「知らない(ふるさと納税を行っていない)」の合計値《知らない》が33.3%と、《知っている》が32.5ポイント上回っている。

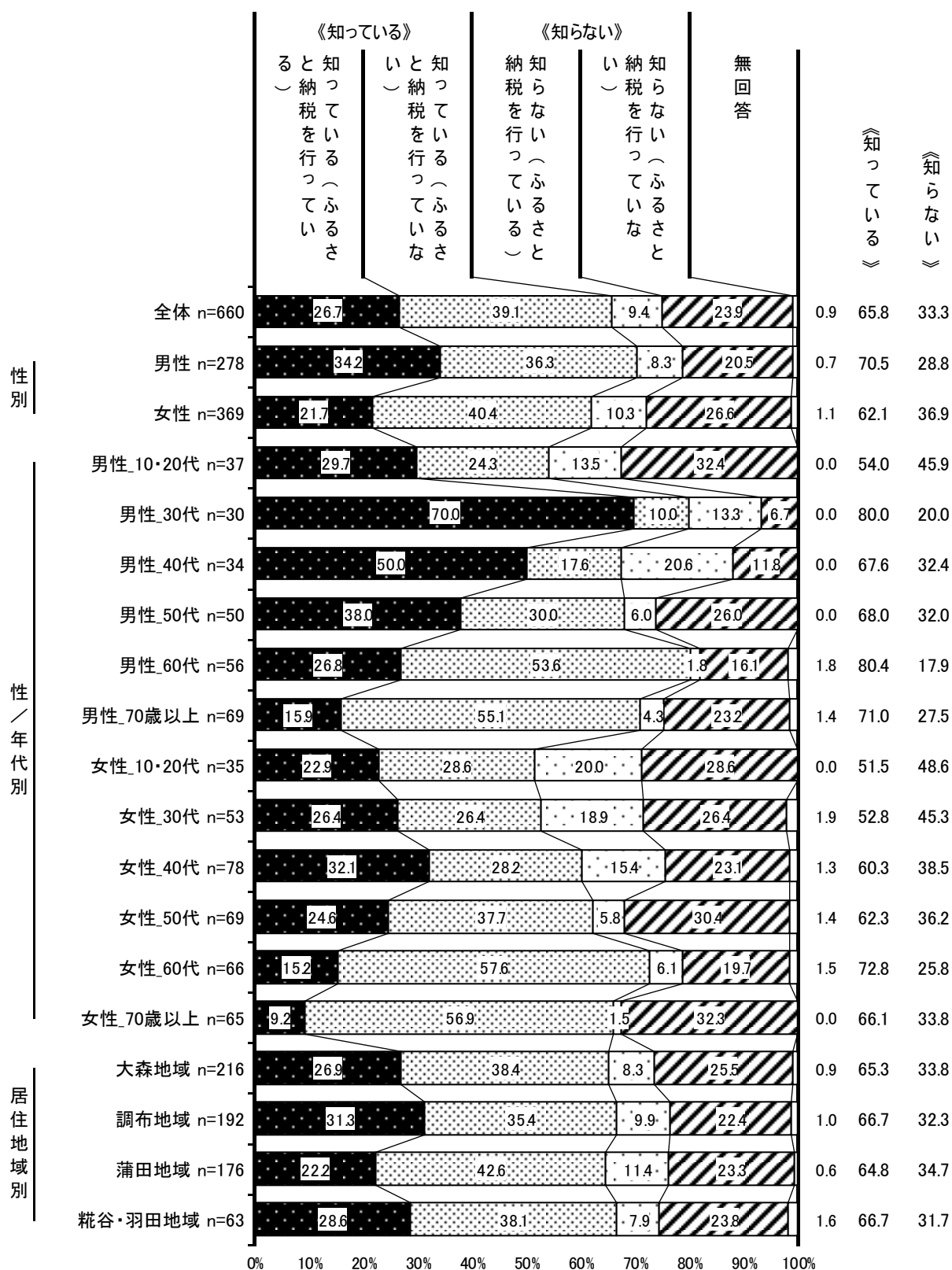


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が 70.5%、女性が 62.1%と、男性が 8.4 ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性 30 代、60 代で 8 割と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



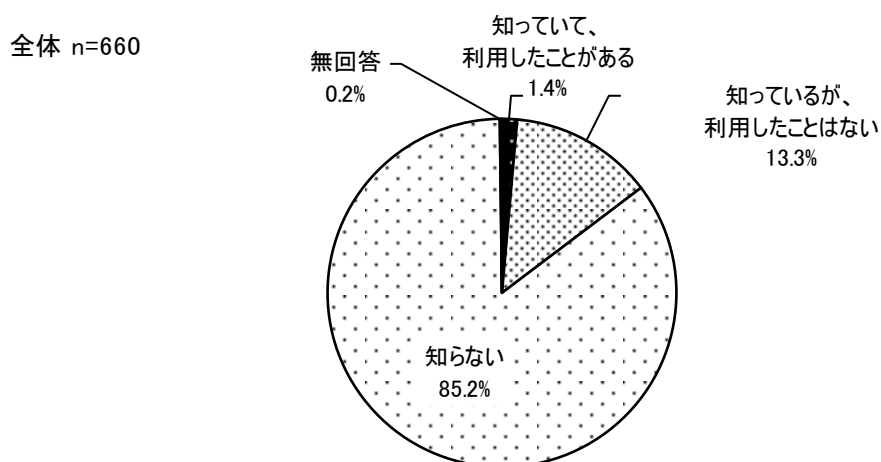
4 各種認知度について

(1) 「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度

◇《知っている》(「知っていて、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計値)は1割前半となっている

問4 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぽぽ相談」で女性の様々な悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度については、「知っていて、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が14.7%となっている。一方、「知らない」が85.2%と、「知らない」が70.5ポイント上回っている。

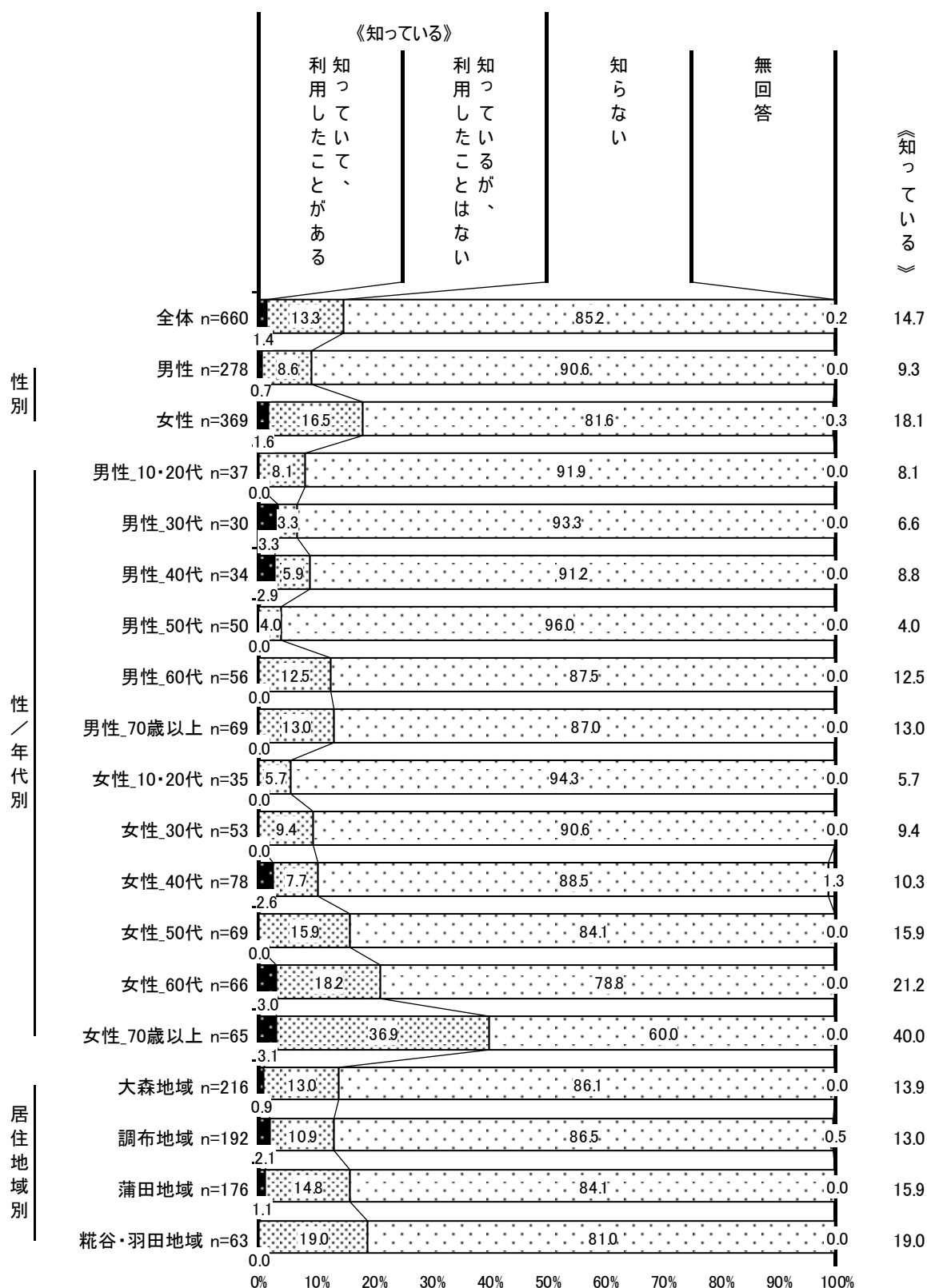


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が9.3%、女性が18.1%と、女性が8.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は女性では年代が上がるにつれて高くなっており、女性70歳以上で4割と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

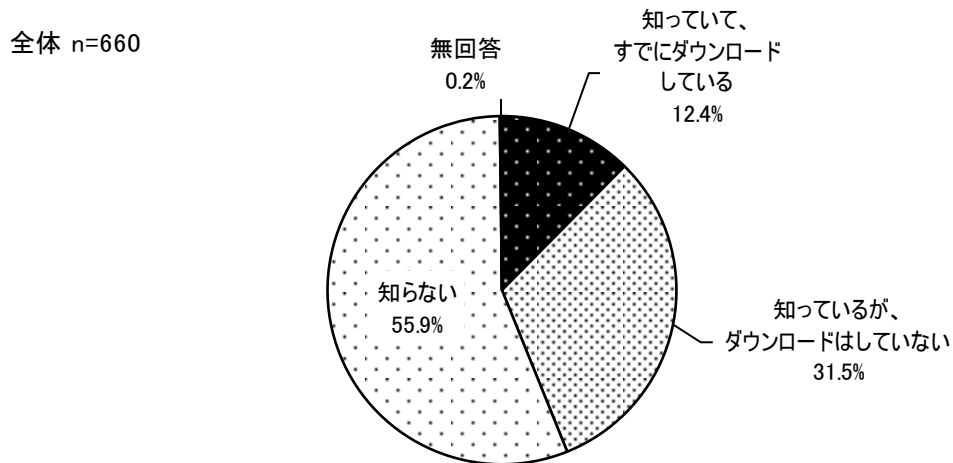


(2)「大田区防災アプリ」の認知度

◇《知っている》（「知っていて、すでにダウンロードしている」「知っているが、ダウンロードはしていない」の合計値）は4割前半となっている

問5 防災情報や防災行政無線（放送塔）の放送内容などをタイムリーに確認することができる「大田区防災アプリ」を知っていますか。（1つのみ）

「大田区防災アプリ」の認知度については、「知っていて、すでにダウンロードしている」、「知っているがダウンロードはしていない」の合計値《知っている》が43.9%となっている。一方、「知らない」が55.9%と、「知らない」が12.0ポイント上回っている。

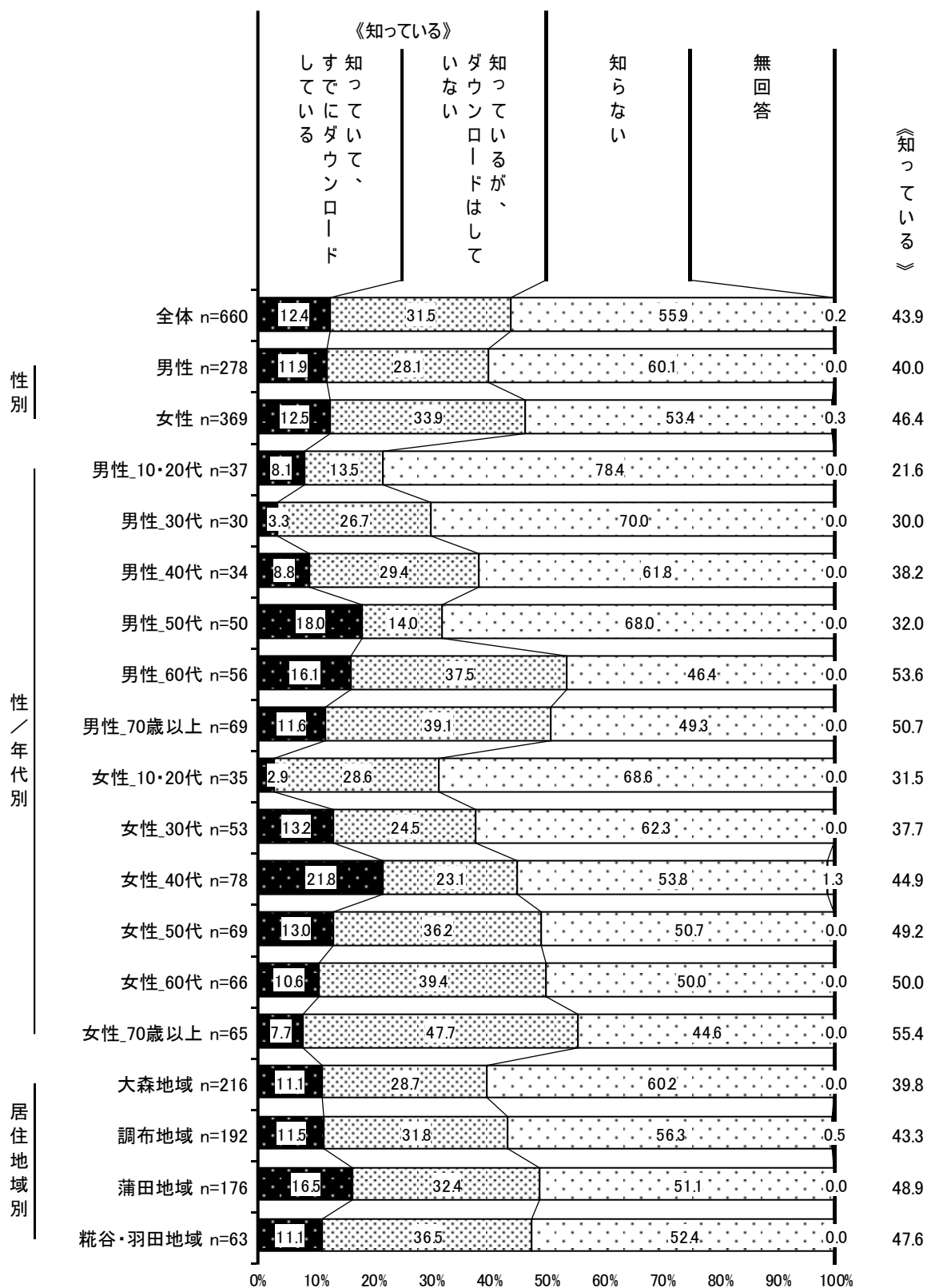


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が 40.0%、女性が 46.4%と、女性が 6.4 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は女性 70 歳以上で 5 割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



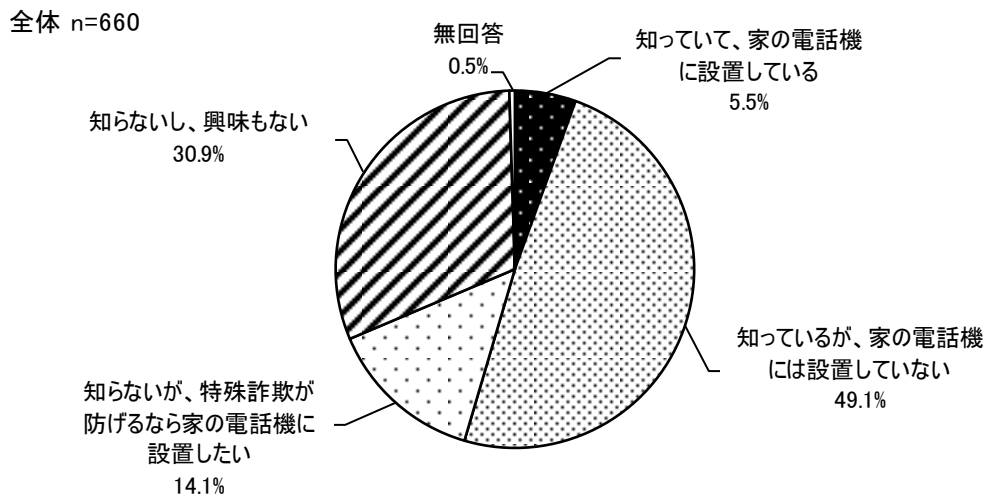
(3)「自動通話録音機」の認知度

◇「知っているが、家の電話機には設置していない」が4割後半で最も高くなっている

問6 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」※を知っていますか。(1つのみ)

※区や警察署で無償貸し出しを行っています。

「自動通話録音機」の認知度については、「知っているが、家の電話機には設置していない」が49.1%で最も高く、次いで「知らないし、興味もない」が30.9%、「知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に設置したい」が14.1%、「知っていて、家の電話機に設置している」が5.5%となっている。

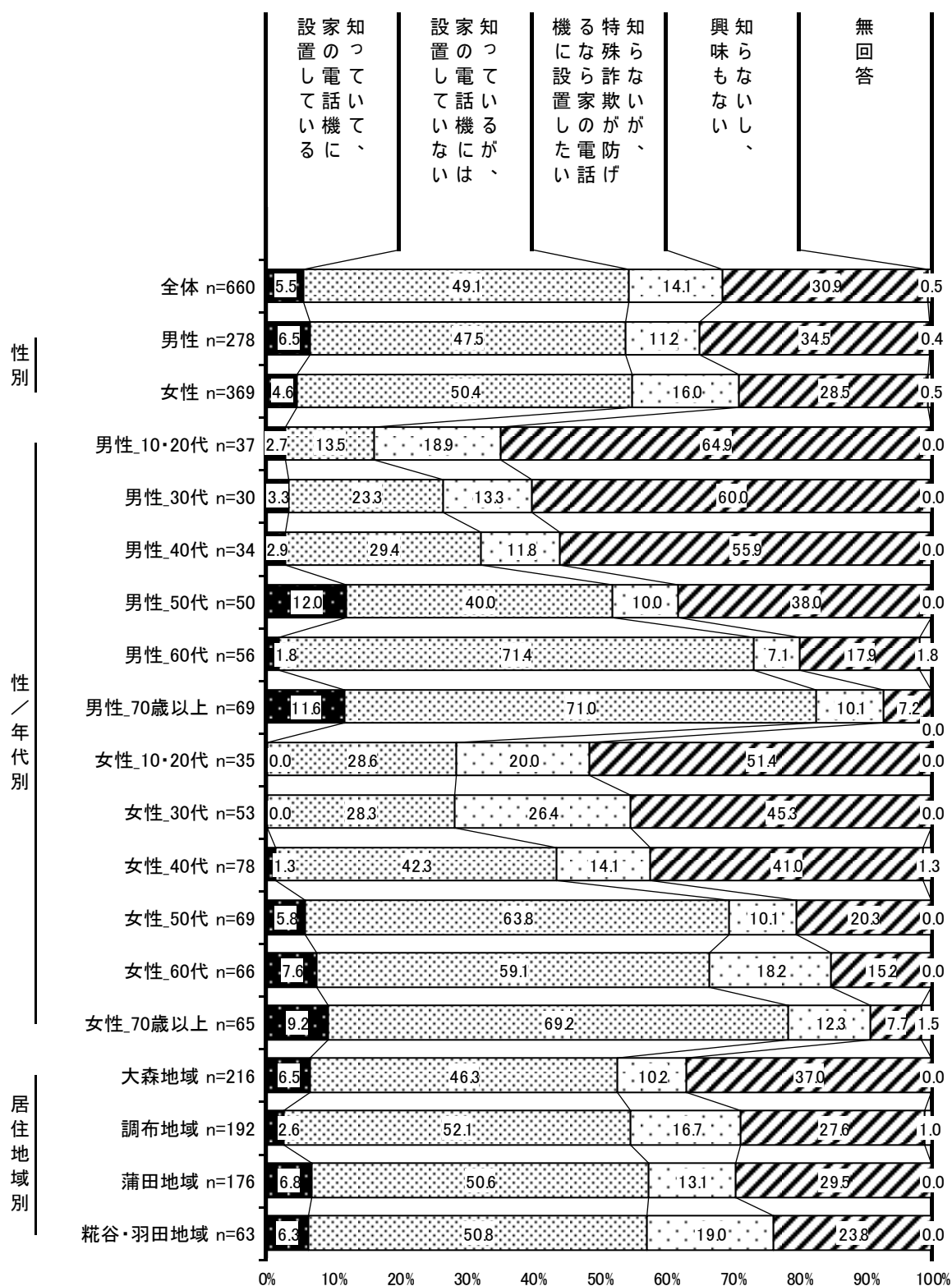


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「知らないし、興味もない」は男性が34.5%、女性が28.5%と、男性が6.0ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知らないし、興味もない」は男性、女性ともに10・20歳代～40代で4割以上と高くなっている。

居住地域別でみると、「知らないし、興味もない」は大森地区で3割後半と高くなっている。

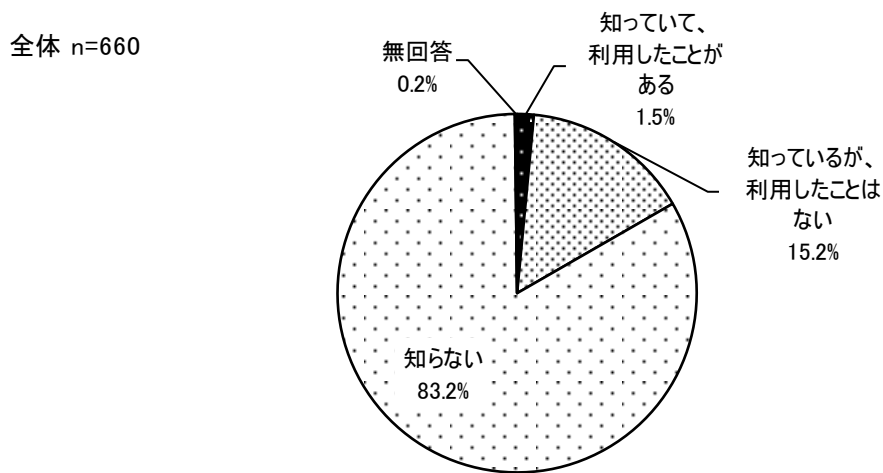


(4) おおた国際交流センター (Minto Ota) の認知度

◇《知っている》(「知っている、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計値)は1割後半となっている

問7 大田区における国際交流と多文化共生を一体的に進めていく施設として、おおた国際交流センター (Minto Ota)があることを知っていますか。(1つのみ)

おおた国際交流センター (Minto Ota)の認知度については、「知っている、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》は16.7%となっている。一方、「知らない」は83.2%と、「知らない」が66.5ポイント上回っている。

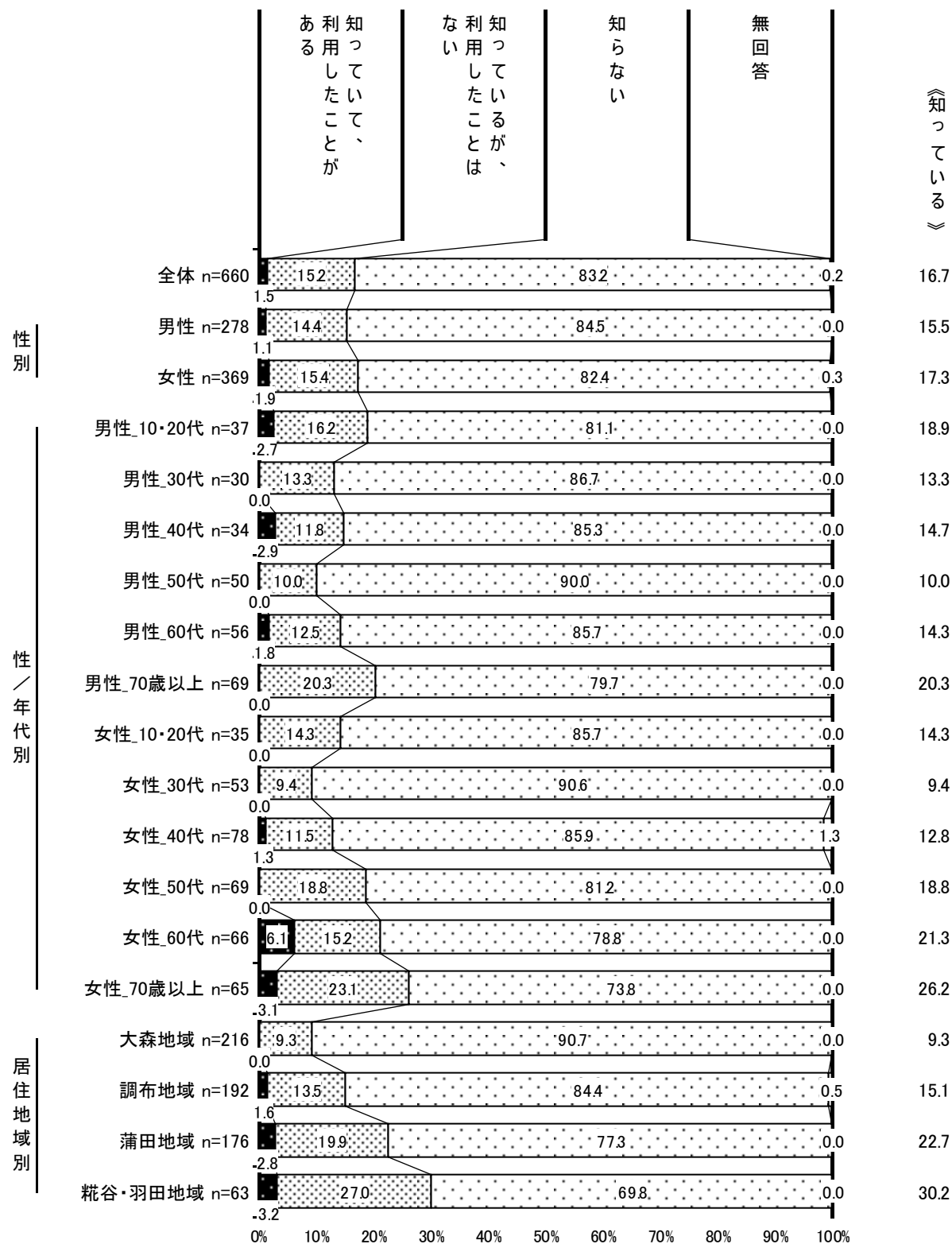


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《知っている》は女性 70 歳以上で 2 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は糀谷・羽田地域で約 3 割と高くなっている。



(5)「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度

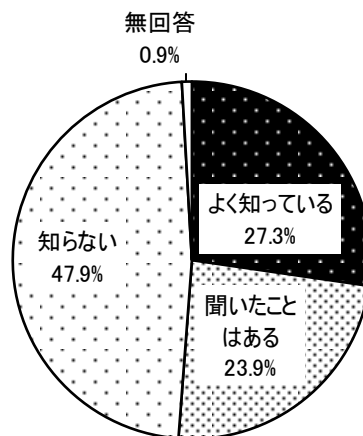
◇「よく知っている」は2割後半となっている

問8 「ヘルプカード（たすけてねカード）」を知っていますか。（1つのみ）

※障がいのある方などが、災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード。（大田区が作成）

「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度については、「知らない」が47.9%で最も高く、次いで「よく知っている」が27.3%、「聞いたことはある」が23.9%となっている。

全体 n=660

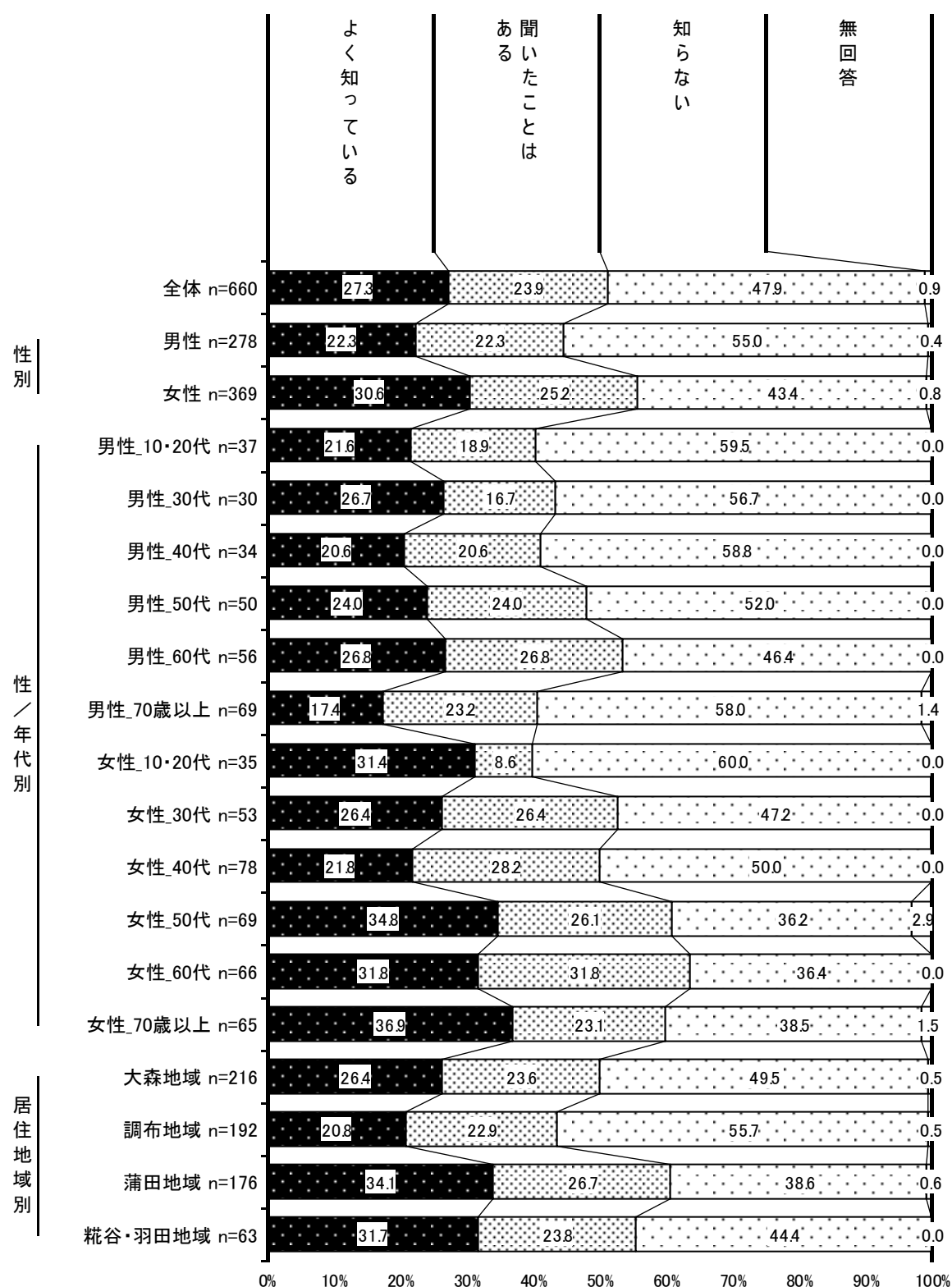


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「よく知っている」は男性が 22.3%、女性が 30.6%と、女性が 8.3 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「知らない」は女性 10・20 代で 6 割、男性 10・20 代～40 代、70 歳以上で 5 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「知らない」は調布地域で 5 割半ばと高くなっている。

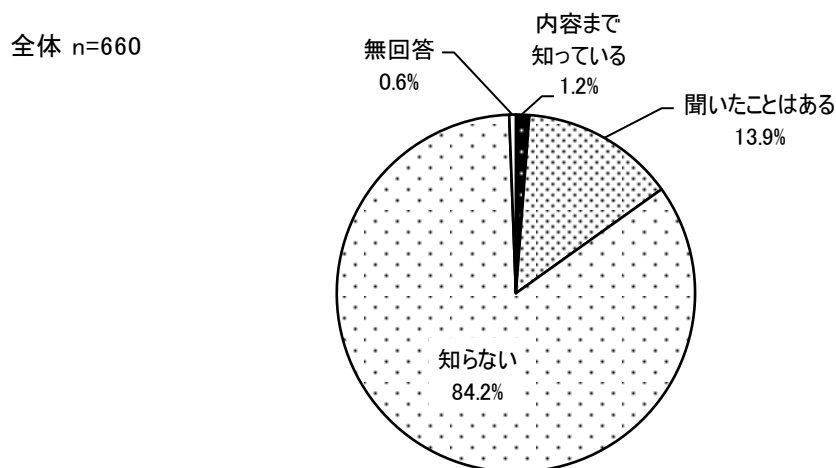


(6)「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度

◇「内容まで知っている」は1割未満となっている

問9 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」を知っていますか。(1つのみ)
 ※大田区では、手話が言語であることの理解を促進するとともに、それぞれの障がい特性に応じた意思疎通手段の利用を促進することにより、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する地域社会の実現をめざして制定しました。

「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」の認知度については、「知らない」が84.2%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が13.9%、「内容まで知っている」が1.2%となっている。

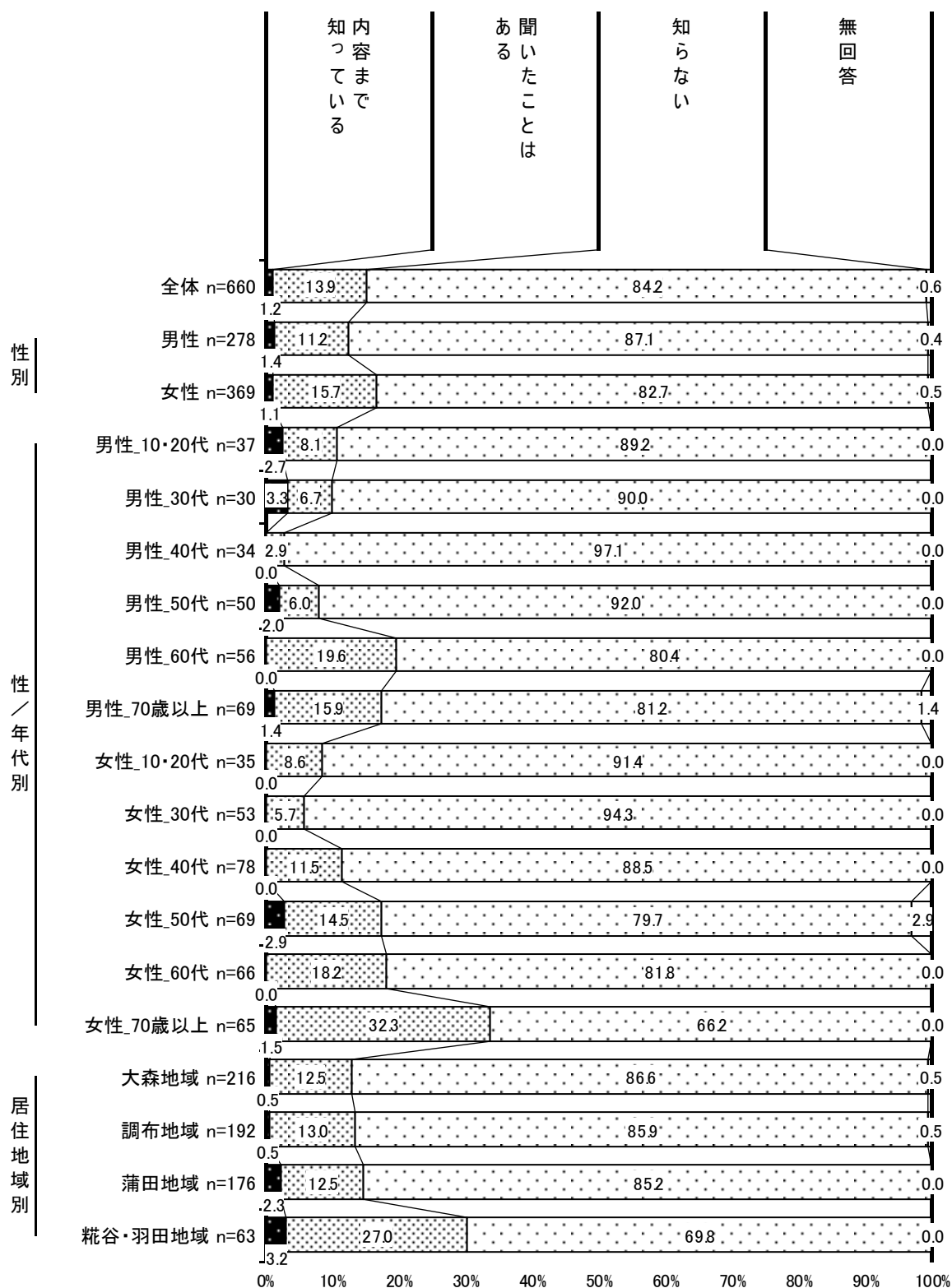


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「聞いたことはある」は女性 70 歳以上で 3 割前半と高くなっている。「知らない」は男性 40 代で 9 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「聞いたことはある」は糀谷・羽田地域で 2 割後半と高くなっている。



5 自治会・町会について

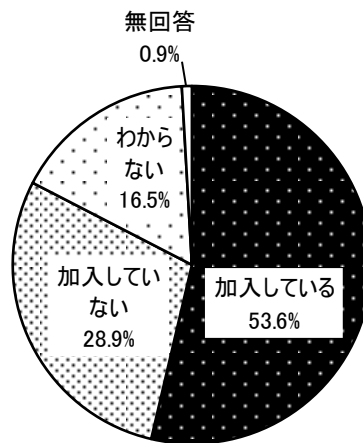
(1) 自治会・町会への加入

◇「加入している」は5割前半となっている

問 10 あなたは、自治会・町会に加入していますか。(1つのみ)

自治会・町会への加入については、「加入している」が53.6%となっている。一方、「加入していない」が28.9%と、「加入している」が24.7ポイント上回っている。

全体 n=660

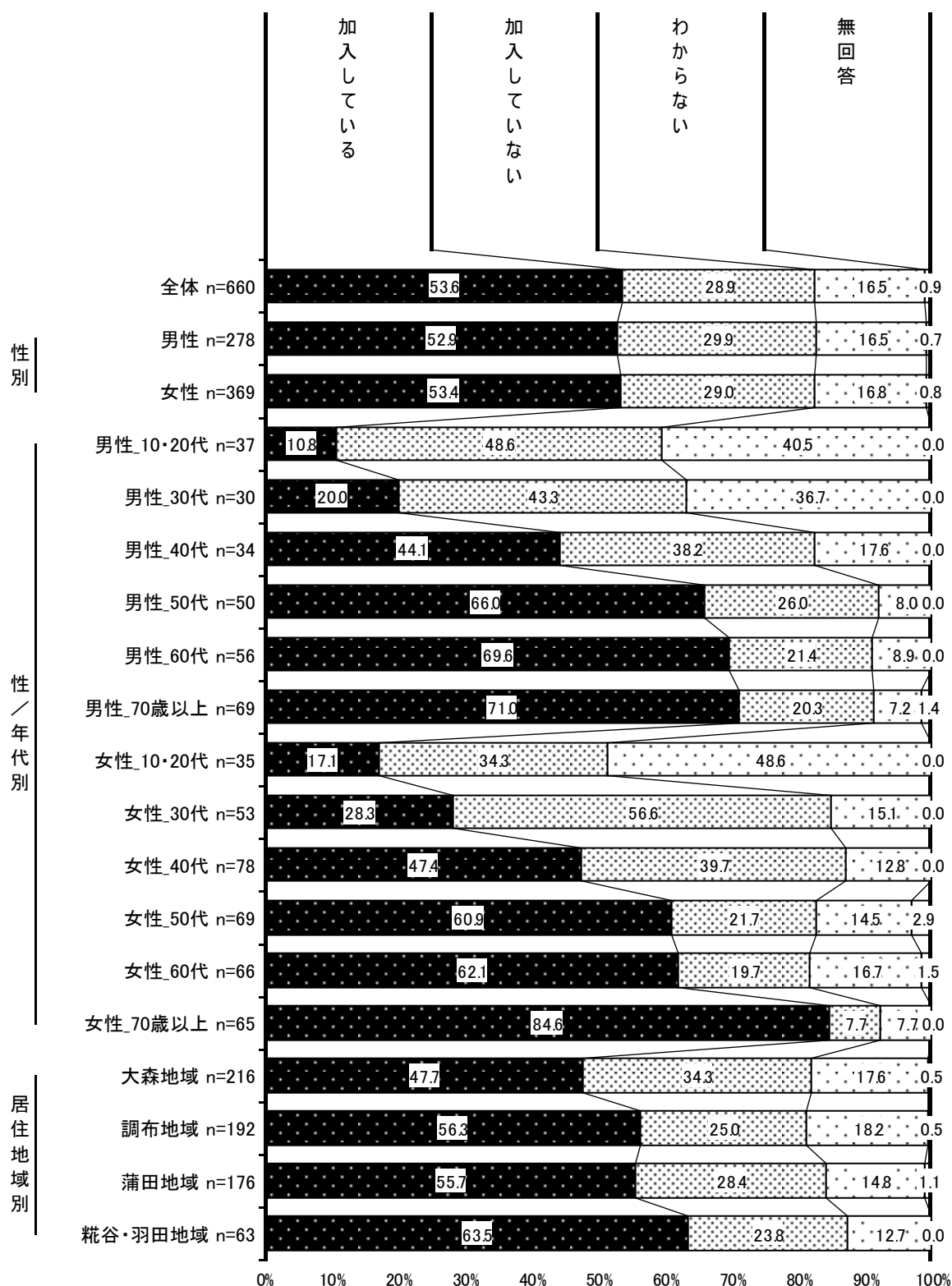


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「加入している」は男性、女性ともに年代が上がるにつれて高くなっており、男性 70 歳以上で 7 割前半、女性 70 歳以上で 8 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「加入している」は糞谷・羽田地域で 6 割前半と高くなっている。



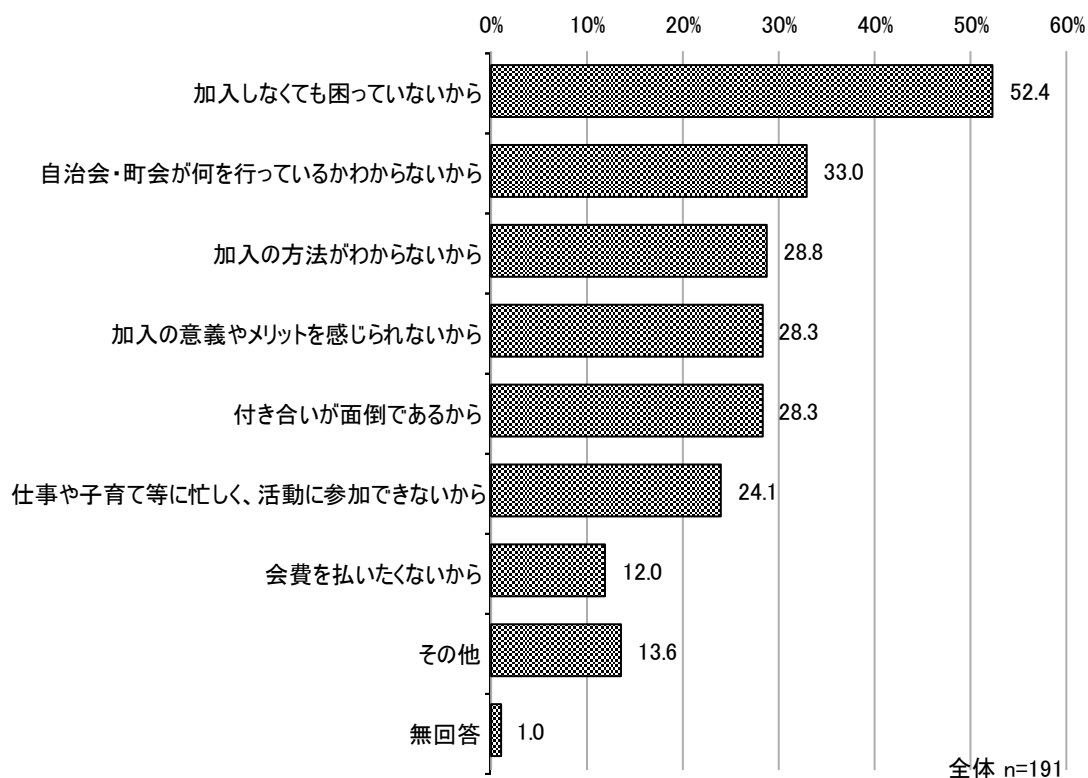
(2) 自治会・町会に加入していない理由

◇「加入しなくても困っていないから」が5割前半で最も高くなっている

【問 10 で「2 加入していない」と回答した方に伺います。】

問 10－1 自治会・町会に加入していない理由は何ですか。(いくつでも)

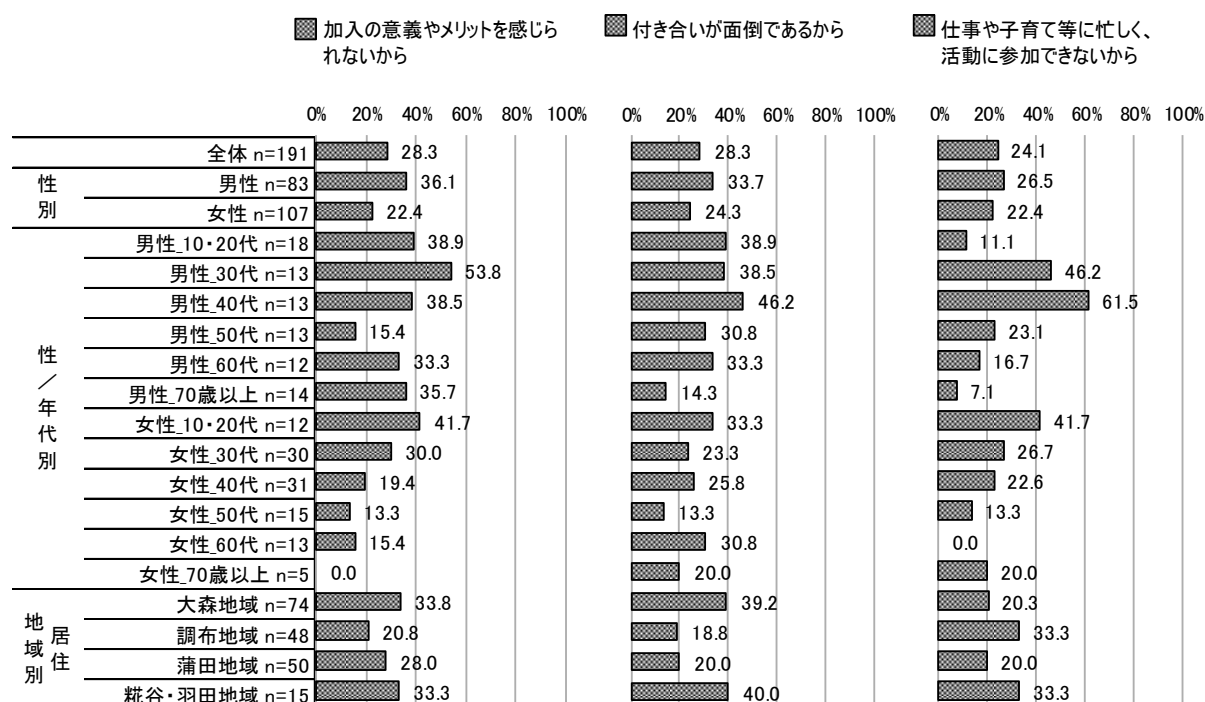
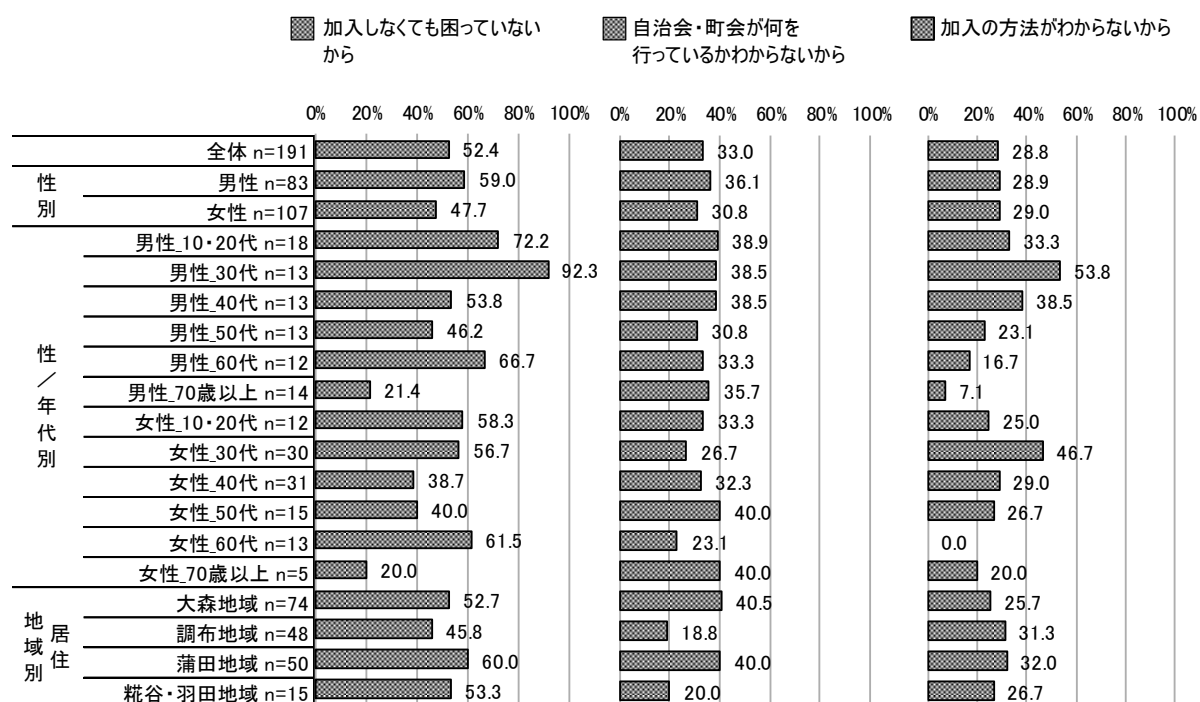
自治会・町会に加入していない理由については、「加入しなくても困っていないから」が 52.4%で最も高く、次いで「自治会・町会が何を行っているかわからないから」が 33.0%、「加入の方法がわからないから」が 28.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「加入しなくても困っていないから」が最も高く、男性が59.0%、女性が47.7%と、男性が11.3ポイント上回っている。「加入の意義やメリットを感じられないから」は男性が36.1%、女性が22.4%と、男性が13.7ポイント上回っている。

居住地域別でみると、すべての地域で「加入しなくても困っていないから」が最も高くなっている。



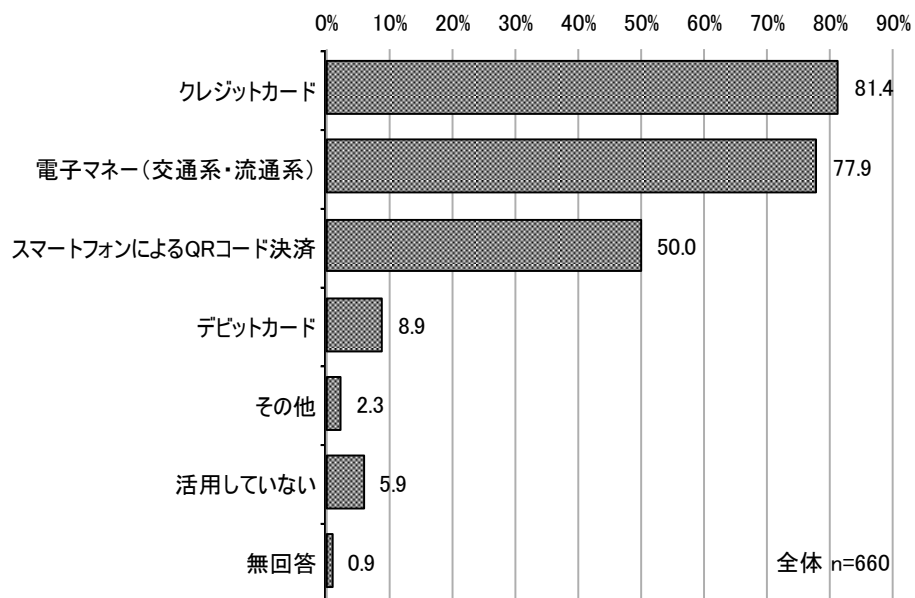
6 キャッシュレスについて

(1) 活用しているキャッシュレスの支払い手段

◇「クレジットカード」が8割前半で最も高くなっている

問 11 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(いくつでも)

活用しているキャッシュレスの支払い手段については、「クレジットカード」が81.4%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系・流通系）」が77.9%、「スマートフォンによるQRコード決済」が50.0%となっている。

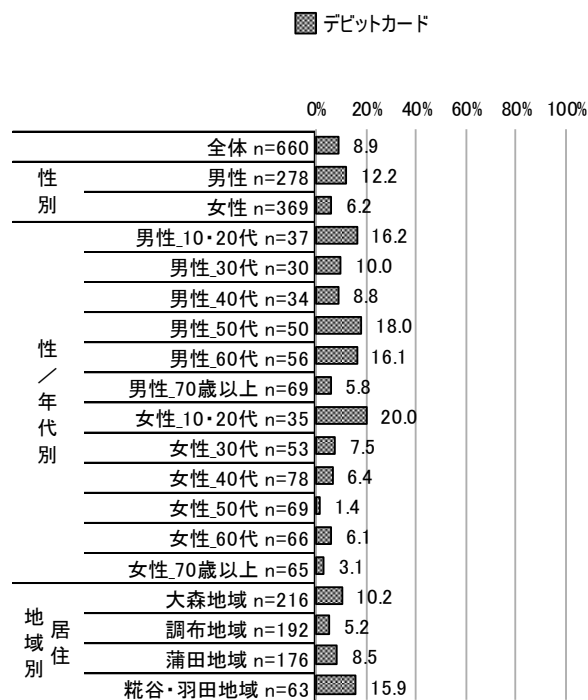
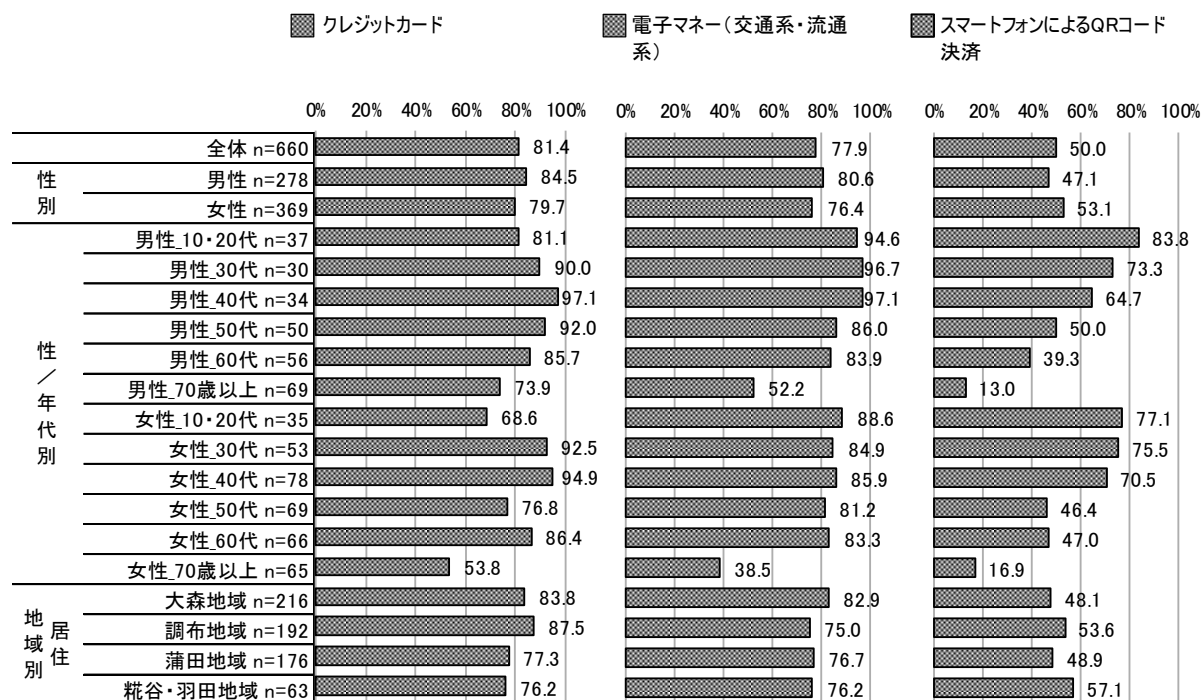


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「クレジットカード」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「スマートフォンによるQRコード決済」は男性、女性ともに10・20代〜40代で6割以上と高くなっている。

居住地域別でみると、「クレジットカード」は調布地域で8割後半と高くなっている。



7 普段の生活について

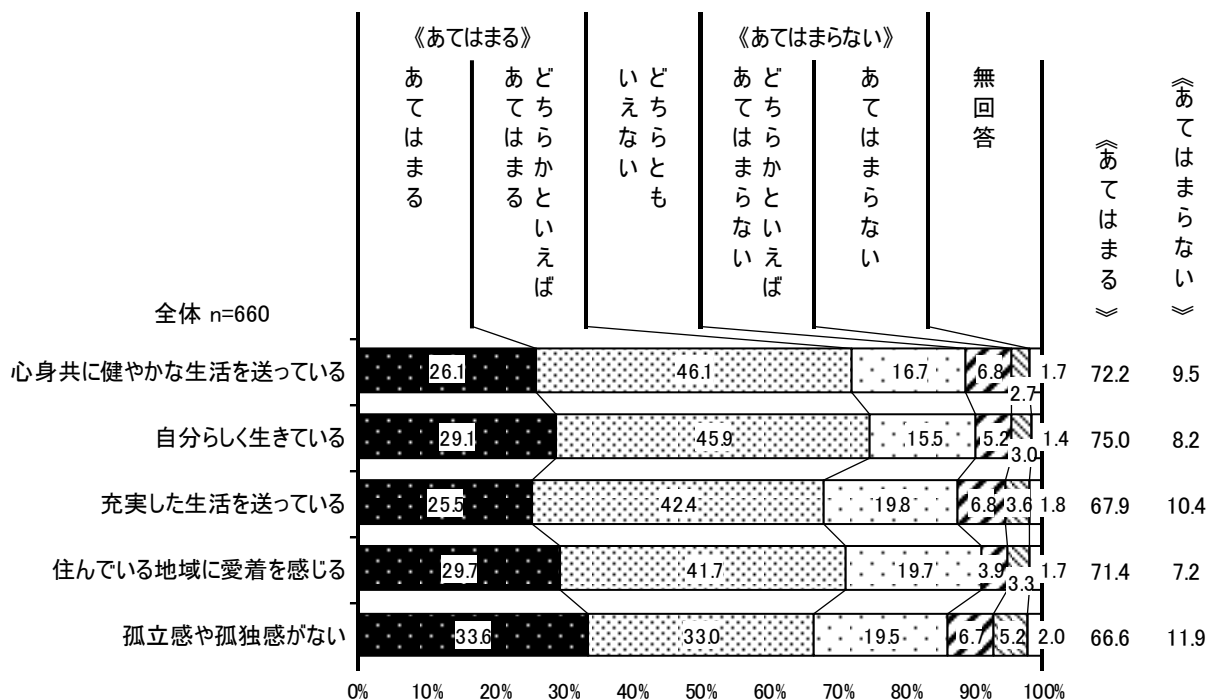
(1) 普段の生活の満足度

◇《あてはまる》(「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計値)は【自分らしく生きている】で7割半ばと最も高くなっている

問 12 普段の生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つのみ)

- ①心身共に健やかな生活を送っている
- ②自分らしく生きている
- ③充実した生活を送っている
- ④住んでいる地域に愛着を感じる
- ⑤孤立感や孤独感がない

普段の生活の満足度については、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値《あてはまる》は【自分らしく生きている】が75.0%で最も高く、次いで【心身共に健やかな生活を送っている】が72.2%、【住んでいる地域に愛着を感じる】が71.4%、【充実した生活を送っている】が67.9%、【孤立感や孤独感がない】が66.6%となっている。

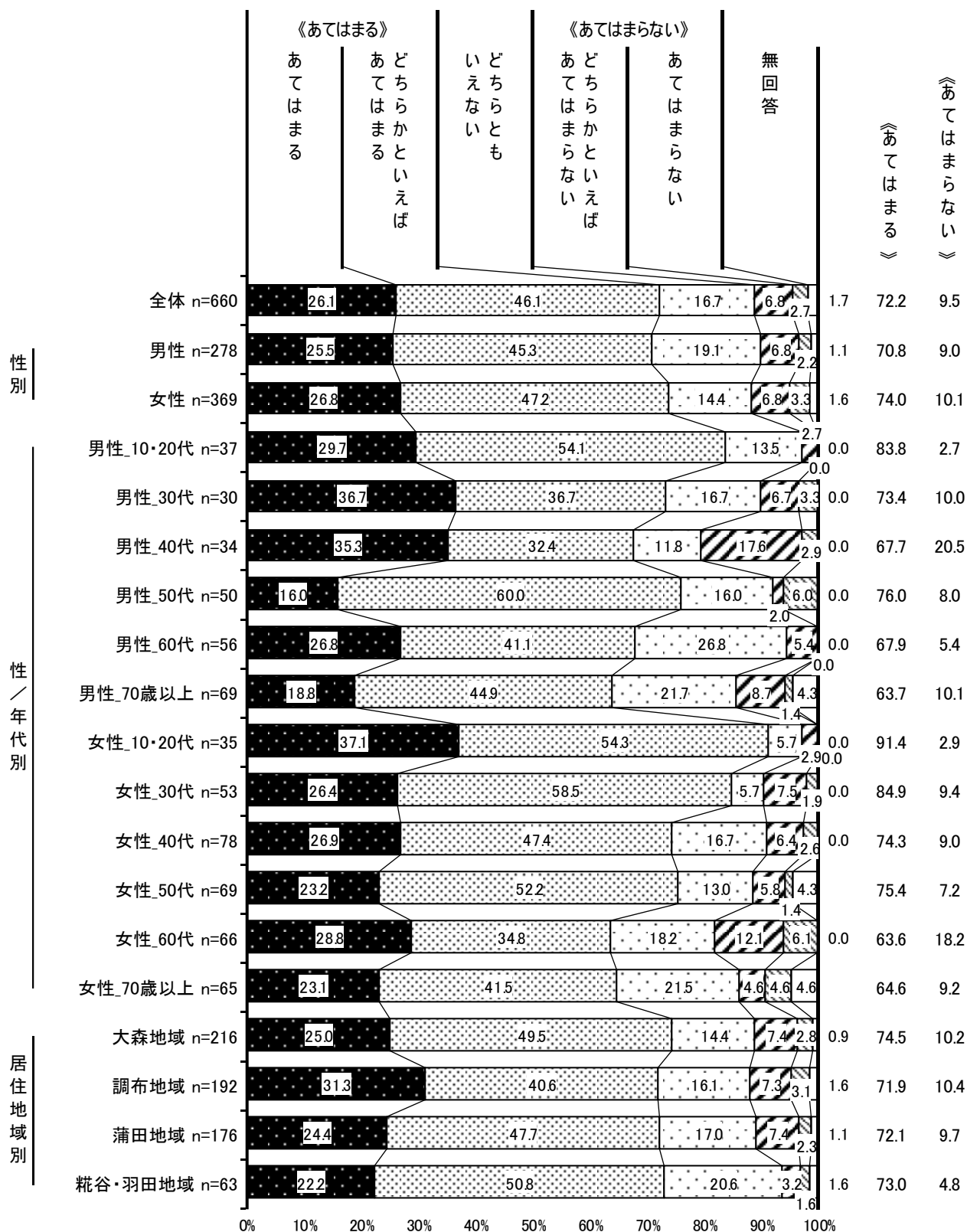


■性別・性／年代別・居住地域別 ①心身共に健やかな生活を送っている

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は女性 10・20 代で 9 割前半、男性 10・20 代、女性 30 代で 8 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》に大きな差はみられないが、「あてはまる」は調布地域で 3 割前半と高くなっている。

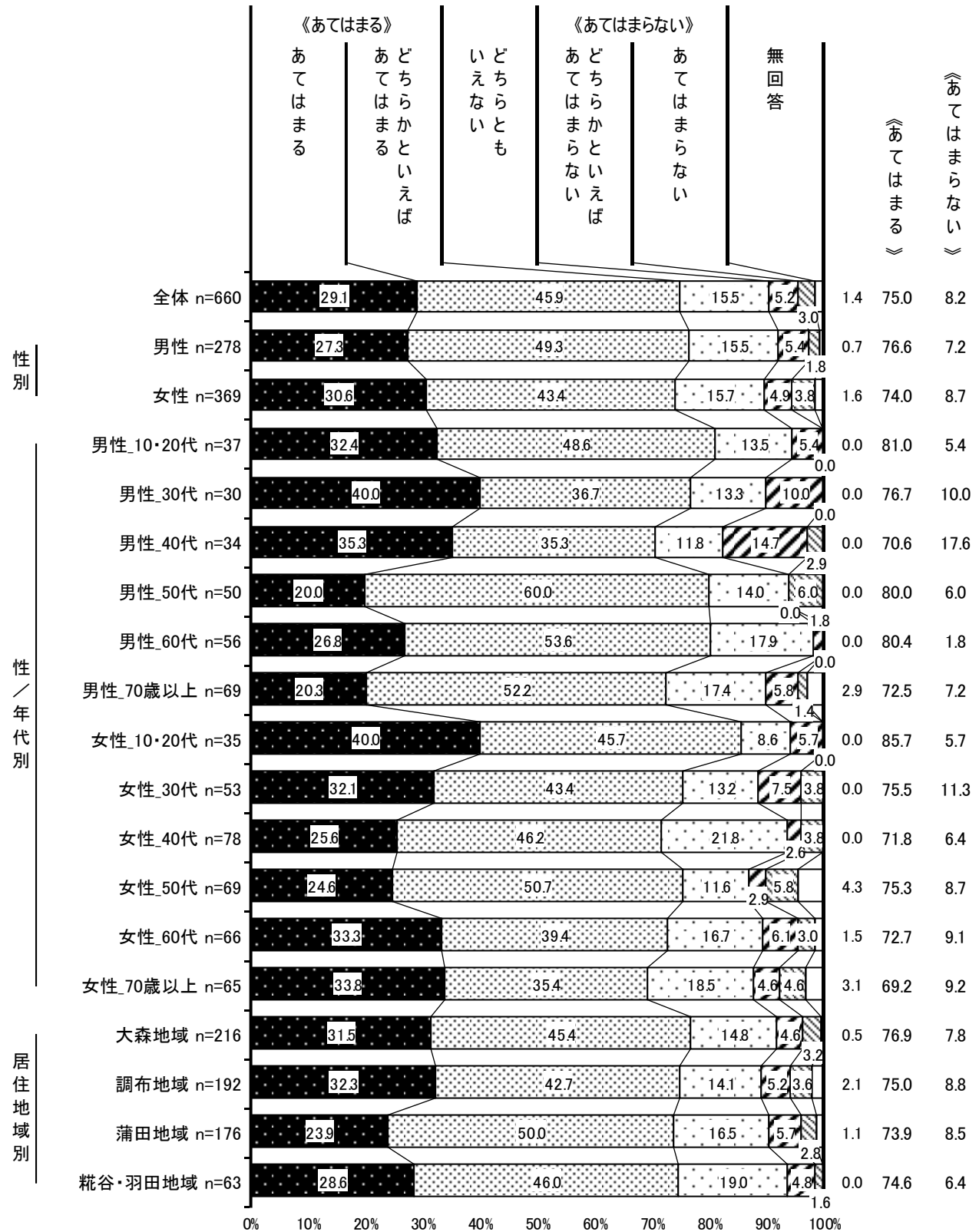


■性別・性／年代別・居住地域別 ②自分らしく生きている

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は女性 10・20 代で 8 割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

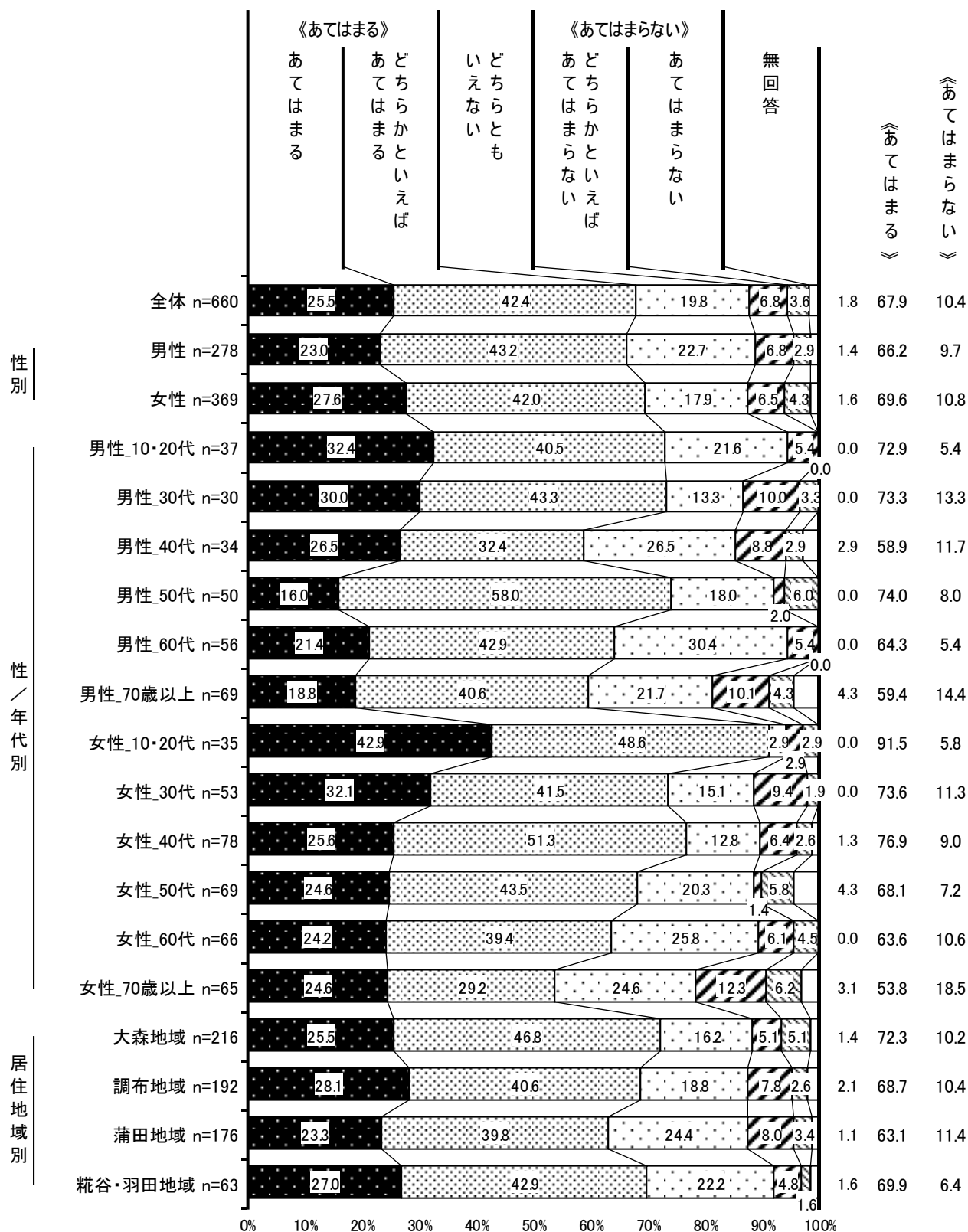


■性別・性／年代別・居住地域別 ③充実した生活を送っている

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は女性 10・20 代で 9 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

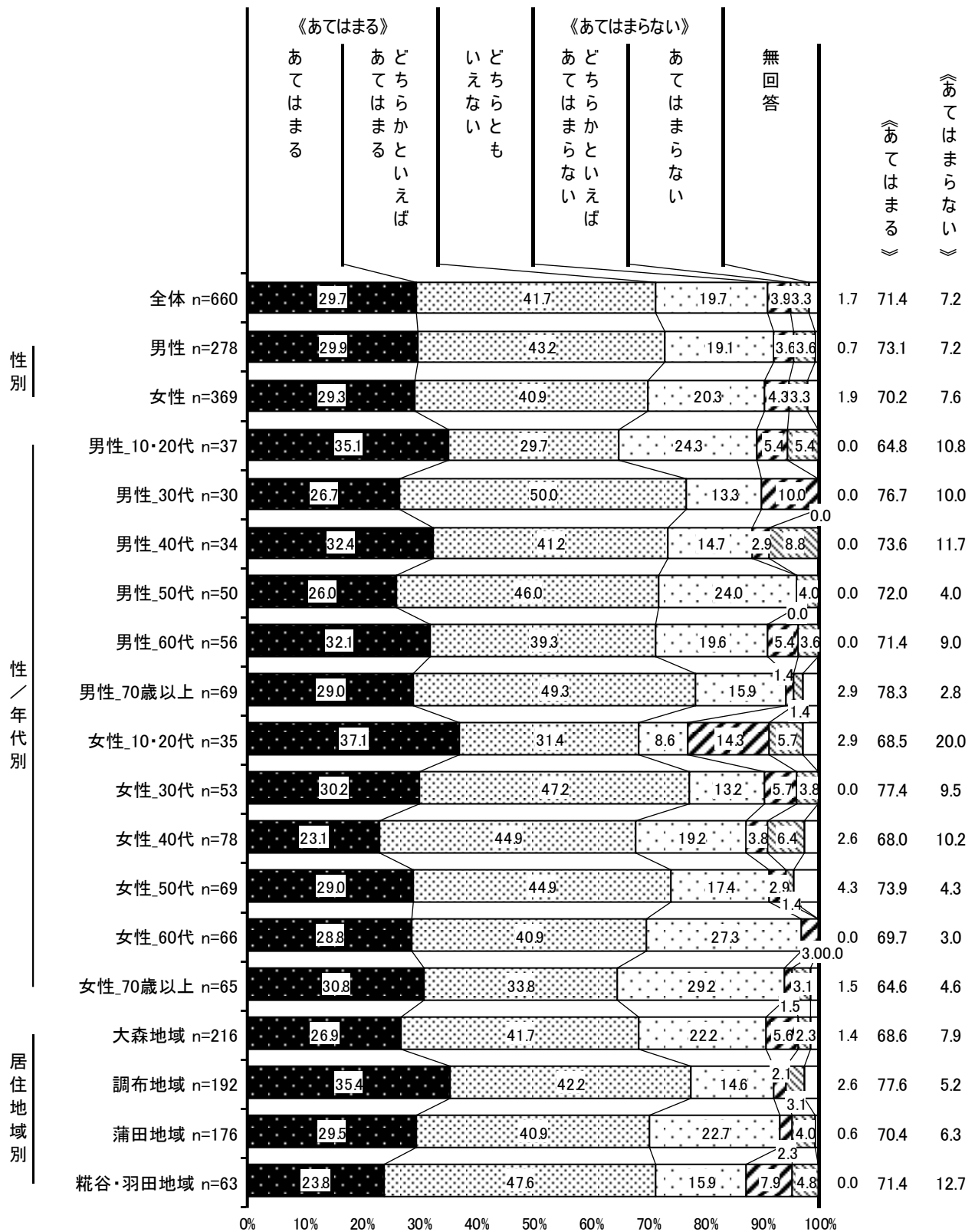


■性別・性／年代別・居住地域別 ④住んでいる地域に愛着を感じる

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性 30 代、70 歳以上、女性 30 代で 7 割後半と高くなっている。一方、《あてはまらない》は女性 10・20 代で 2 割と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は調布地域で 7 割後半と高くなっている。

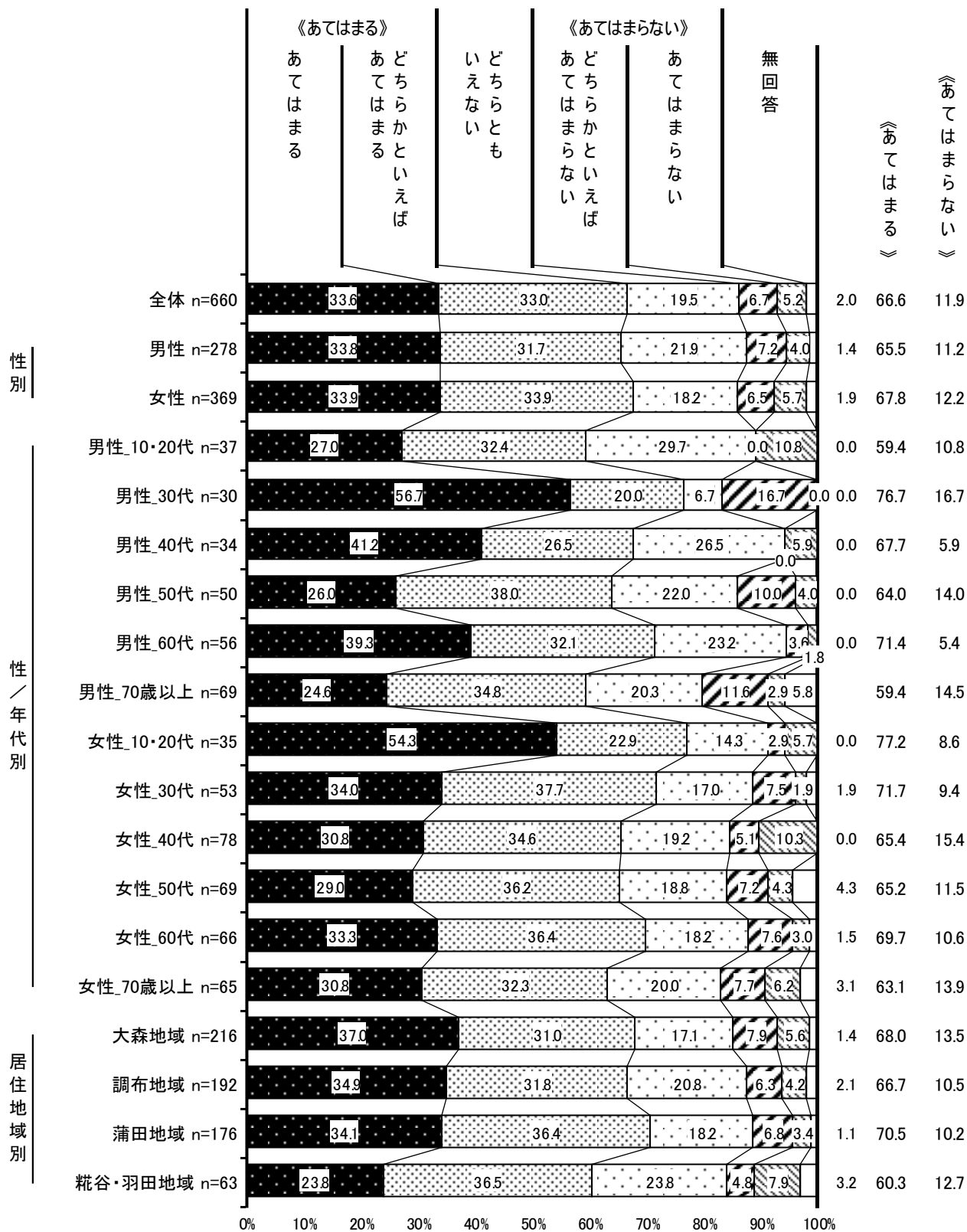


■性別・性／年代別・居住地域別 ⑤孤立感や孤独感がない

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《あてはまる》は男性 30 代、女性 10・20 代で 7 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《あてはまる》は糀谷・羽田地域で約 6 割と低くなっている。



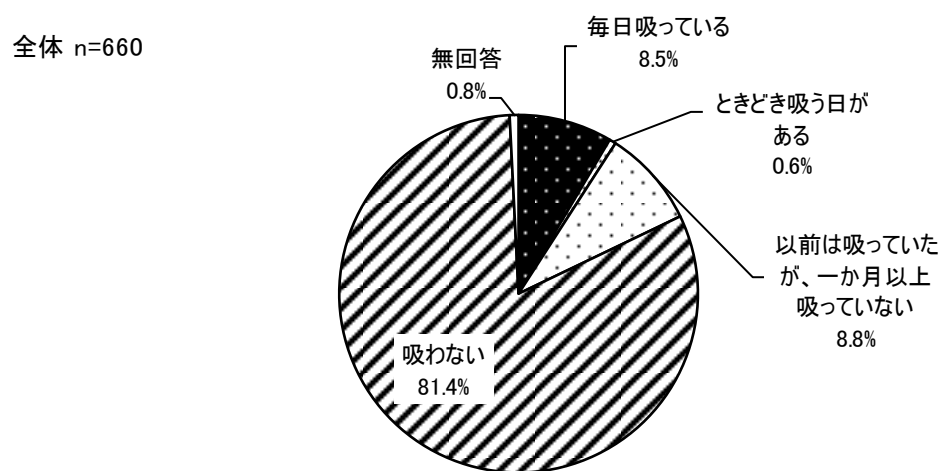
8 喫煙について

(1) 喫煙状況

◇「吸わない」が8割前半で最も高くなっている

問 13 あなたは、たばこを吸いますか。(1つのみ)

喫煙状況については、「吸わない」が81.4%で最も高く、次いで「以前は吸っていたが、一か月以上吸っていない」が8.8%、「毎日吸っている」が8.5%、「ときどき吸う日がある」が0.6%となっている。

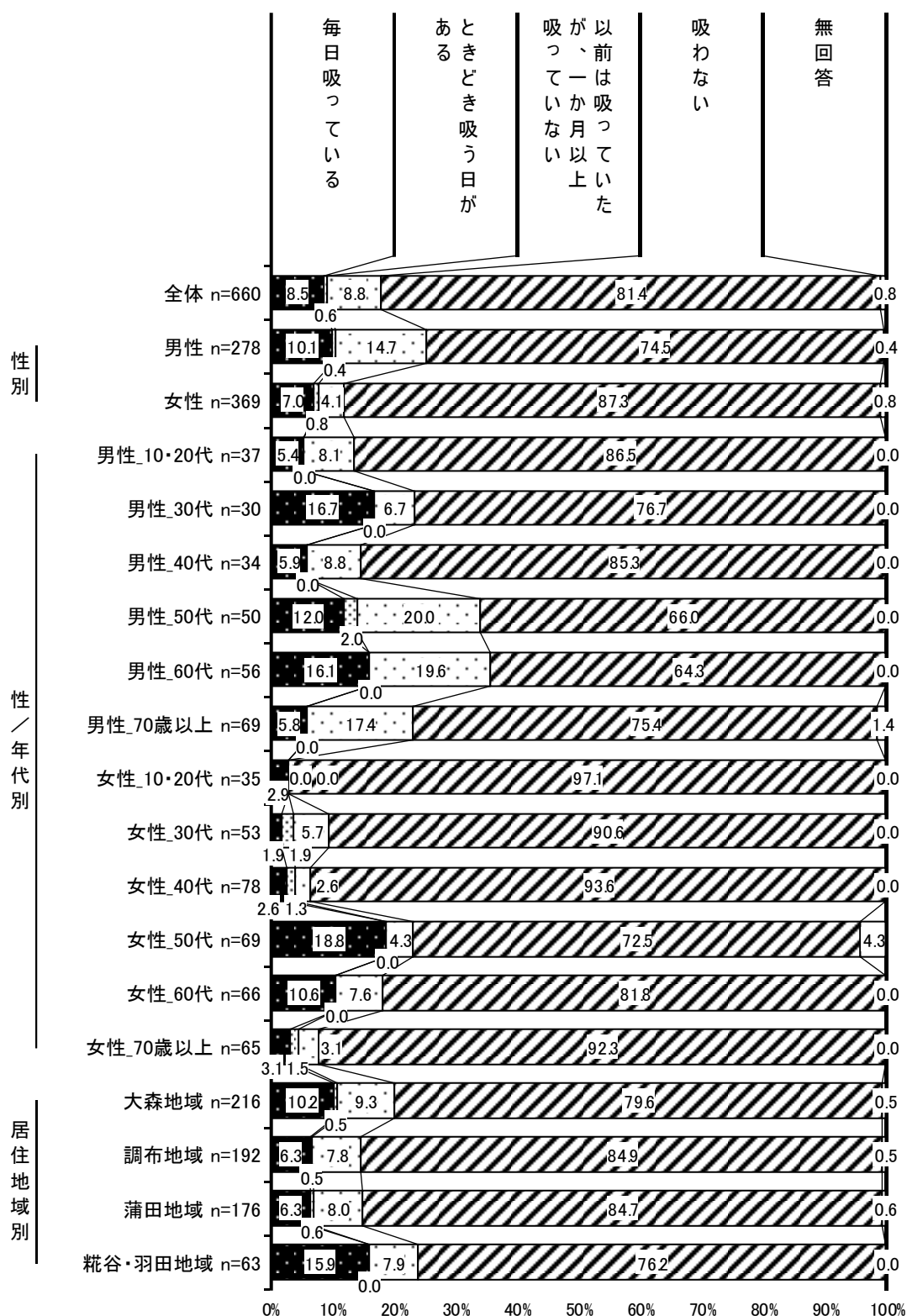


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「以前は吸っていたが、一か月以上吸っていない」は男性が14.7%、女性が4.1%と、男性が10.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「毎日吸っている」は男性30代、60代、女性50代で1割後半と高くなっている。「以前は吸っていたが、一か月以上吸っていない」は男性50代で2割、男性60代、70歳以上で1割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「毎日吸っている」は糞谷・羽田地域で1割半ばと高くなっている。



9 まちづくりについて

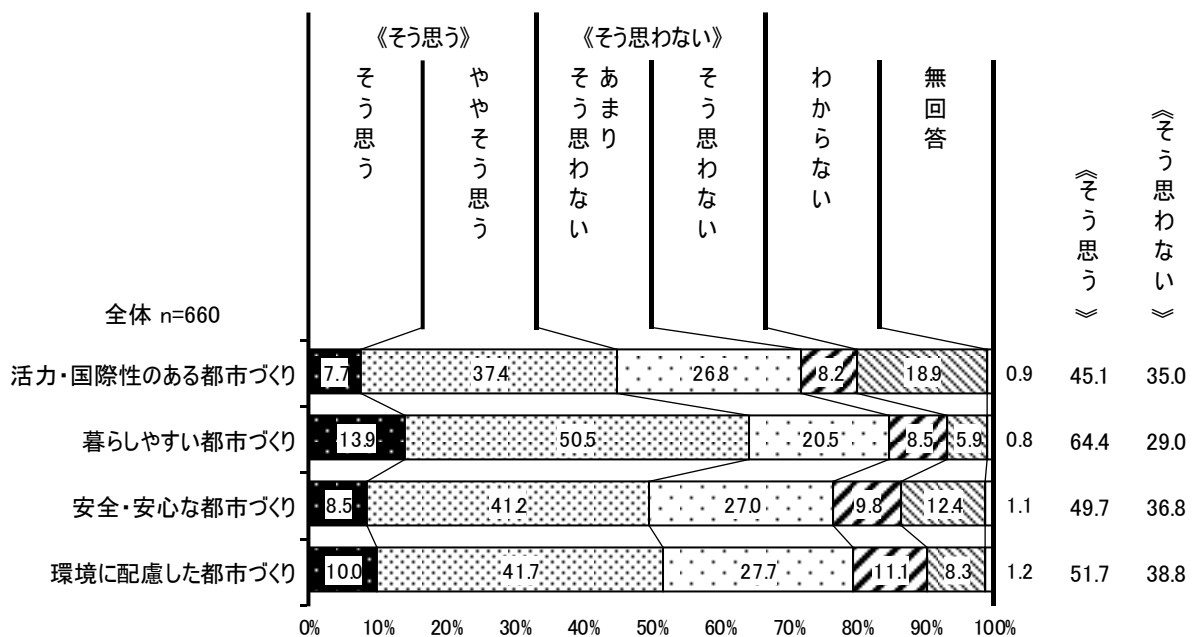
(1) まちづくりの進捗状況

◇《《そう思う》》(「《そう思う》」「《ややそう思う》」の合計値)は【暮らしやすい都市づくり】で6割前半と最も高くなっている

問 14 あなたは、以下の区のまちづくりが進んでいると思いますか。(それぞれ1つのみ)

- ①活力・国際性のある都市づくり
- ②暮らしやすい都市づくり
- ③安全・安心な都市づくり
- ④環境に配慮した都市づくり

まちづくりの進捗状況については、「《そう思う》」「《ややそう思う》」の合計値《《そう思う》》は【暮らしやすい都市づくり】が 64.4%で最も高く、次いで【環境に配慮した都市づくり】が 51.7%、【安全・安心な都市づくり】が 49.7%、【活力・国際性のある都市づくり】が 45.1%となっている。

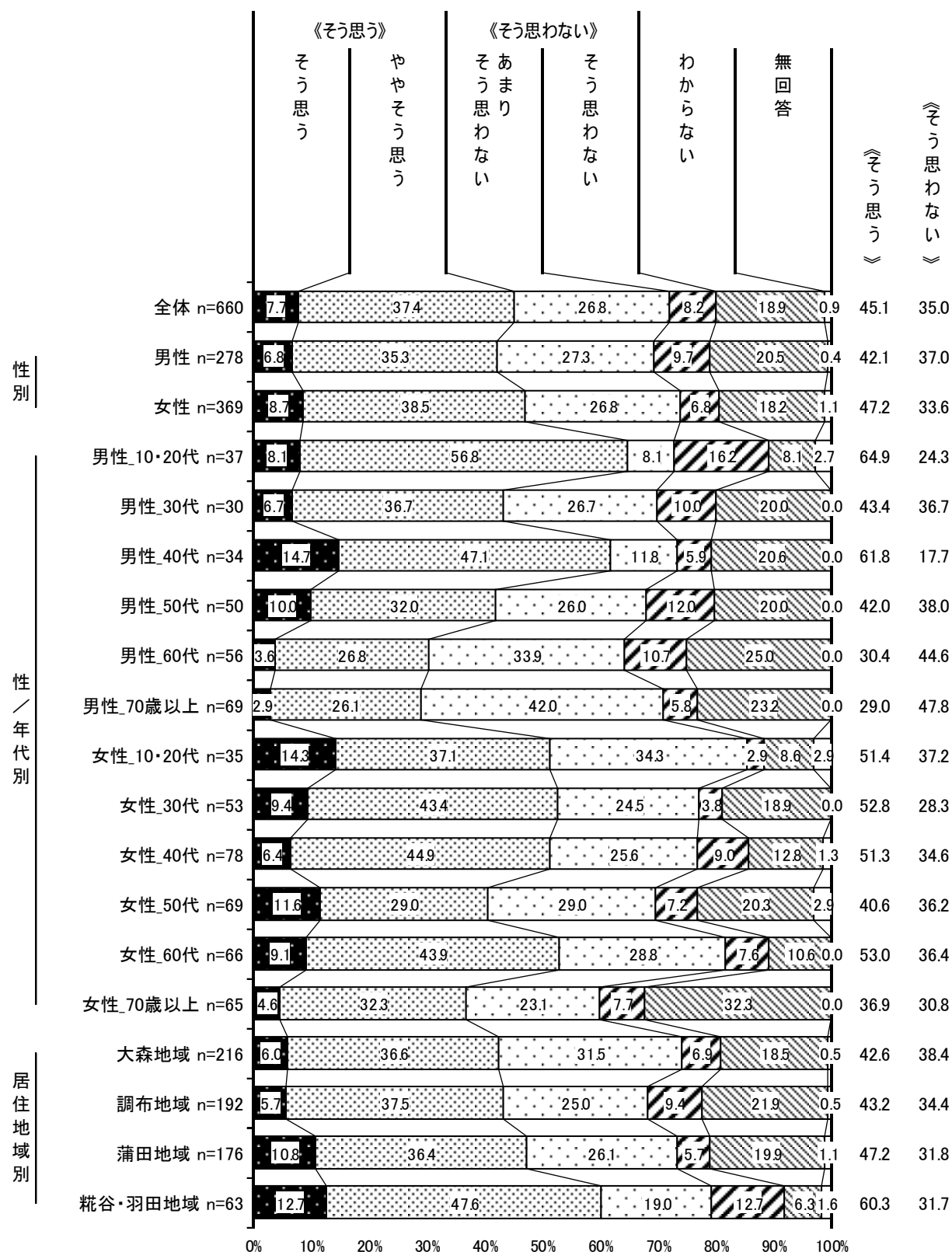


■性別・性／年代別・居住地域別 ①活力・国際性のある都市づくり

性別でみると、《そう思う》は男性が 42.1%、女性が 47.2%と、女性が 5.1 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思う》は男性 10・20 代、40 代で 6 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思う》は糀谷・羽田地域で約 6 割と高くなっている。

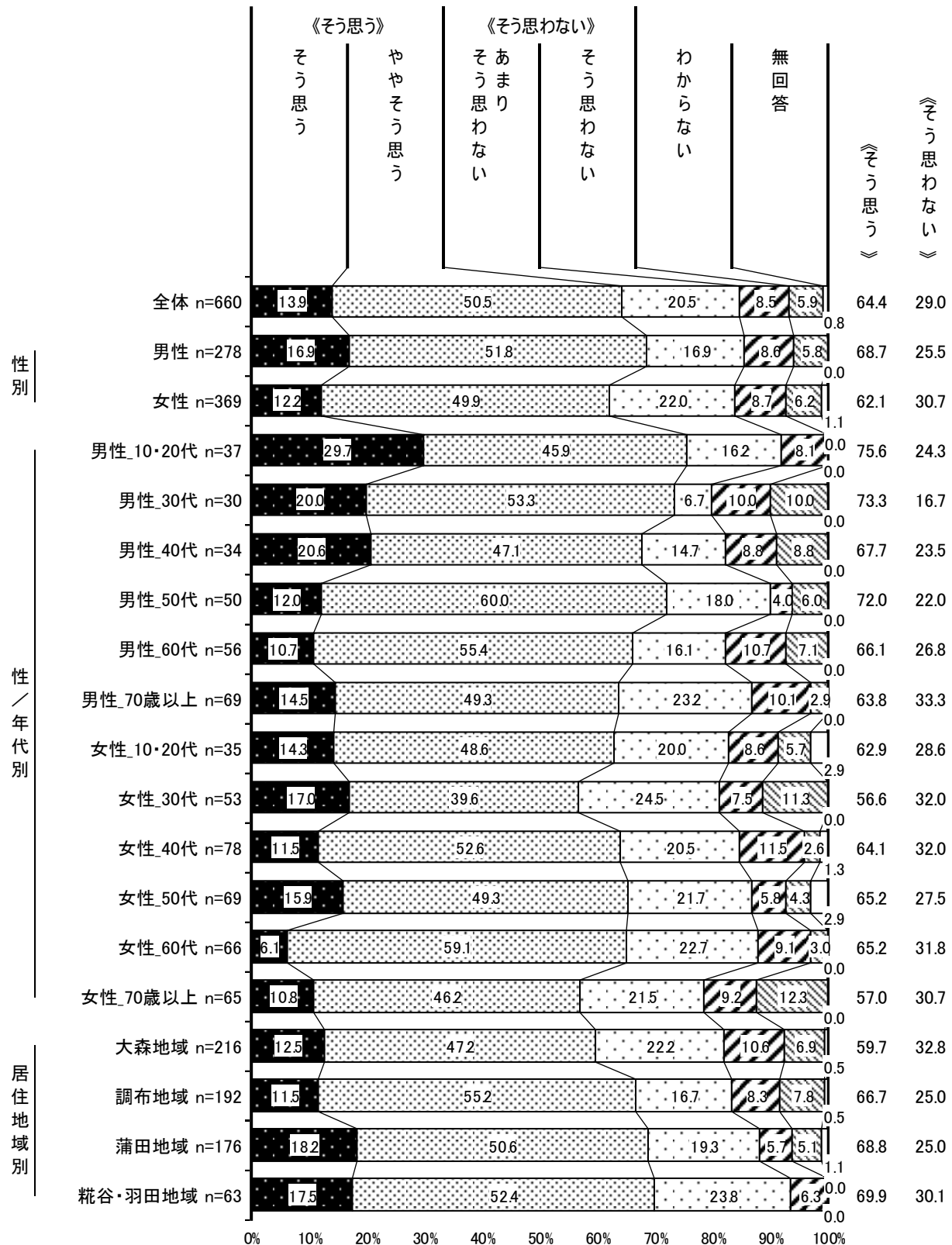


■性別・性／年代別・居住地域別 ②暮らしやすい都市づくり

性別でみると、《そう思う》は男性が 68.7%、女性が 62.1%と、男性が 6.6 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思う》は男性 10・20 代で 7 割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思う》は蒲田地域、調布地域、糀谷・羽田地域で 6 割後半となっている。

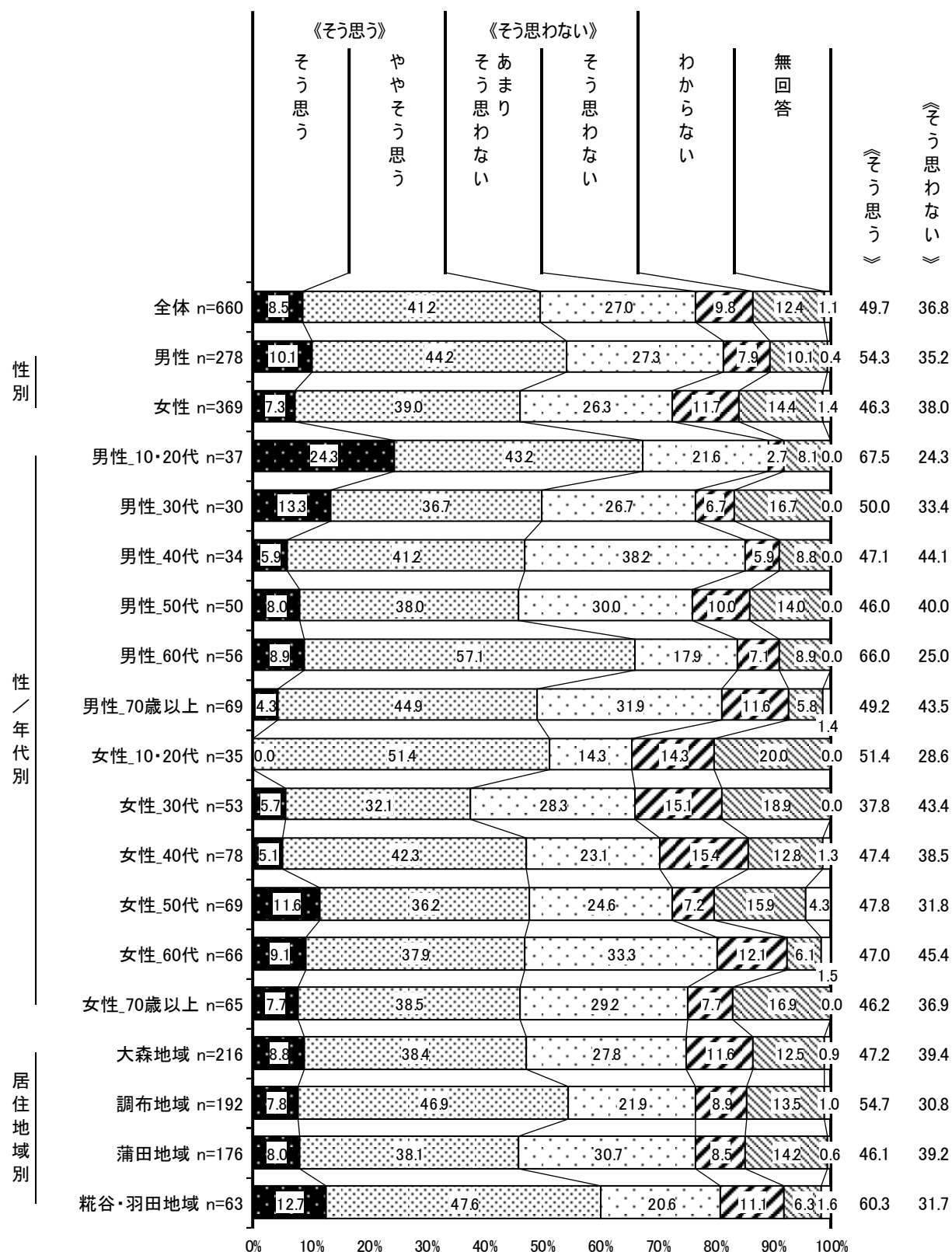


■性別・性／年代別・居住地域別 ③安全・安心な都市づくり

性別でみると、《そう思う》は男性が 54.3%、女性が 46.3%と、男性が 8.0 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思う》は男性 10・20 代、60 代で 6 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思う》は糞谷・羽田地域で約 6 割と高くなっている。

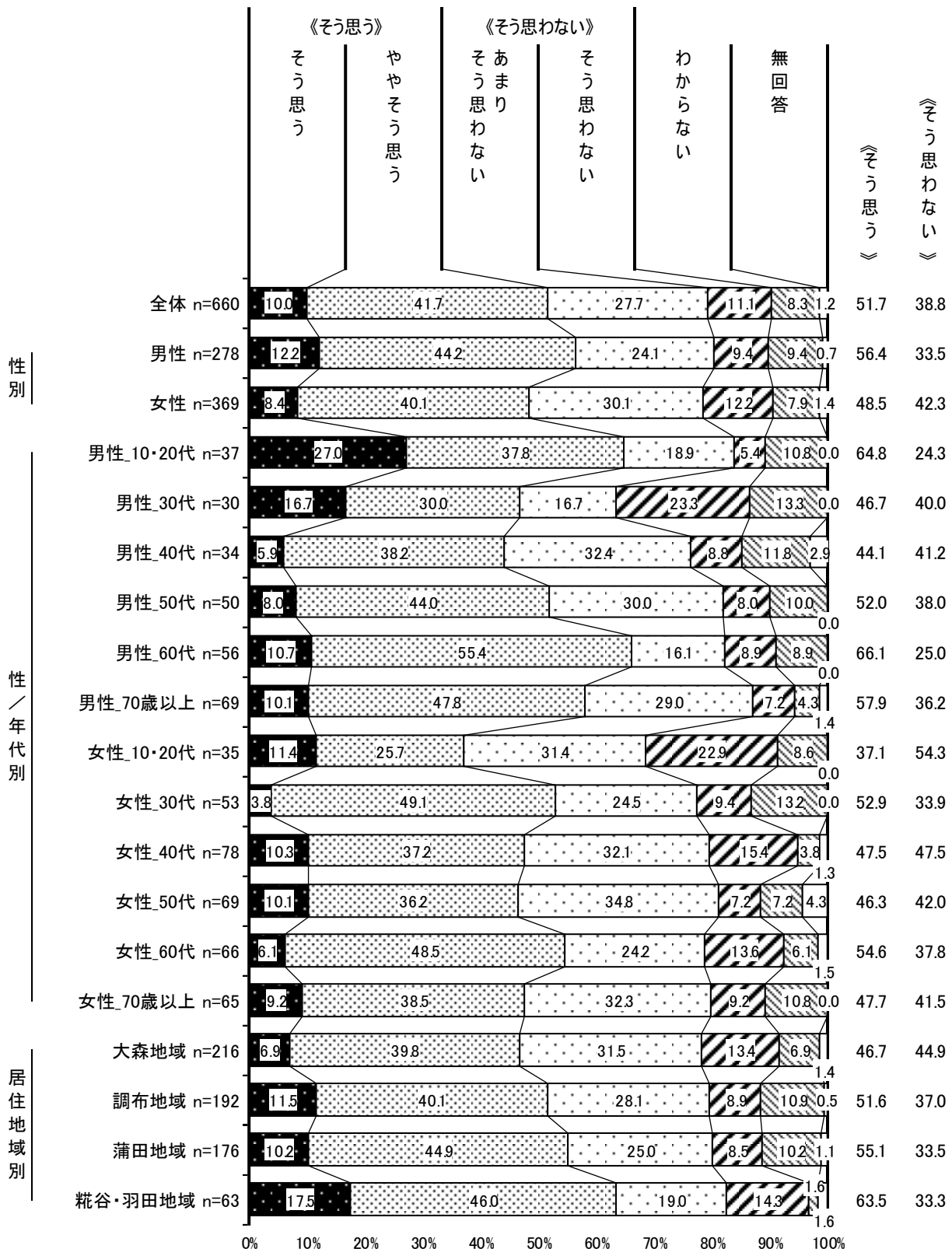


■性別・性／年代別・居住地域別 ④環境に配慮した都市づくり

性別でみると、《そう思う》は男性が 56.4%、女性が 48.5%と、男性が 7.9 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《そう思う》は男性 60 代で 6 割後半、男性 10・20 代で 6 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《そう思う》は糞谷・羽田地域で 6 割前半と高くなっている。



(2) 最も望む公共施設

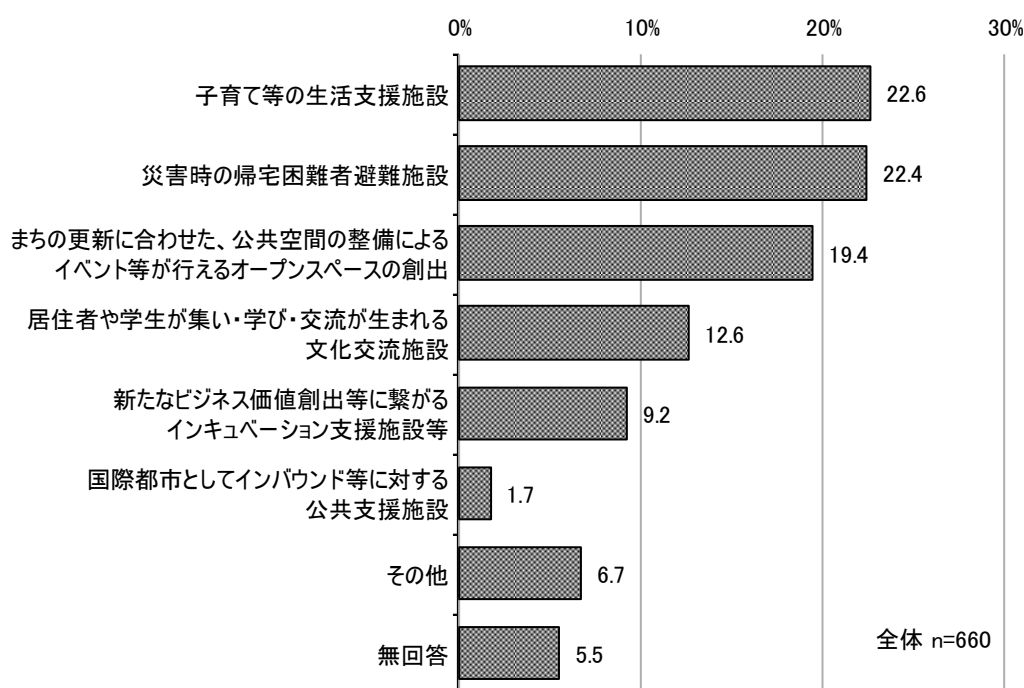
◇「子育て等の生活支援施設」、「災害時の帰宅困難者避難施設」が2割前半となっている

問 15 区は、地域住民・事業者・行政が一体となってまちづくりを進めていくため、令和4年4月に「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」を策定しました。

この計画に基づき、まちの機能更新を見据えた時、蒲田駅周辺の魅力を向上させるためには、どのような公共施設を望みますか。

最も望む施設を1つお答えください。(1つのみ)

最も望む公共施設については、「子育て等の生活支援施設」が22.6%と最も高く、次いで「災害時の帰宅困難者避難施設」が22.4%、「まちの更新に合わせた、公共空間の整備によるイベント等が行えるオープンスペースの創出」が19.4%となっている。

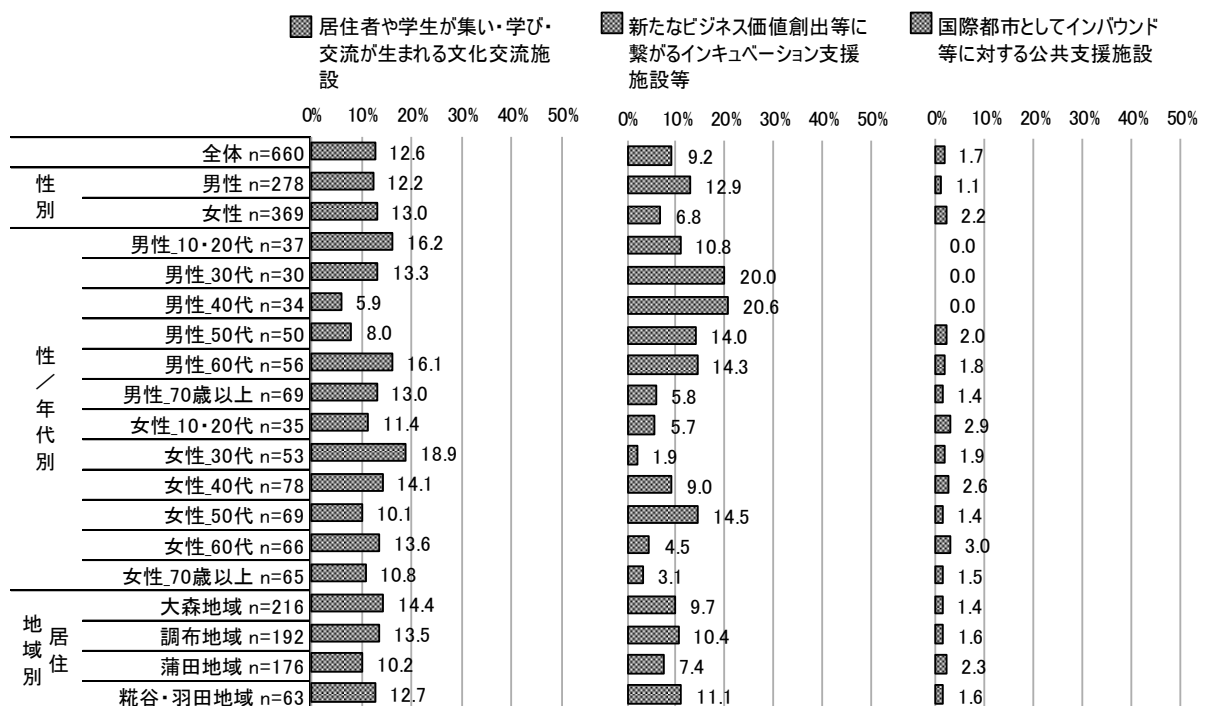
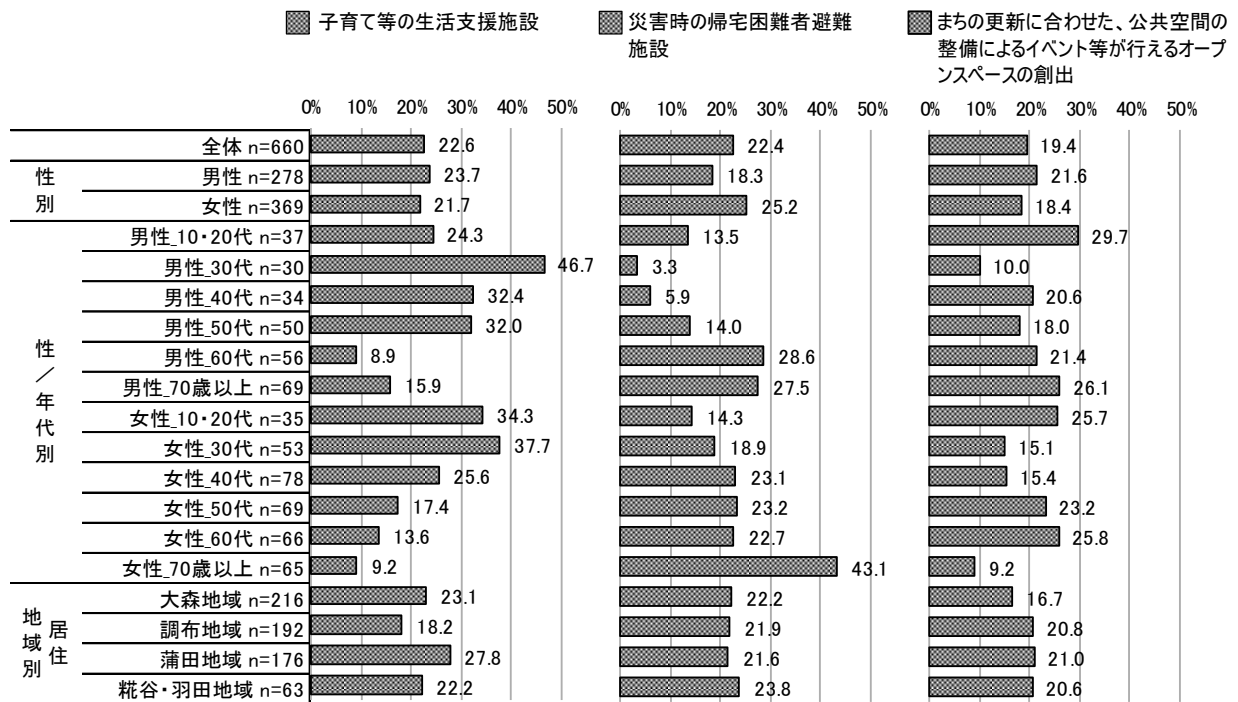


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「子育て等の生活支援施設」が、女性では「災害時の帰宅困難者避難施設」が最も高くなっている。「災害時の帰宅困難者避難施設」は男性が 18.3%、女性が 25.2%と、女性が 6.9 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「子育て等の生活支援施設」は男性 30 代～50 代、女性 10・20 代、30 代で 3 割以上と高くなっている。「災害時の帰宅困難者避難施設」は女性 70 歳以上で 4 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「子育て等の生活支援施設」は蒲田地域で 2 割後半と高くなっている。



10 『羽田イノベーションシティ』について

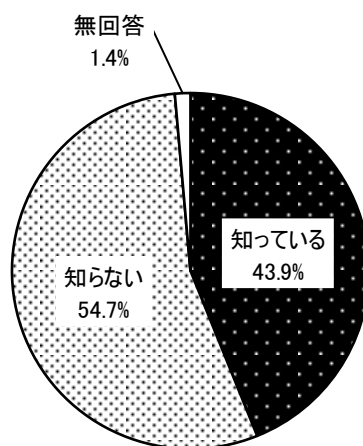
(1) 羽田イノベーションシティの認知度

◇「知っている」は4割前半となっている

問 16 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。
(1つのみ)

羽田イノベーションシティの認知度については、「知っている」が43.9%となっている。一方、「知らない」が54.7%と、「知らない」が10.8ポイント上回っている。

全体 n=660

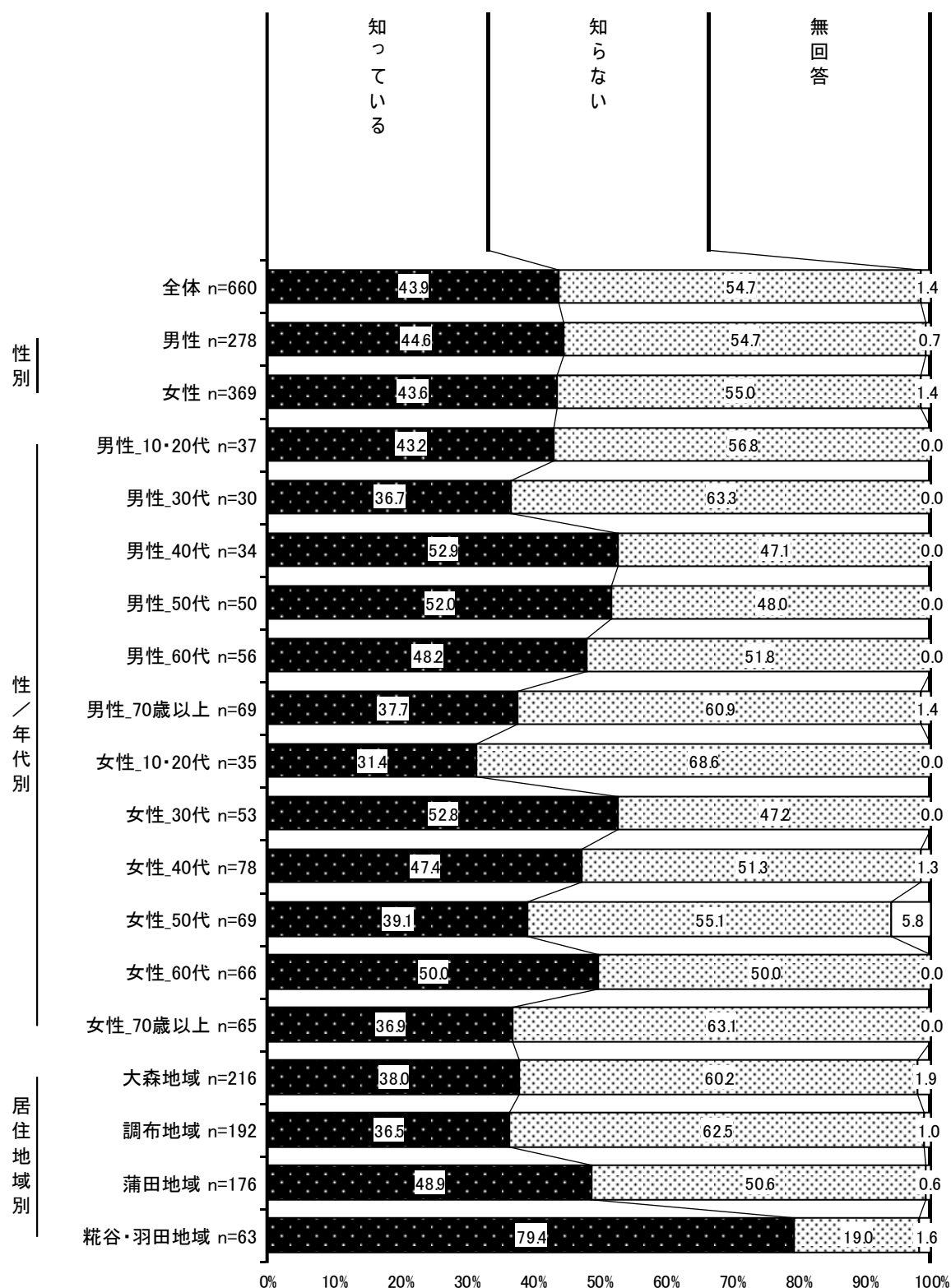


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「知っている」は男性 40 代、50 代、女性 30 代で 5 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は糀谷・羽田地域で 7 割後半と高くなっている。



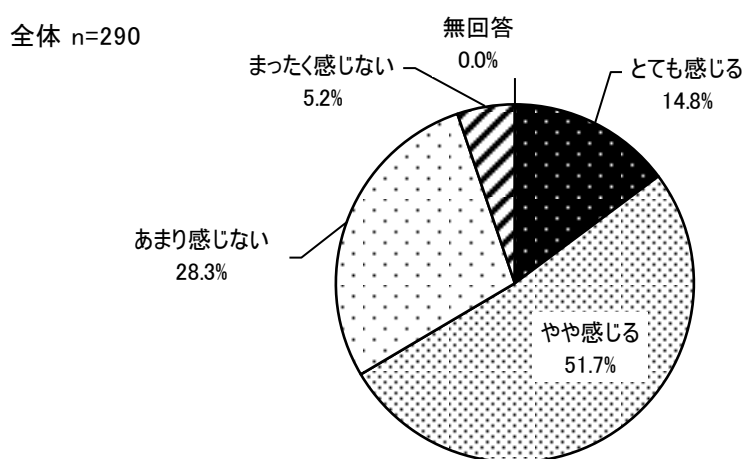
(2) 羽田イノベーションシティへの期待感や満足感

◇《感じる》(「とても感じる」「やや感じる」の合計値)は6割後半となっている

【問 16 で「1 知っている」と回答した方に伺います。】

問 16-1 羽田イノベーションシティは、「新産業創造・発信拠点」の形成に向けて、世界と地域をつなぐゲートウェイとして、国内外のヒト・モノ・情報を集積し、ここに集う国内外のプレイヤーが互いに交流することによる新たなビジネスやイノベーションの創造や、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信する目的で整備したまちです。このようなまちができたことについて、区民として期待感や満足感、誇らしさを感じますか。(1つのみ)

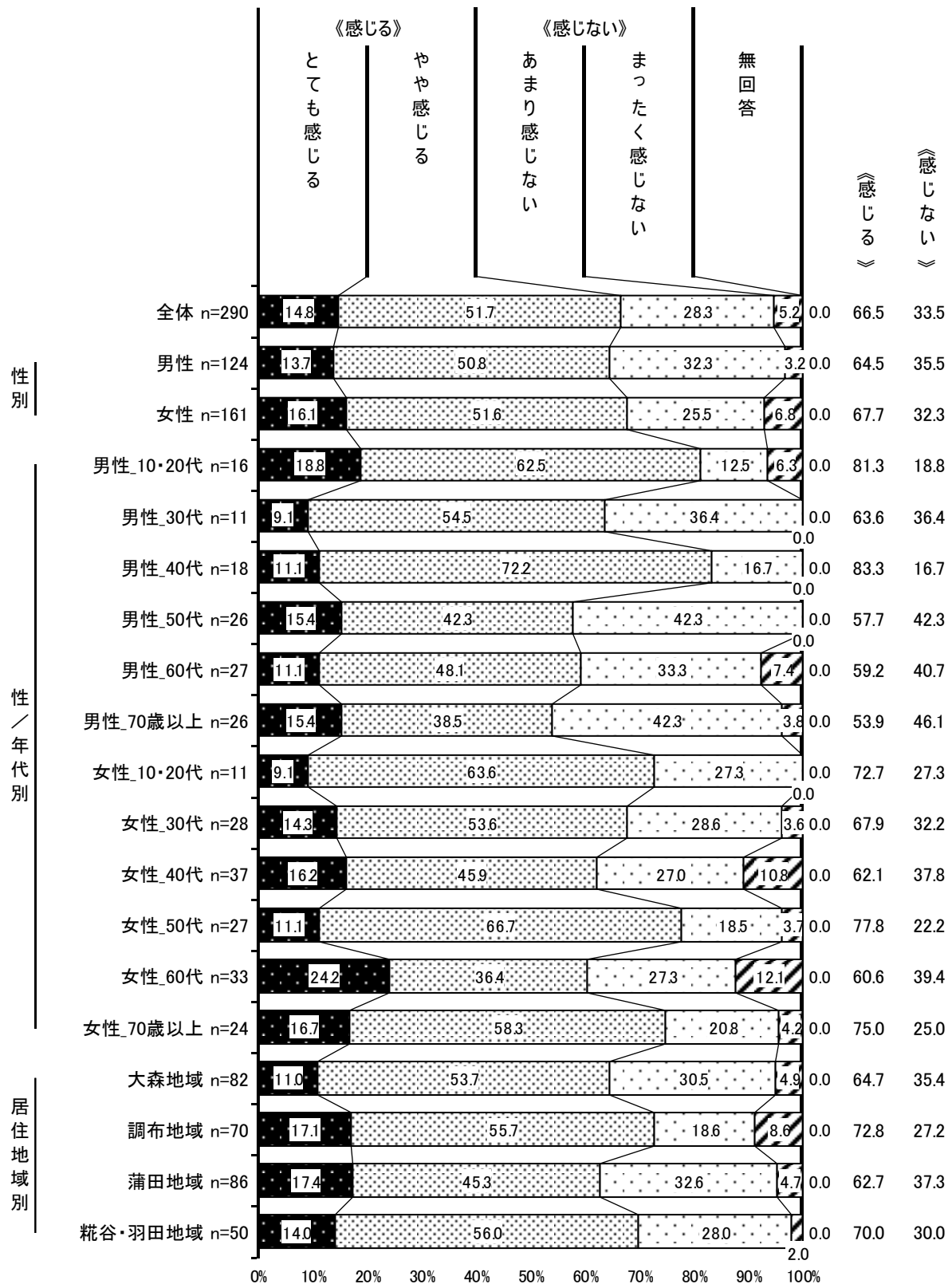
羽田イノベーションシティへの期待感や満足感については、「とても感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》は66.5%となっている。一方、「あまり感じない」、「まったく感じない」の合計値《感じない》は33.5%と、《感じる》が33.0ポイント上回っている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

居住地域別でみると、《感じる》は調布地域で7割前半と高くなっている。



11 羽田空港跡地について

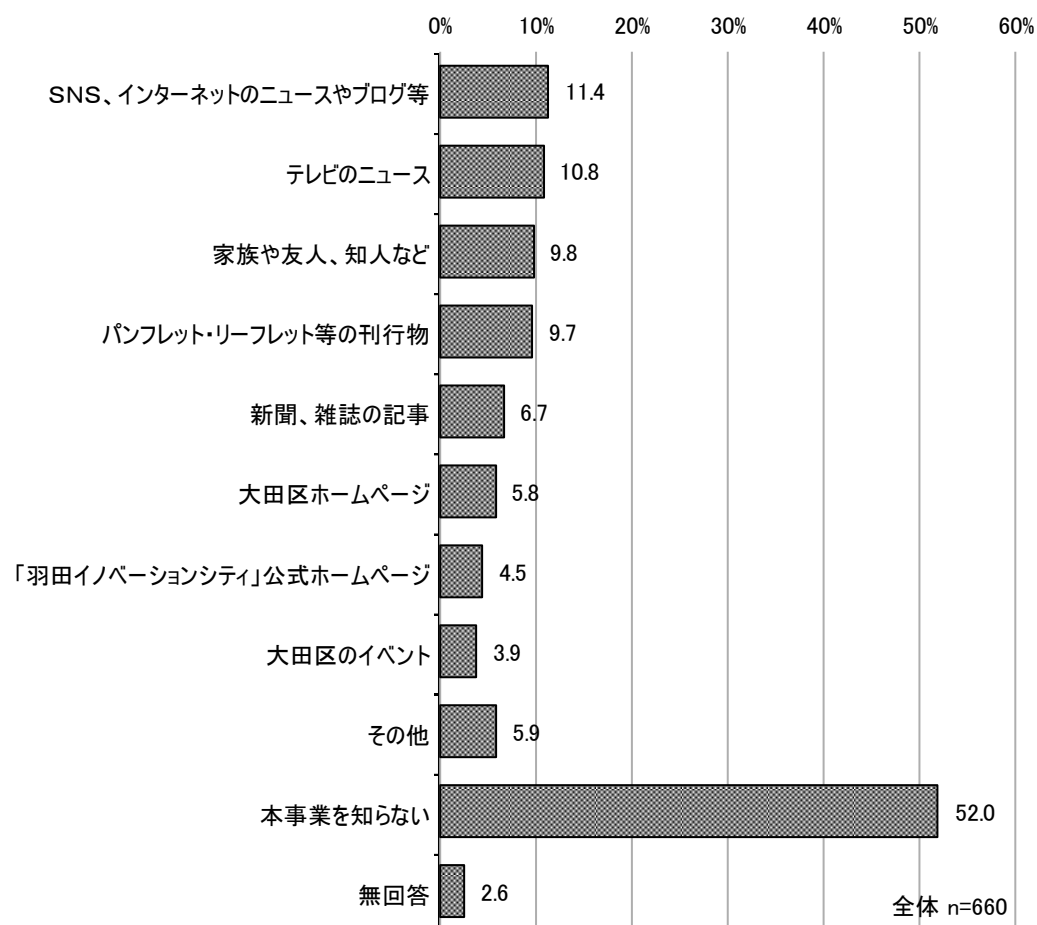
(1)「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の認知方法

◇「SNS、インターネットのニュースやブログ等」が1割前半と最も高くなっている

問 17 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（ZeppHaneda 等のある羽田イノベーションシティを含む）」が進められていることについて、どのように知りましたか。（いくつでも）

「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の認知方法は、「SNS、インターネットのニュースやブログ等」が11.4%で最も高く、次いで「テレビのニュース」が10.8%、「家族や友人、知人など」が9.8%、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が9.7%となっている。

なお、「本事業を知らない」は52.0%となっている。

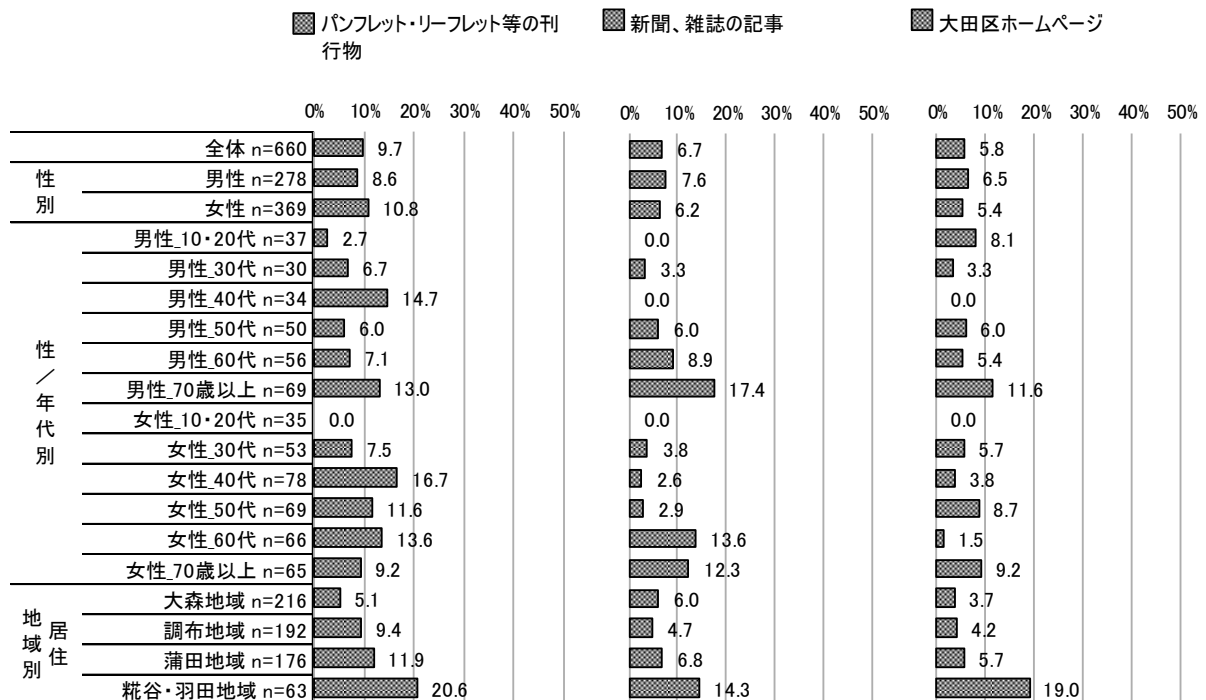
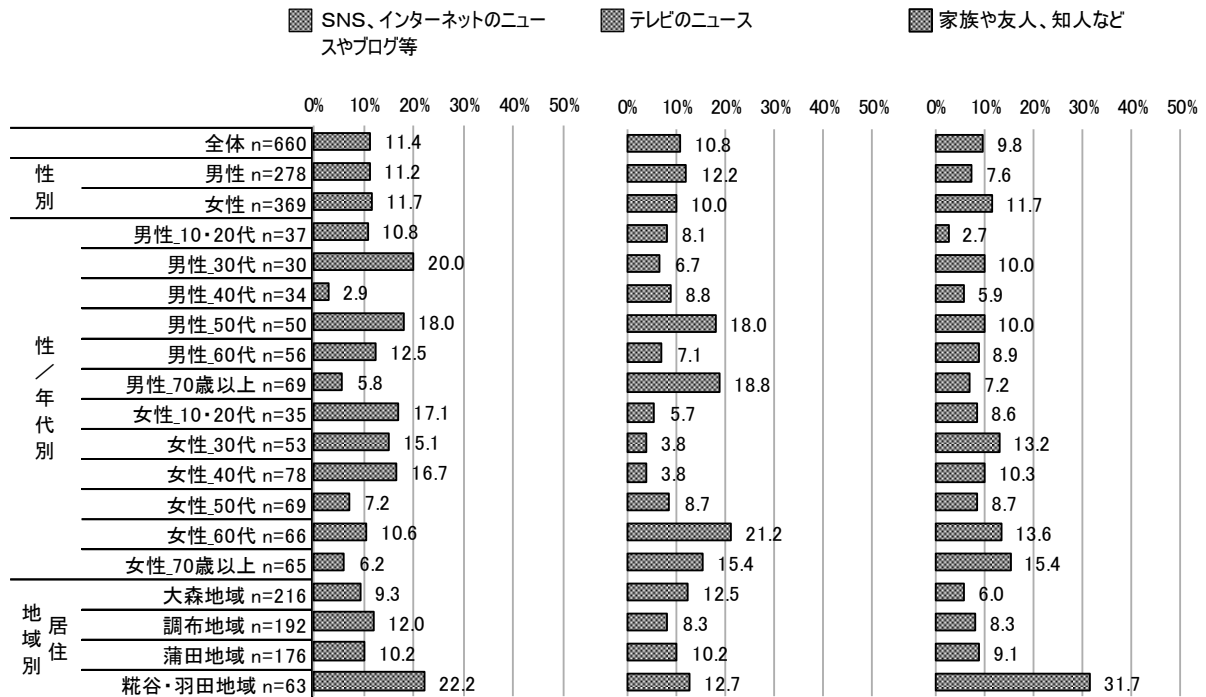


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性では「テレビのニュース」が、女性では「SNS、インターネットのニュースやブログ等」、「家族や友人、知人など」が同率で最も高くなっている。

性／年代別でみると、「SNS、インターネットのニュースやブログ等」は男性30代で2割、男性50代、女性10・20代、40代で1割後半と高くなっている。「テレビのニュース」は女性60代で2割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「家族や友人、知人など」は糀谷・羽田地域で3割前半と高くなっている。



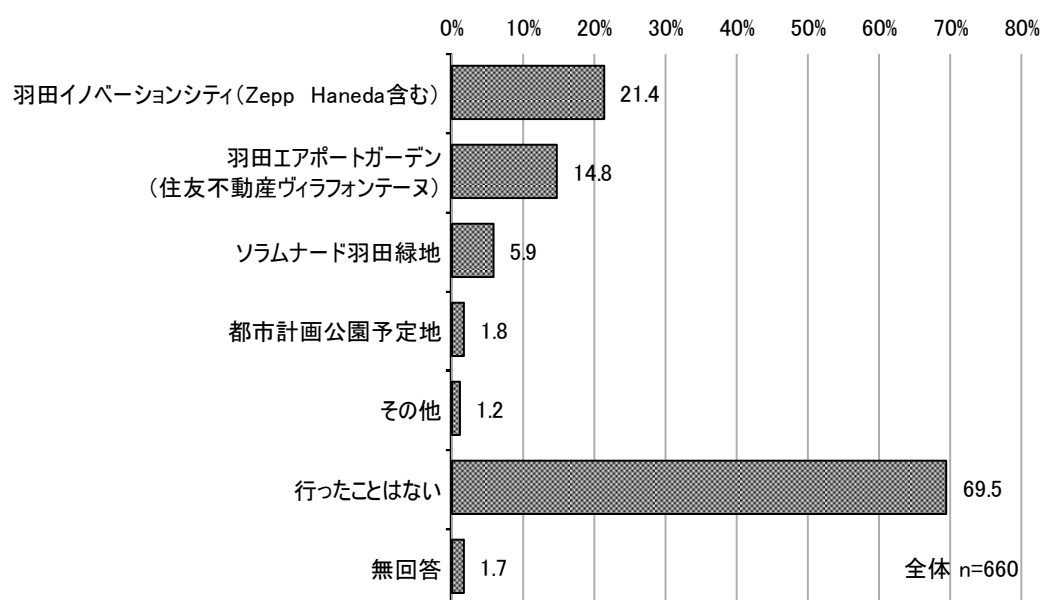
(2)「HANEDA GLOBAL WINGS」の利用したことがある施設

◇「羽田イノベーションシティ（Zepp Haneda 含む）」が2割前半で最も高くなっている

問 18 HANEDA GLOBAL WINGS に行ったことがありますか。行ったことのある場所すべてに○をつけてください。(いくつでも)

「HANEDA GLOBAL WINGS」の利用したことがある施設については、「羽田イノベーションシティ（Zepp Haneda 含む）」が 21.4%で最も高く、次いで「羽田エアポートガーデン（住友不動産ヴィラフォンテーヌ）」が 14.8%、「ソラムナード羽田緑地」が 5.9%となっている。

なお、「行ったことはない」は 69.5%となっている。

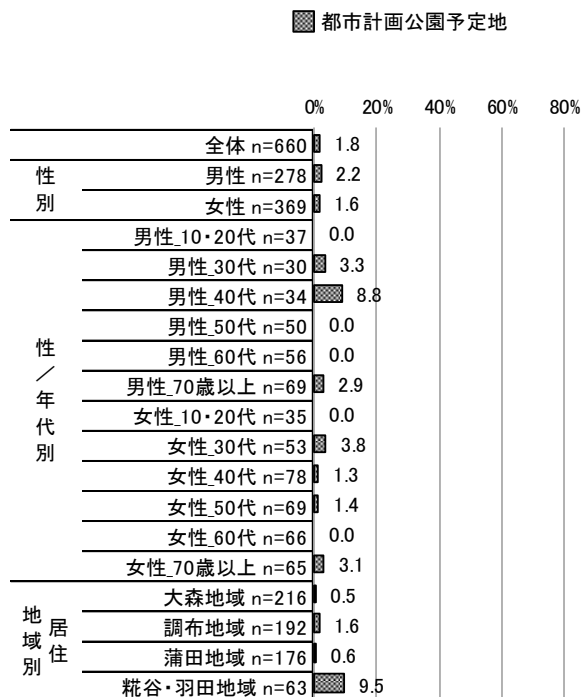
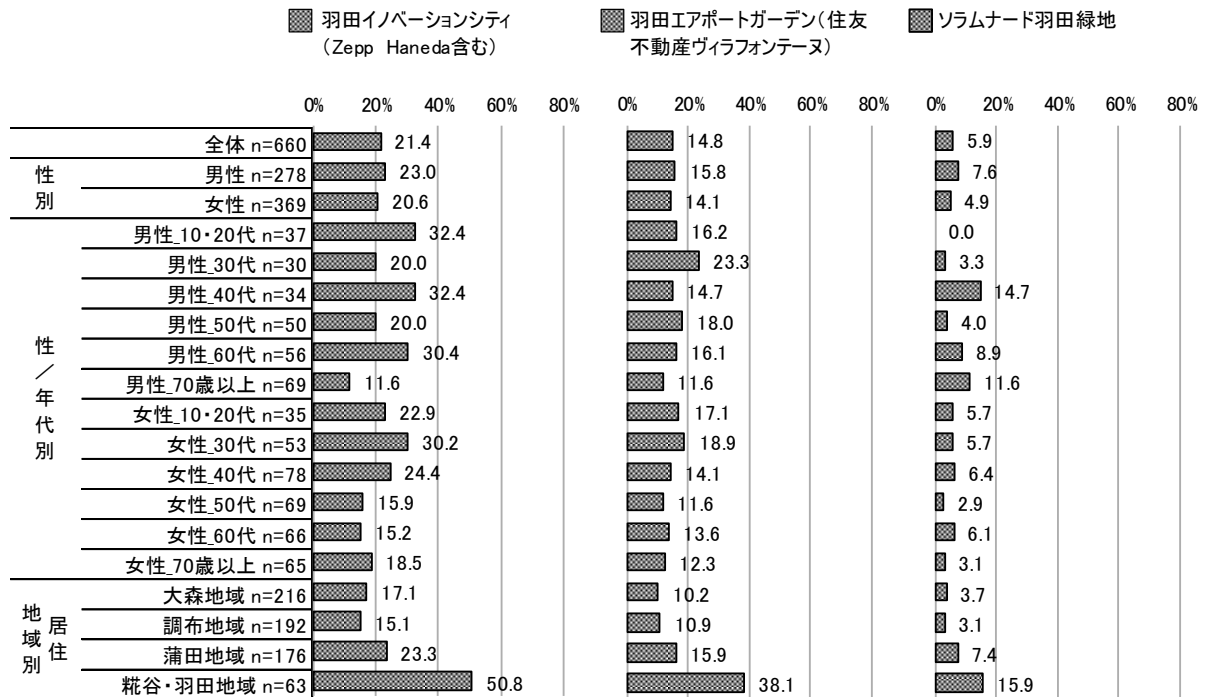


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「羽田イノベーションシティ（Zepp Haneda 含む）」は男性 10・20 代、40 代、60 代、女性 30 代で 3 割台と高くなっている。「ソラムナード羽田緑地」は男性 40 代、70 歳以上で 1 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「羽田イノベーションシティ（Zepp Haneda 含む）」は糀谷・羽田地域で約 5 割と高くなっている。



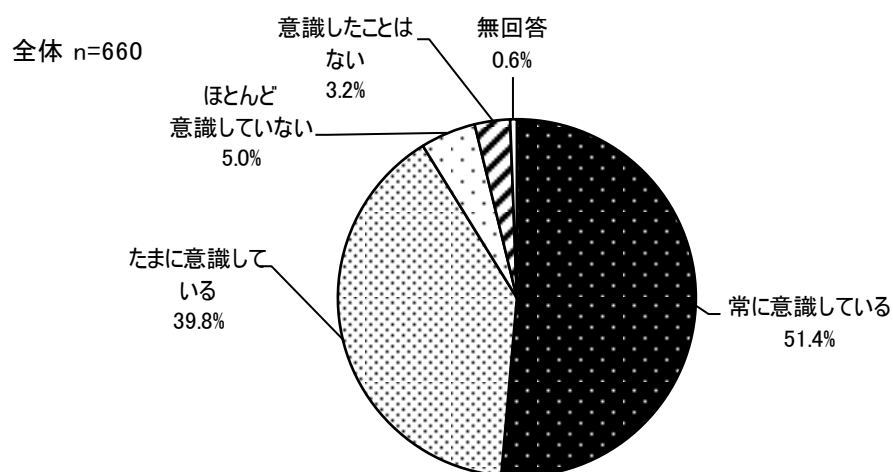
12 食品ロス・フードドライブについて

(1)「食品ロス」への意識

◇《意識している》(「常に意識している」「たまに意識している」の合計値)は9割前半となっている

問 19 普段の生活の中で、「食品ロス」の発生を意識していますか。(1つのみ)

「食品ロス」への意識については、「常に意識している」、「たまに意識している」の合計値《意識している》が91.2%となっている。一方、「ほとんど意識していない」、「意識したことはない」の合計値《意識していない》が8.2%と、《意識している》が83.0ポイント上回っている。

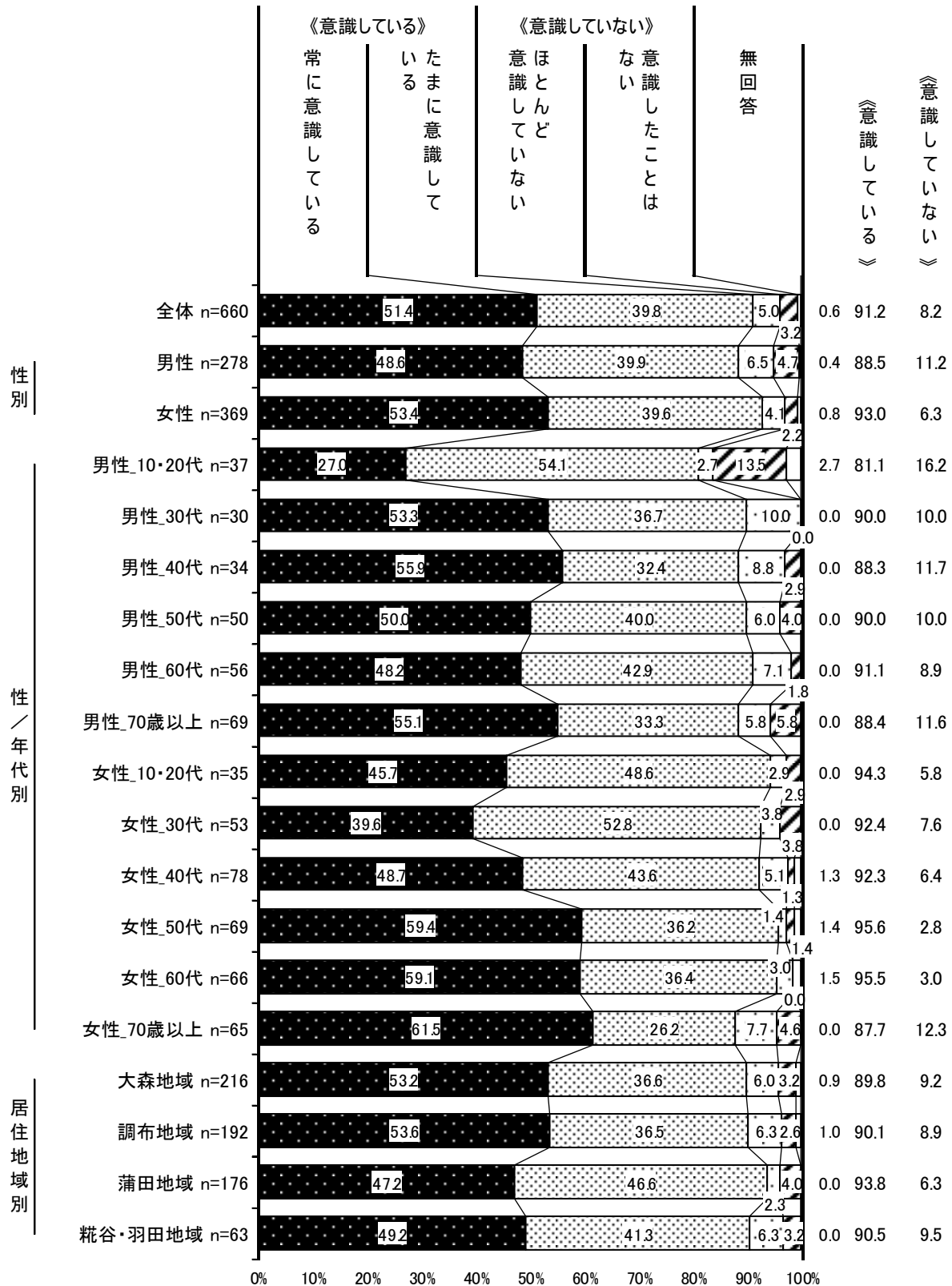


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《意識している》は大きな差はみられないが、「常に意識している」は女性70歳以上で6割前半、女性50代、60代で5割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

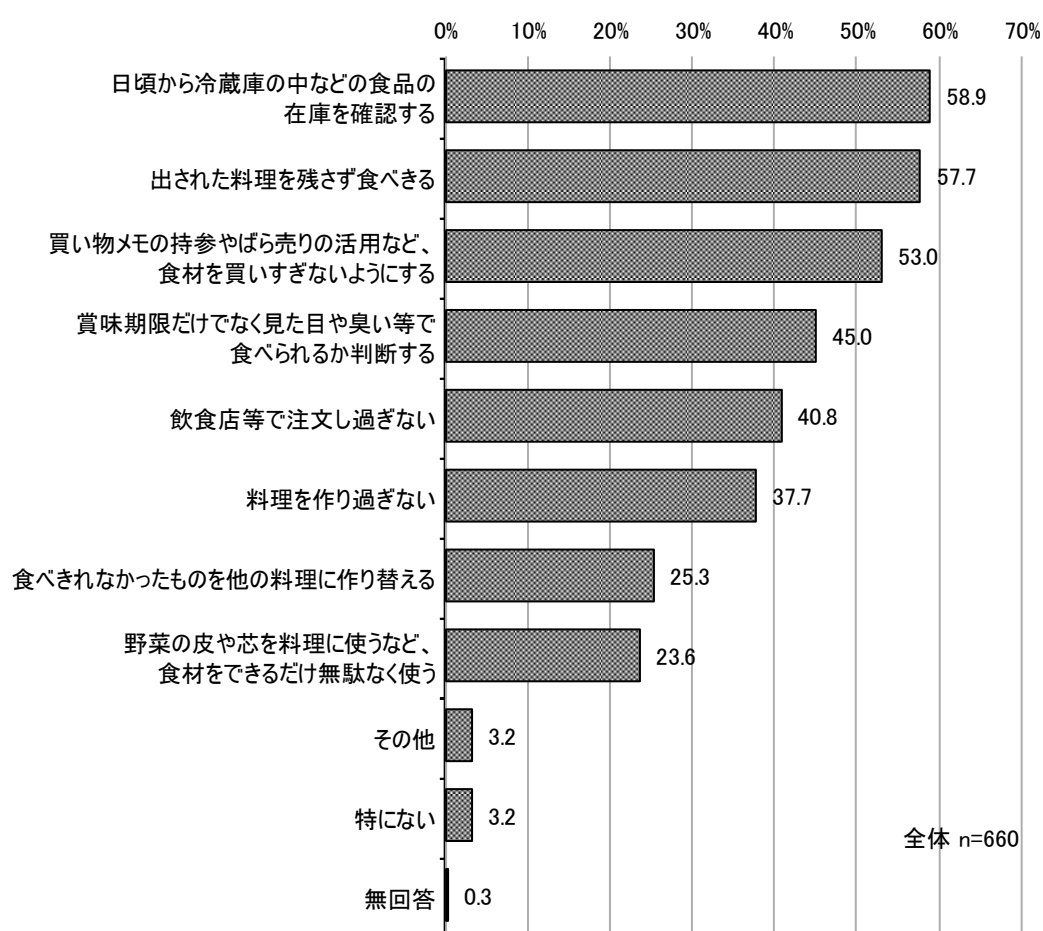


(2)「食品ロス」を減らすための取り組み

◇「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が5割後半で最も高くなっている

問 20 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。
(いくつでも)

「食品ロス」を減らすための取り組みについては、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が 58.9%で最も高く、次いで「出された料理を残さず食べきる」が 57.7%、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」が 53.0%となっている。

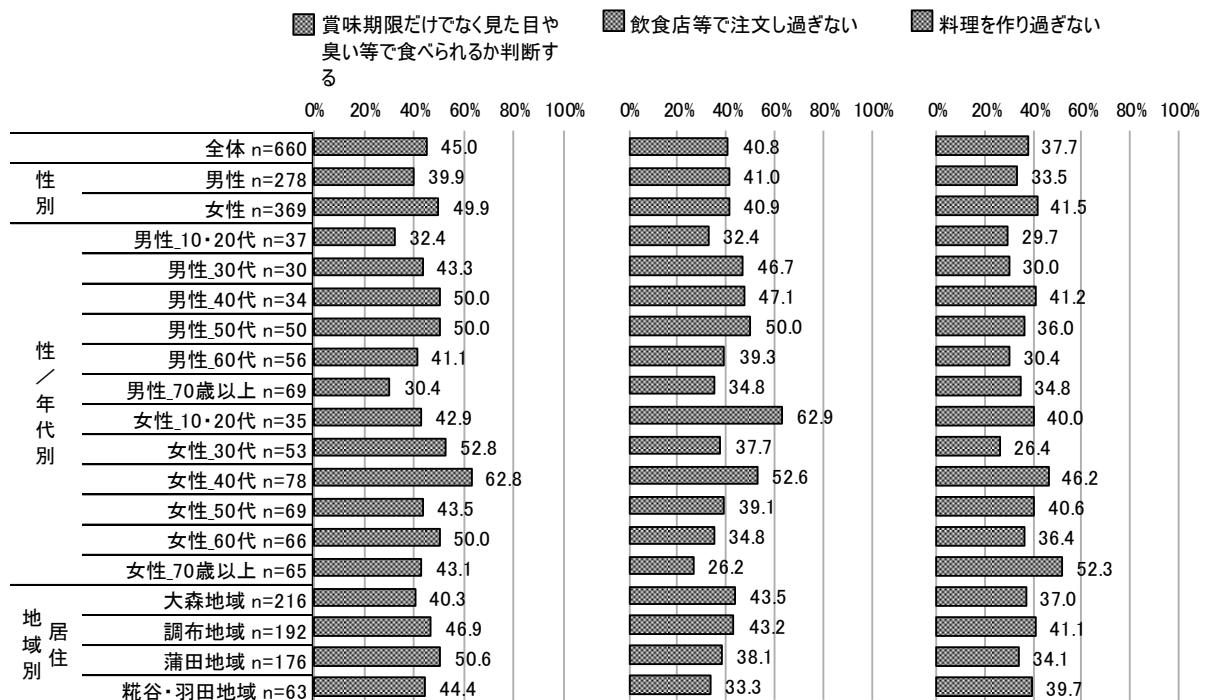
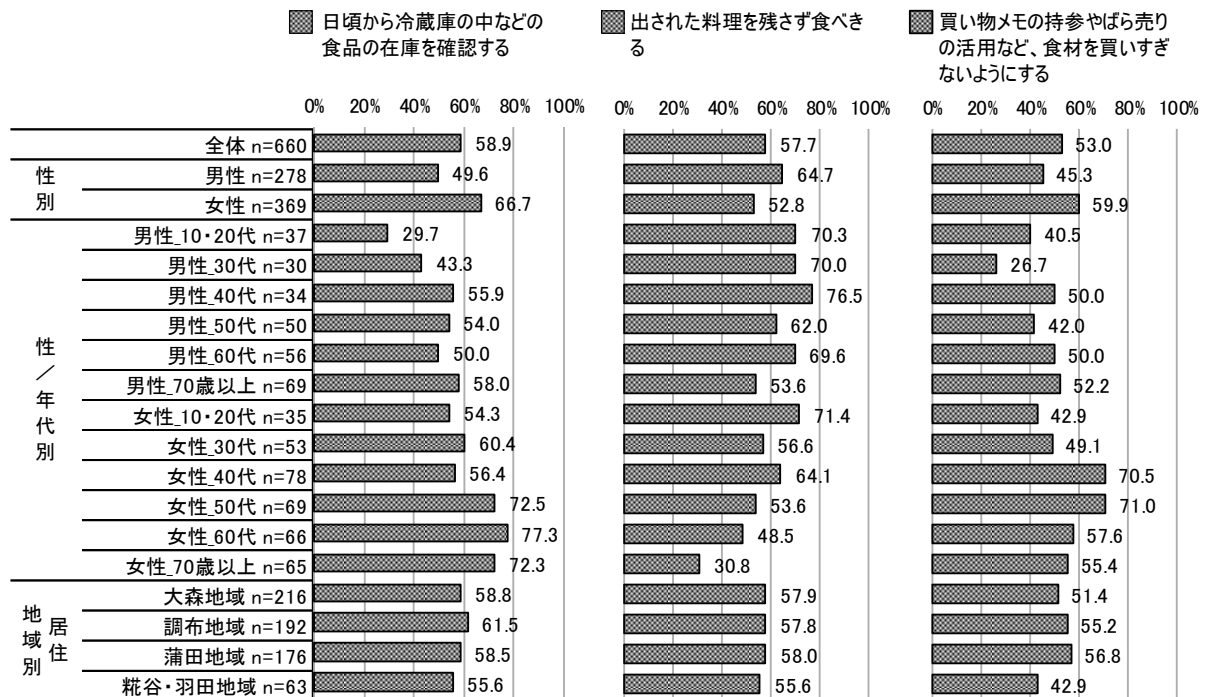


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は男性が49.6%、女性が66.7%と、女性が17.1ポイント、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」は男性が45.3%、女性が59.9%と、女性が14.6ポイント、それぞれ上回っている。「出された料理を残さず食べきる」は男性が64.7%、女性が52.8%と、男性が11.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は女性60代で7割後半、女性50代、70歳以上で7割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



(3) フードドライブへの提供

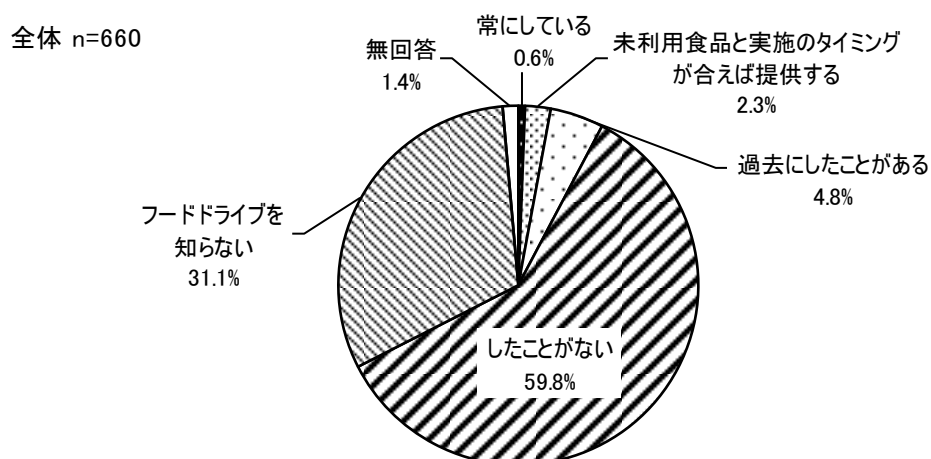
◇「したことがない」が5割後半で最も高くなっている

問 21 フードドライブに提供したことがありますか。(1つのみ)

※ご家庭の未利用食品を、必要としている団体に提供することを、フードドライブといいます。

フードドライブへの提供については、「したことがない」が59.8%で最も高く、次いで「過去にしたことがある」が4.8%、「未利用食品と実施のタイミングが合えば提供する」が2.3%、「常に行っている」が0.6%となっている。

なお、「フードドライブを知らない」は31.1%となっている。

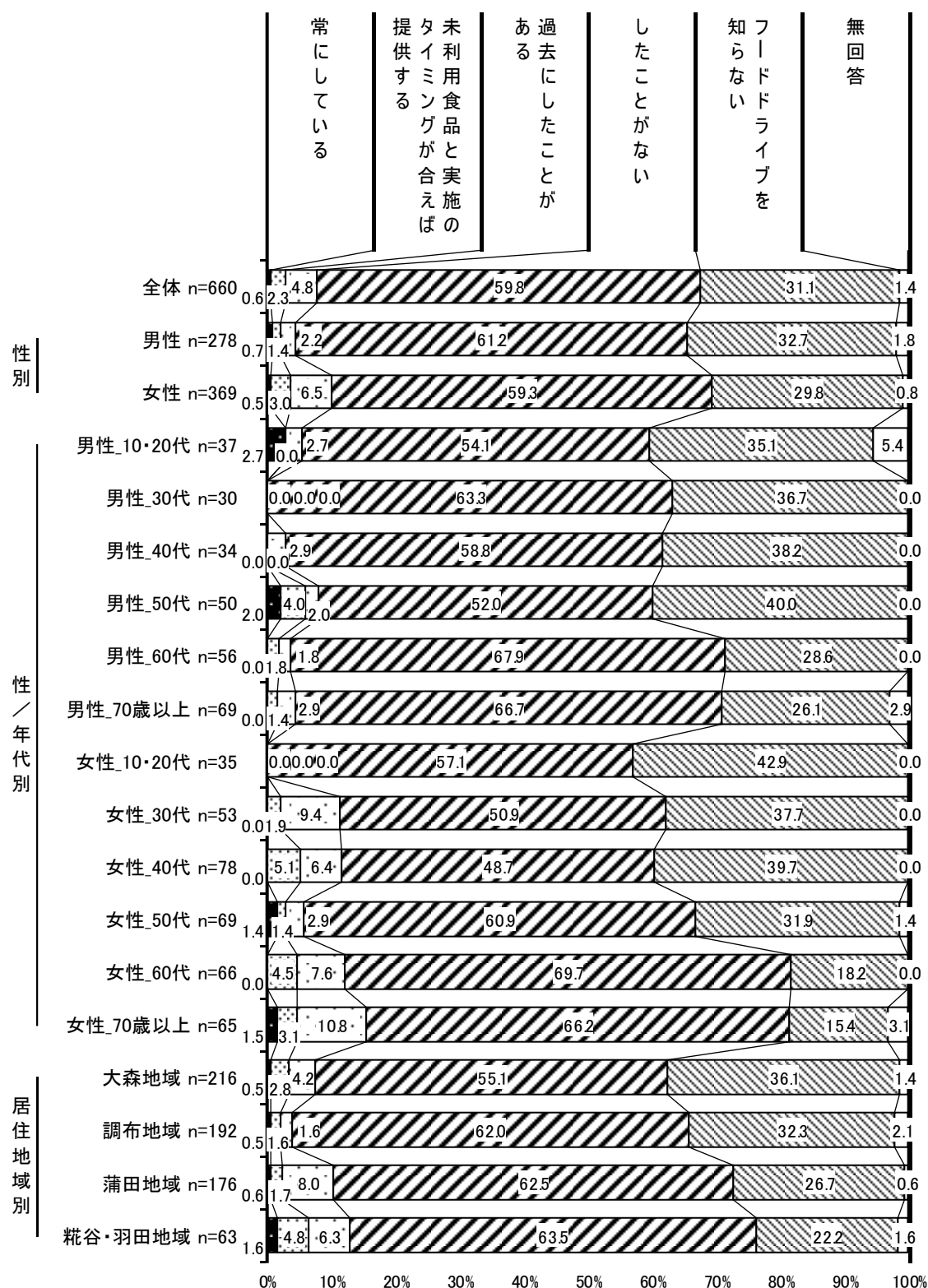


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「したことがない」は男性、女性ともに、60代、70歳以上で6割後半と高くなっている。「フードドライブを知らない」は女性10・20代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「フードドライブを知らない」は大森地域で3割後半と高くなっている。



(4) 食品提供場所

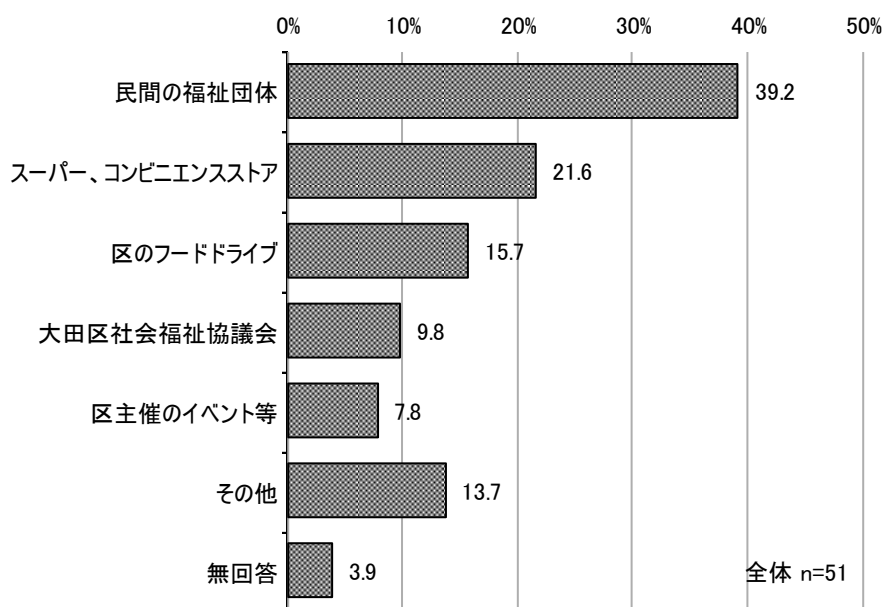
◇「民間の福祉団体」が3割後半で最も高くなっている

【問 21 で「1 常にしている」「2 未利用食品と実施のタイミングが合えば提供する」

「3 過去にしたことがある」と回答した方に伺います。】

問 21-1 食品をどこに提供しましたか。(いくつでも)

食品提供場所については、「民間の福祉団体」が 39.2%で最も高く、次いで「スーパー、コンビニエンスストア」が 21.6%、「区のフードドライブ」が 15.7%となっている。



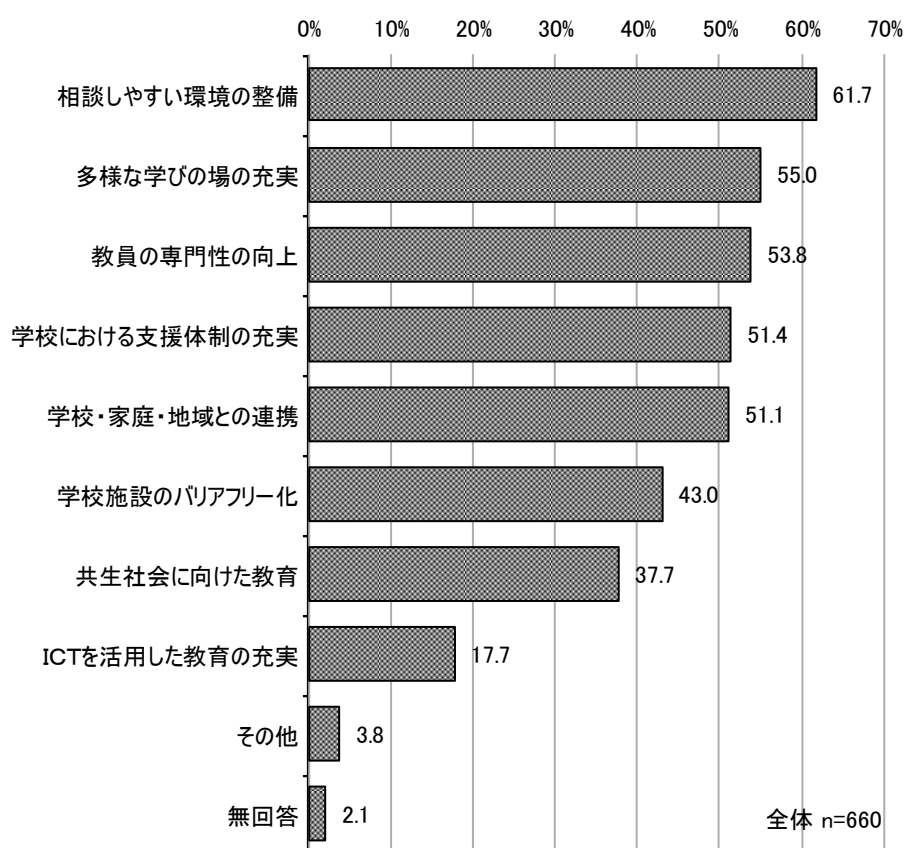
13 教育について

(1) 障がい児の学びを充実させるために重要なもの

◇「相談しやすい環境の整備」が6割前半で最も高くなっている

問 22 障がいのある児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを充実させるために、重要だと思うものを選んでください。(いくつでも)

障がい児の学びを充実させるために重要なものについては、「相談しやすい環境の整備」が61.7%で最も高く、次いで「多様な学びの場の充実」が55.0%、「教員の専門性の向上」が53.8%となっている。

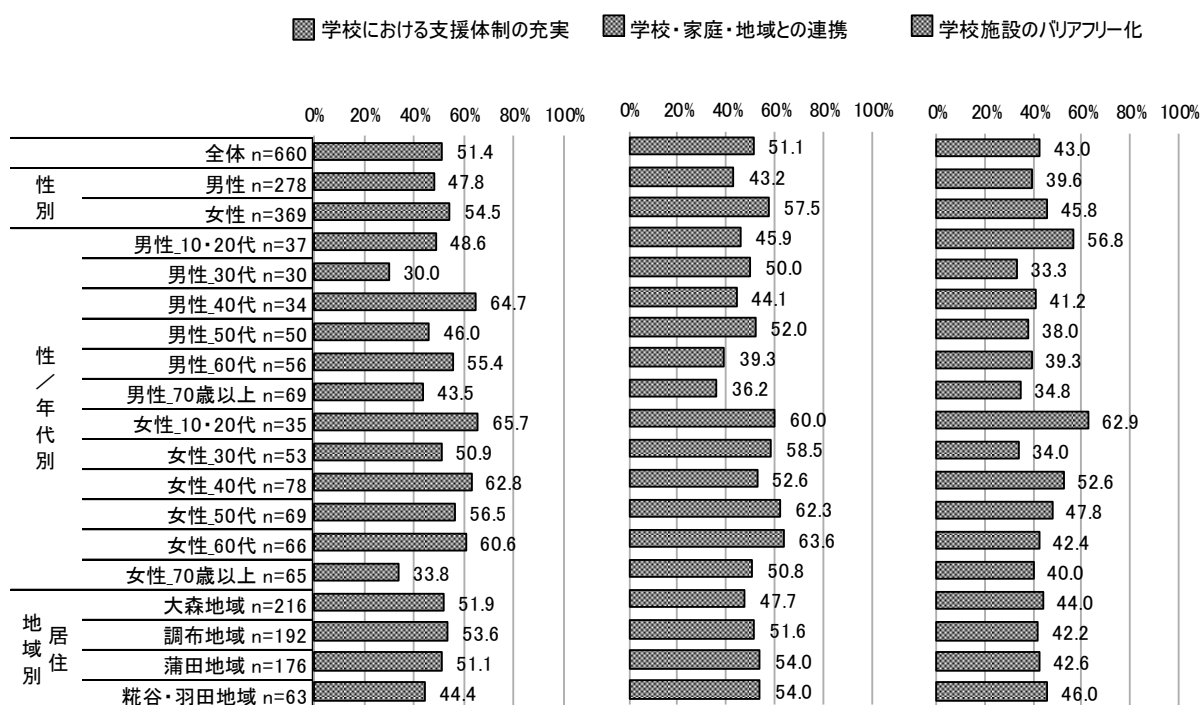
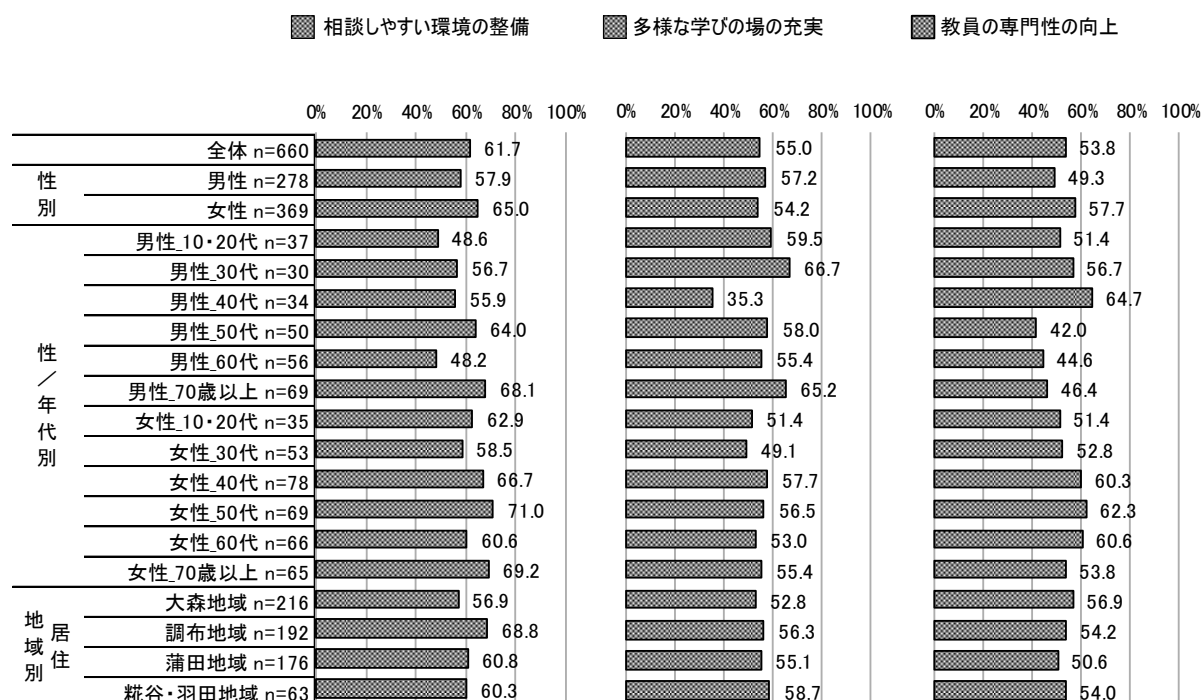


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「相談しやすい環境の整備」が最も高くなっている。「学校・家庭・地域との連携」は男性が43.2%、女性が57.5%と、女性が14.3ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「多様な学びの場の充実」は男性30代、70歳以上で6割台と高くなっている。「学校における支援体制の充実」は男性40代、女性10・20代、40代、60代で6割台と高くなっている。

居住地域別でみると、「相談しやすい環境の整備」は調布地域で6割後半と高くなっている。



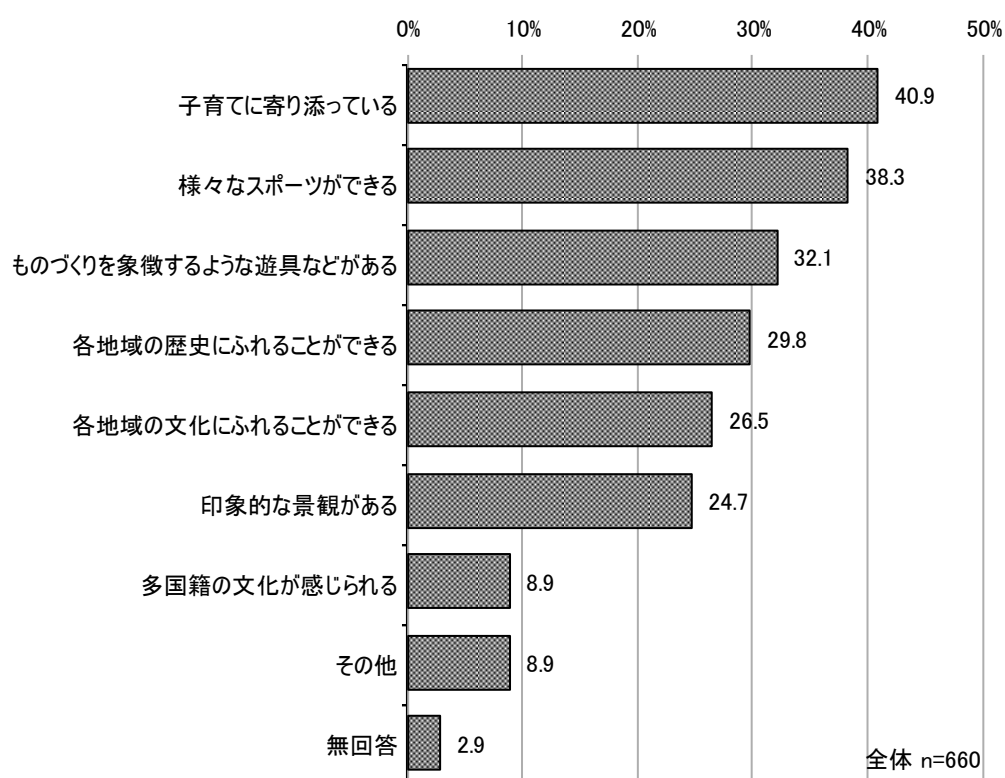
14 公園について

(1) 大田区らしいと感じる公園

◇「子育てに寄り添っている」が約4割で最も高くなっている

問 23 大田区らしいと感じられる公園とはどんな公園ですか。(いくつでも)

大田区らしいと感じられる公園については、「子育てに寄り添っている」が40.9%で最も高く、次いで「様々なスポーツができる」が38.3%、「ものづくりを象徴するような遊具などがある」が32.1%となっている。



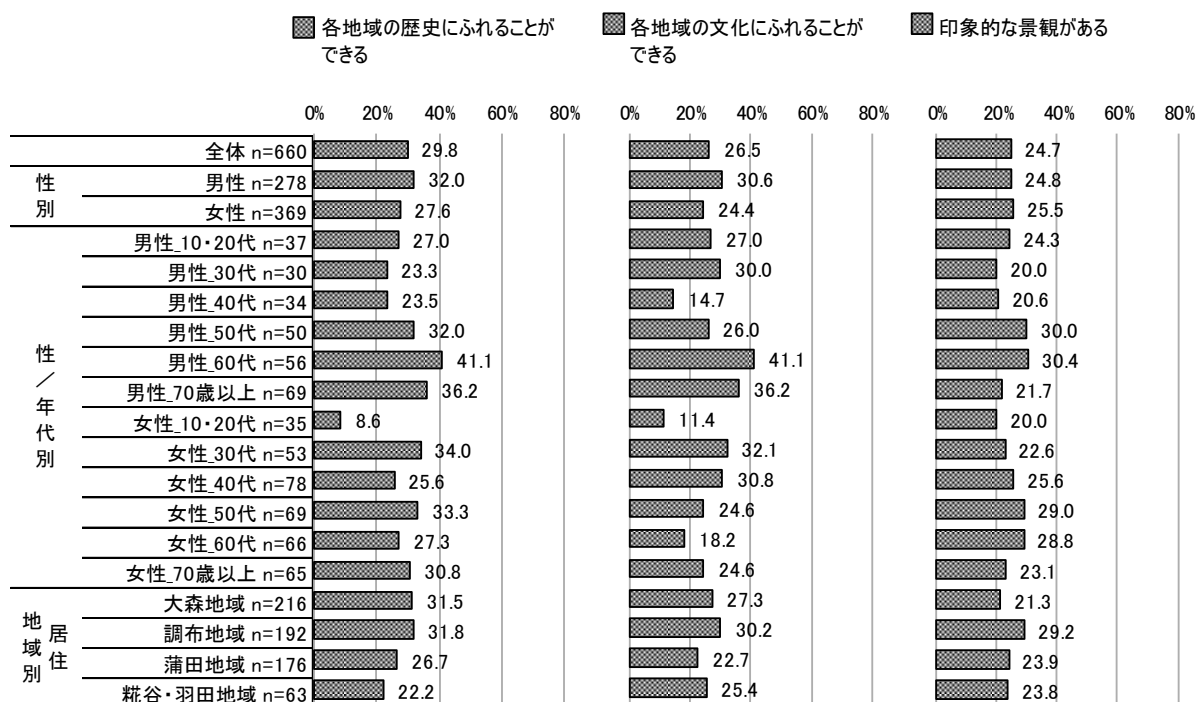
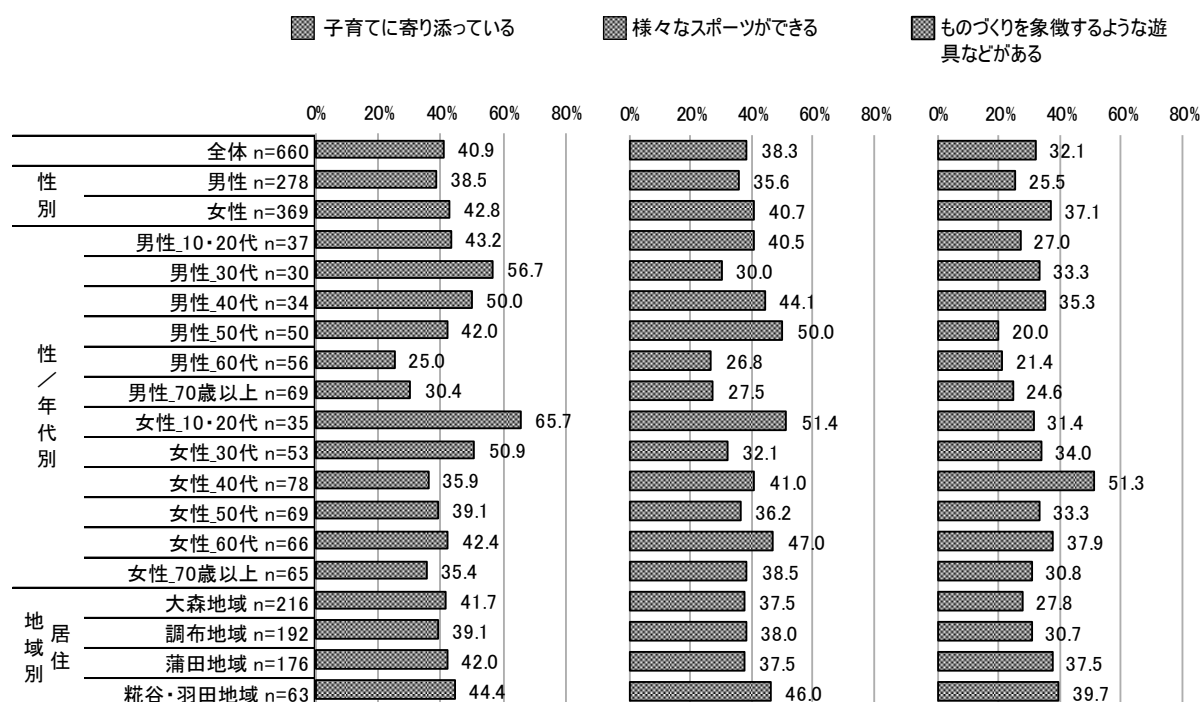
■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「ものづくりを象徴するような遊具などがある」は男性が 25.5%、女性が 37.1%と、女性が 11.6 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「子育てに寄り添っている」は女性 10・20 代で 6 割半ばと高くなっている。

「ものづくりを象徴するような遊具などがある」は女性 40 代で 5 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「様々なスポーツができる」は糞谷・羽田地域で 4 割後半と高くなっている。



15 自転車について

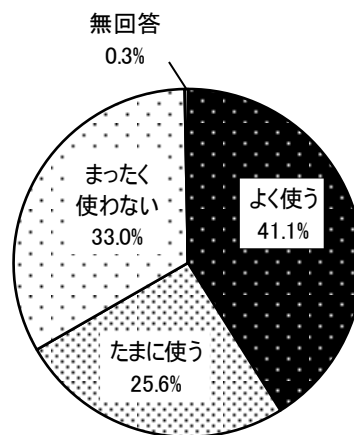
(1) 自転車の利用状況

◇「よく使う」は4割前半となっている

問 24 あなたは、普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

自転車の利用状況は、「よく使う」が41.1%で最も高く、次いで「まったく使わない」が33.0%、「たまに使う」が25.6%となっている。

全体 n=660

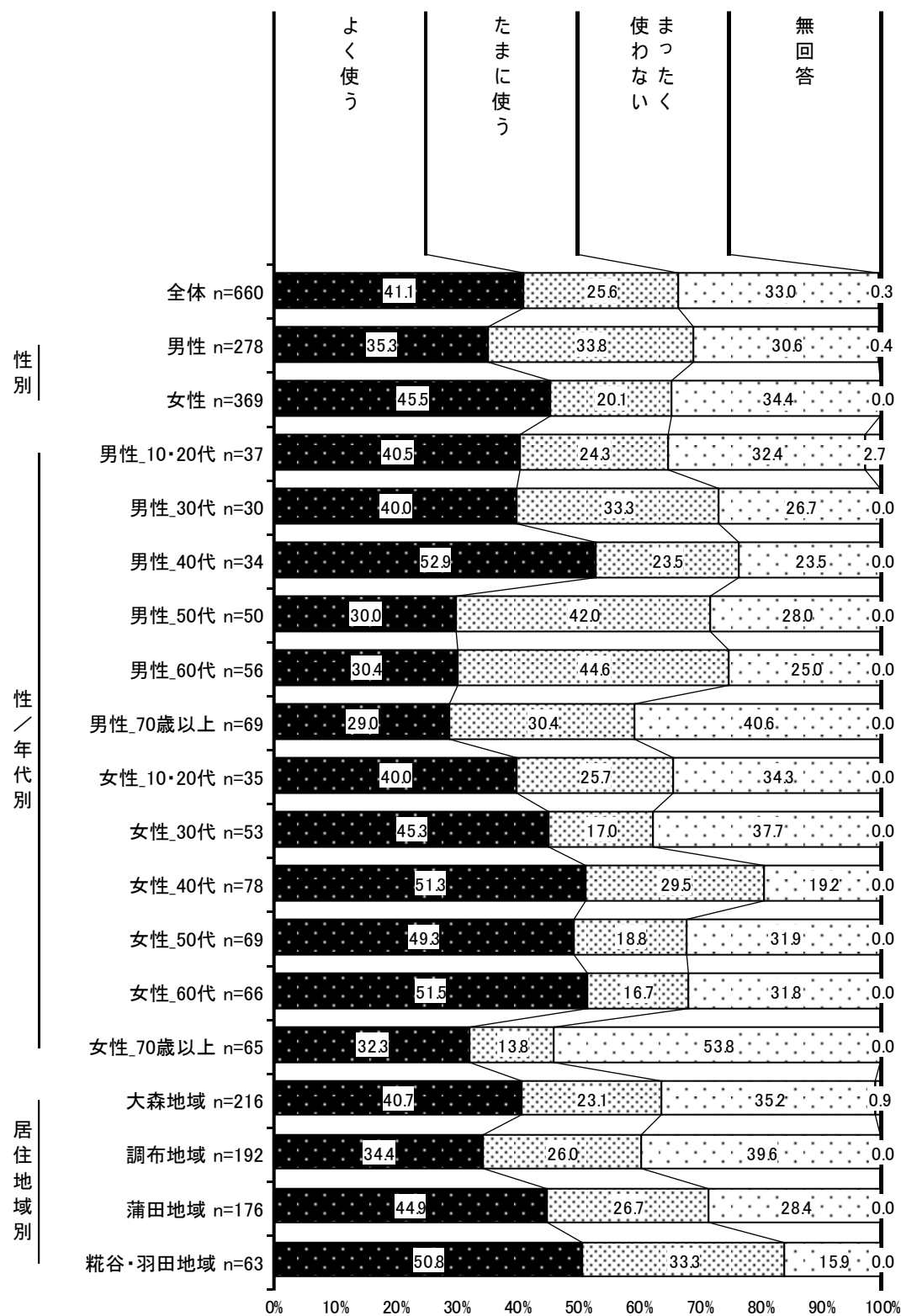


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「よく使う」は男性が35.3%、女性が45.5%と、女性が10.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「よく使う」は男性40代、女性40代、60代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「よく使う」は糞谷・羽田地域で約5割と高くなっている。

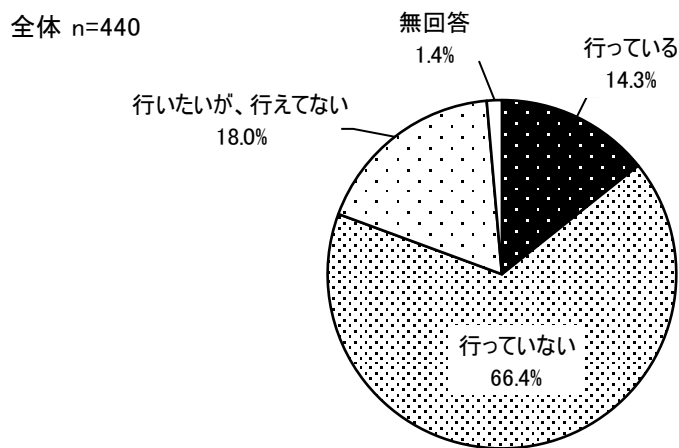


(2) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況

◇「行っている」は1割前半となっている

問 25 あなたは、休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。(1つのみ)

普段自転車を「よく使う」または「たまに使う」と回答した方の、サイクリングやサイクルスポーツの実施状況については、「行っていない」が66.4%で最も高く、次いで「行いたい、行えていない」が18.0%、「行っている」が14.3%となっている。

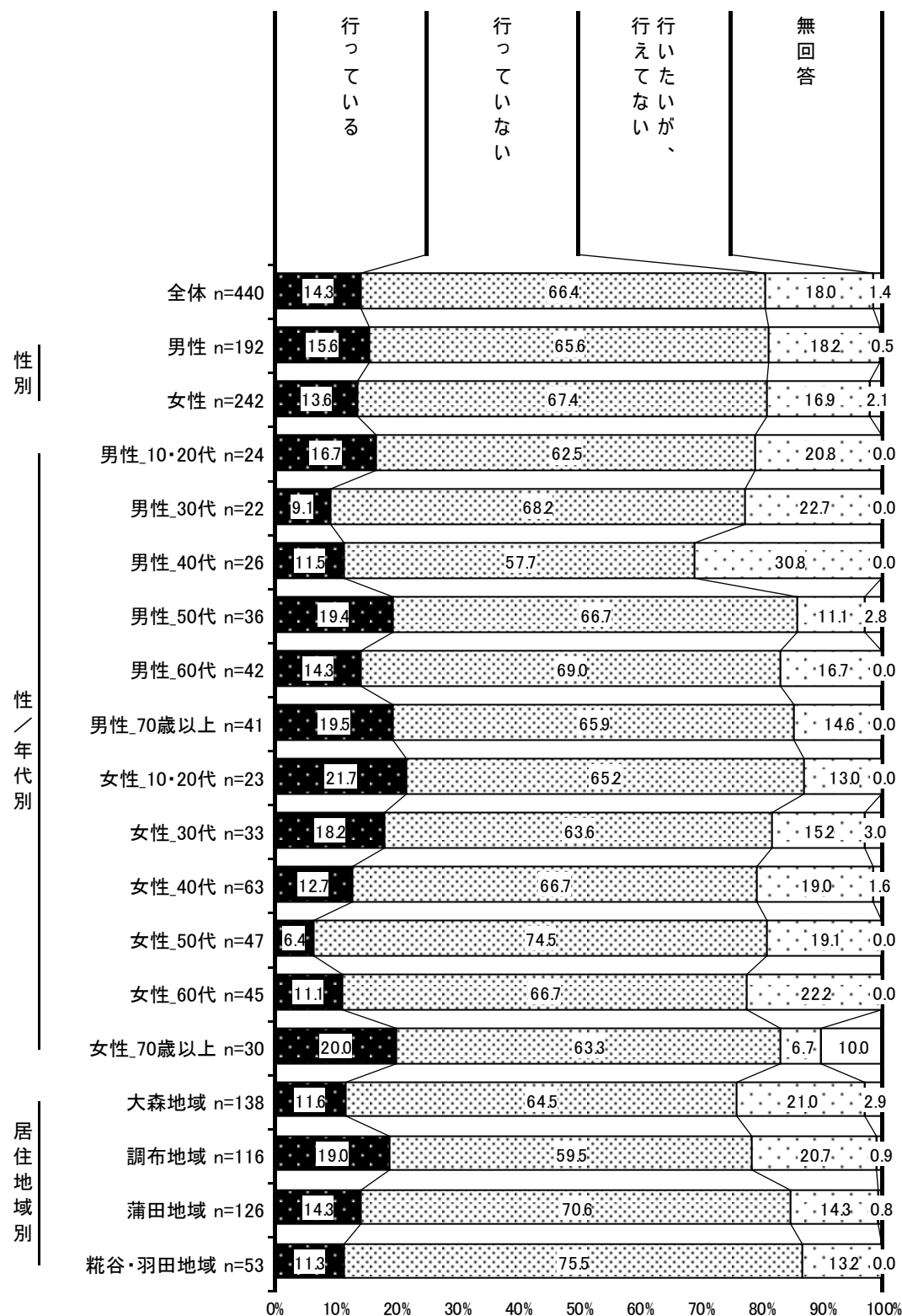


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「行っている」は女性 70 歳以上で 2 割となっている。

居住地域別でみると、「行っている」は調布地域で 1 割後半となっている。



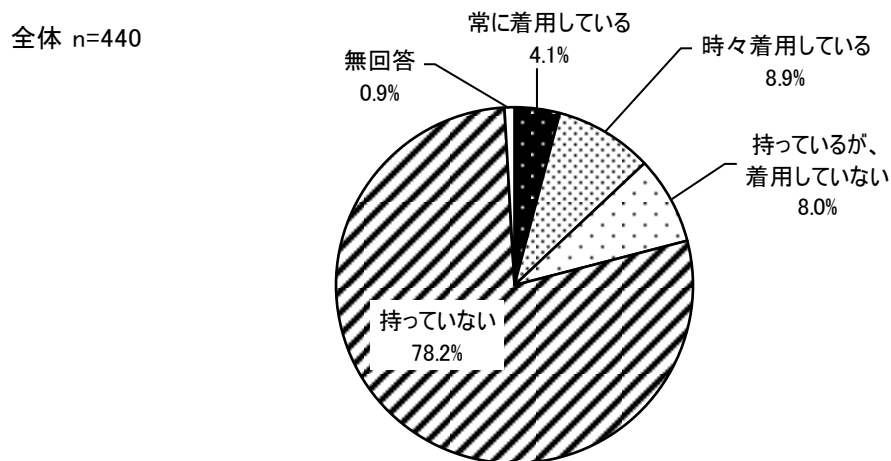
(3) ヘルメットの着用状況

◇《着用している》(「常に着用している」「時々着用している」の合計値)は1割前半となっている

問 26 あなたは、自転車に乗るとき、ヘルメットを着用していますか。(1つのみ)

普段自転車を「よく使う」または「たまに使う」と回答した方の、ヘルメットの着用状況については、「持っていない」が78.2%で最も高く、次いで「時々着用している」が8.9%、「持っているが、着用していない」が8.0%、「常に着用している」が4.1%となっている。

なお、「常に着用している」、「時々着用している」の合計値《着用している》は13.0%となっている。

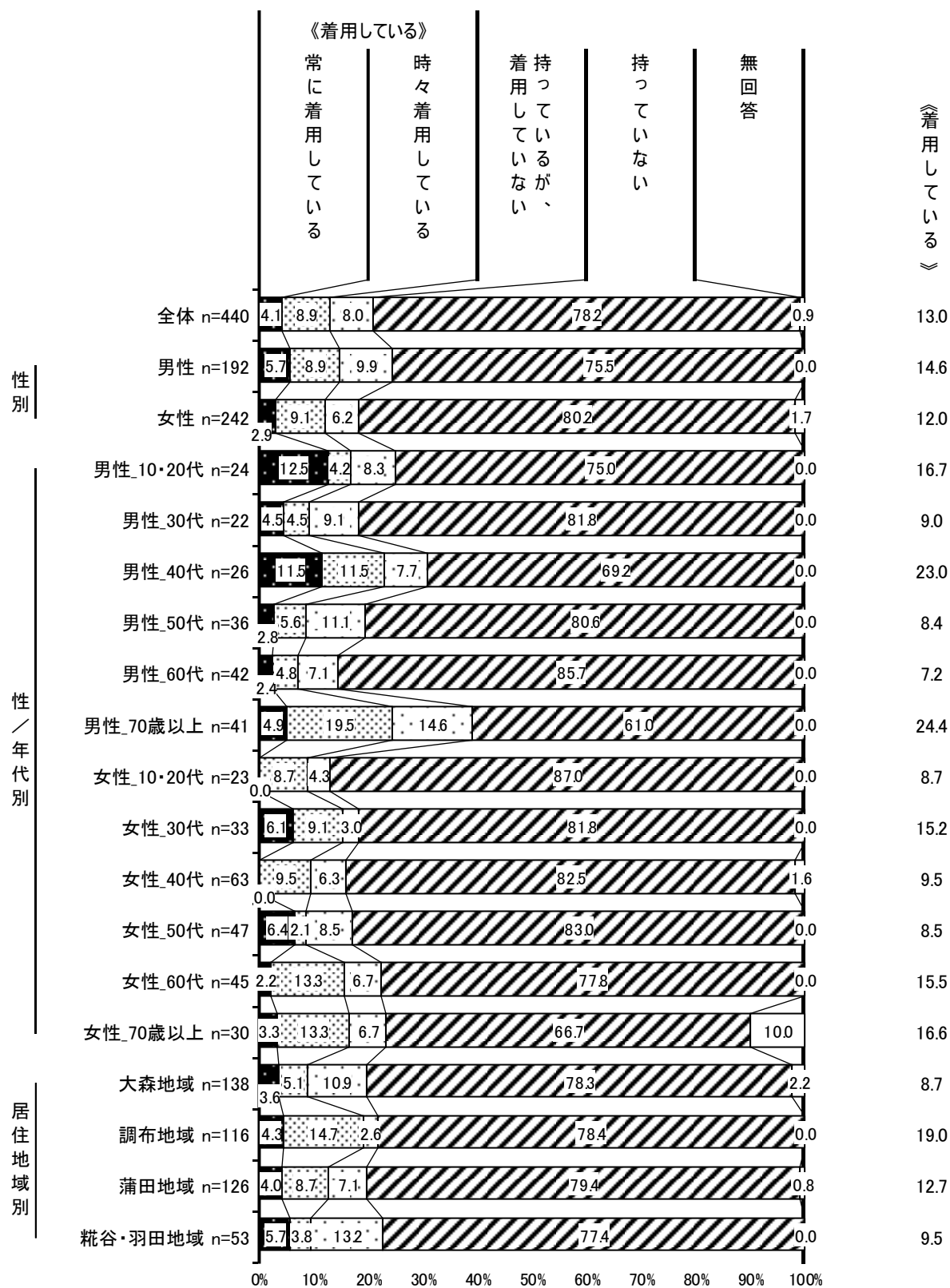


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《着用している》は男性 70 歳以上で 2 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《着用している》は調布地域で 1 割後半と高くなっている。



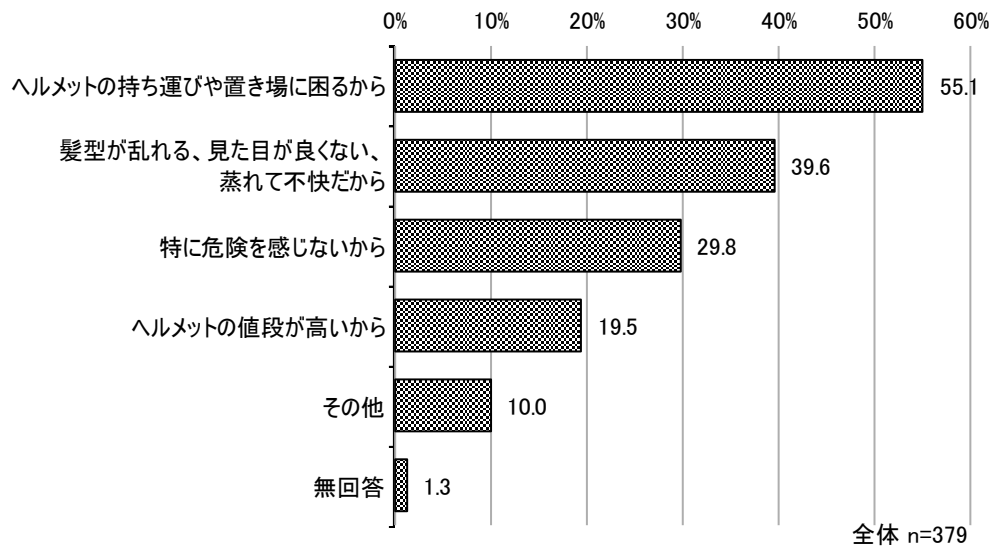
(4) ヘルメットを着用しない理由

◇「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」が5割半ばで最も高くなっている

【問 26 で「3 持っているが、着用していない」「4 持っていない」と回答した方に伺います。】

問 26－1 ヘルメットを持っていない、着用しない理由としてあてはまるものを選んでください。
(いくつでも)

ヘルメットを着用しない理由については、「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」が 55.1%で最も高く、次いで「髪型が乱れる、見た目が良くない、蒸れて不快だから」が 39.6%、「特に危険を感じないから」が 29.8%、「ヘルメットの値段が高いから」が 19.5%となっている

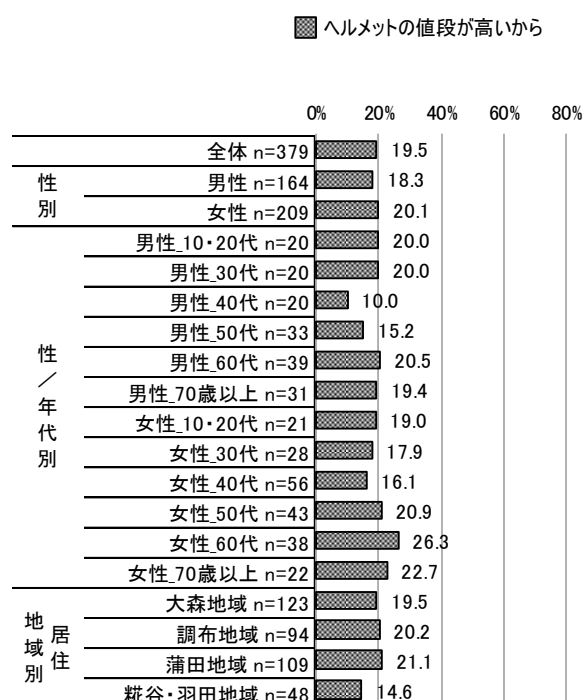
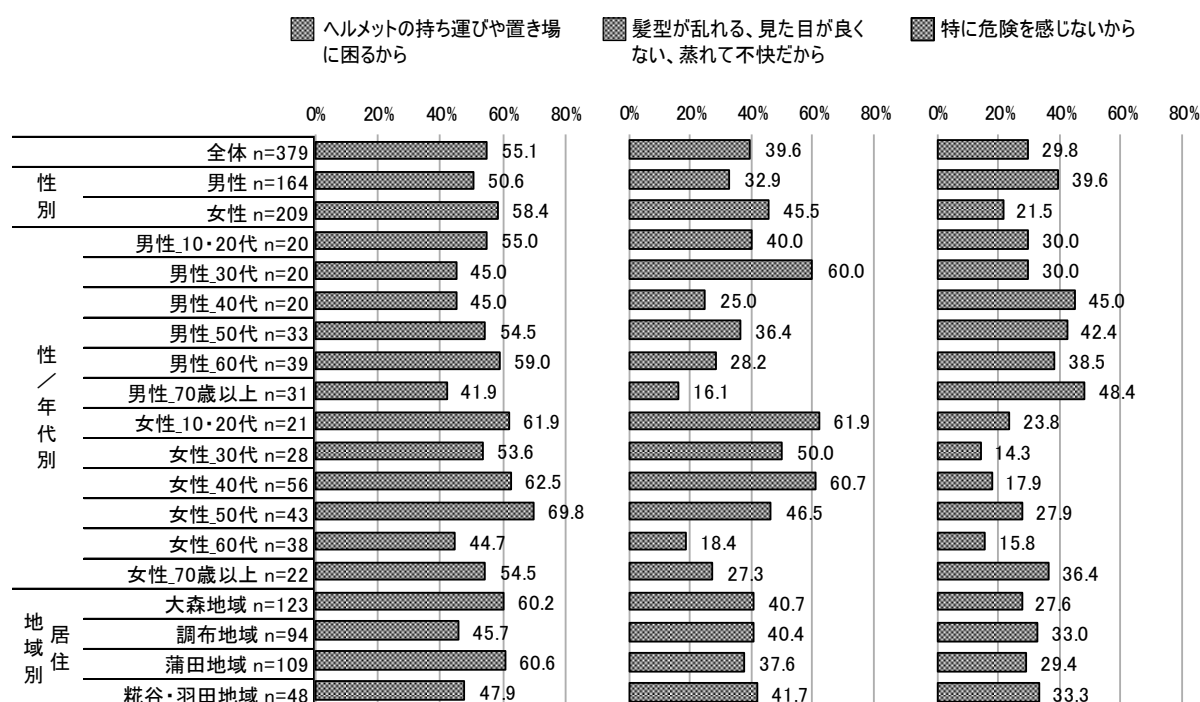


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「髪型が乱れる、見た目が良くない、蒸れて不快だから」は男性が 32.9%、女性が 45.5%と、女性が 12.6 ポイント、「特に危険を感じないから」は男性が 39.6%、女性が 21.5%と、男性が 18.1 ポイント、それぞれ上回っている。

性／年代別でみると、「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」は女性 50 代で 6 割後半と高くなっている。「髪型が乱れる、見た目が良くない、蒸れて不快だから」は女性 40 代で約 6 割と高くなっている。

居住地域別でみると、「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」は大森地域、蒲田地域で約 6 割と高くなっている。



(5)「コミュニティサイクル」の認知度

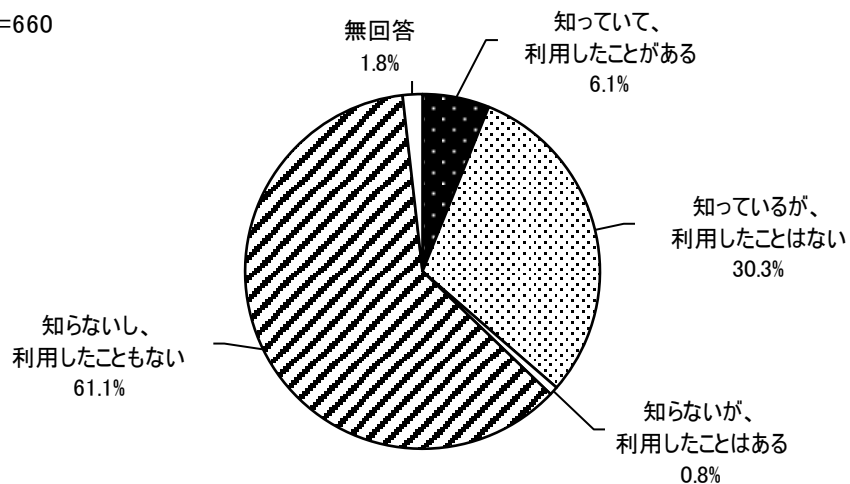
◇《知っている》(「知っていて、利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の合計値)は3割後半となっている

問 27 大田区内で「コミュニティサイクル」を運営していることを知っていますか。また、利用したことはありますか。(1つのみ)

「コミュニティサイクル」の認知度については、「知っていて、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》は36.4%となっている。一方、「知らないが、利用したことはある」、「知らないし、利用したこともない」の合計値《知らない》は61.9%と、《知らない》が25.5ポイント上回っている。

なお、認知にかかわらず《利用したことがある》(「知っていて、利用したことがある」、「知らないが、利用したことはある」の合計値)は6.9%となっている。

全体 n=660

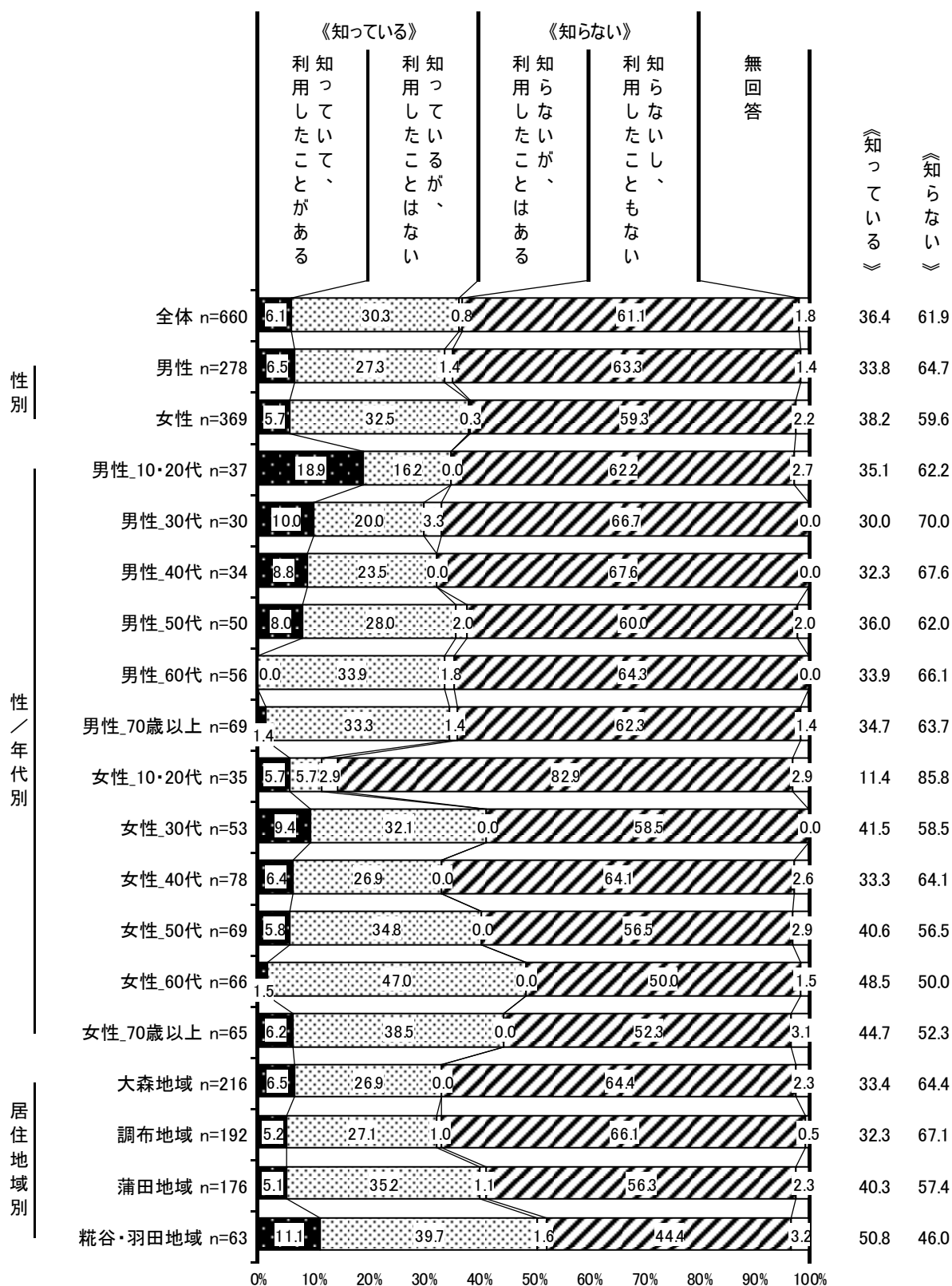


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知らない》は男性が 64.7%、女性が 59.6%と、男性が 5.1 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は女性 60 代で 4 割後半と高くなっている。「知っていて、利用したことがある」は男性 10・20 代で 1 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は糀谷・羽田地域で約 5 割と高くなっている。



16 自治体経営について

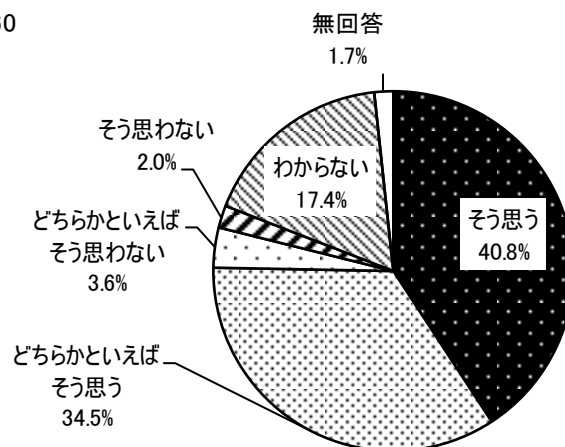
(1) 公民連携

◇《そう思う》(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)は7割半ばとなっている

問 28 区は、公の持つ強み（地域におけるネットワーク力や広報力など）と民間企業等の持つ強み（独自のノウハウやスピード感など）をかけあわせ、地域課題の解決などにつなげていく公民連携を進めています。公民連携の手法をより積極的に進めていくべきだと思いますか。（1つのみ）

公民連携の手法をより積極的に進めていくべきかについては、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計値《そう思う》が 75.3%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた《そう思わない》が 5.6%と、《そう思う》が 69.7 ポイント上回っている。

全体 n=660

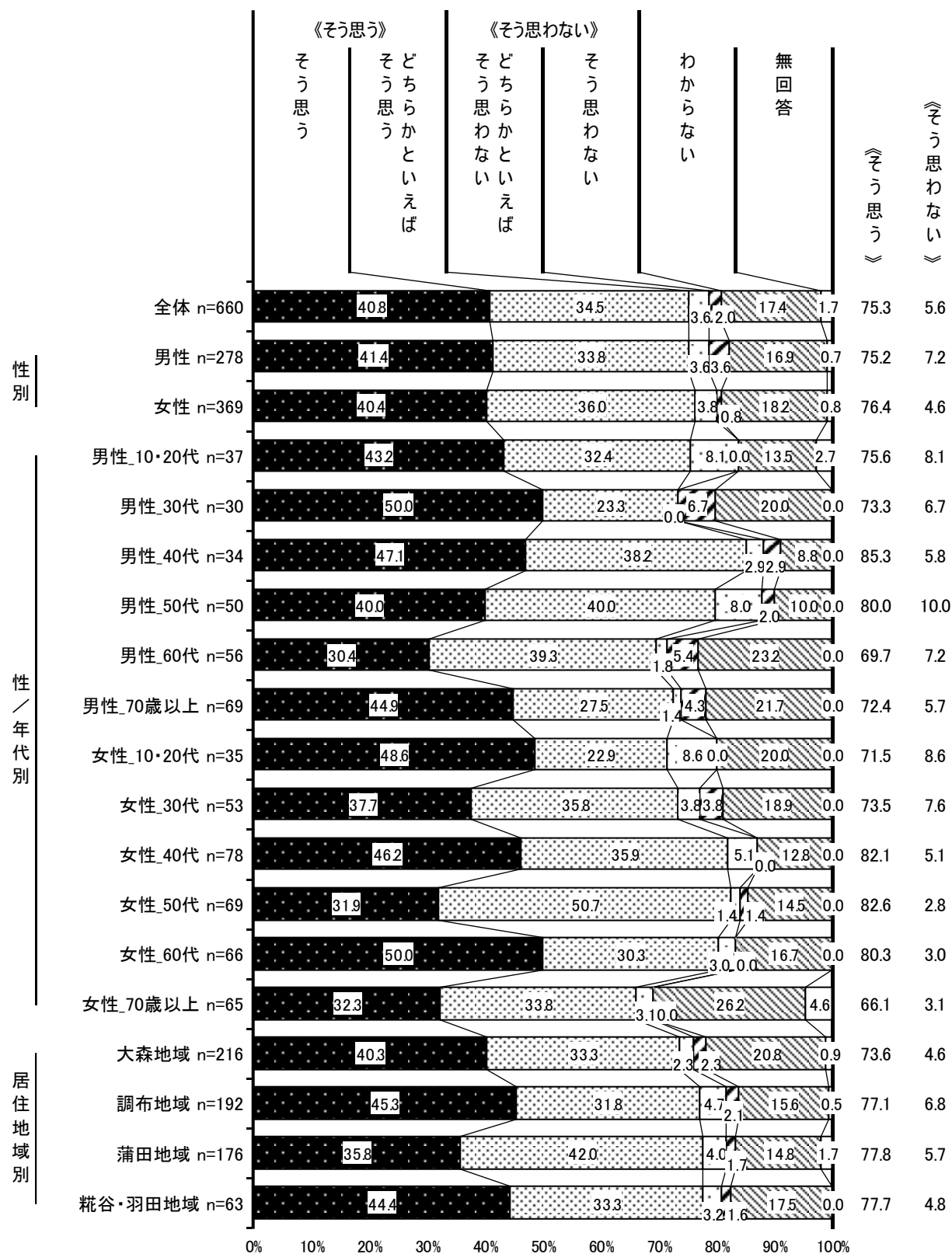


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《そう思う》は男性 40 代で 8 割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

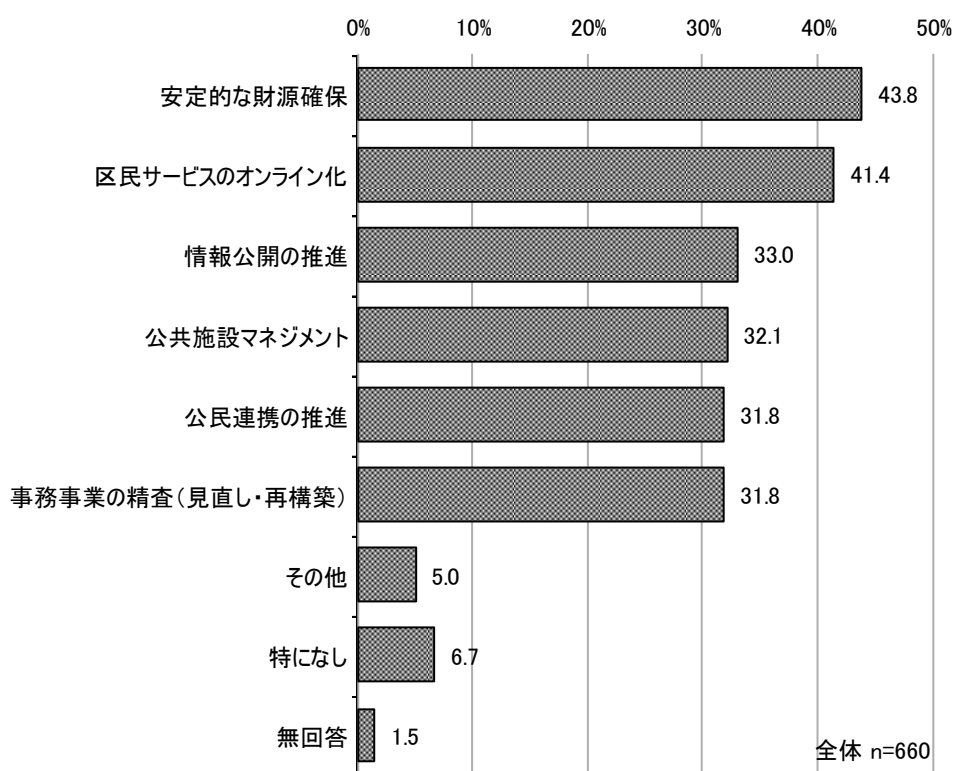


(2) 力を入れていくべきこと

◇「安定的な財源確保」が4割前半で最も高くなっている

問 29 区は質の高い区民サービスを提供する、持続可能な自治体経営を進めています。
あなたが、今後さらに力をいれていくべきだと思うことは何ですか。(いくつでも)

力を入れていくべきことについては、「安定的な財源確保」が 43.8%で最も高く、次いで「区民サービスのオンライン化」が 41.4%、「情報公開の推進」が 33.0%となっている。

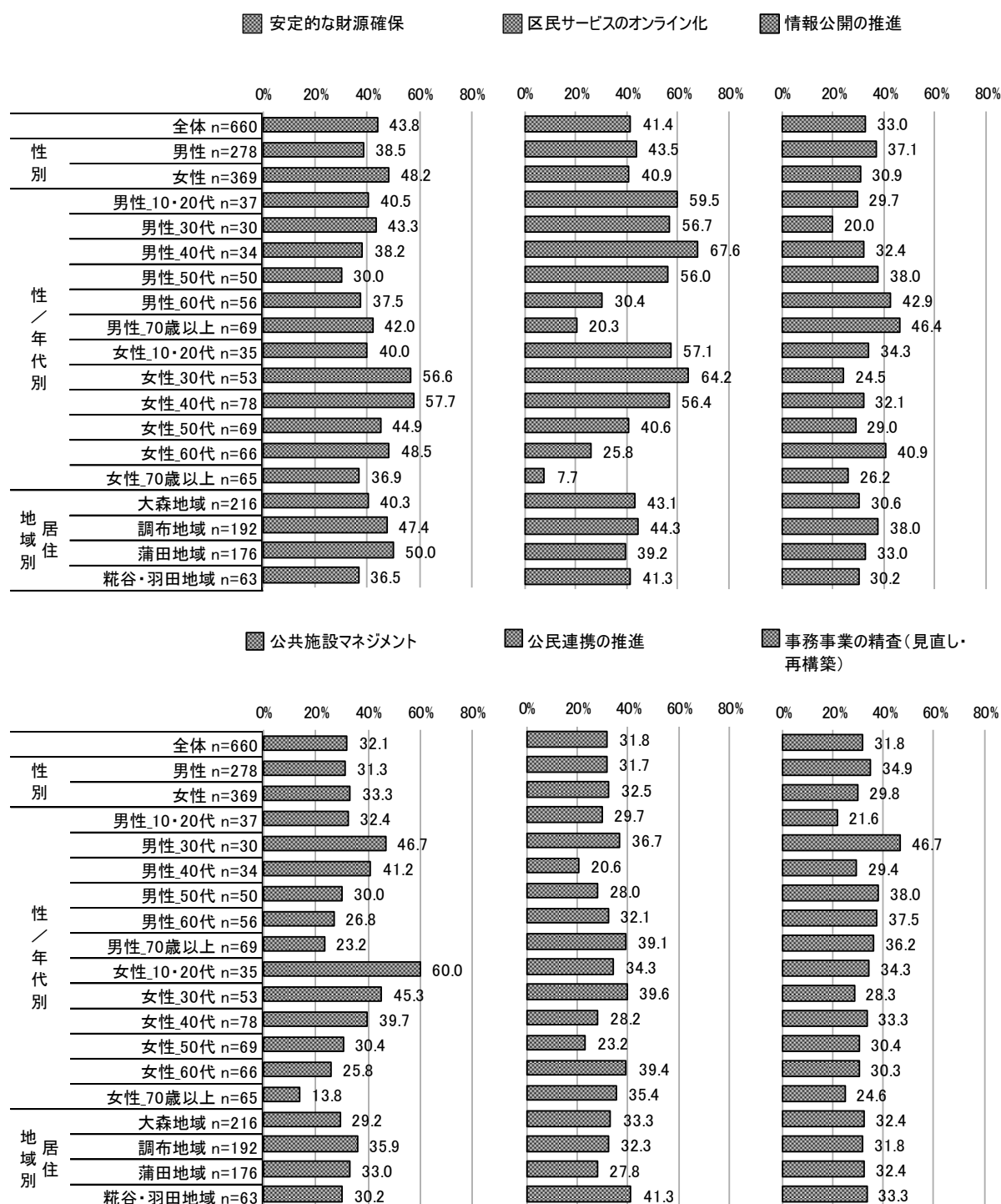


性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「区民サービスのオンライン化」が、女性では「安定的な財源確保」が最も高くなっている。「安定的な財源確保」は男性が38.5%、女性が48.2%と、女性が9.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「安定的な財源確保」は女性30代、40代で5割後半と高くなっている。「区民サービスのオンライン化」は男性10・20代～50代、女性10・20代～40代で5割以上と高くなっている。

居住地域別でみると、「安定的な財源確保」は蒲田地域で5割と高くなっている。



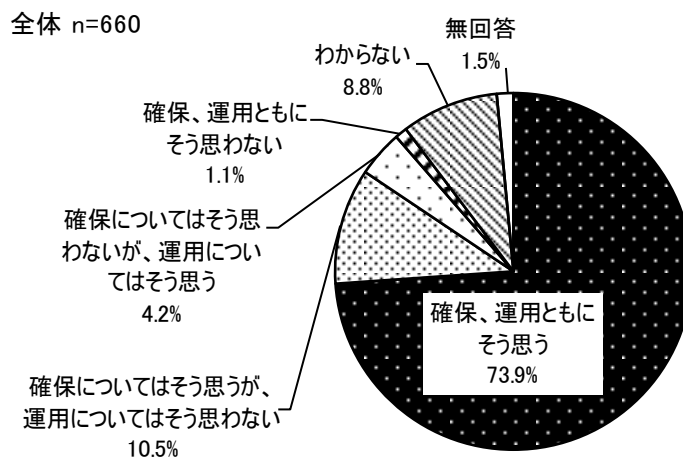
(3) 基金（貯金）の確保、運用

◇「確保、運用ともにそう思う」が7割前半で最も高くなっている

問 30 区は、税収が落ち込んだ時への備えや公共施設の更新、防災、福祉、子育て等の行政需要に対応するため、計画的に基金（貯金）を積み立て、活用しています。また、必要な事業が行われるまで、安全に資金運用し、区民福祉に還元できる財源をできる限り増やすよう努めています。

今後も将来に備え、基金（貯金）を確保、運用していくべきだと思いますか。（1つのみ）

基金（貯金）の確保、運用については、「確保、運用ともにそう思う」が73.9%で最も高く、次いで「確保についてはそう思うが、運用についてはそう思わない」が10.5%、「確保についてはそう思わないが、運用についてはそう思う」が4.2%、「確保、運用ともにそう思わない」が1.1%、「わからない」が8.8%、「無回答」が1.5%となっている。

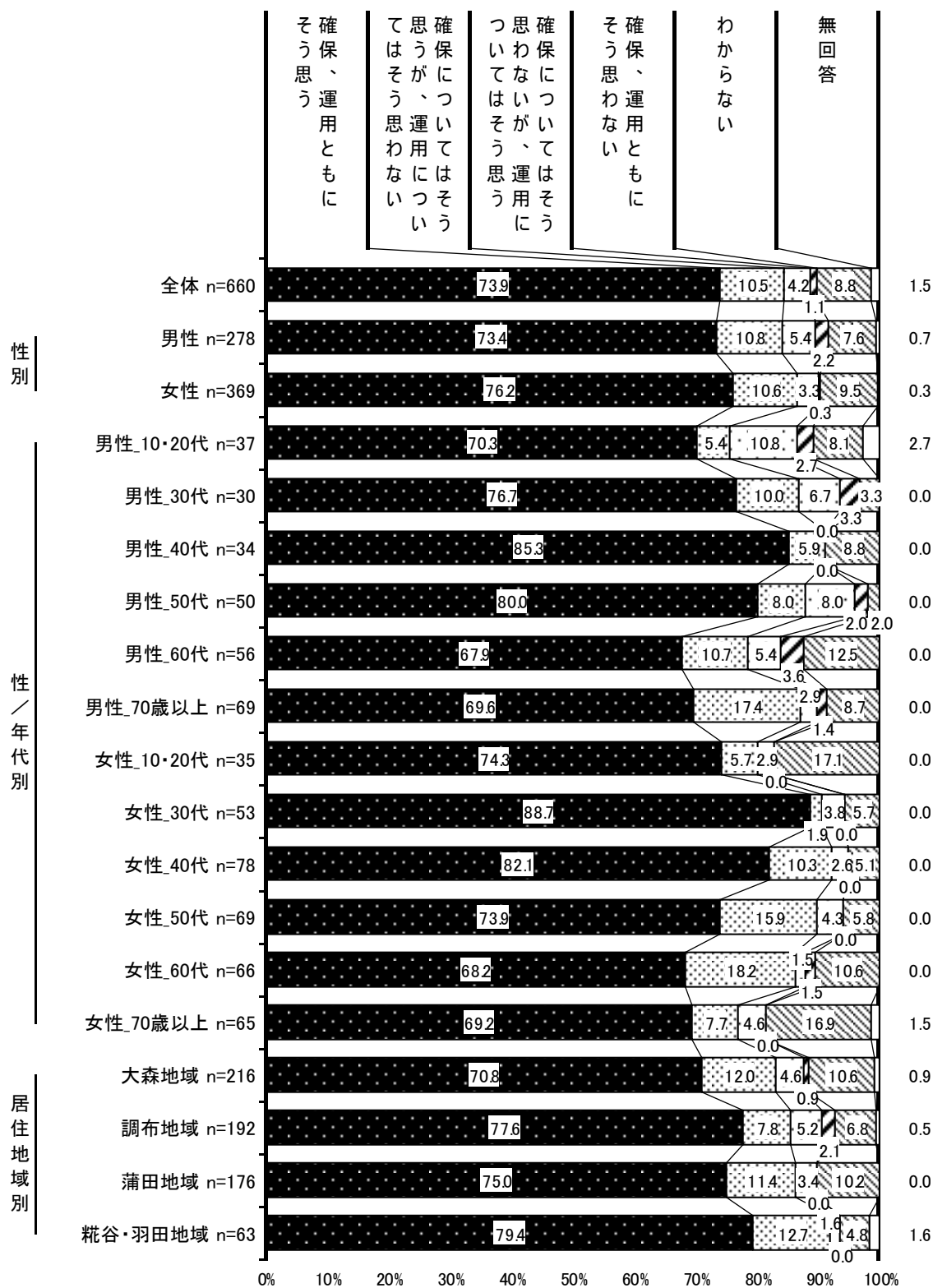


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「確保、運用ともにそう思う」は女性 30 代で 8 割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「確保、運用ともにそう思う」は調布地域、糀谷・羽田地域で 7 割後半となっている。



V 資料編～使用した調査票～

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査①

～ ご協力をお願い ～



現在大田区では、令和6年3月に策定した大田区基本構想の将来像「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」の実現をめざし、新たな大田区基本計画・実施計画の策定を進めています。

本調査は、現在取り組んでいるさまざまな区の課題やまちづくりの方向性について、区民の皆様のご意見を幅広く伺い、新たな大田区基本計画・実施計画に反映するため、大田区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



大田区基本構想は
こちらをご覧ください

令和6年8月 大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。
2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいて結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えの番号に○をつけてください。
4. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和6年8月22日（木）までにお近くの郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1735（直通）

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

施策の重要度・満足度について

問 大田区の施策の中で、引き続き重点的に取り組む施策（重要度）及び現在の満足度について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。（それぞれ1つのみ）

※「1」～「37」の施策についてそれぞれ回答してください。

施策	重要度					満足度				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
(記入例)	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1

【基本目標1】 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

1 母子保健（妊娠・出産支援）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 児童福祉 （子育て支援・保育等）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 学校教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

【基本目標2】 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち

5 高齢者福祉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 権利擁護の支援※	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 男女平等の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 障がい者（児）福祉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 低所得世帯の援護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 地域共生社会※の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施策	重要度					満足度				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
(記入例)	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
【基本目標2】 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち										
11 地域活動活性化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 ユニバーサルデザインのまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 多文化共生の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 国際交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 保健・健康 (休日診療を含む)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 食の安全・安心の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 文化事業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 生涯学習※の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※ 権利擁護の支援

意思決定支援等による権利行使の支援や、虐待対応や財産上の不当取り引きへの対応における権利侵害からの回復支援を主要な手段として、支援を必要とする人が、地域社会へ参加し、ともに自立した生活を送るという目的を実現するための支援活動。

※ 地域共生社会

制度・分野ごとの縦割りや、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が、世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともにつくっていく社会をめざすもの。

※ 生涯学習

区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において、文化、スポーツなどをさまざまに学んでいく学習活動。

施策	重要度					満足度				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
(記入例)	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
【基本目標3】 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち										
20 環境と産業の両立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 脱炭素化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 清掃・リサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 産業振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 観光振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

【基本目標4】 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち										
25 防災対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26 防犯対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27 消費生活相談・対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28 都市再開発の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29 公共交通網の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施策	重要度					満足度				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない
(記入例)	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
【基本目標4】 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち										
30 道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31 交通安全対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32 住宅対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33 公害対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34 空港臨海部のまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35 公園・児童遊園の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36 緑化推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37 自然共生社会※	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※ 自然共生社会

自然環境から享受する多くの恵みを次世代に引き継いでいく、自然と人が共に生きる社会

あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 18～19 歳 | 8 65～69 歳 | } F 3 へ |
| 2 20～29 歳 | 9 70～74 歳 | |
| 3 30～34 歳 | 10 75 歳以上 | |
| 4 35～39 歳 | } F 4 へ | |
| 5 40～49 歳 | | |
| 6 50～59 歳 | | |
| 7 60～64 歳 | | |

【65 歳以上の方に伺います。】

F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1 受けていない | 2 受けている（要支援含む） |
|----------|----------------|

F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 日本国籍 | 2 それ以外（国籍名： ） |
|--------|---------------|

F 5 あなたのお住まい（管轄特別出張所）を教えてください。(1つのみ)

- | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 1 大森東 | 4 馬込 | 7 嶺町 | 10 久が原 | 13 六郷 | 16 蒲田東 |
| 2 大森西 | 5 池上 | 8 田園調布 | 11 雪谷 | 14 矢口 | 17 糀谷 |
| 3 入新井 | 6 新井宿 | 9 鵜の木 | 12 千束 | 15 蒲田西 | 18 羽田 |

F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 三世帯世帯（親と子と孫） |
| 2 夫婦のみ | 5 その他〔 〕 |
| 3 二世帯世帯（親と子） | |

F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 4 賃貸住宅（集合住宅） |
| 2 持ち家（集合住宅） | 5 寮・社宅・宿舍 |
| 3 賃貸住宅（一戸建て） | 6 その他〔 〕 |

F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	1 商工サービス業 2 農林水産業 3 自由業
勤め人／パート・アルバイト含む	4 管理職 5 専門技術職 6 事務職 7 労務職・サービス業
その他	8 学生 9 主婦・主夫 10 その他（高齢者含む）

【F 8で「商工サービス業」「農林水産業」「自由業」「管理職」「専門技術職」「事務職」「労務職・サービス業」「学生」と回答した方に伺います。】

F 8 - 1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

1 大田区内（自宅）	5 それ以外の東京都内
2 大田区内（自宅以外）	6 神奈川県内
3 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7 それ以外〔
4 千代田・中央・港区内	〕

**F 9 同居家族／現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。
あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。（いくつでも）**

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 小学校入学前のこども | 4 寝たきりの方や身体の不自由な方 |
| 2 小学生 | 5 いない |
| 3 65 歳以上の方 | |

F 10 配偶者の方はいらっしゃいますか。（1つのみ）

- | | |
|---------------|------------|
| 1 いる（同居・別居含む） | ⇒ F 10－1 へ |
| 2 いない（離婚・死別） | } F 11 へ |
| 3 いない（未婚） | |

【F 10 で「いる（同居・別居含む）」と回答した方に伺います。】

F 10－1 共働きをしていますか。（1つのみ）

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

F 11 こどもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 一番上のこどもが小学校入学前 | 4 一番上のこどもが学校卒業 |
| 2 一番上のこどもが小・中学生 | 5 こどもはいない |
| 3 一番上のこどもが高校・大学生 | |

F 12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 1 年未満 | 5 10 年以上 20 年未満 |
| 2 1 年以上 3 年未満 | 6 20 年以上 30 年未満 |
| 3 3 年以上 5 年未満 | 7 30 年以上 |
| 4 5 年以上 10 年未満 | |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査②

～ ご協力をお願い ～



現在大田区では、令和6年3月に策定した大田区基本構想の将来像「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」の実現をめざし、新たな大田区基本計画・実施計画の策定を進めています。

本調査は、現在取り組んでいるさまざまな区の課題やまちづくりの方向性について、区民の皆様のご意見を幅広く伺い、新たな大田区基本計画・実施計画に反映するため、大田区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



大田区基本構想は
こちらをご覧ください

令和6年8月 大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。
2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいて結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えの番号に○をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
令和6年8月22日（木）までにお近くの郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1735（直通）

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

下記の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

基本目標 1 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって 健やかに育つまち

問 1 (自宅を含めて) 自分らしく過ごせたり、居心地が良いと感じたりする居場所がありますか。
(1つのみ)

1 ある ⇒ 問 1-1へ 2 ない ⇒ 問 2へ

【問 1 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 1-1 次の中から当てはまる居場所はどこですか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 自宅 | 6 習いごと・趣味サークル、塾・予備校、 |
| 2 親せき・友人・知人の家 | スポーツ施設 |
| 3 学校(校内の図書室・図書館、部活・クラブ・ | 7 お店・商業施設 |
| サークルなどを含む) | (飲食、娯楽、趣味、美容など) |
| 4 公共施設(公園、図書館、フラットおおた、 | 8 福祉施設(デイサービス、障がい者施設など) |
| 文化センター、区民センター、 | 9 地域活動・ボランティア活動の場 |
| 老人いこいの家など) | 10 ネット・オンライン上の趣味・交流・ |
| 5 職場(アルバイトを含む) | 体験等の場 |
| | 11 その他() |

問 2 大田区では、こどもたちを誰一人取り残さないよう、こどもや保護者が抱える問題を地域共通の課題として捉え、地域においてすべてのこどもを温かく包み込む支援「社会的包摂」の考えを広めています。

「社会的包摂」という考え方を知っていますか。(1つのみ)

- 1 考え方を知っている
2 考え方は知らないが、言葉を聞いたことがある
3 考え方を知らないし、言葉を聞いたこともない

問 3 お住まいの地域はこども・子育て家庭をあたたかく見守っていると感じますか。(1つのみ)

- 1 感じる
2 やや感じる
3 あまり感じない
4 感じない
5 どちらともいえない

基本目標 2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち

問4 あなたは、最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

※生涯学習とは、区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学びのことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動を指し、自治会・町会、NPO、PTA、こども会、ボランティアなどの地域活動を通して得られる学びも含まれます。

- 1 ある ⇒ 問4-1、4-2へ 2 ない ⇒ 問5へ

【問4 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問4-1 あなたは、オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

- | | | | |
|---|----|---|----|
| 1 | ある | 2 | ない |
|---|----|---|----|

【問4 で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問 4 - 2 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように生かしていますか。(複数選択可)

- 1 人生がより豊かになっている
- 2 家庭・日常の生活に生かしている
- 3 心身の健康を維持・増進している
- 4 仕事や学業に生かしている
- 5 地域や社会での活動に生かしている
- 6 知人や仲間ができている
- 7 その他（具体的に
- 8 生かしていない

問5 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。（それぞれ1つのみ）

※「1」～「5」のそれぞれにお答えください。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1. いつでも学びたいときに学びたいことが学べる	1	2	3	4	5
2. 多世代交流につながる学びの機会が充実している	1	2	3	4	5
3. 学んだことを生かす機会が充実している	1	2	3	4	5
4. 学びに関する情報がわかりやすく提供されている	1	2	3	4	5
5. 学びや活動を充実させる施設が整っている	1	2	3	4	5

問6 あなたは、これまでに区の文化や歴史に触れる機会がありましたか。（1つのみ）

- 1 あった
- 2 興味はあるがなかった
- 3 なかった

問7 あなたは、区の文化芸術に親しむ環境に満足していますか。（1つのみ）

- | | | |
|--------------|---|-------|
| 1 満足している | } | 問7-1へ |
| 2 やや満足している | | |
| 3 どちらともいえない | ⇒ | 問8へ |
| 4 あまり満足していない | } | 問7-2へ |
| 5 満足していない | | |

【問 7 で「1 満足している」又は「2 やや満足している」と回答した方に伺います。】

問 7-1 区のどの文化芸術施策に満足していますか。(複数選択可)

- | | | |
|----|--------------------------------|---|
| 1 | コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど） | |
| 2 | 伝統芸能の公演（歌舞伎、狂言、文楽、落語など） | |
| 3 | 舞台公演（ダンス、バレエ、演劇など） | |
| 4 | 区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など） | |
| 5 | 4 以外でアートに触れる機会・環境が整備されている | |
| 6 | 区内に文化芸術活動ができる場所がある | |
| 7 | 区内に文化芸術の発表をする場所がある | |
| 8 | 文化芸術活動における区の支援（具体的に | ） |
| 9 | 地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会 | |
| 10 | その他（具体的に | ） |

【問 7 で「4 あまり満足していない」又は「5 満足していない」と回答した方に伺います。】

問 7-2 区にどのような文化芸術施策を望みますか。(複数選択可)

- | | | |
|----|--------------------------------|---|
| 1 | コンサート（クラシック、ジャズ、ポピュラーミュージックなど） | |
| 2 | 伝統芸能の公演（歌舞伎、狂言、文楽、落語など） | |
| 3 | 舞台公演（ダンス、バレエ、演劇など） | |
| 4 | 区施設での展示（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館など） | |
| 5 | 4 以外でアートに触れる機会・環境が整備されている | |
| 6 | 区内に文化芸術活動ができる場所がある | |
| 7 | 区内に文化芸術の発表をする場所がある | |
| 8 | 文化芸術活動における区の支援（具体的に | ） |
| 9 | 地域の歴史・文化に触れる環境・体験機会 | |
| 10 | その他（具体的に | ） |

問 8 あなたは、大田区では日本人と外国人が互いに認め合い、ともに地域社会の構成員として暮らしていると思いますか。(1 つのみ)

- | | | | |
|---|--------------|---|--------------|
| 1 | とても思う | 3 | どちらかといえば思わない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 4 | まったく思わない |

問 9 あなたがこの1年間に実施したスポーツや運動をすべて選択してください。(複数選択可)

- 1 ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）
- 2 階段昇降（意識的な階段利用などを含む）
- 3 ランニング、ジョギング
- 4 体操（ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、エクササイズ、ヨガ、バレエ、ピラティス、縄跳び、エアロビクスなどを含む）
- 5 筋力トレーニング（腕立て伏せやスクワットなど）
- 6 室内運動器具（ウエイト、ランニングマシーン、バランスボール）を使った運動など
- 7 軽い球技（キャッチボール、親子でのボール遊びや卓球など）
- 8 競技的球技（野球、サッカー、卓球、テニス、バレーボール、バドミントンなど）
- 9 サイクリング（BMX含む）、モータースポーツ
- 10 水泳（水中歩行、アクアエクササイズも含む）
- 11 ボッチャ
- 12 ボウリング
- 13 ダンス、民謡
- 14 ゲートボール、グラウンドゴルフ
- 15 スポーツ吹矢、フライングディスクなどのニュースポーツ
- 16 ローラースケート、スケートボード
- 17 ゴルフ（練習場、シミュレーションゴルフ含む）
- 18 ハイキング、登山、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング
- 19 クライミング、ボルダリング
- 20 スキー、スノーボード
- 21 釣り
- 22 キャンプ、オートキャンプ
- 23 ヨット、ボート、（スキン）ダイビング、サーフィンなど
- 24 柔道、剣道、空手、弓道等武道
- 25 ボクシング等格闘技
- 26 その他競技スポーツ
- 27 その他体力や健康の維持向上、介護予防、ストレスの解消を目的としたスポーツ、身体活動

28 スポーツや身体活動は行わなかった ⇒ 問9-2へ



問9-1へ

【問 9 で「1」～「27」と回答した方に伺います。】

問 9-1 そのスポーツや運動を実施した頻度は週どのくらいですか。(1つのみ)

※年間合計日数でも可

- 1 週3日以上(年151日以上)
- 2 週2日(年101～150日)
- 3 週1日(年51～100日)
- 4 月1～3日(年12～50日)
- 5 3か月に1～2日(年4～11日)
- 6 年1～3日
- 7 わからない

【問 9 で「28」と回答した方に伺います。】

問 9-2 スポーツや運動を始める(再開する)ためには何が必要だと思いますか。(複数選択可)

- 1 スポーツや運動をできる場所の情報(区報・ホームページ等)
- 2 身近にスポーツや運動ができる場所
- 3 早朝や夜間等好きな時間に利用できる施設
- 4 運動が苦手でも参加できる初心者向けスポーツ教室
- 5 年齢やレベルに合ったスポーツ教室
- 6 遊び感覚で多種目を体験できるスポーツ教室
- 7 家族や友人と一緒にスポーツや運動ができる場所
- 8 一緒にスポーツをする仲間づくりができる場所
- 9 身近にスポーツや運動を教えることができる人(指導者)
- 10 スポーツの無料体験やスポーツ施設利用料の減免等
- 11 美容・健康につながるスポーツイベントの実施
- 12 スポーツ以外の要素(文化・国際交流など)もあるイベントの実施
- 13 自宅で気軽に取り組める軽運動等の動画の紹介
- 14 スポーツを観戦する機会の提供
- 15 その他(具体的に)
- 16 わからない
- 17 スポーツや運動をしようとは思わない

問 10 あなたは区のスポーツ環境に満足していますか。(1つのみ)

- 1 満足している
- 2 やや満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない

問 11 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。
(それぞれ 1 つのみ)

※「1」「2」のそれぞれにお答えください。

	よく理解している 定義まで	定義はなんとなく 理解している	聞いたことはあるが 定義がよくわからない	初めて聞いた言葉である
1. バリアフリー 高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁（バリア）を取り除く考え方	1	2	3	4
2. ユニバーサルデザイン バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの人が利用しやすいように生活環境を構築する考え方	1	2	3	4

問 12 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合い等）を実際に感じることはありますか。（1 つのみ）

1 感じる	3 どちらかといえば感じない
2 どちらかといえば感じる	4 感じない

問 13 「成年後見制度」を知っていますか。（1 つのみ）

※認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、法的に支援する制度

1 内容まで知っている	3 知らない
2 聞いたことはある	

問 14 障がいのある人もない人も、お互いにその人らしさを認めあいながら、ともに生きる社会づくりをめざして、平成 28 年 4 月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和 6 年 4 月には、改正法が施行されました。

「障害者差別解消法」を知っていますか。（1 つのみ）

1 内容まで知っていて、合理的配慮を行った経験がある
2 内容まで知っているが、合理的配慮を行った経験はない
3 聞いたことはあるが、内容まで知らない
4 知らない

問 15 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（1つのみ）

- 1 とてもよい
- 2 よい
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりよくない
- 5 よくない

問 16 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。（複数選択可）

- 1 かかりつけ医はいる
- 2 かかりつけ歯科医はいる
- 3 かかりつけ薬局はある
- 4 いずれもない

問 17 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス＝DV)に関する相談を受け付けていることを知っていますか。
（1つのみ）

- 1 知っている
- 2 知らない

問 18 あなたは、今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。（1つのみ）

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない

問 19 1年間で大田区立図書館又は文化の森情報館（電子書籍貸出サービスを含む）をどのくらい利用しますか。（1つのみ）

- 1 週1回以上
- 2 月2回程度
- 3 月1回程度
- 4 2～3か月に1回程度
- 5 ほとんど利用しない（年1～2回程度）
- 6 利用しない

問 24 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 やや感じる | 5 どちらともいえない |
| 3 あまり感じない | |

問 25 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 とても利用しやすい | 3 あまり利用しやすすくない |
| 2 まあまあ利用しやすい | 4 不便である |

問 26 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 とても満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 まあまあ満足している | 4 満足していない |

問 27 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1 鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む） | |
| 2 交通不便地域の改善（コミュニティバスやデマンド交通等） | |
| 3 踏切対策 | |
| 4 公共交通機関のバリアフリー化 | |
| 5 その他（具体的に | ） |
| 6 特にない | |

問 28 区は、「大田区鉄道沿線まちづくり構想」において示した、沿線のまちの将来像やその実現に向けた道筋に基づき、官民が協働し、地域特性や限られた空間を最大限有効に活用しながら、安全かつ快適で利便性の高い個性的な都市空間を創出するよう取り組んでいます。現在、大田区内の駅周辺の整備が進んでいると感じますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 感じている | 4 感じていない |
| 2 やや感じている | 5 どちらともいえない |
| 3 あまり感じていない | |

問 29 災害から身を守るためにどのような取組をしていますか。(複数選択可)

- 1 家具等の転倒防止
- 2 感震ブレーカーの設置
- 3 ハザードマップの確認
- 4 マイ・タイムラインの作成
- 5 避難方法の確認・検討
- 6 防災訓練への参加
- 7 家庭内備蓄
- 8 情報の収集方法の確認・検討
- 9 その他（具体的に _____）
- 10 特に何もしていない

問 30 「緊急医療救護所」は、大規模地震発生時に、病院の門前などで傷病者の治療の優先度をつけたり、軽症者の治療を行うために設置されます。あなたは緊急医療救護所を知っていますか。(1つのみ)

- 1 機能・役割を含めて知っている
- 2 名称のみ知っている
- 3 知らない

問 31 あなたは大田区立消費者生活センターを知っていますか。(1つのみ)

- 1 相談したことがある
- 2 各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている
- 3 業務内容はわからないが、名前は知っている
- 4 知らない

あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| 1 18～19 歳 | 8 65～69 歳 | } F 3へ |
| 2 20～29 歳 | 9 70～74 歳 | |
| 3 30～34 歳 | 10 75 歳以上 | |
| 4 35～39 歳 | } F 4へ | |
| 5 40～49 歳 | | |
| 6 50～59 歳 | | |
| 7 60～64 歳 | | |

【65 歳以上の方に伺います。】

F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1 受けていない | 2 受けている（要支援含む） |
|----------|----------------|

F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 日本国籍 | 2 それ以外（国籍名： ） |
|--------|---------------|

F 5 あなたのお住まい（管轄特別出張所）を教えてください。(1つのみ)

- | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 1 大森東 | 4 馬込 | 7 嶺町 | 10 久が原 | 13 六郷 | 16 蒲田東 |
| 2 大森西 | 5 池上 | 8 田園調布 | 11 雪谷 | 14 矢口 | 17 糀谷 |
| 3 入新井 | 6 新井宿 | 9 鵜の木 | 12 千束 | 15 蒲田西 | 18 羽田 |

F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 三世代世帯（親と子と孫） |
| 2 夫婦のみ | 5 その他〔 〕 |
| 3 二世代世帯（親と子） | |

F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 4 賃貸住宅（集合住宅） |
| 2 持ち家（集合住宅） | 5 寮・社宅・宿舍 |
| 3 賃貸住宅（一戸建て） | 6 その他〔 〕 |

F 8 あなたのご職業を教えてください。（1つのみ）

項目	選択肢
自営業	1 商工サービス業 2 農林水産業 3 自由業
勤め人／パート・アルバイト含む	4 管理職 5 専門技術職 6 事務職 7 労務職・サービス業
その他	8 学生 9 主婦・主夫 10 その他（高齢者含む）

【F 8で「商工サービス業」「農林水産業」「自由業」「管理職」「専門技術職」「事務職」「労務職・サービス業」「学生」と回答した方に伺います。】

F 8 - 1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。（1つのみ）

1 大田区内（自宅）	5 それ以外の東京都内
2 大田区内（自宅以外）	6 神奈川県内
3 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7 それ以外〔
4 千代田・中央・港区内	〕

**F 9 同居家族／現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。
あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。（複数選択可）**

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 小学校入学前のこども | 4 寝たきりの方や身体の不自由な方 |
| 2 小学生 | 5 いない |
| 3 65 歳以上の方 | |

F 10 配偶者の方はいらっしゃいますか。（1つのみ）

- | | |
|---------------|------------|
| 1 いる（同居・別居含む） | ⇒ F 10－1 へ |
| 2 いない（離婚・死別） | } F 11 へ |
| 3 いない（未婚） | |

【F 10 で「いる（同居・別居含む）」と回答した方に伺います。】

F 10－1 共働きをしていますか。（1つのみ）

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

F 11 こどもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 一番上のこどもが小学校入学前 | 4 一番上のこどもが学校卒業 |
| 2 一番上のこどもが小・中学生 | 5 こどもはいない |
| 3 一番上のこどもが高校・大学生 | |

F 12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 1 年未満 | 5 10 年以上 20 年未満 |
| 2 1 年以上 3 年未満 | 6 20 年以上 30 年未満 |
| 3 3 年以上 5 年未満 | 7 30 年以上 |
| 4 5 年以上 10 年未満 | |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査③

～ ご協力をお願い ～

大田区では、新たな基本構想で掲げる将来像「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年8月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。
2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいて結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えの番号に○をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
令和6年8月22日（木）までにお近くの郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444（直通）

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

下記の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

1. SDGs について

問1 SDGs は、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。SDGs は、先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の 3 つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、貧困、飢餓、環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、目標達成のための 17 のゴールとその課題ごとに設定された 169 のターゲット（達成基準）から構成されます。

SDGs について知っていましたか。（1 つのみ）

- 1 内容まで含めて知っていた
- 2 内容はわからないが聞いたことがある
- 3 知らなかった

問2 SDGs に関する意識と行動についてご回答ください。（1 つのみ）

- | | | |
|------------------------------|---|-------|
| 1 日頃から SDGs を意識した行動をしている | } | 問3へ |
| 2 SDGs を意識し、行動にも気を付けるようにしている | | |
| 3 SDGs を意識しているが、特に行動はしていない | } | 問2-1へ |
| 4 SDGs を意識しておらず、特に行動もしていない | | |

【問2 で「3 SDGs を意識しているが、特に行動はしていない」「4 SDGs を意識しておらず、特に行動もしていない」と回答した方に伺います。】

問2-1 SDGs に関する行動をしていない理由についてご回答ください。

（より大きい理由を、最大3位まで選び、番号を下の回答欄にご記入ください。）

- 1 SDGs という言葉が何を意味するのかわからない
- 2 英語やカタカナが理解しづらい
- 3 具体的に何をすればよいのかわからない
- 4 自分の生活にどのような関わりがあるかわからない
- 5 政府や企業が取り組むものである
- 6 日本にはあまり関係がない気がする
- 7 取り組んでもあまり意味がないと感じる
- 8 一緒に取り組む家族・知人・友人がいない
- 9 取り組むための経済的余裕がない
- 10 その他（ ）

【回答欄】

1 位

2 位

3 位

2. ふるさと納税について

問3 あなたは、他の自治体へふるさと納税を行うことによる大田区への影響を知っていますか。
(1つのみ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 知っている（ふるさと納税を行っている） | 3 知らない（ふるさと納税を行っている） |
| 2 知っている（ふるさと納税を行っていない） | 4 知らない（ふるさと納税を行っていない） |

3. 各種認知度について

問4 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぽぽ相談」で女性の様々な悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

- | |
|--------------------|
| 1 知っていて、利用したことがある |
| 2 知っているが、利用したことはない |
| 3 知らない |

問5 防災情報や防災行政無線（放送塔）の放送内容などをタイムリーに確認することができる「大田区防災アプリ」を知っていますか。(1つのみ)

- | |
|-----------------------|
| 1 知っていて、すでにダウンロードしている |
| 2 知っているが、ダウンロードはしていない |
| 3 知らない |

問6 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」※を知っていますか。(1つのみ)
※区や警察署で無償貸し出しを行っています。

- | |
|-------------------------------|
| 1 知っていて、家の電話機に設置している |
| 2 知っているが、家の電話機には設置していない |
| 3 知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に設置したい |
| 4 知らないし、興味もない |

問7 大田区における国際交流と多文化共生を一体的に進めていく施設として、おおた国際交流センター（Minto Ota）があることを知っていますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 知っていて、利用したことがある | 3 知らない |
| 2 知っているが、利用したことはない | |

問8 「ヘルプカード（たすけてねカード）」を知っていますか。（1つのみ）

※障がいのある方などが、災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード。
(大田区が作成)

- 1 よく知っている 3 知らない
2 聞いたことはある

問9 「大田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」を知っていますか。(1つのみ)

※大田区では、手話が言語であることの理解を促進するとともに、それぞれの障がい特性に応じた意思疎通手段の利用を促進することにより、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する地域社会の実現をめざして制定しました。

- 1 内容まで知っている 3 知らない
2 聞いたことはある

4. 自治会・町会について

問 10 あなたは、自治会・町会に加入していますか。(1つのみ)

- 1 加入している ⇒ 問11へ 3 わからない ⇒ 問11へ
2 加入していない ⇒ 問10-1へ

【問 10 で「2 加入していない」と回答した方に伺います。】

問 10-1 自治会・町会に加入していない理由は何ですか。(いくつでも)

- 1 加入の意義やメリットを感じられないから
- 2 自治会・町会が何を行っているかわからないから
- 3 加入の方法がわからないから
- 4 加入しなくても困っていないから
- 5 仕事や子育て等に忙しく、活動に参加できないから
- 6 会費を払いたくないから
- 7 付き合いが面倒であるから
- 8 その他（

5. キャッシュレスについて

問 11 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(いくつでも)

- 1 クレジットカード
2 電子マネー（交通系・流通系）
3 スマートフォンによるQRコード決済
4 デビットカード
5 その他（ ）
6 活用していない

6. 普段の生活について

問 12 普段の生活について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。（それぞれ1つのみ）

※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1. 心身共に健やかな生活を送っている	1	2	3	4	5
2. 自分らしく生きている	1	2	3	4	5
3. 充実した生活を送っている	1	2	3	4	5
4. 住んでいる地域に愛着を感じる	1	2	3	4	5
5. 孤立感や孤独感がない	1	2	3	4	5

7. 喫煙について

問 13 あなたは、たばこを吸いますか。（1つのみ）

- 1 毎日吸っている
- 2 ときどき吸う日がある
- 3 以前は吸っていたが、一か月以上吸っていない
- 4 吸わない

8. まちづくりについて

問 14 あなたは、以下の区のまちづくりが進んでいると思いますか。(それぞれ1つのみ)

※「1」～「4」のそれぞれに回答してください。

	そう 思う	そう 思う やや	そう 思わ ない あまり	思わ ない そう	わ か ら な い
1. 活力・国際性のある都市づくり <活力・国際性のある都市づくりの例> ・来街者が大田区内を巡って魅力を楽しめている ・日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できている ・国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している ・人が集まる交流・滞在空間が充実している ・区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している ・大田区内外への移動が便利である など	1	2	3	4	5
2. 暮らしやすい都市づくり <暮らしやすい都市づくりの例> ・生活に必要な施設があり、幅広い年代の人が暮らしやすい ・良好なまちなみ・景色が整っている ・商店街に人が集まりにぎわっている ・住む場所と働く場所がバランス良くある ・区内を移動するための公共交通が充実している ・快適で歩きたくなる空間がある ・住民主体の都市づくりが進んでいる など	1	2	3	4	5
3. 安全・安心な都市づくり <安全・安心な都市づくりの例> ・災害時に危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている ・災害時に救助や避難できる道路や施設が整備されている ・風水害や土砂災害の対策がしっかりしている ・地域の防災・防犯活動が充実している ・災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている など	1	2	3	4	5
4. 環境に配慮した都市づくり <環境に配慮した都市づくりの例> ・豊かな水と緑が守られている ・公園や緑地など緑のオープンスペースが充実している ・身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる ・自転車などによる有害廃棄ガスを出さない移動環境が整っている ・省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている など	1	2	3	4	5

問 15 区は、地域住民・事業者・行政が一体となってまちづくりを進めていくため、令和4年4月に「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」を策定しました。

この計画に基づき、まちの機能更新を見据えた時、蒲田駅周辺の魅力を向上させるためには、どのような公共施設を望みますか。最も望む施設を1つお答えください。（1つのみ）

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 子育て等の生活支援施設 | |
| 2 | まちの更新に合わせた、公共空間の整備によるイベント等が行えるオープンスペースの創出 | |
| 3 | 新たなビジネス価値創出等に繋がるインキュベーション支援施設等 | |
| 4 | 居住者や学生が集い・学び・交流が生まれる文化交流施設 | |
| 5 | 災害時の帰宅困難者避難施設 | |
| 6 | 国際都市としてインバウンド等に対する公共支援施設 | |
| | （具体記入： | ） |
| 7 | その他（ | ） |

9. 『羽田イノベーションシティ』について

問 16 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。
（1つのみ）

- | | | |
|---|-------|------------|
| 1 | 知っている | ⇒ 問 16-1 へ |
| 2 | 知らない | ⇒ 問 17 へ |

【問 16 で「1 知っている」と回答した方に伺います。】

問 16-1 羽田イノベーションシティは、「新産業創造・発信拠点」の形成に向けて、世界と地域をつなぐゲートウェイとして、国内外のヒト・モノ・情報を集積し、ここに集う国内外のプレーヤーが互いに交流することによる新たなビジネスやイノベーションの創造や、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信する目的で整備したまちです。

このようなまちができたことについて、区民として期待感や満足感、誇らしさを感じますか。
（1つのみ）

- | | |
|---|----------|
| 1 | とても感じる |
| 2 | やや感じる |
| 3 | あまり感じない |
| 4 | まったく感じない |

10. 羽田空港跡地について

問 17 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（ZeppHaneda 等のある羽田イノベーションシティを含む）」が進められていることについて、どのように知りましたか。（いくつでも）

- | | | |
|----|------------------------|---|
| 1 | 大田区ホームページ | |
| 2 | 「羽田イノベーションシティ」公式ホームページ | |
| 3 | 大田区のイベント | |
| 4 | SNS、インターネットのニュースやブログ等 | |
| 5 | パンフレット・リーフレット等の刊行物 | |
| 6 | テレビのニュース | |
| 7 | 新聞、雑誌の記事 | |
| 8 | 家族や友人、知人など | |
| 9 | その他（ | ） |
| 10 | 本事業を知らない | |

問 18 HANEDA GLOBAL WINGS に行ったことがありますか。行ったことのある場所すべてに○をつけてください。（いくつでも）

- | | | |
|---|------------------------------|---|
| 1 | 羽田イノベーションシティ（Zepp Haneda 含む） | |
| 2 | 都市計画公園予定地 | |
| 3 | ソラムナード羽田緑地 | |
| 4 | 羽田エアポートガーデン（住友不動産ヴィラフォンテーヌ） | |
| 5 | その他（ | ） |
| 6 | 行ったことはない | |

11. 食品ロス・フードドライブについて

問 19 普段の生活の中で、「食品ロス」の発生を意識していますか。（1つのみ）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 常に意識している | 3 ほとんど意識していない |
| 2 たまに意識している | 4 意識したことはない |

問 20 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。（いくつでも）

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1 買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする | |
| 2 賞味期限だけでなく見た目や臭い等で食べられるか判断する | |
| 3 日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する | |
| 4 出された料理を残さず食べきる | |
| 5 食べきれなかったものを他の料理に作り替える | |
| 6 料理を作り過ぎない | |
| 7 野菜の皮や芯を料理に使うなど、食材をできるだけ無駄なく使う | |
| 8 飲食店等で注文し過ぎない | |
| 9 その他（ | ） |
| 10 特にない | |

問 21 フードドライブに提供したことがありますか。（1つのみ）

※ご家庭の未利用食品を、必要としている団体に提供することを、フードドライブといいます。

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1 常に行っている | ⇒ 問 21-1 へ |
| 2 未利用食品と実施のタイミングが合えば提供する | |
| 3 過去にしたことがある | |
| 4 したことがない | } 問 22 へ |
| 5 フードドライブを知らない | |

【問 21 で「1 常に行っている」「2 未利用食品と実施のタイミングが合えば提供する」「3 過去にしたことがある」と回答した方に伺います。】

問 21-1 食品をどこに提供しましたか。（いくつでも）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 区のフードドライブ | 4 スーパー、コンビニエンスストア |
| 2 区主催のイベント等 | 5 民間の福祉団体 |
| 3 大田区社会福祉協議会 | 6 その他（ |
| | ） |

12. 教育について

問 22 障がいのある児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを充実させるために、重要だと思うものを選んでください。(いくつでも)

- | |
|-----------------|
| 1 多様な学びの場の充実 |
| 2 学校施設のバリアフリー化 |
| 3 教員の専門性の向上 |
| 4 学校における支援体制の充実 |
| 5 ICTを活用した教育の充実 |
| 6 相談しやすい環境の整備 |
| 7 学校・家庭・地域との連携 |
| 8 共生社会に向けた教育 |
| 9 その他 () |

13. 公園について

問 23 大田区らしいと感じられる公園とはどんな公園ですか。(いくつでも)

- | |
|------------------------|
| 1 ものづくりを象徴するような遊具などがある |
| 2 各地域の歴史にふれることができる |
| 3 各地域の文化にふれることができる |
| 4 様々なスポーツができる |
| 5 子育てに寄り添っている |
| 6 印象的な景観がある |
| 7 多国籍の文化が感じられる |
| 8 その他 () |

14. 自転車について

問 24 あなたは、普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1 よく使う | 3 まったく使わない ⇒ 問 27 へ |
| 2 たまに使う | |

問 25 あなたは、休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。(1つのみ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1 行っている | 3 行いたいけど、行えてない |
| 2 行っていない | |

問 26 あなたは、自転車に乗るとき、ヘルメットを着用していますか。(1つのみ)

- | | |
|------------------|------------|
| 1 常に着用している | } 問 27 へ |
| 2 時々着用している | |
| 3 持っているが、着用していない | } 問 26-1 へ |
| 4 持っていない | |

【問 26 で「3 持っているが、着用していない」「4 持っていない」と回答した方に伺います。】

問 26-1 ヘルメットを持っていない、着用しない理由としてあてはまるものを選んでください。(いくつでも)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1 特に危険を感じないから | |
| 2 ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから | |
| 3 髪型が乱れる、見た目が良くない、蒸れて不快だから | |
| 4 ヘルメットの値段が高いから | |
| 5 その他 () | |

問 27 大田区内で「コミュニティサイクル」を運営していることを知っていますか。また、利用したことはありますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 知っていて、利用したことがある | 3 知らないが、利用したことはある |
| 2 知っているが、利用したことはない | 4 知らないし、利用したこともない |

15. 自治体経営について

問 28 区は、公の持つ強み（地域におけるネットワーク力や広報力など）と民間企業等の持つ強み（独自のノウハウやスピード感など）をかけあわせ、地域課題の解決などにつなげていく公民連携を進めています。公民連携の手法をより積極的に進めていくべきだと思いますか。

（1つのみ）

- | | |
|------------------|----------|
| 1 そう思う | 4 そう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 わからない |
| 3 どちらかといえばそう思わない | |

問 29 区は質の高い区民サービスを提供する、持続可能な自治体経営を進めています。

あなたが、今後さらに力をいれていくべきだと思うことは何ですか。（いくつでも）

- | |
|--------------------|
| 1 公民連携の推進 |
| 2 区民サービスのオンライン化 |
| 3 安定的な財源確保 |
| 4 公共施設マネジメント |
| 5 事務事業の精査（見直し・再構築） |
| 6 情報公開の推進 |
| 7 その他（ ） |
| 8 特になし |

問 30 区は、税収が落ち込んだ時への備えや公共施設の更新、防災、福祉、子育て等の行政需要に対応するため、計画的に基金（貯金）を積み立て、活用しています。また、必要な事業が行われるまで、安全に資金運用し、区民福祉に還元できる財源をできる限り増やすよう努めています。

今後も将来に備え、基金（貯金）を確保、運用していくべきだと思いますか。（1つのみ）

- | |
|------------------------------|
| 1 確保、運用ともにそう思う |
| 2 確保についてはそう思うが、運用についてはそう思わない |
| 3 確保についてはそう思わないが、運用についてはそう思う |
| 4 確保、運用ともにそう思わない |
| 5 わからない |

16. あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 18～19 歳 | 8 65～69 歳 | } F 3 へ |
| 2 20～29 歳 | 9 70～74 歳 | |
| 3 30～34 歳 | 10 75 歳以上 | |
| 4 35～39 歳 | | |
| 5 40～49 歳 | | } F 4 へ |
| 6 50～59 歳 | | |
| 7 60～64 歳 | | |

【65 歳以上の方に伺います。】

F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1 受けていない | 2 受けている（要支援含む） |
|----------|----------------|

F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 日本国籍 | 2 それ以外（国籍名： ） |
|--------|---------------|

F 5 あなたのお住まい（管轄特別出張所）を教えてください。(1つのみ)

- | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 1 大森東 | 4 馬込 | 7 嶺町 | 10 久が原 | 13 六郷 | 16 蒲田東 |
| 2 大森西 | 5 池上 | 8 田園調布 | 11 雪谷 | 14 矢口 | 17 糀谷 |
| 3 入新井 | 6 新井宿 | 9 鵜の木 | 12 千束 | 15 蒲田西 | 18 羽田 |

F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 三世帯世帯（親と子と孫） |
| 2 夫婦のみ | 5 その他〔 〕 |
| 3 二世帯世帯（親と子） | |

F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 4 賃貸住宅（集合住宅） |
| 2 持ち家（集合住宅） | 5 寮・社宅・宿舍 |
| 3 賃貸住宅（一戸建て） | 6 その他〔 〕 |

F 8 あなたのご職業を教えてください。（1つのみ）

項目	選択肢
自営業	1 商工サービス業 2 農林水産業 3 自由業
勤め人／パート・アルバイト含む	4 管理職 5 専門技術職 6 事務職 7 労務職・サービス業
その他	8 学生 9 主婦・主夫 10 その他（高齢者含む）

【F 8で「商工サービス業」「農林水産業」「自由業」「管理職」「専門技術職」「事務職」「労務職・サービス業」「学生」と回答した方に伺います。】

F 8－1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。（1つのみ）

1 大田区内（自宅）	5 それ以外の東京都内
2 大田区内（自宅以外）	6 神奈川県内
3 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7 それ以外〔
4 千代田・中央・港区内	〕

**F 9 同居家族／現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。
あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。（いくつでも）**

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 小学校入学前の子ども | 4 寝たきりの方や身体の不自由な方 |
| 2 小学生 | 5 いない |
| 3 65 歳以上の方 | |

F 10 配偶者の方はいらっしゃいますか。（1つのみ）

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 いる（同居・別居含む） | ⇒ F 10- 1 へ |
| 2 いない（離婚・死別） | } F 11 へ |
| 3 いない（未婚） | |

【F 10 で「いる（同居・別居含む）」と回答した方に伺います。】

F 10- 1 共働きをしていますか。（1つのみ）

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

F 11 こどもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 一番上のこどもが小学校入学前 | 4 一番上のこどもが学校卒業 |
| 2 一番上のこどもが小・中学生 | 5 こどもはいない |
| 3 一番上のこどもが高校・大学生 | |

F 12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 1 年未満 | 5 10 年以上 20 年未満 |
| 2 1 年以上 3 年未満 | 6 20 年以上 30 年未満 |
| 3 3 年以上 5 年未満 | 7 30 年以上 |
| 4 5 年以上 10 年未満 | |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

令和6年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
報告書

令和6年12月発行
発 行 大田区企画経営部企画課
〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電 話 (03) 5744-1444 (直通)
F A X (03) 5744-1502
